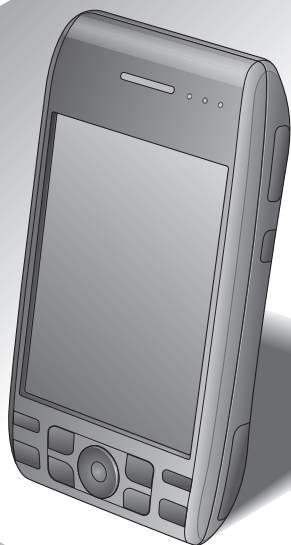
WILLCOM

取扱説明書

形名 WS004SH

かんたん
操作ガイド

SHARP®

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この『取扱説明書』をよくお読みになってからご使用ください。また、この『取扱説明書』は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
- 当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失するおそれがあります。
- 次のことを必ずお守りください。
  重要な内容は必ず控えを取っておいてください。動作確認済みの市販のminiSDカードにバックアップ（保管）することができます。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」（☞0-7ページ）を必ずお読みください。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず右記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご注意！

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

公衆サービスについて

ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

くわしくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ご契約内容（加入、変更、引越等）
- オプションサービス
- この製品の紛失
- 基本料金・通話料等
- サービスエリア
- その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間：9：00〜21：00
（日・祝日を除く）
この製品から……………………局番なしの116（無料）
一般加入電話・公衆電話から…0120-921-156（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます。）　番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ窓口

受付時間：9：00〜21：00
（日・祝日も受付）
この製品から……………………局番なしの157（無料）
一般加入電話・公衆電話から…0120-921-157（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます。）　番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

もくじ

かんたん操作ガイド

1　基本操作

2 インターネットやメールを使うための準備

3 電話

4 メール

5 インターネット

6 辞書・PIM機能

7　映像と音楽

8　パソコンとの連携

9　その他の機能

10　設定

11　付録

この製品には、本書で説明している以外に次のプログラムがあります。

- ・Word Mobile
- ・PowerPoint Mobile
- ・Excel Mobile
- ・Picsel PDF Viewer

これらの説明は、付属のGetting Started CDに収録されている『Windows Mobile 5.0 Office アプリケーションマニュアル』または『Picsel PDF Viewerマニュアル』をご覧ください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **危険**	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

- ⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
- ⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。
- ❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■ WS004SH本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- 指定のACアダプターや充電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。

⚠警告

● 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

● 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク運転中の使用は法律で禁止されています。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。

● 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。
ただし、ワイヤレスLAN装着のある航空機内において、この製品から当該ワイヤレスLANシステムに接続して使用する場合は、離着陸時を除き内蔵ワイヤレスLANを作動させることができます。

● 通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。

● 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから離して携行および使用してください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

● 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

● 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、この製品を持ち込まないでください。
・病棟内ではこの製品の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、この製品の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

● 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

● 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

● 心臓の弱い方は、バイブレータや着信音の設定に注意してください。

⚠ 注意

● ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。バイブレータを設定しているときも、ご注意ください。

● 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは使用しないでください。

● 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

● miniSDカードやW-SIMを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。miniSDカードやW-SIMを装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

■充電池の取り扱いについて

⚠ 危険

● 充電池(リチウムイオン充電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。

・この製品で使用できる充電池は、EA-BL12 です。これ以外の充電池は使用しないでください。
・装着するとき、充電池の向きが決められています。この製品にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
・充電には、付属のACアダプター(EA-75)以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所(60℃以上)に放置しないでください。
・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
・外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
・端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリー、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

⚠危険

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

⚠警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
・水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
・充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

⚠注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。

・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がこの製品から取り出さないように注意してください。

・充電は必ず5～35℃の範囲で行ってください。

・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ ACアダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

- WS004SH本体に接続するACアダプターは、必ず付属のEA-75を使用してください。他のACアダプターは使用しないでください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

- 付属のACアダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

- 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。
  - ・ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。

  - ・ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

  - ・お客様による改造や分解・修理はしないでください。

  - ・ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

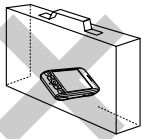
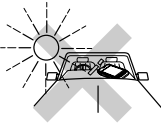
  - ・ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

  - ・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

- 使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。

- 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
  - ・周囲温度0～40 ℃、湿度35～85%の範囲でご使用ください。
  - ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ・ほこりの多い場所に置かないでください。
  - ・落下させたり衝撃を与えないでください。
  - ・つけ根部分を無理に曲げないでください。
  - ・重いものを載せないでください。
  - ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  - ・布などでくるまないでください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠警告

- 付属のCD-ROM は、一般オーディオ用のCD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

使用上のご注意とお手入れのしかた

持ち運ぶときや使用しないときは、必ずキーボードを閉じて、付属のソフトケースに入れてください。
ソフトケースに入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を与えたりしないでください。また、ハンドストラップなどをご使用になり、落とさないようにしてください。
故障や破損の原因となります。

表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。
本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま画面にタップすると傷つくことや、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。

画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

スタイラスペンの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

長時間使用していると（特に内蔵ワイヤレスLAN使用時など）、この製品は温かくなりますが、故障ではありません。

・この製品では、W-SIMにデータを保存することはできません。

●内蔵カメラについて

・レンズに直射日光があたらないようにしてください。直射日光があたる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

・大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●USBポート／カードスロットについて

・USBポートやminiSDカードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。

・USBポートやminiSDカードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

●液晶表示について

・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

・画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

・画面タップの操作は、付属のスタイラスペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。

●公衆の場で使用するときは、まわりの方に迷惑にならないようにご注意ください。

●ハンドストラップについて

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

●この製品が持つPHS電話機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

著作権等に関するお願い

音楽用CD等各種CD、TV映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。
実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

・Microsoft、ActiveSync、Outlook、Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Windows、Windows Media、Windowsロゴ、MSNロゴ、Officeロゴは、米国およびその他の国における米国マイクロソフト社の登録商標または商標です。

・この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
Powered by JBlend™. Copyright 1997-2006 Aplix Corporation.
All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

・ miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

・Flash、Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

・This product contains software copyright © Beatnik, Inc. 1996-2002.

・Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。

・Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel PDF Viewer, Picsel Document Viewer and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies and/or its affiliates.

・この製品に収録されているDicLand辞書のデータは、下記の辞典・事典にもとづいています。
●『エクシード英和辞典』©2002
編者:三省堂編修所
●『エクシード和英辞典』©2002
編者:三省堂編修所
●『デイリーコンサイス国語辞典 第3版』©2002
編者:佐竹秀雄・三省堂編修所
●『キーワードで引く英文ビジネスレター事典』©2002
監修:橋本光憲
編者:三省堂編修所

・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

ワイヤレスLANに関するご注意

・**電波法に基づく適合証明について**

この製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、この製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記のことは行わないでください。法律に罰せられることがあります。

・この製品に内蔵のワイヤレスLANモジュールを分解、改造する
・この製品の銘板をはがす

2.4DS4

①「2.4」：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz帯）。
②「DS」：変調方式を表します（DS-SS変調方式）。
③「4」：想定される与干渉距離を表します（約40m）。

・**電波干渉に関するご注意**

この製品の使用周波数帯は2.4GHzです。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはこの製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカ）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）、ワイヤレスLANを使用していない時は、ワイヤレスLANのアンテナを無効にしてください。

・**使用上のご注意**

この製品に内蔵されているワイヤレスLANは、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

ご注意

- **本品は、総務省の技術基準に適合しています。**
- **本品に付されている表示は、その証明マークです。**
- **表示マークの付された製品を総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられます。**

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

ワイヤレスLANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、この製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　　悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　　IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　　メールの内容
　　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
・不正に侵入される
　　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　　個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
　　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
　　　傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
　　　コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
　　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレスLAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレスLAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレスLAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレスLANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレスLAN機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のワイヤレスLANのセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

- 画面上のメニューやボタンなど… ・ [メニュー] などと表記します。
- 表示部のボタン ………………………… ・画面（表示部）の下のボタンは、『[ok]ボタン』などと表記します。
  ・カーソルボタンは、『(カーソル)ボタン』と表記します。
- キーボードのキー ……………………… ・『(A)キー』などと表記します。
  ・キーの上に表示されている「Del」などの機能は、『(BS)（Del）キー』などと表記します。

操作手順の表記

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。
- ボタンやキーを押して操作する
- スタイラスペンで画面にタップして操作する

※主に縦表示の場合を説明しています。

マーク

MEMO …… 補足的なことを説明しています。

ご注意！ …. 注意していただきたいことを説明しています。

☞ …………… 参照する取扱説明書のページを指しています。

表示画面

- 本書に記載されている画面例は、縦表示のものを掲載しています。
- 本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

  ※この取扱説明書に記載しているお問い合せ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2006年5月現在のものです。

他機種のデータを この製品に移す

「WS003SHなどの予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンのMicrosoft Outlookのデータ」を同期したあと、そのパソコンとこの製品を同期します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先	・予定表	・仕事
・メモ	・お気に入り	・電子メール※

※電子メールでデータを移行（同期）できるのは、「Outlookメール」のアカウントのみです。オンラインサインアップで取得したEメール（ウィルコム）やご自分で追加したプロバイダーメールのアカウントとは同期できません。

ご注意！
● バックアップツール（☞9-3ページ）を使って他の機種からこの製品にデータを移すことはできません。

●WS003SHなどでActiveSyncをインストールしてお使いの方

お使いのActiveSyncとこの製品を同期することで他の機種のデータをこの製品に移すことができます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。

●WS003SHなどでActiveSyncをインストールされていない方

ActiveSyncをインストールした後、データを移します。くわしくは、8-15ページをご覧ください。

かんたん操作ガイド

この製品を使って電話やメールをする

この製品ではPHS電話機能を使って、電話・メール・ライトメール・ホームページ閲覧などができます。
また、内蔵ワイヤレスLAN機能を使って、メール・ホームページ閲覧などができます。

電話をかける 電話をうける

ライトメールを送信／受信する

ご購入してすぐに、電話、ライトメールができます。

◇電話　　　：3-2ページ
◇ライトメール：4-34ページ

メールを送信／受信する

ホームページを見る

PHS電話機能または内蔵ワイヤレスLAN機能で、次の設定をすると使えます。

① **PHS電話機能でインターネットに接続**
オンラインサインアップ（☞2-2ページ）をすると、メールアカウントやインターネット接続に必要な情報が、この製品に自動的に設定されます。

② **内蔵ワイヤレスLANでネットワークに接続**
内蔵ワイヤレスLANを使った設定（☞2-5ページ）、メールアカウントなどの設定（☞2-18ページ）をします。

ネットワークには、①または②どちらか一方で接続します。
同時に両方の方式で接続はできません。

- お持ちのインターネットプロバイダーの情報などを設定しても、メールの送受信やホームページの閲覧ができます。

PHS電話機能でインターネットに接続

PHS電話機能でインターネットに接続しているときは、画面上部に⇄が表示されます。⇄が表示中は、インターネットに接続中です。

ご注意！

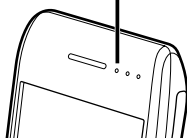
● ホームページ閲覧中など（このアイコン表示中）は、電話をかけたり受けたり、ライトメールの送信／受信はできません。

内蔵ワイヤレスLANでネットワークに接続

内蔵ワイヤレスLANでネットワーク接続中は、画面上部に が表示されます。 が表示中は、ネットワークに接続中です。

● 内蔵ワイヤレスLANでネットワーク接続中（このアイコン表示中）でも、電話をかけたり受けたり、ライトメールの送信／受信ができます。

ワイヤレス LAN ランプ

・黄緑点灯：内蔵ワイヤレス LAN 機能が有効
・消灯　　：内蔵ワイヤレス LAN 機能は無効

ネットワークを切断するときは

- **PHS電話機能でインターネットから切断するときは PWR ボタンを押すか、⇄にタップし表示されたウィンドウの 切断 にタップします。**
  PHS電話機能で接続中は、この製品で電話を受けたり、かけたりすることはできません。必ず切断してください。
- **ネットワーク（内蔵ワイヤレスLAN）から切断するときは、2-16ページをご覧になり内蔵ワイヤレスLANを無効（オフ）にします。**

ご注意！

● ホームページ閲覧後、✕にタップして画面を消しても、ネットワークは切断されていません。

アプリケーションプログラムを起動する

次のようにして、アプリケーションプログラムを起動します。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の“スタート”をタップします(またはボタンを押します)。

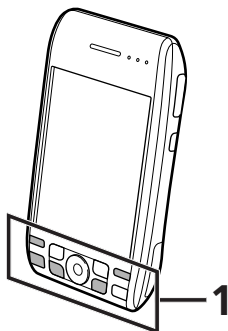
2 表示されたメニューから“予定表”などにタップします。

● スタートメニューに表示される内容を変更できます(☞10-7ページ)。

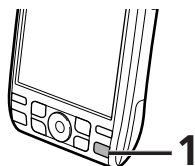
プログラム画面から起動する

1 画面左上の“スタート”▶“プログラム”をタップします。

2 起動したいプログラム(“Word Mobile”など)をタップします。

パネルのボタンを押して起動する

1 ボタンやボタンを押します。
“Internet Explorer Mobile”や“メール”が起動します。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に画面右上の ✕ や ok にタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。使用していないプログラムは、以下のいずれかの方法で終了してください。起動したままではプログラム実行用メモリが不足し動作が遅くなることがあります。

PWR ボタンを押して終了する

1 通話していない状態で PWR ボタンを押します。

- "予定表"や"Windows Media Player"などのプログラムが終了します。ただし、"電話"、"メール"、"ライトメール"、"バックアップツール"、"ActiveSync"、"ブンコビューア"、"ファイルエクスプローラ"、"Bubble Breaker"、"Picsel PDF Viewer"などは終了しません。
- PHS電話機能を使ってインターネット接続中は、回線を切断します。
  ※ワイヤレスLANやこの製品をモデムとして使用しているときは切断しません。

設定(メモリ)画面でプログラムを選択して終了します

1 画面左上の"スタート"▶ "設定"▶ システム タブ▶ "メモリ"をタップします。

2 設定(メモリ)画面で 実行中のプログラム タブをタップします。

3 終了したいプログラム名を選び、終了 をタップします。

電話をかける／自分の電話番号を見る

1 **電波状態が良好であることを確認し（☞1-4、1-15ページ）、[発信] ボタンを押します。**

電話（ダイヤル）の画面が表示されます。

2 **画面のダイヤルボタンをタップして電話番号を入力します。**

番号を間違えたときは、クリア をタップして入れ直します。

3 **通話 または、画面左下の 発信 にタップします。**

電話番号が点滅してダイヤルされ、電話がかかります。

4 **通話が終わったら、[PWR] ボタンを押します。**

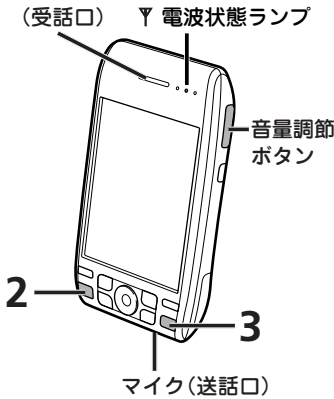
自分の電話番号を見る

ダイヤル画面で画面右下の メニュー ー 自局番号表示 にタップします。

ご注意！

- 通話中、電話画面で ✕ をタップしても電話は切れません。
  電話を切るときは [PWR] ボタンを押してください。

- マイクは [✉] ボタンの下側にあります。ふさがないように通話してください。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。
- 通話を保留にするときは画面左下の キー表示 にタップしてダイヤルボタンを表示したのち、保留 にタップします。解除するときは 保留解除 にタップします。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知する設定になっています。設定の変更は3-35ページ、3-16ページをご覧ください。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、

- 着信音が鳴ります。
- 電波状態ランプ（Y）が青色点滅します。
- 画面に相手の名前や電話番号が表示されます。

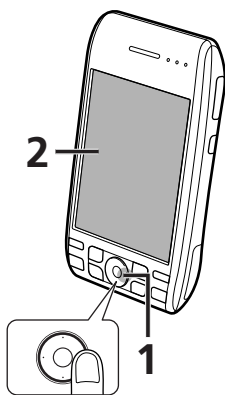
2 [電話] ボタンを押し、相手と話しをします。

3 通話が終わったら、[PWR] ボタンを押します。

ご注意！

- 通話中、電話画面で ✕ をタップしても電話は切れません。
  電話を切るときは [PWR] ボタンを押してください。

- マイクは [✉] ボタンの下側にあります。ふさがないように通話してください。
- 通話中に相手の声の大きさを変えるときは、右側面にある音量調節ボタンを押します。
- 着信の設定は変更できます。
  - ・着信音を鳴らさない（☞3-26ページ）
  - ・着信をバイブレータで知らせる（☞3-29ページ）
  - ・着信音を変更する（☞3-27ページ）
  - ・電波状態ランプを点滅しない（☞3-31ページ）。
- 着信の履歴は、電話の画面で（カーソル）ボタンの左を押して確認できます（☞次ページ、3-10ページ）。

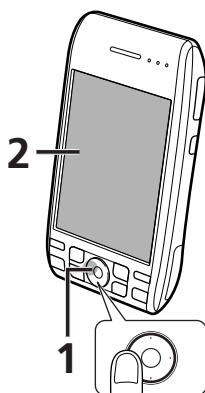
前にかけた相手にもう一度かける（リダイヤル）

1 **ダイヤル画面で、（カーソル）ボタンの右を押します。**

発信履歴画面が表示されます。

2 **リストからかけたい相手をタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

電話がかかります。

かかってきた相手にかけ直す

1 **ダイヤル画面で、（カーソル）ボタンの左を押します。**

着信履歴画面が表示されます。

2 **リストからかけたい相手をタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

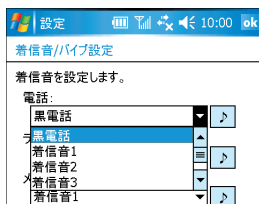
電話がかかります。

- Today画面（待ち受け画面）で、（カーソル）ボタンの左右を押しても着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。
- 上記手順**2**で、発信履歴画面／着信履歴画面で、（カーソル）ボタンの上下で相手を選択し（アクション）ボタンを押すと、確認画面を表示せずに電話をかけることができます。

着信音を変える

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、あらかじめ登録されているパターンやこの製品に保存した音楽ファイルから設定します。

1 スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音/バイブ”にタップします。

2 画面下の メロディ タブにタップし、電話・ライトメール・メールの各欄の▼にタップして、表示されたメニューから設定する音を選択します。

保存している音楽ファイルを着信音にするときは

表示されたメニューから《ファイル参照》にタップし、リストより音楽ファイルをタップします。

● miniSDカードの音楽ファイルは選択できません。

3 画面右上の ok にタップします。

● くわしくは、3-27ページをご覧ください。また、呼び出し時間などの設定は、3-32ページをご覧ください。

キーロックをする

誤って画面にタップしたりボタンが押されても動作しないようにできます。

1 Today画面（☞1-13ページ）で、縦横表示切替ボタンを長く（約2秒）押します。

Today画面（待ち受け画面）に🔒が表示されます（☞1-17ページ）。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

キーロックを解除する

1 電源が入っている状態で、縦横表示切替ボタンを長く（約2秒）押します。

Today画面（待ち受け画面）の🔒が消えます。
キーロックが解除します。ボタンやキーを押したり、画面タップが行えます。

消費電力を節約して使う

以下の設定を行うとこの製品の消費電力を節約することができます。

◇ワイヤレスLANをオフにする

ワイヤレスLANを有効（オン）のままにしておくと通常より充電池を消耗します。ワイヤレスLANを使用しない場合は、無効（オフ）にすることをおすすめします（☞2-16ページ）。

◇バックライトの表示を調整する

バックライトを消すまでの時間を短くしたり、明るさを暗くしたりして消費電力を少なくすることができます（☞10-14ページ）。

◇メールの「自動接続してメールチェック」をOFFにする

メールを定期的にチェックする設定にしている場合、一度インターネットに接続すると接続したままの状態となり充電池を消耗します。自動受信しないことで、充電池の消耗を少なくすることができます（☞2-21、4-12ページ）。

マナーも携帯しよう

この製品を使うときは、周りへの心くばりを忘れないようにしましょう。

◇鉄道やバスでは...

新幹線や電車、バスの中では、車内アナウンスや掲示ルールに従いましょう。

◇飛行機などでは...

使用を禁止されている場所では、電源をオフにしましょう。

◇病院内では...

必ず医療機関の指示に従いましょう。

◇劇場、図書館、美術館などでは...

着信音で迷惑にならないように、電源をオフにしておきましょう。

◇ホテルのロビーやレストランなどでは...

静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。

◇カメラを使うときは...

撮影や画像送信するときは、著作権や肖像権、プライバシーなど他人の権利を侵害しないように充分に配慮しましょう。

ご注意!

- **運転中の使用は大変危険です。**
  自動車やバイクの運転中に使用することは法律で禁止されています。
  運転中は留守番電話や安全運転モードに切り替えましょう。
- **歩行中や自転車に乗りながらの使用は控えましょう。**
  歩きながら、自転車に乗りながらの通話・メールなどの使用は、周囲への注意がおろそかになり大変危険です。通行の邪魔にならない安全な場所に止まるなどしてご利用ください。

マナーを守るための機能について

◇マナーモード（☞1-13、3-33ページ）

着信音をオフ、バイブレータをオンなどにします。

◇安全運転モード（☞1-13、3-34ページ）

相手に運転中で電話に出られないことを伝えます。

◇伝言メモ（☞1-13、3-14ページ）

電話に出られないときに、相手のメッセージをこの製品に録音できます。

◇バイブレータ（☞3-29ページ）

着信などを振動で知らせます。

◇無線ON／OFF（☞2-9、10-22ページ）

PHS電話機能、内蔵ワイヤレスLAN機能を停止します。

◇留守番電話サービス（有料）（☞3-43ページ）

ウィルコム留守番電話センターが応答し、メッセージをお預かりします。

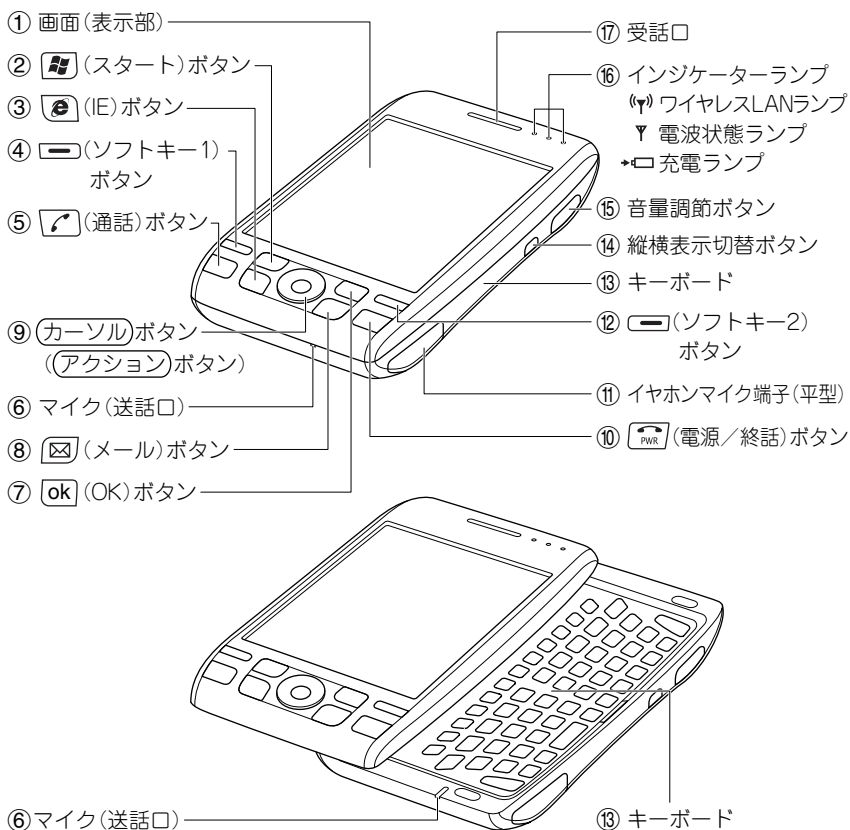
1　基本操作

基本的な使いかた

この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとその働きを覚えましょう。

正面・右側面

① **画面(表示部)**

各種のデータを表示します。また、付属のスタイラスペンでタップして操作します(☞1-12ページ)。

② (スタート)ボタン

スタートメニューを表示し、プログラムを起動したり、設定画面を表示したりします(☞1-25ページ)。

③ (IE)ボタン

“Internet Explorer Mobile”を起動します。※長押しでは起動しません。

④ (ソフトキー1)ボタン

画面左下(メニューバー)の 新規 などにタップと同じ働きをします。

⑤ (通話)ボタン

電話をかけるときや電話を受けるときに使います(☞3-2ページ)。

⑥ マイク(送話口)

自分の声をここから伝えます(☞0-26ページ)。

⑦ ok (OK)ボタン

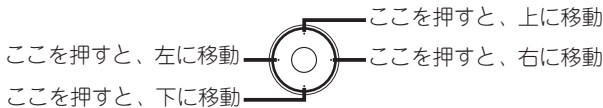
画面右上の ok または ✕ にタップするのと同じ働きをします。

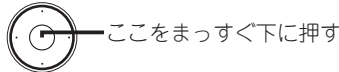
⑧ (メール)ボタン

・一度押すと“メール”を起動します(☞4-6ページ)。
・長く押すと“ライトメール”を起動します(☞4-35ページ)。

⑨ (カーソル)ボタン((アクション)ボタン)

上下左右を押すと、カーソルが上下左右に動きます。

ここを押すと、上に移動
ここを押すと、左に移動
ここを押すと、右に移動
ここを押すと、下に移動

(アクション)ボタン

・中心をまっすぐ押すと、キーボードの Enter キーに相当する操作を行います(プログラムや設定画面によって、動きが異なることがあります)。

⑩ (電源/終話)ボタン

・通話中の電話を切ったり(☞3-3ページ)、インターネット接続を切断します。
・“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“電話”、“メール”、“ライトメール”、“バックアップツール”、“ActiveSync”、“ブンコビューア”、“ファイルエクスプローラ”、“Bubble Breaker”、“Picsel PDF Viewer”などは終了しません。
・ボタンを長く(約2〜3秒)押すと、電源の入/切ができます(☞1-11ページ)。

⑪ イヤホンマイク端子

イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑫ (ソフトキー2)ボタン

画面右下(メニューバー)の メニュー などにタップと同じ働きをします。

⑬ キーボード

キーボードを引き出して、キーボードを使って文字を入力できます(☞1-32ページ)。

⑭ 縦横表示切替ボタン

・画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。ただし、カメラ撮影時(☞7-3ページ)は、切り替わりません。
・Today画面(☞1-13ページ)で、長く(約2秒)押すと、キーロックします。キーロックの状態になるとボタンやキー、画面にタップしても動作しません(画面下部に🔒アイコンが表示されます(☞1-17ページ))。
キーロックを解除するには、このボタンを長く(約2秒)押します。

⑮ 音量調節ボタン

・通話中、音量(受話音量)の調節をします(☞3-13ページ)。
＋：音量が大きくなります。　**－**：音量が小さくなります。
・通話中以外では、着信音やアラーム音などの音量を調節します。

⑯ インジケーターランプ

この製品の状態をランプの光りかたで表します。

ワイヤレスLANランプ

ワイヤレスLANが使用可能な場合、ワイヤレスLANで通信中または有効のときに黄緑色点灯します(☞2-9ページ)。

電波状態ランプ

電話の電波強度(☞1-15ページ)や、電話着信などを表します。

緑色に点灯※1	(電波アイコン)
オレンジ色に点灯※1	(電波アイコン)
赤色に点灯※1	(電波アイコン)
消灯	圏外（エリア外であることを示します。）
緑色に点灯／点滅	PHS電話機能を使って、ホームページ閲覧やメール送信／受信を行うとき、点灯／点滅で電波状態を示します。点灯している時間が長いほど電波状態が良好になり、点灯したままの状態が一番強くなります。
青色に点滅	電話着信時、メール／ライトメール受信時であることを示します。※2
青色に点灯	不在着信、未読のメール／ライトメールがあることを示します。※2

※1：電波状態アイコン（☞1-15ページ）と連動します。
※2：点滅や点灯する／しないを設定できます（☞3-31ページ）。

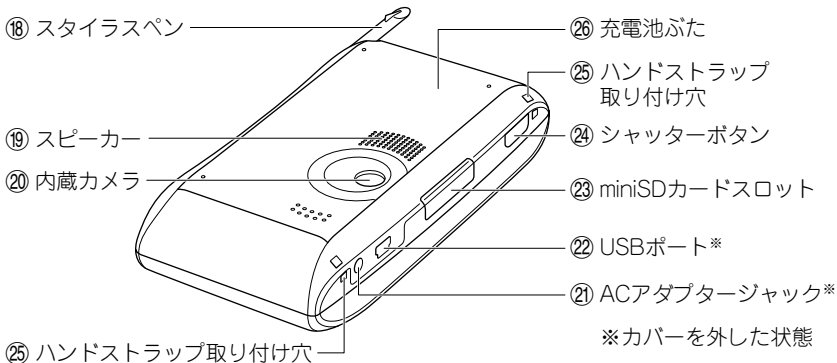
充電ランプ(☞1-9ページ)

オレンジ色に点灯	充電中であることを示します。
黄緑色に点灯	満充電であることを示します。
黄緑色に点滅	予定表などのアラームを知らせます。※
オレンジ色に点滅	充電中に異常が発生したことを示します。

※点滅する／しないを設定できます（☞10-12ページ）。

⑰ 受話口

通話中に相手の声が聞こえます(☞0-26ページ)。※イヤホンマイク接続時はイヤホンから聞こえます。

背面・左側面

⑱ スタイラスペン
画面にタップしたり、画面に文字を書きます(☞1-8ページ)。

⑲ スピーカー
着信音や"予定表"のアラーム、再生している音楽が鳴ります。
※イヤホンマイクを接続しているときは、イヤホンから聞こえます。

⑳ 内蔵カメラ
写真を撮影します(☞7-4ページ)。

㉑ ACアダプタージャック
付属のACアダプター(EA-75)を取り付けます。
他のACアダプターは取り付けないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉒ USBポート
付属のUSBケーブルを接続し、パソコンと接続します(☞8-6ページ)。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉓ miniSDカードスロット
動作確認済みのminiSDカードを装着します(☞1-46ページ)。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

㉔ シャッターボタン
内蔵カメラ使用時、写真を撮影します(☞7-4ページ)。

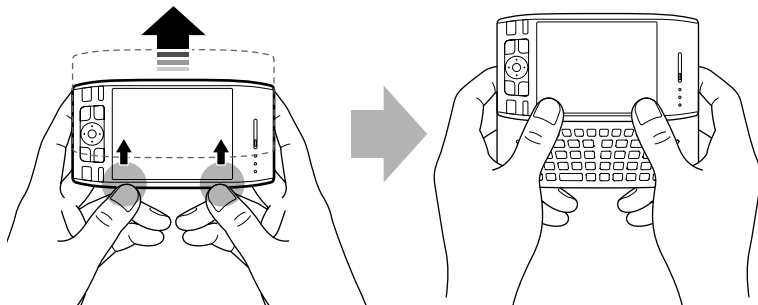
㉕ ハンドストラップ取り付け穴
市販のハンドストラップを取り付けます。

㉖ 充電池ぶた
このふたを外し、充電池を取り外したり取り付けます(☞11-8ページ)。
また、W-SIMを取り外したり取り付けるときも充電池ぶたを取り外します(☞11-10ページ)。充電池ぶたを取り外しているときは、電源は入りません。

キーボードを開く／閉じる

キーボードを正しく開きます。また、閉じます。
キーボードを使う場合、キーボードを開いてから行ってください。

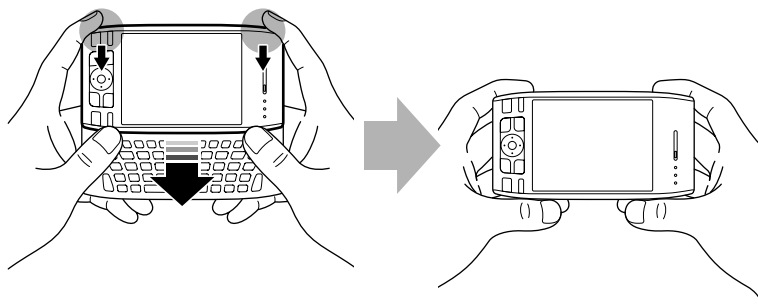
1 ●部分を軽く押して、表示部をスライドさせて開きます。

しっかりと開いてください。

ご購入時の設定は、電源を入れた状態でキーボードを開くと自動的に縦表示から横表示に切り替わります。
キーボード開閉による画面切り替えの設定は、10-23ページをご覧ください。

ご注意！

- カメラ撮影時（☞7-4ページ）は、キーボードを開いたり、閉じたりしても画面は切り替わりません。

2 ●部分を軽く押して、表示部を閉じます。

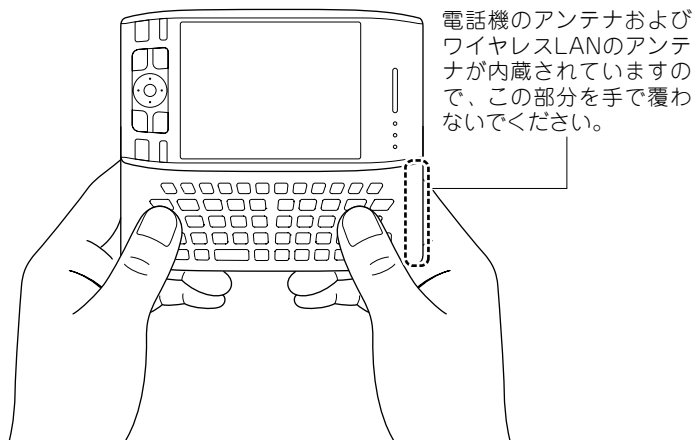
「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

キーボード開閉による画面切り替えの設定は、10-23ページをご覧ください。

- ご自分で画面を切り替えるときは、縦横表示切替ボタン（☞1-2ページ）を押します。

ご注意！

- **持ち運ぶときは**
  必ずキーボードを閉じてください。キーボードを開いたまま持ち運ぶと、破損の原因になります。

キー操作をするときの持ちかたについて

この製品を使って文字入力や登録したデータを見るためにキー操作などを行うとき、下図のように両手でこの製品を下から支えるようにして持つことをおすすめします。

キーロック

誤って画面にタップしたりボタンが押されても動作しないようにできます。

キーロックを設定する

1 Today画面（☞1-13ページ）で、縦横表示切替ボタン（☞1-2ページ）を長く（約2秒）押します（☞1-4ページ）。

Today画面（待ち受け画面）に🔒が表示されます（☞1-17ページ）。
キーロックします。キーロックの状態になるとボタンやキーを押したり、画面にタップしても動作しません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

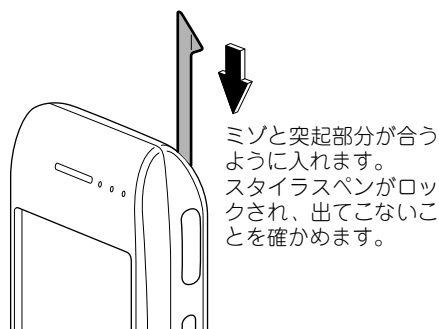
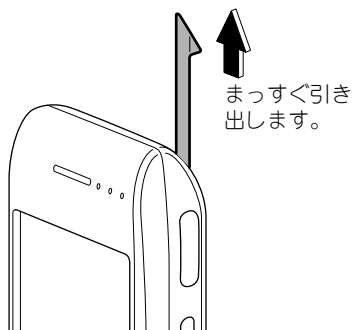
キーロックを解除する

1 電源が入っている状態で、縦横表示切替ボタンを長く（約2秒）押します。

Today画面（待ち受け画面）の🔒が消えます。
キーロックが解除します。ボタンやキーを押したり、画面タップが行えます。

スタイラスペンを取り出す／取り付ける

スタイラスペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

スタイラスペンを取り出す　　**スタイラスペンを取り付ける**

縦表示と横表示を切り替える

この製品では、以下の方法で縦表示から横表示に切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えることができます。
表示を切り替えると、レイアウトも自動的に変わります。

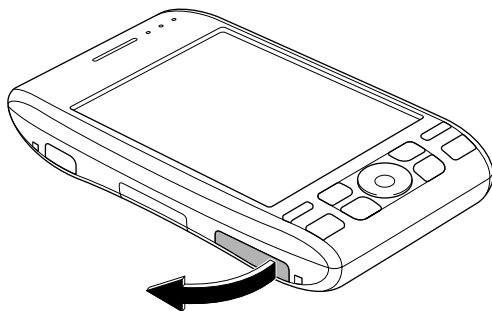
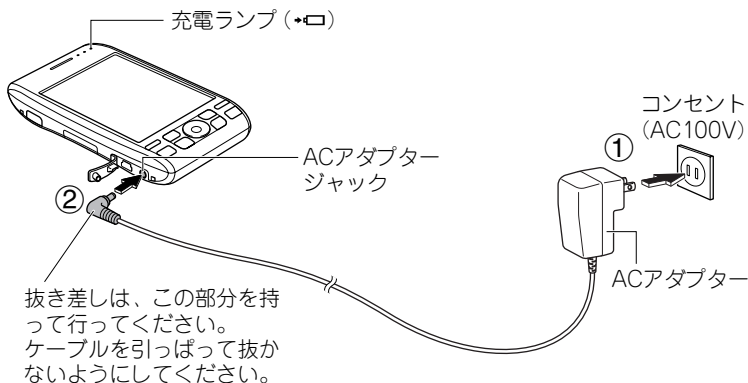
・**縦横表示切替ボタン(☞1−2、1−4ページ)を押します。縦から横、横から縦に切り替わります。**

・**キーボードを開いたり閉じたりすると、縦から横／横から縦に切り替わります。**
　※キーボード開閉によって表示を切り替えないようにもできます(☞10-23ページ)。

● カメラ撮影時("カメラモード"、"ビデオモード")は縦横表示切替ボタンを押しても切り替わりません。

充電する

この製品を使用中に充電池が消耗したときは、すぐにこの製品の専用充電器である付属のACアダプター(EA-75)を使って充電池を充電してください(他のACアダプターは使用しないでください)。

1 ACアダプター／USBポートのカバーを開きます。

2 下図のように①、②の順で、ACアダプターを接続します。

充電ランプがオレンジ色に点灯して、充電が始まります。

- ACアダプターの性質上、充電中にACアダプターから「ピー」と小さな音が鳴ることがありますが、故障ではありません。

3 満充電になると、充電ランプが黄緑色になり、充電が完了します。

電源を切った状態で満充電になるまでに、通常、常温25℃で約3.5時間かかります(充電池の残量や周囲温度によって変わります)。
また、この製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。使用状態(データ通信や通話など)によっては、消費電流が多いため充電されないことがあります。

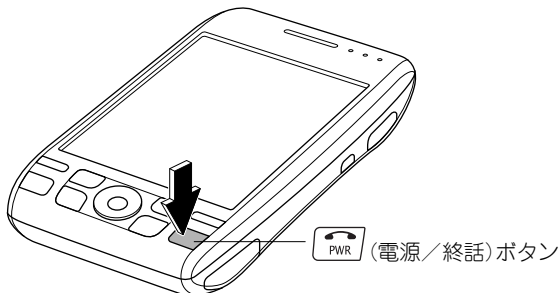
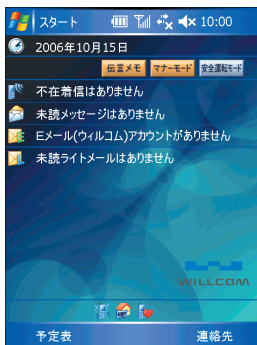
ACアダプターをこの製品のジャックから抜き、コンセントから取り外します。

- 必ずこの製品に付属のACアダプター(EA-75)を使用してください。
- ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。

MEMO

- 充電は、周りの温度が5～35℃の場所で行ってください。温度が変わると充電時間が長くなることがあります。また、充電は満充電するまで行ってください。
- ACアダプターを取り付けた状態で長時間使用していると、満充電にならずに充電ランプが消え充電が自動的に終了することがあります。
  このようなときは、ACアダプターをいったん取り外し、再度、取り付けると充電ランプが点灯し充電が行われます。USBケーブルを接続している場合、USBケーブルは取り外してください。
- 長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
- 充電池については、11-7ページをご覧ください。
- 充電中にこの製品やACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる／切る

1 PWRボタンを長く（約2～3秒）押します。

2 電源が入り、Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

3 電源を切るときは、PWRボタンを長く（約2～3秒）押します。

- 充電池が消耗して電源が切れた後に、付属のACアダプターを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、しばらく充電してから使用してください。
- （充電池を交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください（☞11-4ページ）。

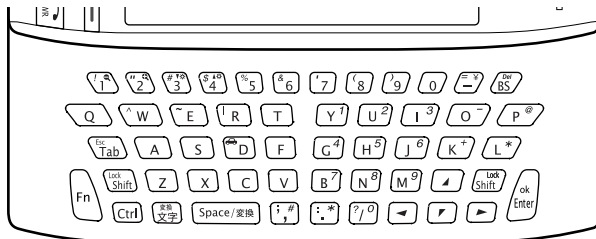
1 基本操作

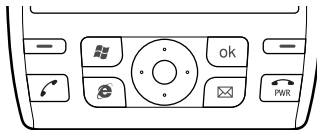
基本的な使いかた

キー操作について

キー操作を行うとき、大きく次の2つがあります。
・キーボード（文字を入力する）
・画面（表示部）下のボタン（画面を切り替えたりする）
※キーボードは文字入力のときに使い、隠したり／出したりすることができます（☞1-6ページ）。

■キーボード

キーボードは文字を入力するときに使います。操作方法については1-32ページをご覧ください。

■画面下のボタン

電話をかける／切るやプログラムを起動します。操作方法については、1-2〜3ページをご覧ください。

スタイラスペンでタップする

付属のスタイラスペンで画面にタップして操作します。
スタイラスペンで画面に1回軽くタップします。プログラムの起動や設定などを行うときに操作します。

Today画面(待ち受け画面)を使う

この製品の電源を入れると、Today画面(待ち受け画面)が表示されます。また、スタートメニューの “Today”をタップしても表示されます。
Today画面(待ち受け画面)には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール/ライトメールの未読件数などが表示されます。

① **スタート**
タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり(☞1-25ページ)、設定画面を表示します。

② **タイトルバー**
電波状態、ネットワーク接続中/通話中などを示すアイコンなどが表示されます。タイトルバーに表示されるアイコンについては1-15ページをご覧ください。

③ **日付表示**
日付を表示します。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付/時刻を変更できます(☞10-27ページ)。

④ **伝言メモ、マナーモード、安全運転モードの状態表示**
伝言メモ、マナーモード、安全運転モードはボタンになっており、タップすると色が変わります。オレンジ色になるとオン状態(有効)になります。もう一度タップすると、グレー色になりオフ状態(無効)になります。
キーボードを開いて、Fnキーを押したまま(車)キーを押しても安全運転モードになります(☞1-32、3-34ページ)。
※オン(有効)にすると、それぞれのアイコンが画面下に表示されます(☞1-17ページ)。

⑤ **不在着信件数表示**
不在着信の件数を表示します。ここにタップすると、着信履歴画面が表示され不在着信を確認できます(☞3-7ページ)。

⑥ **メール、ライトメールの未読件数表示**

メール、ライトメールの未読件数を表示します。メールの場合は、オンラインサインアップを行い取得したウィルコムのメールアドレス(☞2-3ページ)へ送られてきたメールと、ご自分で設定したメールアドレスへ送られてきたメールを別々に表示します。

アイコンに表示されている未読件数は、ご自分で設定したメールアドレスの未読メール件数、アイコンに表示されている未読件数はウィルコムのメールアドレスの未読メール件数です。

ここにタップすると、“メール”画面や“ライトメール”画面が表示されます。

⑦ **各種アイコン表示**

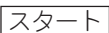
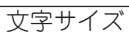
キーロック設定中などを示すアイコンが表示されます。これらのアイコンについては、1-17ページをご覧ください。

⑧ **メニューバー**

左端と右端にボタンが表示されます。Today画面(待ち受け画面)では、予定表、連絡先などが表示されそれぞれにタップすると“予定表”、“連絡先”などが起動します。プログラムによって、表示されるボタンは異なります。

(ソフトキー1)ボタン(☞1-3ページ)を押すと左端のボタンが実行され、(ソフトキー2)ボタン(☞1-3ページ)を押すと右端のボタンが実行されます。

Today画面では、(ソフトキー1)ボタンを押すと“予定表”が起動し、(ソフトキー2)ボタンを押すと“連絡先”が起動します。

※内蔵ワイヤレスLANを有効(☞2-9ページ)にし、Today画面の設定画面(アイテムタブ)で「ワイヤレス」にチェックを付けると、⑥に「 内蔵ワイヤレスLAN：利用可能」などと表示されます。アクセスポイントに接続中は、「 内蔵ワイヤレスLAN：XXXX」と表示されます(「XXXX」はネットワーク名)。
内蔵ワイヤレスLANを無効にすると消えます。

- Today画面の背景を、お好みの画像に変更できます(☞10-4ページ)。
- (カーソル) ボタンの左右を押すと着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

■文字サイズを調整する

Today画面(待ち受け画面)やプログラムで表示される文字などのサイズを変更することができます。

スタートメニュー－ “設定”－システムタブ－ “画面”－文字サイズタブをタップして変更できます(☞10-29ページ)。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

① **時刻表示** 10:00

時刻を表示します。タップするとウィンドウが表示され、今日の日付と時刻、今日これから一番近い予定が分かります（ウィンドウはしばらくすると自動的に消えます）。

時刻にタップしたままにするとメニューが表示され、アナログ表示に変更できます。

② **音量のアイコン**

音量の状態を表示します。

：オン／ ：バイブレート／ ：オフ

タップすると音量設定のウィンドウが表示され、音量の調節やオン／オフを設定できます。バイブレートを選択すると、アラームがバイブレートで通知されます。

③ **インターネット接続のアイコン** ／

：PHS電話機能を使ってインターネットに接続している状態を示します。

：インターネットに接続していない状態を示します。

④ **電波状態のアイコン**

PHS電話機能の電波の受信状態をアイコンで表示します。

このアイコンは、電波状態ランプと連動しています（☞1-4ページ）。

※ ホームページ閲覧中やメール送信／受信のためにインターネット接続中、このアイコンは消えます。このとき、電波状態は電波状態ランプで示します（☞1-4ページ）。

圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ←――――→ 弱

：PHS電話機能を停止（W-SIM（PHS）を停止）状態を示します（☞10-22ページ）。

：W-SIMをロックしている状態を示します（☞3-39ページ）。

：W-SIMがこの製品に装着されていません。

● タイトルバーに表示されるアイコンの数は4つです。この数を越えると が表示されます。 にタップすると隠れているアイコンが表示されます。

⑤ **充電池残量のアイコン**

充電池の残量を表示します。

：ある程度残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

充電池の残量は、パワーマネージメント画面（バッテリ タブ）（☞10-16ページ）でも確認できます。

：充電中を示します。

⑥ **通話中／通信中のアイコン** ／PF

：通話中であることを示します。

PF　PT　FC：この製品をモデムとして使用したとき表示されます。

それぞれのアイコンについては、8-23ページをご覧ください。

⑦ **内蔵ワイヤレスLANのアイコン** ／

：内蔵ワイヤレスLANがオン（有効）になっていることを示します（☞0-23、2-9ページ）。

：アクセスポイントを介してネットワークに接続しています（☞0-23、2-14ページ）。

内蔵ワイヤレスLANを使用しないときは、充電池の消耗を防ぐため無効（オフ）にすることをおすすめします。一時的に内蔵ワイヤレスLANを停止することもできますが（☞2-16ページ）、この状態では充電池が消耗しますので無効（オフ）にすることをおすすめします。

⑧ **アラームのアイコン**

アラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にアラームの内容を表示します。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下の 消去 にタップします。（☞1-31ページ）

⑨ **メールのアイコン**

：Eメール（ウィルコム）の自動受信中または自動受信終了時に表示されます。

また画面下部に状態を表示します。画面下部の表示を消すには、画面左下の OK にタップします。

：この製品で受信していないEメール（ウィルコム）がセンターに有る場合に表示されます。

画面下部のアイコンについて

Today画面（待ち受け画面）の下部には、以下のアイコンが表示されます。

：キーロックがオン（有効）になっています（☞1-4、1-7ページ）。

：通話／通信機能が制限されています（☞3-37ページ）。

：バイブレータがオン（有効）になっています（☞3-29ページ）。

：伝言メモがオン（有効）になっています（☞3-14ページ）。
1-13ページの④で伝言メモのボタンをオン（オレンジ色）にすると、このアイコンが表示されます。オフ（グレー色）にすると、このアイコンが消えます。

：マナーモードがオン（有効）になっています（☞3-33ページ）。
1-13ページの④でマナーモードのボタンをオン（オレンジ色）にすると、このアイコンが表示されます。オフ（グレー色）にすると、このアイコンが消えます。

：安全運転モードがオン（有効）になっています（☞3-34ページ）。
1-13ページの④で安全運転モードのボタンをオン（オレンジ色）にすると、このアイコンが表示されます。オフ（グレー色）にすると、このアイコンが消えます。
キーボードを開いて、Fnキーを押したままキーを押しても安全運転モードになります（☞1-32、3-34ページ）。

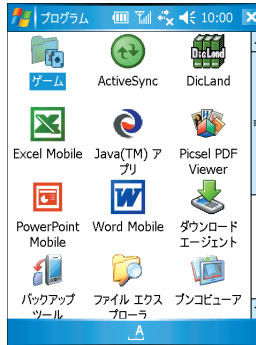
：不在着信があったことを示します。
1-13ページの⑤で不在着信の件数が表示されると、このアイコンが表示されます。

：伝言メモ（メッセージ）があることを示します（☞3-14～15ページ）。

：未読のEメール（ウィルコム）があることを示します。
1-14ページの⑥で未読のメールがあると、このアイコンが表示されます。

：未読のライトメールがあることを示します。
1-14ページの⑥で未読のライトメールがあると、このアイコンが表示されます。

※安全運転モードをオン（有効）にしていると、バイブレータはオン（有効）になりません。

プログラム画面について

スタートメニューの“プログラム”にタップしてプログラム画面を表示します。プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。

ゲーム
ゲームソフトが2つ入っています（☞9-11ページ）。

ActiveSync
ActiveSyncを使ってパソコンのMicrosoft Outlookの仕事や予定表などと同期します（☞8-2ページ）。

DicLand
「エクシード英和辞典」や「エクシード和英辞典」、「ディリーコンサイス国語辞典　第3版」で、言葉の意味や英単語の意味などを調べます（☞6-2ページ）。「英文ビジネスレター事典」で英文ビジネスレターの基礎知識や表現を学習することができます。

Excel Mobile
表の作成や修正ができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

Java™アプリ
Javaアプリケーションを実行するためのJava実行環境です（☞9-13ページ）。ゲームなどのJavaアプリケーションなどを利用できます。

Picsel PDF Viewer
PDFファイルを表示することができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。※ファイルによっては表示できないことがあります。

PowerPoint Mobile
PowerPointのファイルを表示できます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

Word Mobile
文字サイズや文字色を変えたり、レイアウトを変えて文章を作ることができます（☞付属のCD-ROMに収録のオンラインマニュアル）。

※「ダウンロードエージェント」は、この製品では対応しておりません。

バックアップツール
この製品に保存しているデータなどをminiSDカードにバックアップ(保管)したり、保管したデータをこの製品にリストア(復元)します(☞9-3ページ)。

ファイル エクスプローラ
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示したりすることができます(☞9-7ページ)。また、新規のフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます(ファイルにタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します)。

ブンコビューア
XMDF形式の電子書籍を読むためのビューアです。
電子書籍はSharp Space Town(http://www.spacetown.ne.jp/)などで購入できます。
ブンコビューアについてくわしくは、ブンコビューアのヘルプをご覧ください。
あらかじめ、サンプルの電子書籍が入ってます。

メモ
スタイラスペンを使って画面に手書きしたり、キーボードなどから文字を入力することができます(☞6-48ページ)。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

ライトメール
ライトメールの送信や受信ができます(☞4-34ページ)。

画像とビデオ
静止画や動画の撮影および画像の編集ができます。また、内蔵カメラはこのアプリケーション上で動作します(☞7-2ページ)。

検索
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルなどを検索することができます(☞1-51ページ)。

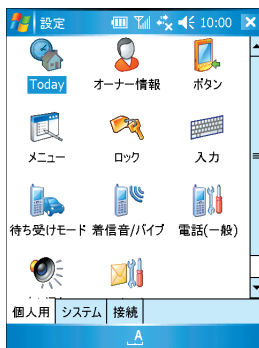
仕事
期限を決めて仕事の管理ができます(☞6-37ページ)。

電卓
9桁の四則計算ができます(☞9-2ページ)。

電話
電話をかけることができます(☞3-2ページ)。

設定画面について

着信音や待ち受け画面など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
[スタート]メニューの "設定"にタップすると、設定画面が表示されます。
設定画面には3つのタブがあり、以下の項目が設定できます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇ [個人用]タブ ◇

Today（☞10-2ページ）
待ち受け画面となるToday画面（☞1-13ページ）を設定します。
[デザイン]　：Today画面の背景を変更します。
[アイテム]　：Today画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。
[カーソルボタン]：Today画面で(カーソル)ボタンの左右を押したときの動作を設定します。

オーナー情報（☞10-5ページ）
オーナー情報を入力します。
[オーナー情報]：名前、住所などを入力します。
[メモ]　：メモなどを入力します。
[オプション]：電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

ボタン（☞10-6ページ）
表示部の下などにあるボタンに割り当てる機能を設定します。
[プログラムボタン]　：ボタンに対して、割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。
[上／下コントロール]　：(カーソル)ボタンを押したとき、スクロールを開始するまでの時間や移動速度などを変更します。

メニュー（☞10-7ページ）
スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

ロック（☞10-8ページ）
パスワードを設定して、この製品を他人が使えないようにします。

パスワード	：	パスワードなどを設定します。
ヒント	：	パスワードを忘れたときに、パスワードを思い出すヒントになる文章などを入力します。

入力（☞10-9ページ）
よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

入力方法	：	文字の入力方法の設定や単語の登録をします。
オプション	：	録音形式や手書き入力の詳細などを設定します。

待ち受けモード（☞3-14、3-33～34ページ）

マナー	：	マナーモードの設定ができます。
安全運転	：	安全運転モードの設定ができます。
伝言メモ	：	伝言メモの設定ができます。

着信音／バイブ（☞3-26～32ページ）

着信音量	：	着信音の音量設定ができます。
メロディ	：	電話着信音／メール受信音を設定できます。
バイブ	：	バイブレータの設定ができます。
照明	：	電話着信時やメール受信時、バックライトを点灯したりキーのバックライトを点灯するようにできます。
ランプ	：	電話着信時／メール受信時、電波状態ランプ（☞1-2ページ）を点滅／点灯する設定ができます。
呼出時間	：	メールやライトメール受信時、音／メロディ／バイブレータ／照明による呼び出し時間が設定できます。

電話（一般）

プロフィール	：	この製品に設定されている電話番号やオンラインサインアップで登録されたメールアドレスが表示されます（☞3-19ページ）。
基本	：	発信者番号通知、エリア外警告音などが設定できます（☞3-35～36ページ）。
受話音量	：	受話音量の音量調整ができます（☞3-13ページ）。
セキュリティ	：	通話／通信機能の制限をします（電話をかける、ライトメールの送信、メールの送信／受信などをできなくします）（☞3-37ページ）。 W-SIMをロックします（PHS電話機能を使えないようにします）（☞3-39ページ）。
位置情報	：	位置情報発信の設定ができます（☞3-41ページ）。

音と通知（☞10-12ページ）
音や通知の方法を設定します。

サウンド ：予定表や仕事で設定したアラームと画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

通知 ：ActiveSync開始など各種イベントの通知方法を設定します。

Eメール（ウィルコム）（☞4-12、4-23ページ）
オンラインサインアップで取得したメールアドレス（☞2-3ページ）に対して、サーバーからメールを削除する設定をします。

◇ システム タブ ◇

エラー報告（☞10-13ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフトに内容を報告する／しないを設定します。

バックライト（☞10-14ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。

バッテリ ：充電池を使っている（ACアダプターを接続していない）ときのバックライトを設定します。

外部電源 ：ACアダプターを接続しているときのバックライトを設定します。

明るさ ：バックライトの明るさを調節できます。

バージョン情報（☞10-18ページ）

バージョン ：この製品のバージョン情報などを確認できます。

デバイスID ：この製品の名前を設定します。

著作権 ：本製品の著作権について確認できます。

パワーマネージメント（☞10-16ページ）

バッテリ	：充電池（バッテリ）の残量を確認できます。
詳細設定	：最後の操作から一定時間が経過すると、この製品の電源が切れるようにオートパワーオフの設定をします。

プログラムの削除（☞10-19ページ）
追加したプログラムを削除します。

メモリ（☞10-20ページ）

メイン	：この製品のメモリの使用状況が確認できます。
メモリカード	：装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。
実行中のプログラム	：実行中のプログラムを確認できます。

ユーティリティ（☞10-22ページ）

通信モード	：パソコンと接続し、ActiveSync（同期）／モデムとして使用するかなどを設定します。
無線ON／OFF	：PHS電話機能や内蔵ワイヤレスLANをON（有効）／OFF（停止）にします。
電話帳読込	：他の商品に装着していたW-SIMに保存している電話帳データをこの製品に転送します。
縦横表示切替	：キーボードを開いたときに画面の向きを切り替える／切り替えないを設定します。
電波状態表示ランプ	：電波状態を示すランプを点灯する／しないを設定します。

地域（☞10-25ページ）
地域、数値、通貨、時刻、日付の各タブで、表示される数値の形式を変更できます。

時計とアラーム（☞10-27ページ）

時刻	：現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。
アラーム	：毎週決まった時刻に表示するアラームを設定します。
その他	：プログラムのタイトルバーに時計を表示する／しないを設定します。

画面（☞10-29ページ）

全般	：表示方向（縦画面／横画面）の設定や、タッチスクリーンの補正をします。
文字サイズ	：文字のサイズを設定します。

証明書（☞10-31ページ）
個人証明、ルート証明を表示します。

◇ 接続 タブ ◇

ネットワークカード（☞2-6、2-10ページ）
社内ネットワーク（LAN）などに接続する設定をします。

ワイヤレスマネージャ
このアイコンは、内蔵ワイヤレスLANを有効（☞2-9ページ）にすると表示され、無効（☞2-16ページ）にするとこのアイコンは消えます。
内蔵ワイヤレスLANを一時的に使用しない状態にできます。ただし、この状態では通常より充電池を消耗するため、内蔵ワイヤレスLANを使わないときは無効にすることをおすすめします。

接続（☞2-24ページ）
設定 や 詳細設定 タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

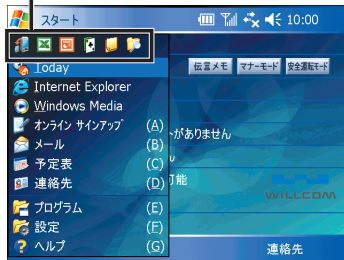
アプリケーションプログラムを起動／終了する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタートメニューから起動します。
・プログラム画面のアイコンにタップして起動します。
・パネルのボタンを押して起動します。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の“スタート”をタップ、またはボタンを押します。

2 スタートメニューの“メール”などにタップします。

最近使ったプログラムのアイコンが表示されます。
タップすると起動します。

最近使ったプログラムが表示されます。

● スタートメニューに表示される内容を変更できます。
変更のしかたについて、くわしくは10-7ページをご覧ください。

プログラム画面から起動する

1 画面左上の“スタート”をタップ、またはボタンを押します。

2 スタートメニューの“プログラム”をタップします。
プログラム画面が表示されます（☞1-18ページ）。

3 プログラム画面で起動したいプログラム（“Word Mobile”など）をタップします。

● 画面（表示部）下のボタンやボタンを押すと、“Internet Explorer Mobile”や“メール”が起動します。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に画面右上の ✕ や ok にタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。プログラムを終了するために、以下のどちらかの操作を行ってください。

■通話していない状態で PWR ボタンを押します。

“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“電話”、“メール”、“ライトメール”、“バックアップツール”、“ActiveSync”、“ブンコビューア”、“ファイルエクスプローラ”、“Bubble Breaker”、“Picsel PDF Viewer”などは終了しません。
また、PHS電話機能を使ってインターネット接続中は、回線を切断します。
※ワイヤレスLANやこの製品をモデムとして使用しているときは切断しません。

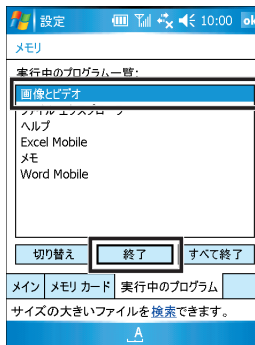
■設定(メモリ)画面でプログラムを選択して終了します。

操作方法は、以下をご覧ください。

1 スタート メニューの “設定”にタップします。

2 設定画面の システム タブにタップし、“メモリ”にタップします。

3 設定(メモリ)画面で 実行中のプログラム タブをタップします(☞10-21ページ)。

4 実行中のプログラム一覧から終了したいプログラム名を選び、終了 をタップします。

ご注意!

- プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ(画面)が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、 タスクの終了 にタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

オートパワーオフ(画面の電源オフ)で着信する

ご購入時には、最後の操作から一定時間が経過すると画面の電源が自動的に切れるように、オートパワーオフ機能が設定されています(☞10-17ページ)。
画面の電源が切れても、次の場合は自動的に電源が入ります。
・電話がかかってきたとき
・ライトメールを受信したとき
・Eメール(ウィルコム)を自動受信したとき
・予定表などで設定しているアラーム時刻になったとき

また、以下の操作を行うと電源が入ります。
・PWRボタンを含めていずれかのボタンを押したとき
・USBケーブルを接続したとき

- オートパワーオフの設定は変更できます(☞10-17ページ)。
- ワイヤレスLANなどで接続しているときは、オートパワーオフしません。

本体の電源を切ったときは

PWRボタンを長く押して電源を切ったときは、電話着信やメールなどの受信はできません。
予定表などで設定しているアラーム時刻になっても自動的に電源は入りません。
本体の電源を切ったときは、PWRボタンを長く押して電源を入れてください。
USBケーブルを接続しても電源が入ります。

減光したバックライトを点灯する

自動節電機能(☞10-14ページ)によって最小輝度になった画面のバックライトを点灯(元の明るさ)します。

画面にタップしたりキーボードのキーを押します。
ライトが点灯します。

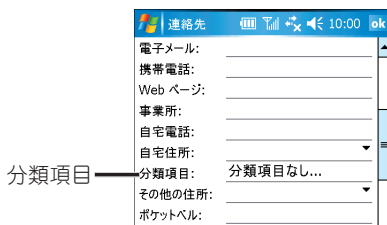
- しばらく操作しないと自動的にライトが最小輝度になります。この設定は変えることができます(☞10-14ページ)。
- ライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
  必要なとき以外は、ライトを消したり、明るさを調整して使用することをおすすめします(☞10-15ページ)。
- 「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」設定のチェックを外しているときは、点灯しません(☞10-14ページ)。
- ライトの特性上、ライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

連絡先／予定表／仕事のデータを分類する

連絡先、予定表、仕事では、データを「会社関係（取引先）」や「個人」などの分類項目で整理してグループにできます。分類項目を設定しておくと、「会社関係（取引先）」の仕事だけなど、必要な情報をすばやく検索（フィルタ）できます。
また、分類項目を追加したり、1つのデータに複数の分類項目を設定したりできます。

データに分類項目を設定する

1 **分類したいプログラムを起動し（☞1-25ページ）、分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。**

ここでは、連絡先の画面を例にします。

2 **「分類項目」欄にタップします。**

分類項目を選択する画面が表示されます。

3 **設定したい分類項目にタップしてチェックをつけます。**

チェックは複数つけられます（複数の項目に分類できます）。

4 **okにタップします。**

チェックをつけた分類項目が入力画面に表示されます。

5 **okにタップします。**

分類項目を設定したデータが保存されます。

- 設定した分類項目のデータだけを表示（フィルタ）する方法については、1-30ページをご覧ください。

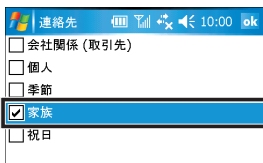
新しい分類項目を追加する

1 **各プログラムで、分類項目を設定したいデータの入力画面を表示します。**

2 **「分類項目」欄にタップし、画面左下の 新規 にタップします。**

3 **追加する分類項目を入力し、 完了 にタップします。**

分類項目の選択画面に、追加した分類項目（チェックつき）が表示されます。

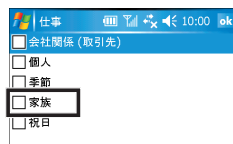
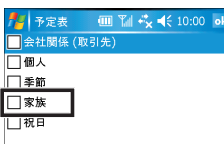
MEMO

- 続けて分類項目を追加するときは、画面左下の 新規 にタップし、手順**3**を行ってください。
- 追加した分類項目は削除できません。また、修正もできません。
  削除するときは、すべてのデータから削除したい分類項目のチェックを外し、データを保存しなおすと、その分類項目は削除されます。1つでも分類項目にチェックが付いているデータが残っていると、その分類項目は削除されません。
  分類項目を修正するときは、分類項目を削除したのち新たに追加します。

4 **ok にタップします。**

チェックをつけた分類項目が入力画面に表示されます。

5 **ok にタップします。**

分類項目を設定したデータが保存されます。

- 追加した分類項目は、連絡先、予定表、仕事のプログラム間で共有されます。いずれかで、追加および設定した（チェックをつけた）分類項目は、各プログラムの分類項目を選択する画面に共通して表示されます。

- 追加した分類項目を設定しているデータがなくなると、追加した分類項目も自動的に表示されなくなります（削除されます）。

分類したデータだけを表示する(フィルタ)

連絡先、予定表、仕事では、設定した分類項目(☞1-28ページ)のデータだけを一覧画面にフィルタ表示できます。

1 **フィルタ表示したいプログラムを起動します(☞1-25ページ)。**

2 **各プログラムの一覧画面で、画面右下の メニュー ー フィルタ にタップします。**

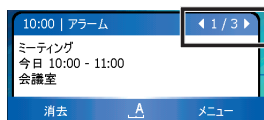
3 **メニューから、表示したい分類項目にタップします。**
選択した分類項目のデータだけが一覧画面に表示されます。

MEMO
- 手順**3**のメニューには、設定している分類項目が表示されます。
- 手順**3**で「分類項目なし」を選択すると、分類項目を設定していないデータだけが一覧画面に表示されます。
- すべてのデータを表示するときは、手順**3**で「すべての***」を選択します。

アラーム通知画面を消す/再通知する

アラームは2種類あります。
・予定表や仕事で設定したアラーム(☞6-13、6-38、10-12ページ)
・時計から設定したアラーム(☞10-28ページ)
それぞれのアラームで音の種類やバイブレートの設定ができます。
マナーモードや安全運転モードのときは音は鳴りません。
表示されたアラーム画面は、メニューから内容を確認したり再通知したりできます。

アラーム通知画面を確認する

アラームは、設定した時間になると画面下方に表示されます。

- 予定や仕事のアラーム通知は、画面右下の メニュー ー アイテムの表示 にタップすると詳細画面が表示されます。
アラーム通知画面を再度表示するときは、画面左下の アラーム やタイトルバーの🔔をタップします。

アラーム通知画面を消す

1 **アラームの通知画面で、画面左下の[消去]にタップします。**

- アラーム通知画面が複数あるときは、別の通知画面が表示されます。
- 複数のアラーム通知画面をすべて消すときは、画面右下の[メニュー]－[すべて消去]にタップします。
- アラーム通知画面をもう1度表示したいときは、タイトルバーの🔔をタップします（☞1-16ページ）。

アラームを再通知する

1 **再通知したいアラームの通知画面で、画面右下の[メニュー]にタップし、再通知の時間を選択します。**

・5分前にアラームを表示する：その予定や仕事に設定している時間の5分前に再通知します。
・5分後に再通知　：今から5分後に再通知します。
・15分後に再通知　：今から15分後に再通知します。
・1時間後に再通知　：今から1時間後に再通知します。
・1日後に再通知　：今から1日後に再通知します。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、メモリ不足を解消してください。

■データ記憶用メモリの不足を解消する

“Internet Explorer Mobile”を使っているとキャッシュに画像データなどを一時保存しデータ記憶用メモリを使っていることがありますので、5-9ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。

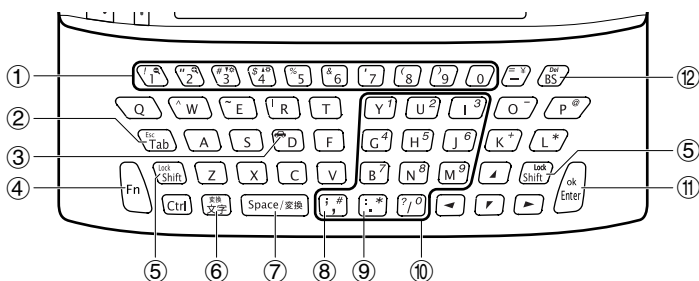
■プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったときなどは、1-26ページをご覧になり、使っていないプログラムを終了してください。

文字入力のしかた

文字を入力するには、次の2つの方法があります。
・キーボードを使って入力する（☞1-34ページ）
・文字入力パネルを使って入力する（☞1-37ページ）

キーボードの基本操作について

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。

① 数字キー、(🔍)キー、(🔍)キー、(▼☼)キー、(▲☼)キー
・数字を入力します。
・(Shift)キーを押したまま、または押した直後に数字キーを押すと数字キーの左上側の記号（！、”、＃、＄、％、＆、’、（、））を入力します。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(🔍)キーや(🔍)キーを押すと、Excel MobileやWord Mobileなどで表示文字サイズを変更できます。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(▼☼)キー（暗く）や(▲☼)キー（明るく）を押すと、バックライトの明るさを変えます。

② (Tab)(Esc)キー
・新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、変換前の文字を削除します。

③ (🚗)キー
・(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(🚗)キーを押すと、安全運転モードのオン／オフを切り替えます（☞1-13、1-17ページ）。

④ (Fn)キー
・キーの上側に書かれている記号（＾、～、｜、＿、＠、＋、＊、￥）を入力したり、機能を実行します。(Fn)キーを押したまま、または押した直後に該当するキーを押します。

⑤ Shift(Lock)キー

・英字入力時に働きます。このキーを押したまま、または押した直後に文字のキーを押すと、大文字が入力されます(大文字入力状態のときは、小文字が入力されます)。
・このキーを押したまま、または押した直後に =¥ キーや ?/0 キーを押すとキーの左上側の記号(=、?)を入力します。
・Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、英字を大文字で入力できる状態(Caps Lock)と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。

⑥ 文字(変換)キー

・文字入力モードを切り替えます(ひらがな入力→全角カタカナ入力→半角カタカナ入力→全角英数字入力→半角英数字入力)。
このキーを押すたびに、文字入力モードが切り替わります(☞次ページ)。
・Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、入力中のひらがな/カタカナを漢字に変換します。もう一度Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、別の候補を表示します。

⑦ Space/変換キー

・入力中のひらがな/カタカナを漢字に変換します。
・スペースを入力します。
・漢字変換中にこのキーを押すと、別の候補が表示されます。

⑧ ;,#キー

・ひらがな/カタカナ入力時は「、」、英字入力時は「,」が入力されます。
・Shiftキーを押したまま、このキーを押すと、「;」が入力されます。

⑨ :.*キー

・ひらがな/カタカナ入力時は「。」、英字入力時は「.」が入力されます。
・Shiftキーを押したまま、このキーを押すと、「:」が入力されます。

⑩ ダイヤルキー

・電話をかけるとき、電話番号(0〜9、*、#)を入力します。
電話画面以外では入力できません。

⑪ Enter(ok)キー

・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
・変換中の文字がないときは、改行します。

⑫ BS(Del)キー

・カーソルの前(左側)の文字を削除します。
・Fnキーを押したまま、または押した直後にこのキーを押すと、Delキーとして働き、カーソルの後ろ(右側)の文字を削除します。
・漢字変換中は、変換を取り消します。

MEMO

● **アンダーバーを入力するときは**
Fn キーを押したまま、または押した直後に O ¯ (アルファベットのオー)キーを押します。

キーボードを使って文字を入力する

ここでは、キーボードを使った文字の入力方法について説明します。
まずは、文字を入力する前に入力モードを確認します。

入力モードの確認と切り替え

入力モードは、画面下に表示されます。
入力モードの切り替えは、キーボードの(文字)キーを押します。

入力モードが表示されます。
あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
ｶ ：「半角カタカナ」の入力になります。
Ａ ：「全角英字」の入力になります。
A ：「半角英字」の入力になります。

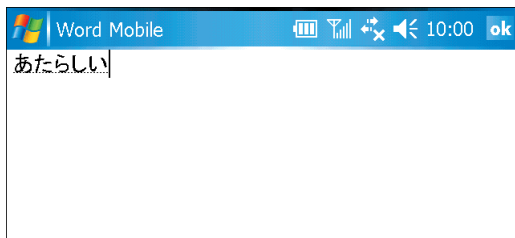
ローマ字でひらがなや漢字を入力する

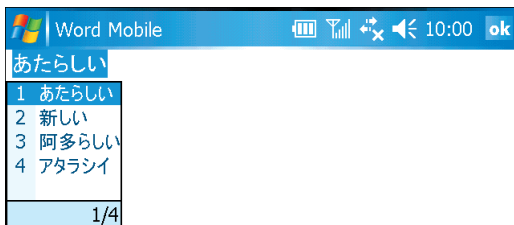
ローマ字でひらがなを入力し（☞「ローマ字→かな変換表」11-16ページ）、漢字に変換します。

（例）Word Mobileで「あたらしい」と入力して、「新しい」に変換します。

1 **Word Mobileの新規画面を表示します（☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「Word Mobile」）。**

2 **入力モードがあになっていることを確認します。**
カなどになっているときは、キーボードの(文字)キーを押します。

3 **キーボードから「あたらしい」と入力します。**
(A)(T)(A)(R)(A)(S)(I)(I)キーを順に押します。

4 (Space/変換)キーを押します。

別の候補を表示するときは、(Fn)キーを押したまま、または押した直後に(文字)(変換)キーを押します。

5 (Enter)キーを押すと、採用されます。

MEMO

- 入力したい漢字が表示されないときは、手書き入力で入力してみてください(☞1-42ページ)。

文字を編集する

文字を追加する

1 追加したい場所をタップします。

カーソルが点滅表示されます。

2 文字を入力します。

カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 削除したい文字の直後をタップします。

- 複数の文字を削除したい場合は、削除したい範囲をドラッグして文字列を反転させます。
- 1文字削除の場合は、カーソルが点滅します。

2 (BS)キーを押します。

- 複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。
- 1文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。

- キーボード入力パネルのときは、←BSをタップします。
  手書き入力パネルでは、← をタップします。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

(例)「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

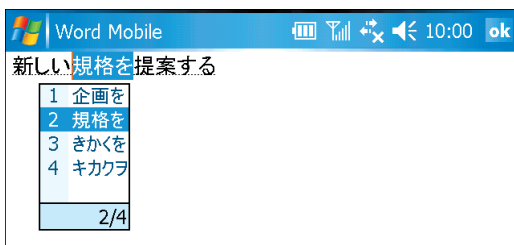
1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 Space/変換キーを押します。

3 ▶キーを押します。

カーソルが次の文節に移ります。

4 ▼キーまたは、Fnキーを押したまま、または押した直後に文字(変換)キーを押します。

反転している文字の候補が表示されますので、目的の語を選択します。

5 Enterキーを押して採用します。

文字入力パネルについて

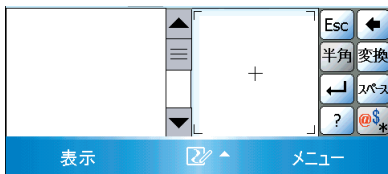
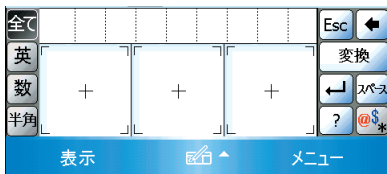
文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。

■キーボード入力パネル

「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

■手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 画面下の A などをタップします。

文字入力パネルが表示されます。

文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。
表示している文字入力パネルによって、次のアイコンが表示されます。

あ ：「ひらがな／カタカナ」入力パネル
A ：「ローマ字／かな」入力パネル
：「手書き検索」入力パネル
：「手書き入力」入力パネル

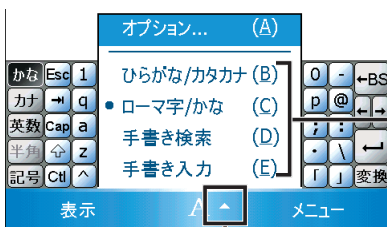
- 文字入力パネルは一度表示すると、文字を入力する画面で常に表示されるようになります。
- 文字入力パネルを表示しないようにするには、(カーソル) ボタンの上下左右または、(カーソル) ボタンの中央((アクション)ボタン)を押します。

表示している文字入力パネルを消す

1 画面下の A などをタップします。

表示している文字入力パネルが消えます。

文字入力パネルを切り替える

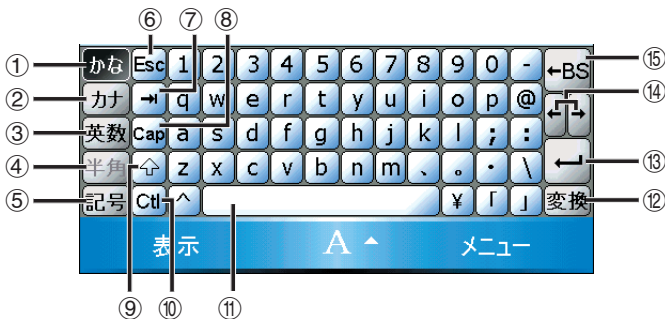
1 画面下の A などの右横の ˄ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。

キーボード入力パネルを使って文字を入力する

画面に表示されるキーをタップして、文字を入力します。
文字入力は、キーボードを使った文字入力と同じようにできます。
入力のしかたについては、1-34ページをご覧ください。

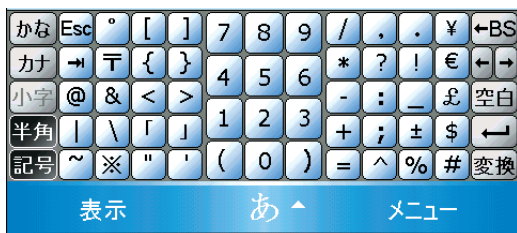
「ひらがな／カタカナ」入力パネルについて

①	**かな**	ひらがなキーボードに切り替わります。
②	**カナ**	カタカナキーボードに切り替わります。
③	**小字**	タップし反転させると、「っ」、「ょ」などの小文字を入力できます（反転すると、小文字で入力できる文字のキートップが小さく表示されます）。１文字入力すると解除されます。
④	**半角**	カタカナキーボードと記号入力パネルのとき半角カタカナ、半角記号を入力します。
⑤	**記号**	記号入力パネルに切り替わります（☞1-41ページ）。
⑥	**変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑦	**↵**	Enterキーと同じ働きをします。 ・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・変換中の文字がないときは、改行します。
⑧	**空白**	スペースを入力します。
⑨	**←　→**	カーソルを左右に移動します。
⑩	**←BS**	カーソルの前（左側）の文字を削除します。
⑪	**゜**	半濁音（半濁点）を入力します。 たとえば、「ぴ」を入力するときは、ひにタップし、゜をタップします。
⑫	**゛**	濁音（濁点）を入力します。 たとえば、「が」を入力するときは、かにタップし、゛をタップします。

1
基本操作
文字入力

「ローマ字／かな」入力パネルについて

① **かな**	ローマ字でひらがなを入力します。
② **カナ**	ローマ字でカタカナを入力します。
③ **英数**	英数字を入力します。
④ **半角**	カタカナ、英数字、記号を半角で入力します。
⑤ **記号**	記号入力パネルに切り替わります（☞次ページ）。
⑥ Esc	・変換中の文字に対して、変換を取り消します。 ・変換前の文字を削除します。
⑦ ➡︎I	タブを入力します。
⑧ Cap	英字を入力するとき、タップして反転させておくと大文字を入力できます。
⑨ ⇧	タップして反転させておくと英字の大文字や！、＃、＄などの記号を入力できます。1文字入力すると元に戻ります。
⑩ Ctl	(Ctrl)キーとして働きます。英数字と組み合わせて機能を実行します。
⑪ **スペース**	スペースを入力します。
⑫ **変換**	入力したひらがななどを漢字に変換します。
⑬ ↵	(Enter)キーと同じ働きをします。 ・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。 ・変換中の文字がないときは、改行します。
⑭ ←　→	カーソルを左右に移動します。
⑮ ←BS	カーソルの前（左側）の文字を削除します。

●「記号」入力パネルについて

「ひらがな／カタカナ」入力パネルや「ローマ字／かな」入力パネルで、(記号)にタップすると記号入力パネルが表示されます。
全角／半角の記号を入力できます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスペンを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

(例)「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します(☞1-38ページ)。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**
手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補一覧から「液」にタップすると、「液」が入力されます。**

4 **↵ にタップすると、「液」の文字が確定されます。**

①	**認識候補**	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字にタップします。
②	**手書き入力枠**	手書き入力します。
③	**←**	手書き中にタップすると、最後の1画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前(左側)の文字を削除します。
④	**半角**	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤	**?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

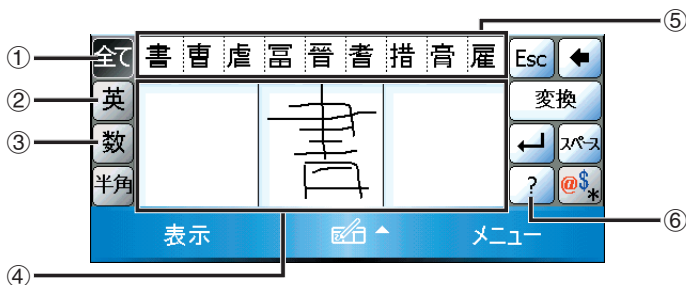
「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します(☞1-38ページ)。

2 **枠に1文字ずつ手書きします。**

- 枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
- 別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
- 別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます(選択される前に別の候補にタップすると、その文字が選択されます)。
- どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 **ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、 変換 にタップします。**

4 **↵ にタップすると、文字が確定されます。**

①	**全て**	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
②	**英**	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③	**数**	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④	**手書き入力枠**	付属のスタイラスペンで1枠に1文字ずつ手書きします。
⑤	**候補欄**	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥	**?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

認識した文字を別の文字に変える

誤って選択した文字(確定する前の文字)を、別の文字に変えることができます。

1 **手書きで文字を入力します。**

2 **別の文字に変えたい文字の左側にカーソルを移動します。**

候補メニューが表示されます。

3 **目的の文字にタップします。**

4 **[変換]にタップして漢字に変換したり、[↵]にタップして確定します。**

- [↵]などにタップし文字を確定した後、上記の方法で別の文字に変えることはできません。
  確定後に文字を変更するときは、目的の文字を削除してから再度入力します。

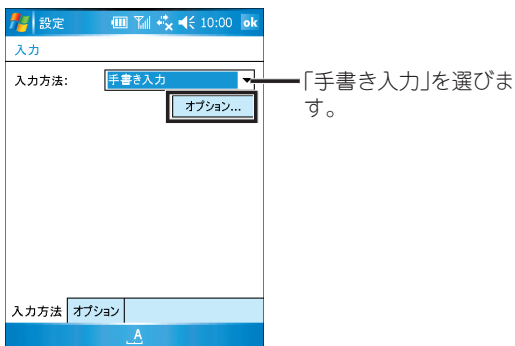
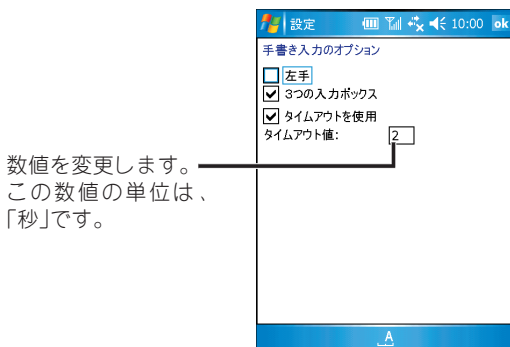
選択されるまでの時間を変更する

認識された文字が、認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 **[スタート]メニューの“設定”にタップします。**

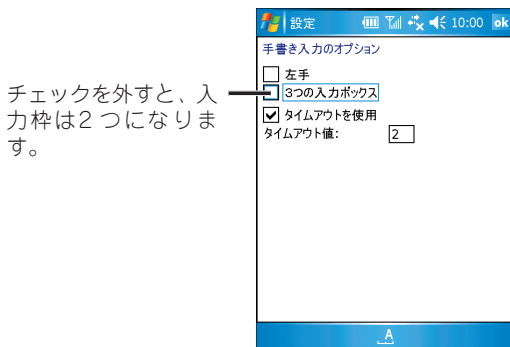
2 **設定画面で[個人用]タブにタップし、“入力”にタップします。**

3 **[入力方法]タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、[オプション]をタップします。**

「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

4 「タイムアウトを使用」のチェックボックスにチェックがついていることを確認し、「タイムアウト値」の数値を変えます。

- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。
  このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

5 選択されるまでの時間の変更が終わったら、ok をタップします。

手書き認識の入力枠の数を変更する

1 「手書き入力のオプション」設定画面（☞上記）で、「3つの入力ボックス」のチェックを外します。

2 入力枠数の変更が終わったら、ok をタップします。

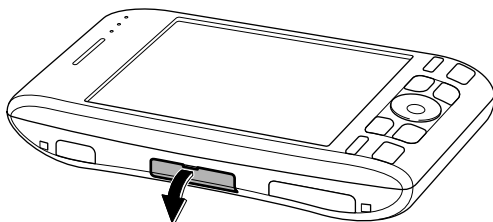
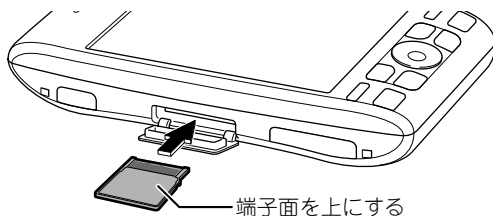
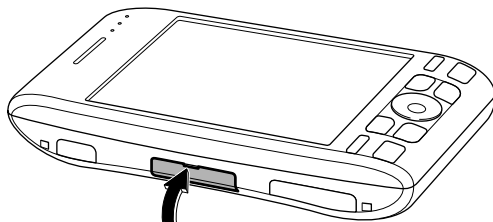
メモリカードを使う

この製品には、市販のminiSDカードを取り付けることができます。

- 動作確認済みのminiSDカードについては、ホームページ（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。
- この製品ではメモリカードをフォーマットできません。
  パソコンでフォーマット（FAT）してください。
- メモリカードにファイルとして以下のものが保存できます。
  - ・画像／音楽ファイル
  - ・ボイスメモ
  - ・メモ
  - ・Word Mobile／Excel Mobileで作成したファイル
  - ・メールに添付されているファイル
  - ・バックアップファイル（☞9-3ページ）　など
- “予定表”、“連絡先”、メール本文、ライトメールは、メモリカードに保存できません。

カードを取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞1-11ページ）。

2 miniSDカードスロットのカバーを開きます。

3 カードの端子面が上を向くようにして、<u>端子側から奥まで確実に挿入します</u>。

4 カバーを閉じます。

5 [PWR]ボタンを長く（約2〜3秒）押し、電源を入れます。

ご注意！

- カードの端子部を指などで触れないでください。
- 表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。
- カードに強い力を加えないでください。
- カードは、スロットに確実に挿入してください。
- 動作確認済みのカード以外は、使用しないでください。
- この製品を落とさないでください。破損したり故障の原因となります。

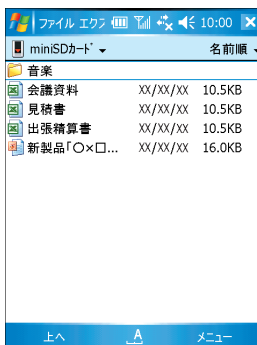
MEMO

- カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

miniSDカードのファイルを確認する

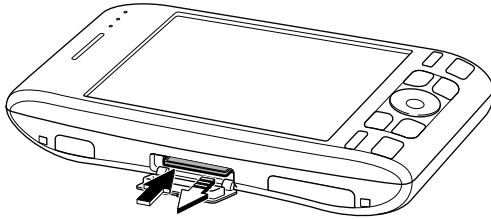
1 ファイルエクスプローラ画面（☞9-7ページ）を表示し、画面左上の「My Documents▼」などをタップします。

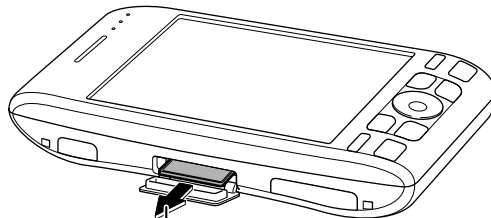
2 表示されたメニューから「 miniSDカード」をタップします。

miniSDカード内のフォルダやファイルが表示されます。

カードを取り外す

1 この製品の電源を切ります(☞1-11ページ)。

2 miniSDカードスロットのカバーを開きます。

3 カードの端を指で押し込みます。

① 軽く押す ② 飛び出さないように、
指で軽く押さえながら取り外す

4 スロットから外れたカードを抜き取り、カバーを閉じます。

まっすぐ引き抜く

5 [PWR]ボタンを長く(約2〜3秒)押し、電源を入れます。

ご注意!

- カードスロットからカードを取り外すときは、カードが飛び出さないように、指で軽く押さえながら出してください。

ファイルやフォルダをコピーする

miniSDカードに保存しているファイルやフォルダを本体にコピーする

1 **miniSDカードを取り付け、ファイル エクスプローラ画面（☞9-7ページ）を表示して、「My Documents▼」などをタップし「miniSDカード」をタップします。**

miniSDカード内のフォルダやファイルが表示されます。

2 **目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。**

・コピーするときは［コピー］をタップします。
・移動するときは［切り取り］をタップします。

3 **画面左上の「miniSDカード」にタップし、［マイデバイス］をタップします。**

本体側のファイルやフォルダなどが表示されます。

4 **貼り付け先または移動先のフォルダを開いた後、画面右下の［メニュー］－［編集］－［貼り付け］をタップします。**

手順**2**でコピー／移動したファイルが貼り付け／移動されます。

MEMO

- 手順**2**で、目的のファイルを選択して画面右下の［メニュー］－［編集］－［コピー］／［切り取り］をタップしてもコピー／移動できます。
- 手順**4**で、画面をタップしたままにして表示されたメニューから貼り付けをタップしても貼り付け／移動ができます。ただし、ファイルやフォルダが表示されている場所で画面をタップしたままにするとそのファイルやフォルダが対象となりますので、ご注意ください。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「切り取り」すると、前の「切り取り」は解除されます。
- 本体に保存しているファイルやフォルダを別の階層にコピー／移動するときなどは、「My Documents▼」をタップして、フォルダを選んでください。
- コピー元と同じ階層に「コピー」するとファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されます。
- コピーをやめるときは、画面右下の［メニュー］－［編集］－［元に戻す　コピー］をタップして、元に戻します。

本体のファイルやフォルダをminiSDカードにコピー／移動する

1 上記と同様にファイル エクスプローラ画面（☞9-7ページ）で本体メモリーを開きます。

2 目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューの コピー または 切り取り をタップします。

3 miniSDカード側に切り替え、画面右下の メニュー － 編集 － 貼り付け をタップします。

手順**2**でコピー／移動したファイルが貼り付け／移動されます。

保存しているファイルや情報を検索する

目的の情報をすばやく見つけ出せます。
ファイル名やファイル内に含まれる文字列を指定して検索します。

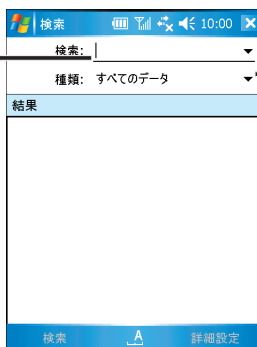
1 スタート メニューの“プログラム”にタップします。

2 プログラム画面で“検索”にタップします。

検索画面が表示されます。

3 「検索」欄に検索したい語句を入力します。

ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

検索 10:00
検索：
種類： すべてのデータ
結果
検索 詳細設定

データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

4 画面左下の 検索 にタップします。

検索が開始され検索結果が表示されます。

5 見たいファイルやデータをタップします。

ファイルやデータが表示されます。

MEMO

- miniSDカードに保存されたファイルには、miniSDカードの記号“ ”が表示されます。

6 検索画面に戻るときは、×やokにタップします。

ご注意！

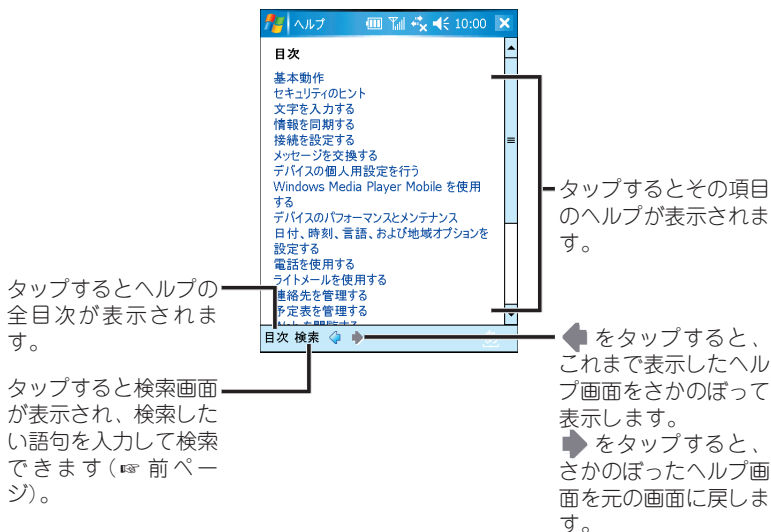
- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

この製品の使いかたを調べる（ヘルプ）

この製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 スタート メニューの“ヘルプ”にタップします。

そのときに表示されているプログラムのヘルプ画面が表示されます。

2 見たい項目をタップします。

オンラインマニュアルの見かた

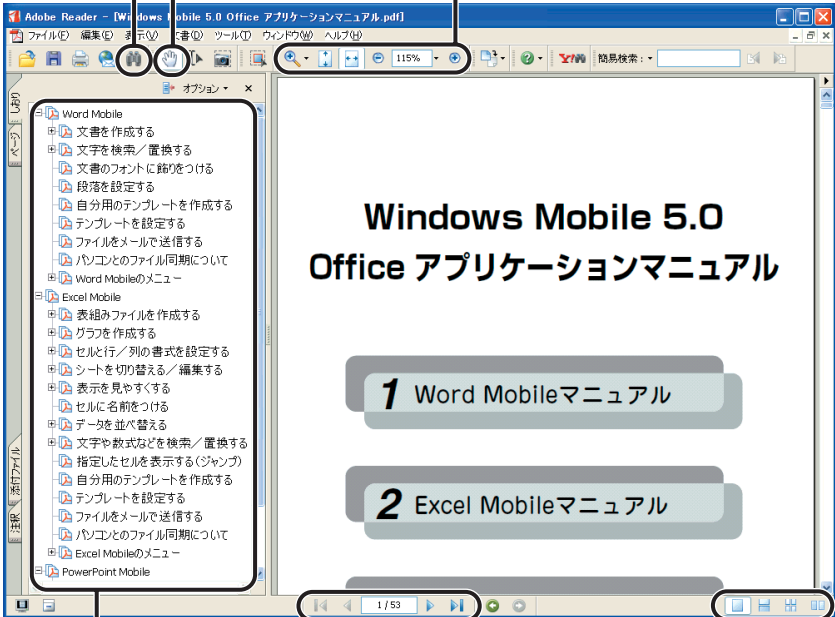
オンラインマニュアルは、パソコンで見るPDF形式の電子マニュアルです。
以下のマニュアルは、オンラインマニュアルとして付属のCD-ROMに収録されています。

Officeアプリケーション ・Excel Mobile ・Word Mobile ・PowerPoint Mobile	**Picsel PDF Viewer** **USBモデムドライバのインストール**

オンラインマニュアルをお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされている必要があります（Adobe Acrobat Reader5.0以上を推奨）。
Adobe Readerは付属のCD-ROMからインストールできます（ActiveSyncをインストール（☞8-4ページ）した後に表示された画面で「PCに新しいプログラムを追加する」をクリックしてください）。

1 **ActiveSyncをインストール（☞8-4ページ）したパソコンに、付属のCD-ROMをセットします。**
画面にメニューが表示されます。

2 **画面内の「その他の資料を参照する」をクリックし、ご覧になるマニュアルの「PDFファイルを開く」をクリックします。**
オンラインマニュアルが表示されます。

3 **次のような方法などで、見たいページを表示します。**
プログラムなどの説明全体を見るとき　：しおりを使うと便利です。
調べたい言葉があるとき　：検索を使うと便利です。
ページを順番に見るとき　：ページ移動のアイコンを使うと便利です。

MEMO

- お使いのAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
- くわしい使いかたは、Adobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerのヘルプをご覧ください。

2　インターネットやメールを使うための準備

オンラインサインアップを行って接続の設定を行う

この製品では、以下の方法でインターネットに接続してメールの送受信（☞4-6ページ）やホームページの閲覧（☞5-2ページ）ができます。

●PHS電話機能を使って接続する

・オンラインサインアップをしてウィルコムのサーバーから取得した情報を使って接続する（☞下記）

・加入しているプロバイダーの情報を使って接続する（☞2-24ページ）

●内蔵ワイヤレスLANを使って接続する（☞2-5ページ）

オンラインサインアップについて

オンラインサインアップを行うと自動的に（PHS電話機能で接続する）設定が保存され、簡単にメールの送受信やホームページの閲覧を行うことができます。まだオンラインサインアップをされていないときは、以下の内容をご覧になりオンラインサインアップを行ってください。

加入しているプロバイダー、内蔵ワイヤレスLANについて

加入しているプロバイダーの情報を使う場合や内蔵ワイヤレスLANを使う場合は、インターネットやメールサーバーに接続する設定が必要になります。2-5、2-24ページや2-18ページをご覧になり設定を行ってください。

オンラインサインアップする

オンラインサインアップを完了すると、すぐにホームページを閲覧したり、メールを送受信することができます。オンラインサインアップでは、次のようなことができます。

・Eメール（ウィルコム）のメールアドレスを取得します。

・インターネットに接続する設定やメールを送受信する設定（メールサーバーの設定）が自動的にこの製品に保存されます。

1 スタートメニューの“オンライン サインアップ”にタップします。

「接続中」のメッセージが表示され、センターに接続します。

ご注意！

- **オンラインサインアップは、必ず［スタート］メニューから行ってください。**
  Internet Explorer Mobileを起動しホームページを表示しようとすると、オンラインサインアップの画面が表示されますが、この画面からオンラインサインアップはできません。
  Internet Explorer Mobileで表示された画面に従って進むと、一見、オンラインサインアップが完了したように見えても、実際には出来ていませんのでご注意ください。

2 表示された画面の指示にしたがって設定を行います。

3 オンラインサインアップを完了します。

メールアドレスについて

お好みのメールアドレスを入力して取得できます。
ここではユーザーネームのみを入力します。ドメインは自動的に設定されます。

ユーザーネームは、以下の制限の中でお客様がご自由に設定できます。

・文字数：4文字以上20文字以下
・文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
・1文字目は英字のみ使用できます。
・英字は、すべて小文字として扱われます。

- **同じユーザーネームが既に登録されている場合**
  設定したユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定してください。
- **ライトEメールの設定は利用しないでください。**
  この製品はライトEメールに対応していないため、ライトEメールを着信すると「未対応着信あり」と表示されたり、Eメール（ウィルコム）の自動受信ができなくなります。オンラインサインアップの「詳細設定」-「9. その他の設定」で「◆ライトEメール」の項目はかならず「利用しない」にチェックを付けてください。
- **お知らせメール受付の選択について**
  受信したメールの最後にウィルコムからのお知らせを付けるか、付けないかを選択することができます。
- **メールの自動受信をしないようにするには**
  オンラインサインアップで「自動受信しない」または「新着メール通知」に設定します（「新着メール通知」に設定するとEメールが届いたことを通知するライトメールを受信します）。
  この製品のEメール（ウィルコム）設定画面（☞4-23ページ）で「自動受信する」のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「自動受信しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。

オンラインサインアップを完了すると設定される内容

オンラインサインアップを完了すると自動的に以下の情報が設定されます。

●インターネットに接続するための情報

「センタ名称設定」(☞2-21、2-31ページ)という名称とその中に接続設定「CLUB AIR-EDGE」(☞2-29ページ)が保存されます。
「センタ名称設定」は「CLUB AIR-EDGE」などの接続設定を管理するための名称です。「CLUB AIR-EDGE」にはアクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードが保存されます。

●メールを送受信するための情報

メールアカウントが保存されます(メールアカウント内には次の情報が保存されます)。メールアカウントは、お客様の電話番号(070XX……)になります。
・メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・サーバー情報(受信メールサーバー、送信メールサーバー)

ご注意!

- オンラインサインアップを完了して設定された「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容は変更／削除しないでください。
  「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容を変更／削除すると、インターネットへの接続やメールの送受信ができなくなります。電子メールのセットアップ(2/4)画面(☞2-19ページの手順**5**の画面)の"名前"以外は変更／削除しないでください。

MEMO

- **インターネットへの接続方法の設定を確認するときは**
  ネットワーク管理画面(☞2-31ページ)を表示して、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」を確認してください。オンラインサインアップを行ったあとは、「センタ名称設定」が選択されています。
- **ウィルコムサーバーに接続するための設定を確認するときは**
  「インターネット接続設定を変更する」(☞2-30ページ)をご覧になり各項目を表示して確認してください。
- **オンラインサインアップで設定したメールの設定を確認するときは**
  2-23ページの方法で各項目を表示して確認してください。

オンラインサインアップで設定した内容を確認／変更する

・オンラインサインアップで設定した内容を変更するときは[スタート]メニューのオンラインサインアップにタップし、確認画面で[詳細設定]にタップしてセンターに接続します。センターに接続して表示された画面で確認や変更したい項目にタップします。設定を変更したあとは画面下方にある[この内容で登録する]をタップし[ok]をタップしてください。
・メールアドレスを変更する場合はセンターに接続して表示された画面から「6.メールアドレス変更」にタップしてメールアドレスを変更してください。メールアドレスを変更した場合、変更前のアドレス宛のメールは届かなくなります。

ワイヤレスLANの接続設定をする

内蔵のワイヤレスLANを利用する場合はお使いの環境により設定する内容が異なります。
お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。

①自宅のワイヤレスLANアクセスポイントに接続するときは

以下の設定をしてください
・「内蔵ワイヤレスLANを有効（オン）にする」（☞2-9ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞2-10ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞2-14ページ）

● **IPアドレスやネームサーバーを設定するときは**
上記の設定の他に「IPアドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」（☞次ページ）をご覧になり設定してください。

②公衆ワイヤレスLANに接続するときは

ワイヤレスLANサービスを提供している店舗などから、インターネットに接続することができます。
公衆ワイヤレスLANを利用するための申し込みが必要な場合があります。
申し込みや接続に必要な情報など、お使いの公衆ワイヤレスLANサービスについてあらかじめ確認したあと、以下の設定をしてください。
・「内蔵ワイヤレスLANを有効（オン）にする」（☞2-9ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞2-10ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞2-14ページ）

③社内のワイヤレスLANに接続する

社内のワイヤレスLANに接続するときは、IPアドレスが決められていたり、ネームサーバーやプロキシサーバーが設定されている場合がほとんどです。これらの情報をネットワーク管理者に確認したあと、以下の設定をしてください。
・「IPアドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」（☞次ページ）
・「内蔵ワイヤレスLANを有効（オン）にする」（☞2-9ページ）
・「アクセスポイントの設定をする」（☞2-10ページ）
・「ネットワークに接続する」（☞2-14ページ）

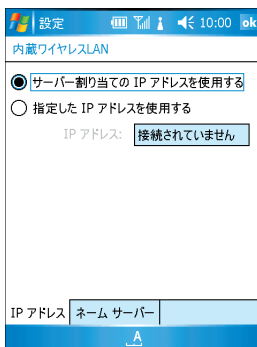
IPアドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う

社内のネットワークに接続する場合などでは、IPアドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定が必要になることが多くあります。
ここでは、IPアドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定を行います。

1 **設定画面（接続タブ）で、“ネットワークカード”にタップします。**

2 **ネットワークアダプタの構成画面で、次の①と②を行います。**
①「ネットワークカードの接続先」を選択します。
②「内蔵ワイヤレスLAN」にタップします。

3 **表示された画面で、IPアドレスの設定を行います。**

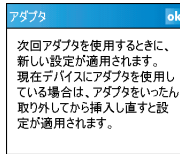
・DHCPサーバーを使用する場合は、「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックを付けます。
・固定のIPアドレスを使用する場合は、「指定したIPアドレスを使用する」にチェックを付け、IPアドレスやサブネットマスクなどを入力します。
IPアドレスなどを入力するときは、社内のネットワーク管理者におたずねください。

4 ネームサーバー タブにタップし、DNS サーバーアドレスおよびWINSサーバーアドレスの情報を入力します。

サーバーアドレスについても、社内のネットワーク管理者におたずねください。

5 ok にタップします。

「アダプタ」のメッセージ画面が表示されます。

アダプタ ok

次回アダプタを使用するときに、新しい設定が適用されます。現在デバイスにアダプタを使用している場合は、アダプタをいったん取り外してから挿入し直すと設定が適用されます。

ご注意！

- ワイヤレスLANを有効にした状態で「アダプタ」画面が表示されたときは、手順**12**まで行った後、いったんワイヤレスLANを無効(☞2-16ページ)にして再度ワイヤレスLAN(☞2-9ページ)を有効にしてください。この操作をしないと、ここで設定した内容は利用できません。

6 ok にタップします。

「ネットワークアダプタの構成」画面に戻ります。

7 ok にタップします。

設定画面(接続タブ)に戻ります。
社内のネットワークに接続するとき、プロキシの設定が必要な場合があります。
手順**8**以降をご覧になりプロキシの設定を行ってください。
プロキシの設定が不要な場合は手順**12**へ進みます。

8 設定画面(接続タブ)で、“接続”をタップします。

9 接続画面(設定タブ)で、既定の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」にタップします。

10 表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。

11 **さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。**
必要に応じて、詳細設定 にタップし、HTTPプロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

12 **ok に数回タップし、設定画面（接続 タブ）に戻ります。**

「内蔵ワイヤレスLANを有効にする 」（☞2-9ページ）に進みます。

内蔵ワイヤレスLANを有効(オン)にする

1 **スタート メニューの“設定”にタップします。**

設定画面が表示されます。

2 **設定画面で システム タブにタップし、“ユーティリティ”にタップします。**

3 **ユーティリティ画面の 無線ON／OFF タブにタップします。**

MEMO

● **MACアドレスについて**

「内蔵ワイヤレスLANを停止」のチェックを外してしばらくすると、MACアドレスが表示されます。

また、ワイヤレスLANアクセスポイントの設定で、MAC アドレスを登録している機器のみ接続できるように設定しているときは、上記画面のMACアドレスをワイヤレスLANアクセスポイントに設定してください。

4 **「全ての無線機能を停止する」のチェックが外れていることを確認し、「内蔵ワイヤレスLANを停止」のチェックを外して ok にタップします。**

ワイヤレスLANランプが点灯します。また、タイトルバーに が表示され、近くのアクセスポイントを自動的に検出します。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出した場合

「ネットワークに接続する」(☞2-14ページ)に進んでください。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出しなかった場合

「アクセスポイントの設定をする」(☞2-10ページ)に進んでください。

アクセスポイントの設定をする

ワイヤレスLANアクセスポイントに接続するための情報を設定します。

ご注意！

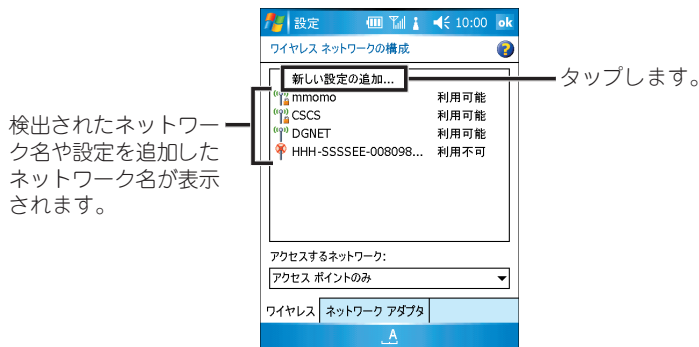
● この製品は、一部のワイヤレスLANアクセスポイントが持つ自動設定機能には対応していません。お使いのワイヤレスLANアクセスポイントがワイヤレスLANの設定を自動で行うように設定している場合、この設定を無効にして、手動で設定しておいてください。

MEMO

● **アクセスポイントの情報を確認しておく**
「ネットワーク名（SSID）」、「データ暗号化」、「ネットワークキー（WEPキー）」など、ワイヤレスLANアクセスポイントの情報が必要になることがあります。お使いのワイヤレスLANアクセスポイントの説明書も併せてお読みください。パソコンからアクセスポイントの設定ページなどを表示して調べることもできます。

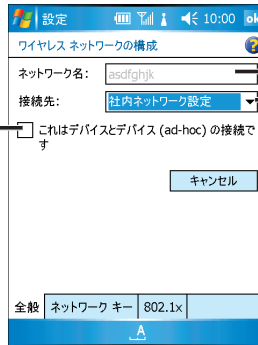
1 設定画面（接続 タブ）で、“ネットワークカード”にタップします。

2 ワイヤレス タブが選択されていることを確認して、「新しい設定の追加」にタップします。

近くにワイヤレスLANアクセスポイントを検出した場合は、ネットワーク名（SSID）が表示されます。

● ワイヤレス タブは、内蔵ワイヤレスLANを有効（オン）（☞前ページ）にしていないと表示されません。
● 内蔵ワイヤレスLANを有効にしている状態で電源を切った場合は、電源を入れて約5秒以内には電源を切らないようにしてください。

3 全般 タブが選択されていることを確認して、ネットワーク名を入力し、接続先を選択します。

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときに選びます。
・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

チェックがないことを確認します（インフラストラクチャ通信）。アクセスポイントを使用しないアドホック通信を利用する場合は、チェックをつけます。

アクセスポイントに設定されているネットワーク名を入力します。

自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択します。

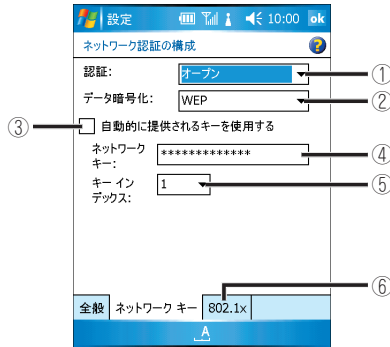
MEMO

● **ワイヤレスLANの通信形態について**
ワイヤレスLANの通信形態には、次の2つがあります。

・**インフラストラクチャ通信**
ワイヤレスLANアクセスポイントを介して通信します。

・**アドホック通信**
ワイヤレスLANアクセスポイントを介さず、ワイヤレスで接続できる機器同士で直接通信を行います。

● ワイヤレスネットワークの構成画面（☞上記）では、「これはデバイス（ad-hoc）の接続です」にチェックを付けないようにしてください。
チェックを付けるとアドホック通信になります。この製品ではアクセスポイントを介して（インフラストラクチャ通信）、インターネットに接続します。

4 ネットワークキー タブにタップし、セキュリティ関連の設定を行います。

① ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて認証方式を選択します。

② ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて暗号化方式を選択します。暗号化方式が異なると接続できません。
ワイヤレスLANアクセスポイント側でネットワークキー（WEPキー）が設定されている場合は、「WEP」を選択します。また、ネットワークキーが設定されていない場合は、「無効」を選択します。
※①認証で「WPA」または「WPA-PSK」を選択している場合は、「TKIP」を選択します。

③ ネットワークキーを入力するときなどは、チェックを外し④のネットワークキーを入力します。
ワイヤレスLANアクセスポイントと同じネットワークキーを設定してください。
暗号化キーに使用可能な文字種および文字数は、以下のとおりです。

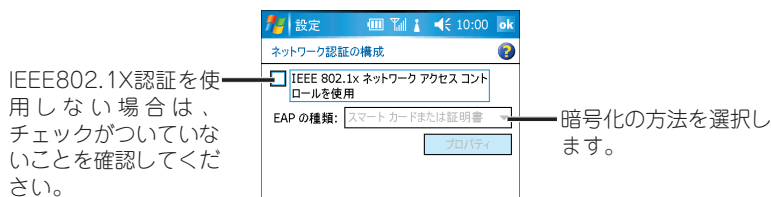
・**暗号化方式で「WEP」を選んだ場合**
ASCII 文字　：5文字または13文字
16進数　：10桁または26桁

・**認証方式で「WPA-PSK」を選び、データ暗号化方式で「TKIP」を選んだ場合**
ASCII文字　：8文字～63文字
16進数　：64桁（ワイヤレスLANアクセスポイントによっては対応していません。）

※ASCII文字で入力できる文字種は0～9、a～z、A～Zの英数字です。（大文字と小文字は別の文字として区別されます。）
※16進数で入力できる文字種は0～9、a～f、A～Fの英数字です。（大文字と小文字は同一文字として認識されます。）

④ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて「ネットワークキー」を入力します。

⑤ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて「キーインデックス」を選択します。必要に応じてキーのインデックスを変更します。
この製品は、1～4までの間でキーのインデックスを設定します。

⑥ ワイヤレスLANアクセスポイントの設定に合わせて、IEEE802.1X認証を使用する設定になっている場合は、タップして設定します。

ご注意！

● 通信データを暗号化するためにネットワークキー(WEPキー)を設定されることを強く推奨します。
ネットワークキー(WEPキー)を設定していない場合、ワイヤレスLAN機能を搭載した装置からこの製品を検索できるため、データを盗まれたり、データを破壊されたりする危険性があります。

5 **ok にタップします。**

「ワイヤレスネットワークの構成」画面に戻ります。
アクセスポイントを自動的に検出し、接続されます。
自動的に接続されない場合は「アクセスポイントを指定して接続する」(☞2-15ページ)をご覧になり接続してください。

内蔵ワイヤレスLANの接続設定を変更する

1 **ワイヤレスネットワークの構成画面(ワイヤレスタブ)で変更するネットワーク名にタップします。**

2 **設定内容を変更します。**

画面を切り替えるときは全般タブ、ネットワークキータブなどにタップします。画面の内容についてくわしくは2-11～12ページの手順**3**～**4**をご覧ください。

内蔵ワイヤレスLANの接続設定を削除する

1 **ワイヤレスネットワークの構成画面(ワイヤレスタブ)で削除するネットワーク名をタップしたままにし、表示されたメニューから設定の削除にタップします。**

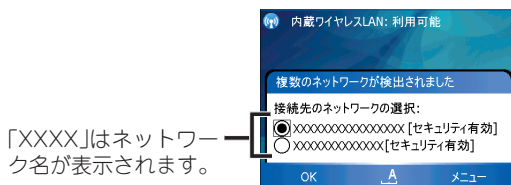
ご注意！

● 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

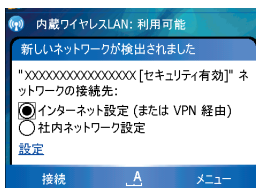
ネットワークに接続する

内蔵ワイヤレスLANを有効にしてアクセスポイントを検出したときや、アクセスポイントの設定したあと手動でネットワークに接続する方法を説明します。
公衆ワイヤレスLANのアクセスポイントに接続するときは以下の方法で接続を行ったあとInternet Explorer Mobileを起動して認証操作を行う必要がある場合があります。くわしくはお使いのワイヤレスLANサービスを提供している会社におたずねください。

アクセスポイントを自動的に検出したとき

近くにアクセスポイントがあるときは、タイトルバーに が表示され、画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージが表示されます。

表示が消えた場合は、タイトルバーの にタップし、さらに にタップすると再度表示されます。以下の手順でネットワークに接続してください。

● **複数のアクセスポイントを検出したときは**
アクセスポイントを選択して、画面左下の[OK]にタップします。

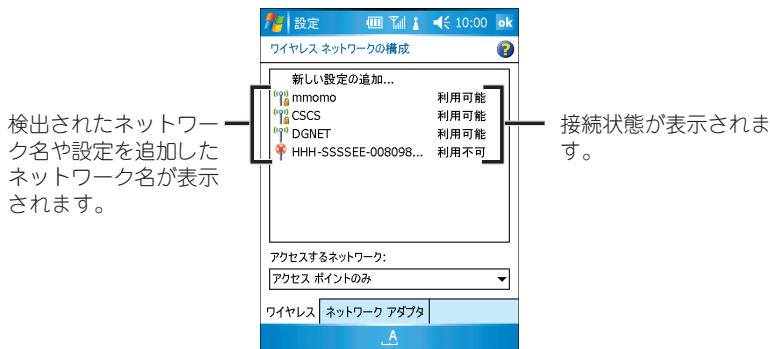
1 ネットワークの接続先を選択する画面で接続先を選択します。

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレスLANに接続するときに選びます。
・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

2 画面左下の[接続]にタップします。

ネットワークキーが必要な場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されますので、アクセスポイントに設定されているネットワークキーを入力してください。
タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

アクセスポイントを指定して接続する

目的のアクセスポイントに接続できないときなど、アクセスポイントを指定してネットワークに接続します。

1 **設定画面（[接続]タブ）で、“ネットワークカード”にタップします。**

MEMO

● **接続状態の表示について**

- 利用可能：接続して利用できるネットワークがあるとき表示されます。
- 利用不可：設定したネットワークに接続を試みたが接続できなかったときに表示されます。
- 接続中　：利用可能なネットワークに接続を試みているときに表示されます。
- 接続済み：利用可能なネットワークへの接続が確立されているときに表示されます。

2 **ネットワーク名にタップしたままにして表示されたメニューから[接続]にタップします。**

タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

2 インターネットやメールの準備

ワイヤレスLAN

内蔵ワイヤレスLANの接続を切る

内蔵ワイヤレスLANの接続を切るときは次の2つの方法があります。
・内蔵ワイヤレスLANを無効(オフ)にする。
・内蔵ワイヤレスLANの使用を一時的に中止する。

内蔵ワイヤレスLANを無効(オフ)にして接続を切る

ワイヤレスLANを使用しない場合は、内蔵ワイヤレスLAN機能を無効(オフ)にすることをおすすめします。
内蔵ワイヤレスLAN機能が有効(オン)または下記の「内蔵ワイヤレスLANの使用を一時的に中止する」では、通常より充電池を消耗し、動作時間が非常に短くなります。

1 スタート ー 設定 ー システム タブー ユーティリティ ー 無線ON／OFF タブにタップします。

2 「個別設定」内の「内蔵ワイヤレスLANを停止」にチェックを付け、ok にタップします。

3 ワイヤレスLANランプが消灯します。また、タイトルバーのアイコンが消えます。

内蔵ワイヤレスLANの使用を一時的に中止する

使用が禁止されている場所で、一時的に内蔵ワイヤレスLAN機能を使用できなくします。
ただし、この設定は、上記のように無効(オフ)になっていないため、充電池は消耗していますのでご注意ください。無効にするときは上記をご覧になり設定してください。

1 タイトルバーのアイコンにタップし、ウィンドウの ワイヤレスマネージャ にタップします。

● 設定画面(接続 タブ)で“ワイヤレスマネージャ”にタップして手順**2**の画面を表示することもできます。

2 表示された画面で、にタップします。

画面に「オフ」と表示され、内蔵ワイヤレスLANの使用が一時的に中止されます。使用を一時的に中止していてもタイトルバーには内蔵ワイヤレスLANのアイコンが表示され、ワイヤレスLANランプは点灯しています。

- "ワイヤレスマネージャ"は内蔵ワイヤレスLANを有効にしているとき、設定画面（接続タブ）に表示されます。
- 画面に「オフ」が表示されていても充電池は通常より消耗しています。内蔵ワイヤレスLANをお使いにならないときは、無効（☞前ページ）にしてください。

内蔵ワイヤレスLANの使用を再開する

1 タイトルバーの にタップし、ウィンドウの ワイヤレスマネージャ にタップします。

- 設定画面（接続タブ）で "ワイヤレスマネージャ"にタップして手順**2**の画面を表示することもできます。

2 表示された画面で、にタップします。

内蔵ワイヤレスLANの使用を再開できます。

加入しているプロバイダーのメールを設定する

すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。

MEMO
- オンラインサインアップで設定された接続情報を使ってメールの送受信ができます。
  プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です(☞2-24ページ)。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問合せください。
- 内蔵ワイヤレスLANを使ってメールを送受信する場合は、ワイヤレスLANの設定をしてください(☞2-5ページ)。

この製品に設定するメールの情報を確認する

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・電子メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・受信メールサーバー　・送信メールサーバー

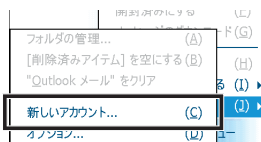
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

メールを送受信するための設定をする

新しいアカウントは7つまで設定できます。

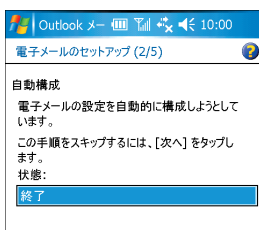
1 [スタート]メニューの“メール”にタップします。

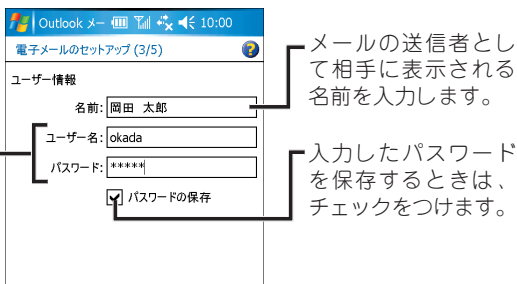
「受信トレイ」一覧画面などが表示されます。

2 画面右下の[メニュー]—[ツール]—[新しいアカウント]にタップします。

電子メールのセットアップ画面が表示されます。

3 お使いのメールアドレスを入力し、次へにタップします。

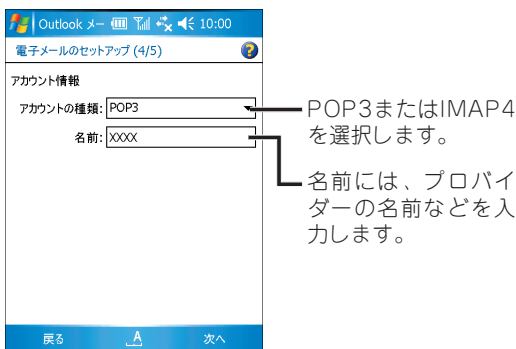
電子メールのセットアップ(2/5)画面が表示されます。

4 この製品にすでに入っている接続設定を使ってインターネットへ接続を始めます。ここではタイトルバーの⇄にタップし表示されたウィンドウから キャンセル にタップし、次へにタップします。

電子メールのセットアップ(3/5)画面が表示されます。

5 名前、ユーザー名、パスワードを入力し、次へにタップします。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mailアカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mailアカウント
パスワード	Mailパスワード、メールパスワード、初期パスワード

電子メールのセットアップ(4/5)画面が表示されます。

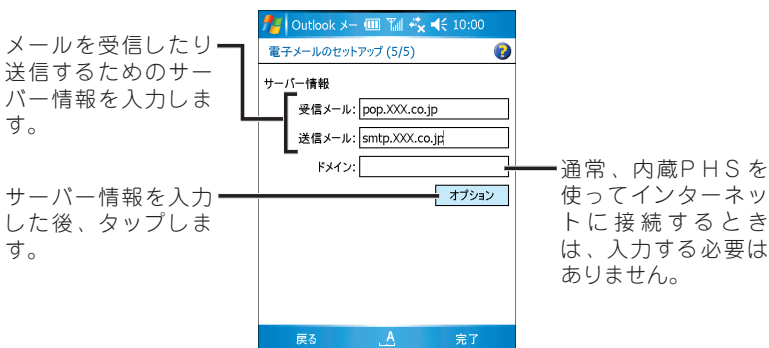
6 アカウントの種類(POP3またはIMAP4)を選択し、アカウントの名前を入力して、次へにタップします。

アカウントの種類がわからないときは、プロバイダーにお問い合わせください。

電子メールのセットアップ(5/5)画面が表示されます。

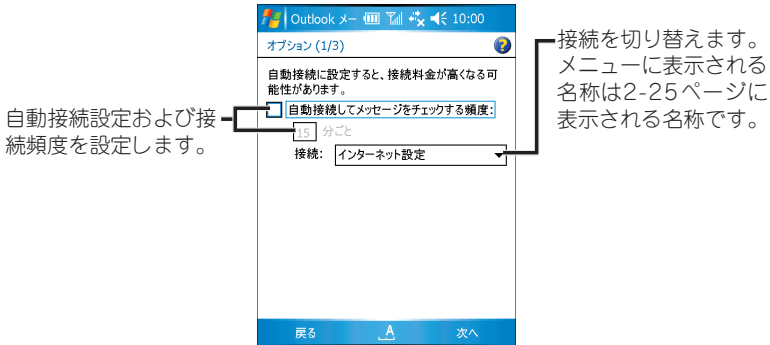
7 サーバー情報を入力し、オプションにタップします。

入会しているプロバイダーによっては、受信メール(サーバー)と送信メール(サーバー)がそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。

・別々になっているプロバイダーは、受信メール(サーバー)と送信メール(サーバー)の両方を入力します。

・メールサーバーが同じになっている(1つになっている)ときは、両方に同じものを入力します。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
受信メール	POPサーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信メール	SMTPサーバー、送信メールサーバー

8 オプション(1/3)画面で、自動接続の設定とメールを送受信するための接続先を選択し、次へをタップします。

メールの送受信はこの接続欄に表示されている名称に保存されている接続先の設定を使ってインターネットに接続します。この接続先の設定が異なっているとメールの送受信はできませんのでご注意ください。下記メモをご覧になり、接続先の選択を行ってください。

ご注意！

● 自動接続の設定をしてメールを定期的にチェックする場合、一度メールチェックを行った後は回線を切断せずインターネットに接続した状態のままになります。チェックを外し自動接続しメールチェックしないようにすることをおすすめします。

MEMO

● **接続を選択する**

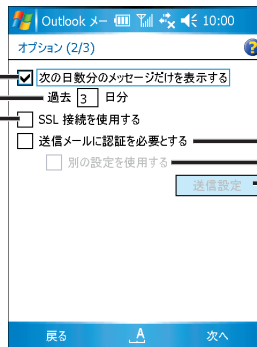
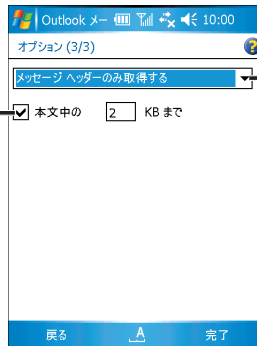
お使いの状態にあわせて接続を選択してください。

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。

・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。

・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

9 オプション（2/3）画面で、受信するメッセージの設定を行い、次へをタップします。

10 メールのヘッダーのみ取得するのか全文取得かを選択し、完了をタップします。

確認画面が表示されます。
設定したアカウントのメールを今すぐ受信するときははい、しないときはいいえをタップしてください。
設定が完了し、「受信トレイ」一覧画面または、オプション画面に戻ります。

- **アカウントの設定を確認するときは**

  1 メニュー－ツール－オプションをタップします。

  オプション画面が表示されます。手順**6**で入力した名前がアカウントとして表示されます。

  2 アカウントにタップします。

  電子メールのセットアップ画面が表示されます。次へにタップして画面を切り替えて確認してください。

- **アカウントの設定を修正するときは**

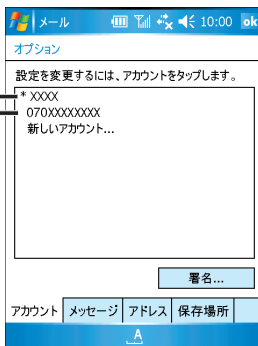
  次ページをご覧になり修正してください。

アカウントを修正する／削除する

アカウントを修正する

1 **[スタート]メニューの“メール”にタップします。**

2 **画面右下の[メニュー]－[ツール]－[オプション]にタップします。**

3 **修正するアカウントにタップします。**

電子メールのセットアップ(1/4)画面(☞2-19ページの手順**3**の画面)が表示されます。

4 **[次へ]にタップして画面を切り替えて修正します。**

2-19ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは2-19～22ページの手順**3**～**10**をご覧ください。

5 **修正を終えた後、[完了]にタップします。**

- Eメール(ウィルコム)のアカウントは「電話番号」が表示されます。このアカウントは、Eメール(ウィルコム)を受信するために必要です。名称の変更や情報を変更しないでください。

アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、上記「アカウントを修正する」の手順**3**の画面でアカウントをタップしたままにし、表示されたメニューから「削除」にタップします。

加入しているプロバイダーの接続設定をする

既に加入しているインターネットプロバイダーを使用して、インターネットに接続するための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

- ご購入時、すでに「既定のインターネット設定」の中に「CLUB AIR-EDGE-0」が入っています。これは、オンラインサインアップ（☞2-2ページ）するときに使用する設定です。この設定を使ってインターネットには接続できません。
- 各項目に入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」（ゼロ）と英語の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。

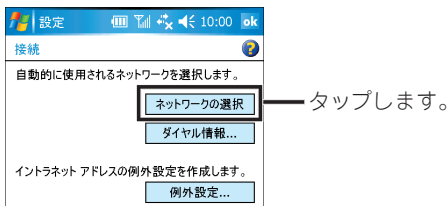
この製品に設定するプロバイダー情報を確認する

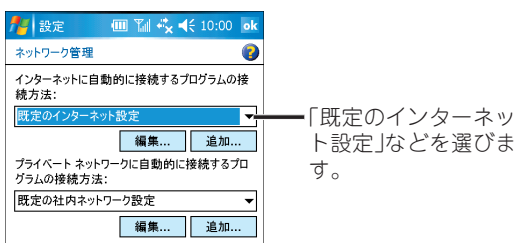
以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。
・接続先アクセスポイントの電話番号
・ユーザー名
・パスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

インターネットプロバイダーへの接続設定をする

1 **スタートメニューの“設定”にタップします。**
設定画面が表示されます。

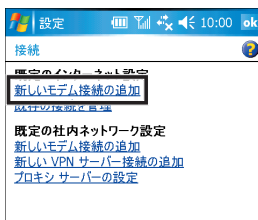
2 **設定画面で接続タブの“接続”にタップし、詳細設定タブにタップします。**
接続画面が表示されます。

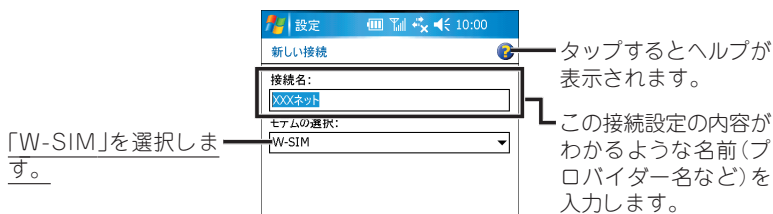
3 「ネットワークの選択」にタップします。

4 インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の▼にタップして、「既定のインターネット設定」などを選びます。

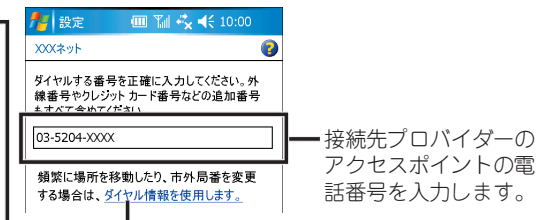
MEMO

- **ご自分で接続方法を作るときは**
  追加 をタップします。追加 をタップすると接続方法の名前を入力する画面が表示されます（すでに名前には「ISP名」などが入っています）。必要に応じて名前を変更し ok をタップしてネットワーク管理画面に戻ります。
- オンラインサインアップ（☞2-2ページ）を行った後、ご自分でご入会しているプロバイダーの情報を設定するときは、「既定のインターネット設定」ではなく「センタ名称設定」になっています。

5 ok にタップします。

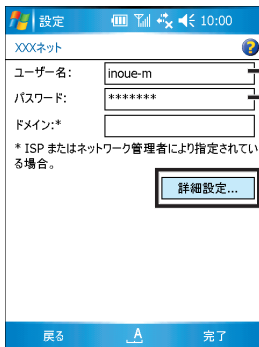
接続画面に戻ります。

6 設定 タブにタップし「新しいモデム接続の追加」にタップします。

新しい接続画面が表示されます。

7 接続名を入力し、さらに「モデムの選択」を「W-SIM」にして、次へ をタップします。

ご注意！
- 「モデムの選択」は「W-SIM」を選択してください。これ以外のものを選択しても接続できません。

8 接続先のアクセスポイントの電話番号を入力し、次へ にタップします。

ご注意！
- **「ダイヤル情報を使用します。」をタップしないでください。**
  この製品ではダイヤル情報を使用しません、タップすると設定が保存され、通信ができなくなります。

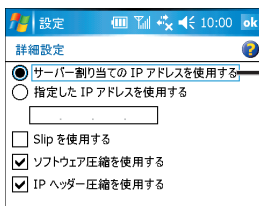
- ご利用の通信速度、通信手段により、アクセスポイントの電話番号の後に記号(##4や##7など)の入力が必要となります。
  詳しくは、ご利用のプロバイダーにご確認ください。
- インターネット接続時に分計発信を行う場合は、アクセスポイントの電話番号＋記号(##4や##7など)の後に追加します。
  例) 通常発信の場合：03-5204-XXXX##4
  分計発信の場合：03-5204-XXXX##4, 01

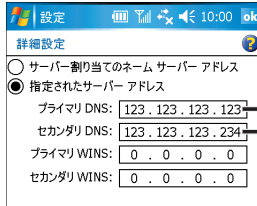
9 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、詳細設定 にタップします。

MEMO

- 「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。
  接続するたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力したいときは、「ユーザー名」、「パスワード」欄を空欄にしておきます。
- 「ユーザー名」や「パスワード」をまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPPログイン名、ログイン名、ユーザー名、アカウント、アカウントID、接続ID、ID番号、接続アカウント、ユーザーID ダイヤルアップログイン名、認証ID、
パスワード	PPPパスワード、パスワード、接続パスワード、認証パスワード、ダイヤルアップパスワード、初期パスワード、IDパスワード

10 TCP／IP タブにタップします。

「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックが付いていることを確認します。

11 サーバー タブにタップし、サーバーの設定を行います。

・DNSサーバーを自動的に取得する場合は「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択します。
・DNSサーバーを入力する場合は「指定されたサーバーアドレス」を選択し、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力します。

● セカンダリDNSサーバーがないプロバイダーの場合は、「セカンダリDNS」の欄は空欄にします。
●「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリDNS	ネームサーバー1、Domain Name Server（1）、ドメインネームサーバー、DNSサーバー、DNS、プライマリDNSサーバー
セカンダリDNS	ネームサーバー2、Domain Name Server（2）、セカンダリDNSサーバー

12 ok にタップします。

手順**9**の「ユーザー名／パスワードの入力」画面に戻ります。

13 画面右下の 完了 にタップします。

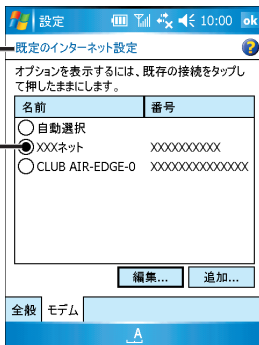
● **2-25ページの手順4で「既定のインターネット設定」を選択した場合や複数の接続設定を作った場合**
次ページの手順**14**～**16**を行ってください（接続設定の選択を行ってください）。

● **2-25ページの手順4で 追加 をタップし、ご自分で接続方法を作りその中に１つの接続設定を作った場合**
この手順で終了です。

14「既存の接続を管理」にタップします。

作成した設定が表示されます。

15 作成した設定のラジオボタンにチェックを付けます。

チェックが付いている設定に接続します。

- 加入しているプロバイダーの設定をしたあとEメール（ウィルコム）を受信するときは、接続（設定タブ）画面で表示される名称を「センタ名称設定」に変更する必要があります。変更方法は、2-25ページの手順**4**で「センタ名称設定」を選択します。

16 ok をタップします。

インターネット接続設定を変更する／削除する

インターネット接続設定を変更する

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。**

2 **「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」にタップします。**

「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」をタップしたときは、「センタ名称設定」画面内に「CLUB AIR-EDGE」が表示されます。

3 **変更する接続名を選択し、 編集 にタップします。**

接続名やモデムを選択する画面（☞2-26ページの手順**7**）が表示されます。

4 **次へ にタップして画面を切り替えて設定内容を変更します。**

2-26ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは2-26～28ページの手順**7**～**11**をご覧になり内容を変更します。

- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。

インターネット接続設定を削除する

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。**

2 **「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」の「既存の接続を管理」にタップします。**

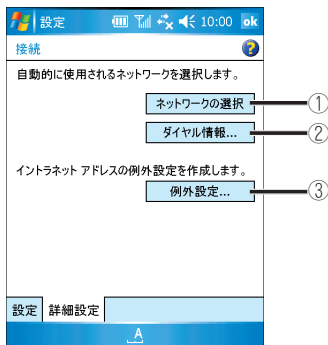
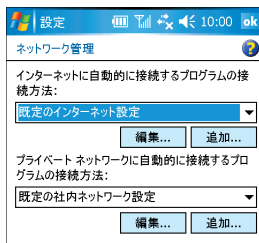
「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」画面が表示されます。

3 **削除する接続名をタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップします。**

ご注意！

- 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

インターネットへの接続方法を切り替える

スタート ー 設定 ー 接続 タブー 接続 ー 詳細設定 タブでは、新しいネットワークを作成したり、イントラネットアドレスの例外設定ができます。

① ネットワークを選択します。
タップするとネットワーク管理画面が表示されます。
オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に作成されて表示されます。
オンラインサインアップで取得した情報を使ってインターネットに接続する場合、この設定は変更しないでください。変更するとインターネットに接続できなくなり、ホームページの閲覧やメールの送受信ができなくなります。
この設定を削除した場合などは、もう一度オンラインサインアップをしてください。

編集 ：表示されている接続名称の中に作成した接続設定の編集／作成ができます。
追加 ：新しい接続名称を作成します。

② この製品ではダイヤル情報は使用しません。ここをタップしてダイヤル情報画面に移り設定をしないでください。
※このダイヤル情報画面は、新規の接続作成画面（☞2-26ページの手順**8**の画面）で「ダイヤル情報を使用します」をタップしたときと同じ画面です。

③ イントラネットアドレスでピリオド(.)が使用されている例外アドレスを設定します。

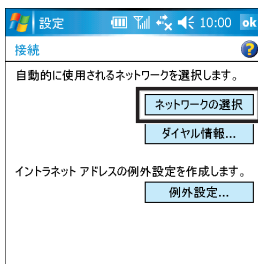
お使いの環境にあわせてインターネットの接続設定をする

社内ネットワークなど、インターネットの接続設定をお使いの環境にあわせて設定することができます。

社内ネットワークへの接続設定をする

ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードおよびTCP／IP設定に関する情報などをネットワーク管理者に確認してください。

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップし、 詳細設定 タブにタップします。**

2 **「ネットワークの選択」にタップします。**

3 **プライベートネットワークに自動的に接続するプログラムの接続方法の▼にタップして、「既定の社内ネットワーク設定」を選びます。**

4 **ok にタップします。**

接続画面に戻ります。

5 **設定タブにタップし「新しいモデム接続の追加」にタップします。**

新しい接続画面が表示されます。

以降は、「インターネットプロバイダーへの接続設定をする」(☞2-26〜28ページ)の手順**7**〜**13**と同じ操作をして、社内ネットワークに接続する設定をしてください。

社内ネットワーク接続設定を変更する

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定」画面が表示されます。

3 変更する接続名を選択し、 編集 にタップします。

4 設定内容を変更します。

画面右下の 次へ にタップすると、電話番号の入力画面などに移ります。

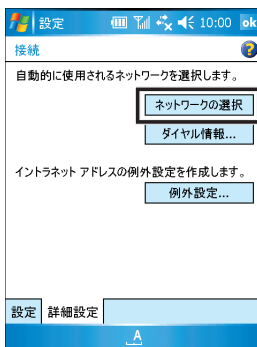
MEMO

- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。
- **社内ネットワーク接続設定を削除する**
  手順**3**で削除する接続名をタップしたままにし、 削除 にタップします。
  なお削除の取り消しはできません。

VPNサーバーへの接続設定をする

TCP／IP設定およびVPNサーバーのホスト名／IPアドレスなどの情報をネットワーク管理者に確認してください。

1 **設定画面で 接続 タブの“接続”にタップし、 詳細設定 タブにタップします。**

2 **「ネットワークの選択」にタップします。**

3 **インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の▼にタップして、「既定の社内ネットワーク設定」を選びます。**

4 **ok にタップします。**

接続画面に戻ります。

5 **設定タブにタップし「新しいVPNサーバー接続の追加」にタップします。**

新しい接続画面が表示されます。

6 **名前およびホスト名またはIPアドレスを入力し、画面右下の 次へ にタップします。**

VPNの種類でIPSec／L2TPを選択した場合は、手順**7**に進んでください。PPTPを選択した場合は、手順**8**に進んでください。

7 **IPSec／L2TPの接続の認証方法を選択し、画面右下の 次へ にタップします。**

8 「ユーザー名」、「パスワード」などを入力します。

ユーザー名やパスワードについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

9 詳細設定 にタップし、TCP/IP、サーバーの設定を行い ok にタップします。

10 画面右下の 完了 にタップします。

接続画面に戻ります。

11 ok にタップします。

VPNサーバーに接続する

1 設定画面で接続タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定」画面が表示されます。

3 VPN タブにタップします。

4 作成した接続設定にタップしたままにして表示されたメニューから 接続 にタップします。

VPNサーバーに接続します。

MEMO

- 手順**2**で「既定の社内ネットワーク設定」の「VPNサーバーの編集」にタップしても手順**3**の画面が表示されます。

VPNサーバー接続設定を変更する／削除する

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「既存の接続を管理」にタップします。

「既定の社内ネットワーク設定画面」が表示されます。

3 VPN タブにタップします。

4
- 変更するときは、変更するVPNを選択し、画面右下の 編集 にタップして、設定内容を変更します。
- 削除するときは、削除するVPN接続名をタップしたままにし、削除 にタップします。

ご注意！
- 削除の取り消しはできません。接続設定は削除されます。

プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバーの設定をします。

1 設定画面で 接続 タブの“接続”にタップします。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」にタップします。

MEMO
- 既に設定されている場合は、「プロキシサーバーの編集」にタップします。

3 表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。

4 さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。
必要に応じて、 詳細設定 にタップし、HTTPプロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

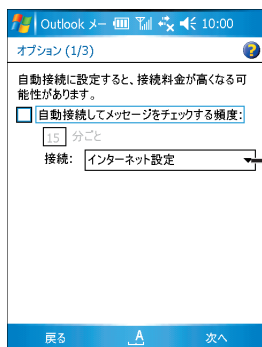
プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

メールの送受信やインターネットへの接続がうまくいかないときは

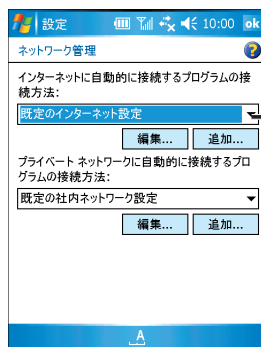
メールの送受信やインターネットに接続できない場合、インターネットに接続する方法が正しく設定されていないことが考えられます。
以下の画面で、設定されている接続方法を確認してください。

● オンラインサインアップをしたり、ウィルコムのメールを自動受信するときは、インターネットに接続する方法を「センタ名称設定」に設定する必要があります。

◇ メールのオプション(1/3)画面 ◇

「接続」欄に表示されている設定を確認してください。(☞2-21ページ)

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

◇ ネットワーク管理画面 ◇

「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」欄に表示されている設定を確認してください。(☞2-25ページ)

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

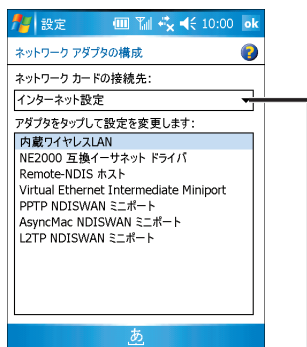
■表示されるメニューについて

・「センタ名称設定」：ウィルコムサーバー経由でインターネットに接続するとき
・「既定のインターネット設定」：自宅などからプロバイダー経由でインターネットに接続するとき
・「既定の社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するとき
※ご自分で設定名称と接続先を作った場合は、その設定名称を選択してください。

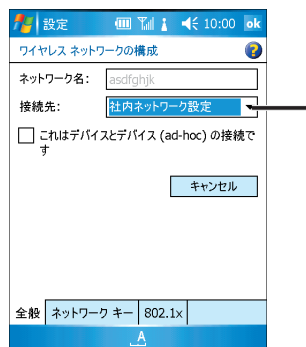
内蔵ワイヤレスLANをお使いの場合は

以下の画面も確認してください。

◇ ネットワークアダプタの構成画面 ◇

「ネットワークカードの接続先」欄に表示されている設定を確認してください。(2-6ページ)

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

◇ ワイヤレスネットワークの構成画面 ◇

「接続先」欄に表示されている設定を確認してください。
(2-11ページ)

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

■表示されるメニューについて

・「インターネット設定」　：自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレスLANに接続するときに選びます。

・「社内ネットワーク設定」：社内のネットワークに接続するときに選びます。

3 電話

電話のかけかた、受けかたなどについて説明します。

電話をかける

画面上のダイヤルボタンにタップして電話番号を入力し、電話をかけます。

1 この製品の電源を入れます。

2 ボタンを押します。

"電話"が起動し、ダイヤル画面が表示されます。

3 画面上のダイヤルボタンにタップして、電話番号を入力します。

タップした電話番号が画面上に表示されます。

- ポーズの使いかたについてくわしくは、3-12ページをご覧ください。

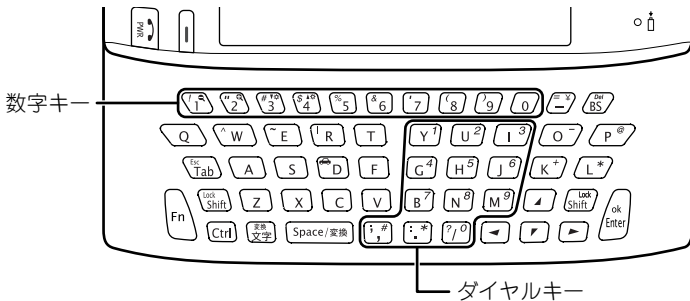
4 ボタンを押します。または画面左下の[発信]にタップします。

電話番号が点滅して相手に電話がかかります。相手がでたら、話しをします。

5 通話を終えるときは、PWRボタンを押します。

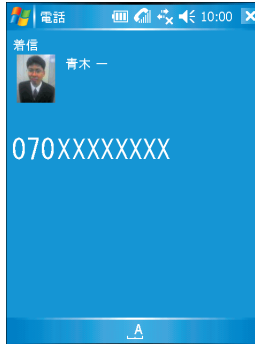
電話が切れます。
しばらくすると、Today画面（待ち受け画面）に移ります。再度、電話をかけるときは ボタンを押します。

ご注意！
- 電話を切るときは PWR ボタンを押してください。✕ にタップしても（画面を閉じても）電話は切れません。

- 入力できる番号の桁数は32桁までです。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。
- PHS／携帯電話に電話をかけるときは、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知するように設定されています。
  この設定を変えたり（通知しないようにしたり）、その通話だけ通知しないようにできます。設定の変更については3-35ページ、ある相手だけ通知しないようにする方法は3-16ページをご覧ください。
- 入力途中で番号を間違えたときは、以下のいずれかの方法で番号を削除します。
  - ・[クリア]にタップすると、最後の番号（右端の番号）を削除します。
  - ・PWR ボタンを押すと、入力した番号すべてを削除します。
- **キーボードからダイヤルする**

キーボードを開いているとき、キーボード上の「数字キー」や「ダイヤルキー」を押しても電話番号を入力できます。
ダイヤルキーを押すときはそのキーだけを押します。たとえば、「1」を入力するときは、(Y) キーだけ押します（(Fn)キーを押した後、(Y) キーを押す必要はありません）。
また、(BS) キーを押すと最後の番号（右端の番号）を削除します。
- 通話中、バックライトはあらかじめ設定している時間（☞10-14ページ）で最小輝度になり、そのあと約10秒後に液晶表示とバックライトが消灯します（通話は継続します）。

電話を受ける

かかってきた電話に出ます。

1 電話がかかってきたら、着信音が鳴り、青色の着信ランプが点滅します。

・設定によっては音は鳴らず、バイブレータによって電話がかかってきたことを知らせます。
また、青色のランプを点滅する／しないを設定できます（☞3-31ページ）。

・相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示されます。また、“連絡先”（☞6-27ページ）に登録しているときは、名前も表示されます。

・着信中に着信音の音量を変えられます。音量の変更は、3-25ページをご覧ください。

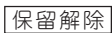
・発信者番号通知をしていないときは、以下の左側の文字が表示されます。
「ユーザ非通知」　：相手が電話番号を通知していません。
「通知不可能」　：相手が通知できないエリアや電話機からの電話です。
「公衆電話発信」　：公衆電話からの電話です。

2 ボタンを押し、相手と話しをします。

・エニーキーアンサー（☞ 3-36ページ）の設定をオンにしていると、ボタン以外のボタンを押しても電話を取ることができ、相手と話しができます。画面にタップしても電話を取ることができます（ただし、タイトルバーとメニューバーにタップしても電話は取れません）。

・通話中に相手の声の大きさを変えるには、この製品の右側面にある音量調節ボタンを押します。VOL（＋）で大きくなり、VOL（－）で小さくなります。くわしくは、3-13ページをご覧ください。

3 相手と話しが終わったら、[PWR]ボタンを押します。

- かかってきた電話にすぐに出られないときは、[PWR]ボタンを押すと保留応答の状態にできます。この場合、「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」の応答メッセージが流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
  保留応答中に電話に出るときは[通話]ボタンを押します。また、電話を切るときは[PWR]ボタンを押します。
- 電話がかかってきたときにシャッターボタンを押すと、伝言メモ機能がはたらきメッセージが流れます（相手のメッセージを録音する／しないは、伝言メモの設定（☞3-14ページ）にしたがいます）。
- **電話に出ることができなかったときは**
  Today画面（待ち受け画面）に「不在着信：X件」と表示されます。この文字にタップすると、着信履歴画面が表示されます。また、ダイヤル画面で(カーソル)ボタンの左を押すと着信履歴画面が表示されます。
- この製品では、電話を切ったときに自動的にウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるか確認をします。メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます（☞ 3-43〜44ページ）。
  ウィルコムの留守番電話サービスを利用するときは、あらかじめウィルコムサービスセンターへの申し込みが必要です。

通話中に保留する

通話中、話しを保留できます。保留中は、お互いの声は聞こえません。
保留中はメロディが流れます。

1 **画面左下の[キー表示]にタップし、ダイヤルボタンを表示します。**
通話中、[ポーズ]は[保留]になります。

2 **[保留]にタップします。**
保留中はメロディが流れます。

保留中は、[保留解除]に変わります。

3 **保留を解除するときは、[保留解除]にタップします。**
相手と通話できます。

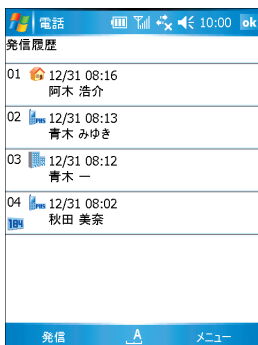
3
電話

一度かけた番号に電話をかける(リダイヤル・発信履歴を利用する)

一度かけた電話番号に再度、電話をかけます。

“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの右を押します。

発信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかけた番号から表示されます。

(カーソル)ボタンの上下を使って、見えていない電話番号を表示して選択します。

2 履歴画面で相手の名前または電話番号を選択し、[発信]ボタンを押します。または画面左下の[発信]にタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには ok にタップします。

MEMO

- 発信履歴は最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます(同一の相手(電話番号)への発信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけを表示します)。
- 発信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、発信履歴すべてを削除します。
- 発信履歴を利用して電話をかけるときも、自分の電話番号の通知/非通知は、発信者番号通知(☞3-35ページ)の設定にしたがいます。
- Today画面(待ち受け画面)で、(カーソル)ボタンの右を押しても発信履歴画面が表示されます。

かかってきた番号に電話をかける(着信履歴を利用する)

かかってきた電話番号に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの左を押します。**

着信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかかってきた番号から表示されます。

2 **履歴画面で相手の名前または電話番号を選択し、[発信ボタン]ボタンを押します。または画面左下の[発信]にタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るにはokにタップします。

MEMO

- 着信履歴は最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます。
- 着信履歴画面では、履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]ー[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、着信履歴すべてを削除します。
- 着信履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知/非通知は、発信者番号通知(☞3-35ページ)の設定にしたがいます。
- Today画面(待ち受け画面)で、(カーソル)ボタンの左を押しても着信履歴画面が表示されます。

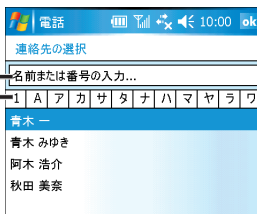
“連絡先”の電話番号を使って電話をかける

“連絡先”に登録している電話番号を利用して電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、画面左下の 連絡先参照 にタップします。

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

50音タブにタップ、または名前の読みを入力して相手を探します。

電話 10:00 ok
連絡先の選択
名前または番号の入力...
1 A ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ
青木 一
青木 みゆき
阿木 浩介
秋田 美奈

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50音タブにタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

2 連絡先の選択画面で、電話をかける相手にタップします。

3 電話番号選択画面が表示されます。

・手順**2**で選択した相手にPHSや携帯電話など複数の電話番号を登録している場合は、その複数の電話番号が表示されます。
・手順**2**で選択した相手に登録している電話番号が1つのときも手順**3**の画面に移ります。

4 電話番号にタップします。
または、カーソルの上下を使って電話番号を選択（反転）し、[電話]ボタンを押します。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- “連絡先”を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞3-35ページ）の設定にしたがいます。

ライトメールの送信履歴／受信履歴から電話をかける

ライトメールを使って送信した宛先（電話番号）や受信したライトメールの送信者に電話をかけます。

1 “電話”のダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの上、または下を押します。

(カーソル)ボタンの上：送信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に送信した番号から表示されます。

(カーソル)ボタンの下：受信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に受信した番号から表示されます。

送信履歴画面

受信履歴画面

2 履歴画面で電話番号を選択し、[通話]ボタンを押します。または画面左下の[発信]にタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 送信履歴、着信履歴共に最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への送信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけを表示します）。
- 送信履歴、着信履歴共に履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1件削除]にタップします。
  [全件削除]にタップすると、履歴すべてを削除します。
- この履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞3-35ページ）の設定にしたがいます。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面について

ここでは、発信履歴／着信履歴画面、送信履歴／受信履歴画面について説明します。

発信／着信履歴画面について

① 発信履歴画面では発信した日時、着信履歴画面では着信した日時が表示されます。

② 発信履歴画面では発信した相手(電話番号)、着信履歴画面では着信した相手(電話番号)が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
着信時、3-4ページの手順**1**に記載しているように、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ “連絡先”にその電話番号を登録しているときは、その番号に対応したアイコンが表示されます。
：携帯電話　　：勤務先電話
：自宅電話　　：PHS
：連絡先に登録していない相手と非通知の相手

④ 発信履歴画面：非通知発信／通知発信をしたことを示すアイコンです。
着信履歴画面：不在着信の相手であることを示すアイコンです。

⑤ 発信履歴画面：分計発信したことを示すアイコンです。
着信履歴画面：伝言メモで対応した相手であることを示すアイコンです。

ライトメール送信／受信履歴画面について

① 送信履歴画面では送信した日時、受信履歴画面では受信した日時が表示されます。

② 送信履歴画面では送信した相手（電話番号）、受信履歴画面では受信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
受信時、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ アイコンあり：未読メールを示します。
アイコンなし：既読メールを示します。

④ 184 ：非通知発信したことを示すアイコンです。
186 ：通知発信したことを示すアイコンです。

メニューは、発信履歴画面や着信履歴画面と同様です。3-24ページをご覧ください。

発信中、ポーズを使う

各種プッシュホンサービスを利用するときなど、かける電話番号の後ろに「P」（ポーズ）とサービスで利用する番号を入力して利用できます。
また、"連絡先"の電話番号に「電話番号」+「P」（ポーズ）+「サービス番号など」（例えば、03XXXXXXXXP12XX）と登録して、利用できます（☞6-28ページ）。
「P」は、全角半角、大文字小文字いずれもポーズとして働きます。

ダイヤル画面で利用する

1 ダイヤル画面で「電話番号」、ポーズ、「サービス番号など」入力します。

ポーズにタップすると、画面上には「P」が表示されます。

2 ボタンを押します。

「P」の前の番号までが発信され、電話がかかります。

3 相手先とつながった後、再度ボタンを押します。

「P」より右の番号がトーン信号で発信されます。

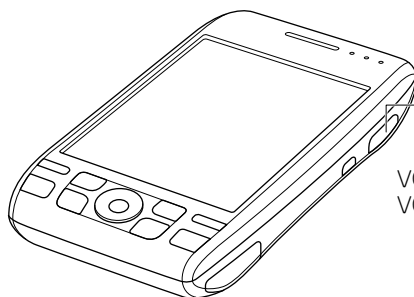
MEMO

- ポーズ（「P」）は複数入力できます。複数のポーズ（「P」）が入っているとき、最初のポーズまでを発信して止まります。を押すと次のポーズまでを発信し2つ目のポーズで止まります。再度、を押すと次のポーズまでを発信します。以降同様に動作します。

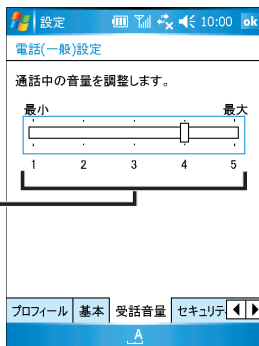
相手の声の大きさ(受話音量)を変える

通話中、相手の声の大きさを5段階に調節できます。以下の方法で調節します。

ご注意!
- 音量を上げるときは、1段階ずつ上げてください。
- 相手に話す自分の声の大きさは変えられません。

●通話中に、この製品の右側面にある音量調節ボタンを押す。

- **(カーソル)ボタンの上下でも音量を変えることができます。**
  - ・(カーソル)ボタンの上:音が大きくなります。
  - ・(カーソル)ボタンの下:音が小さくなります。

●電話(一般)設定画面([受話音量]タブ)で変える。

電話(一般)設定画面([受話音量]タブ)で、受話音量を調節します。
電話(一般)設定画面([受話音量]タブ)は、[スタート]メニューの "設定"にタップし、表示された設定画面([個人用]タブ)で "電話(一般)"にタップして[受話音量]タブにタップすると表示されます。

音量を調節したときは、okにタップして設定を保存してください。

伝言メモ

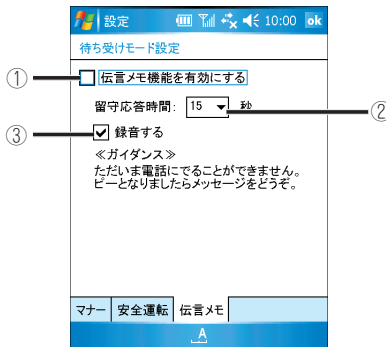
電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

伝言メモを設定する

1 **スタートメニューの “設定”にタップし、“待ち受けモード”にタップします。**

待ち受けモード設定画面が表示されます。

2 **伝言メモタブにタップします。**

待ち受けモード設定画面（伝言メモタブ）が表示されます。

① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。
※Today画面（待ち受け画面）でも伝言メモの設定ができます（☞1-13ページ）。

② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。

③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけ直し下さい。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。
※伝言メモを録音できる件数や録音時間は次ページの「MEMO」をご覧ください。

3 **okにタップします。**

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  - ・録音件数：5件
  - ・録音時間：1件につき約15秒

  録音件数が5件のとき伝言メモ機能が働くと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。
- この伝言メモは、ウィルコムが提供している留守番電話サービスとは異なります。この製品の伝言メモとウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、呼び出し時間が短い方が優先されます。伝言メモの呼び出し時間の設定は前ページを、ウィルコムの留守番電話サービスの呼び出しの設定は3-43〜44ページをご覧ください。
- **伝言メモを解除するには**

  前ページの待ち受けモード設定画面（伝言メモタブ）で、「伝言メモ機能を有効にする」のチェックを外します。またはToday画面（待ち受け画面）で「伝言メモ」のアイコンにタップしてグレー（オフ）にします。

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、Today画面（待ち受け画面）の下にアイコンが表示されます（アイコンは、伝言メモ画面に録音メッセージがあるときに表示されます）。

1 **ボタンを押し電話のダイヤル画面を表示します。**

2 **画面右下のメニュー－伝言メモにタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

アイコンは、録音メッセージがあることを示します。

- Today画面（待ち受け画面）で、画面下部にアイコンが表示されているときは、アイコンにタップしても伝言メモ画面が表示されます。

3 **メッセージがあるものを選択し、画面左下の再生または画面右下のメニュー－再生にタップします。**

録音されたメッセージが受話口から流れます。

- 録音されたメッセージを消去するときは、消去するメッセージを選択してメニュー－消去にタップします。表示された確認画面ではいにタップします。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

電話をかけたとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、3-2ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-35ページをご覧ください。

1 ダイヤル画面で、画面上のダイヤルボタンにタップして電話番号を入力します。

2 画面右下の［メニュー］－［通話］－［184発信］にタップします。

この場合、自分の電話番号を通知せずに電話をかけます。
分計発信するときは、［184分計発信］にタップします。

3 通話を終えるときは、［PWR］ボタンを押します。

電話が切れます。

MEMO

- 通常、自分の電話番号を通知しない状態のときに一度だけ通知するときは、上記の手順**2**で［メニュー］－［通話］－［186発信］にタップすると、自分の電話番号を通知します。
  また、分計発信するときは、［186分計発信］にタップします。

パワーサーチを行う

待ち受け中や通話中、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 **ダイヤル画面で、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］にタップします。**

2 **パワーサーチが始まります。**

パワーサーチ終了後、元の画面に戻ります。

MEMO

- パワーサーチを行っても、場所によっては電波状態が変わらないことがあります。
- 通話中のパワーサーチの回数は、一度の通話で3回までです（通話中のパワーサーチの操作は、画面左下の［キー表示］にタップしてから、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］にタップします）。

ご注意！

- パワーサーチ実行中は、キーやボタンなどを押したりしないでください。

通話中にトーン信号（プッシュ信号）を送る

通話中に画面上のダイヤルボタンを使って、トーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。
銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用できます。

1 **相手先に電話をかけます。**

2 **通話中に、画面左下の［キー表示］にタップします。**

画面にダイヤルボタンが表示されます。

3 **数字にタップすると、タップした数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号（プッシュ信号）が送られます。**

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスをご利用いただくことにより、国際電話をかけられます(事前のお申し込みは不要です)。

この製品から海外へかける

例)アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

[0] [1] [0] と国番号に続いて相手の電話番号を押します。

010 − 1 − 212 − XXX-XXXX

1：アメリカの国番号
212：ニューヨークの地域番号
XXX-XXXX：相手の電話番号

- 通話料については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 申込手数料、月額料金は不要です。

海外からこの製品へかける

例)アメリカからこの製品(070-XXXX-XXXX)へかける場合

1 以下の電話番号を押します。

※アクセス番号は、国によって違います。

自分の電話番号を見る

この製品に設定されている電話番号を表示します。

1 **ダイヤル画面または通話中の画面で、画面右下の［メニュー］－［自局番号表示］にタップします。**

MEMO

- 以下のどちらかの方法でも、見ることができます。
  - ・画面右下の［メニュー］－［オプション］にタップし、オプション画面を表示します。このオプション画面の「自局番号表示」にタップすると、電話番号を表示します。
  - ・電話（一般）設定画面で［プロフィール］タブにタップすると、電話番号を表示します（電話（一般）設定画面の表示方法は3-35ページをご覧ください）。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、（アクション）ボタン（（カーソル）ボタンの中央のボタン☞1-3ページ）を押しても表示されます。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、（Fn）キーを押しながら（0）（ゼロ）キーを押しても表示されます（（0）（ゼロ）キーはキーボード最上段の右から3つ目のキーです）。

2 **画面に自分の電話番号とオンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。**

3 **ok にタップすると、元の画面に戻ります。**

かかってきた番号／かけた番号を“連絡先”に登録する

かかってきた電話番号やかけた電話番号は、着信履歴や発信履歴として新しいものからそれぞれ20件ずつ残っています。この着信履歴や発信履歴の電話番号を“連絡先”に登録し活用できます。

1 **ダイヤル画面で、(カーソル)ボタンの左、または右を押します。**

着信履歴画面または発信履歴画面が表示されます。

- Today画面（待ち受け画面）で、(カーソル)ボタンの左右を押しても着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

2 **着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号を(カーソル)ボタンの上下を使って選択（反転）します。**

3 **画面右下の[メニュー]－[連絡先に登録]にタップし、[新規登録]または[追加登録]にタップします。**

※[追加登録]にタップした場合は、電話番号を追加したい“連絡先”にタップし、手順**4**に移ります。

4 **電話番号の種別（PHSや携帯電話、勤務先電話番号など）を選択し、okまたは画面右下の[決定]にタップします。**

選択した種別に電話番号が登録されます。たとえば、PHSを選択すると、PHSの項目に電話番号が入ります。

ご注意！

- 手順**3**で[追加登録]をタップした場合、すでに電話番号が入っている「電話番号の種別」を選択すると、手順**2**で選択した電話番号に置き換わります。追加登録するときは「電話番号の種別」の選択に注意してください。

5 **“連絡先”の新規入力画面または編集画面になりますので、各項目にタップして、情報を入力（☞6-27ページ）します。**

6 **入力が終わったら、okにタップします。**

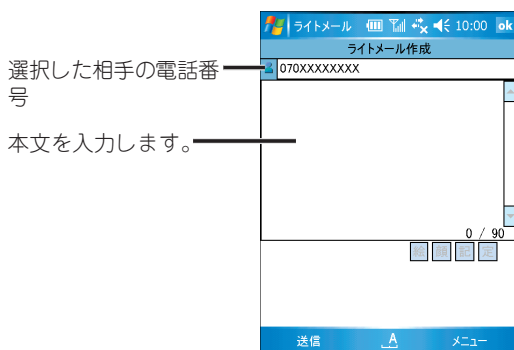
手順**2**で選択した電話番号が入った連絡先のデータが保存されます。

発信履歴や着信履歴を使ってライトメールを作る

電話をかけた相手や電話をうけた相手の電話番号を使って、ライトメールを作成できます。
ここでは、発信履歴画面を使って、ライトメールを作成する方法を説明します。着信履歴画面を使った場合も同じようにできます。

1 **3-6ページと同様にして、発信履歴画面を表示します。**

2 **送信する相手を選択(反転)し、画面右下の メニュー ー ライトメール作成 にタップします。**

選択した相手の電話番号が入った“ライトメール”の新規作成画面が表示されます。

3 **本文を入力し、画面左下の 送信 にタップします。**

ライトメールが送信されます。

- ライトメール送信履歴画面や受信履歴画面からもライトメールを作成できます。ライトメール送信履歴画面/受信履歴画面で、画面右下の メニュー ー ライトメール作成 にタップします。以降、上記の手順**3**を行いライトメールを送信します。
- “ライトメール”を起動し、ライトメールの作成もできます。くわしくは、4-35ページをご覧ください。
- 連絡先の詳細画面からもライトメールを作成できます。くわしくは、6-33ページをご覧ください。

オプション設定

この製品に設定されている電話番号を表示したり、マナーモード設定、安全運転モード設定、伝言メモ設定を行う画面を表示します。

ダイヤル画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。

オプション画面が表示されます。

① この文字にタップすると、電話(一般)設定画面(プロフィール タブ)が表示され、この製品に設定されている電話番号を見ることができます(☞ 3-19ページ)。

② この文字にタップすると、マナーモードの設定を行う画面が表示されます(待ち受けモード設定画面(マナー タブ)が表示されます)。くわしくは、3-33ページをご覧ください。

③ この文字にタップすると、安全運転モードの設定を行う画面が表示されます(待ち受けモード設定画面(安全運転 タブ)が表示されます)。くわしくは、3-34ページをご覧ください。

④ この文字にタップすると、伝言メモの設定を行う画面が表示されます(待ち受けモード設定画面(伝言メモ タブ)が表示されます)。くわしくは、3-14ページをご覧ください。

2 各画面を表示し設定を変更した後、ok にタップします。

設定が保存されます。

電話のメニュー

ダイヤル画面のメニュー

ライトメール作成	新規ライトメールを作成する（☞4-35ページ）。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する（☞3-17ページ）。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する（☞3-19ページ）。
伝言メモ	録音している伝言メモをリスト表示する（☞3-15ページ）。
オプション	マナーモード、安全運転モード、伝言メモの設定を行うための画面を表示する（☞3-22ページ）。

ダイヤル画面（ダイヤル入力時）のメニュー

ライトメール作成		入力された電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-35ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-46ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-46ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-46ページ）。
クリア		最後に入力した番号（右端の番号）を削除する。

通話画面のメニュー（ダイヤルボタン表示中）

保留	通話を保留する（☞3-5ページ）。保留中は、保留解除になる。
パワーサーチ	一番電波の強い基地局を選択する（☞3-17ページ）。
自局番号表示	この製品に設定されている電話番号を表示する（☞3-19ページ）。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面のメニュー

ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-35ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-46ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞3-46ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞3-46ページ）を利用して電話をかける。
連絡先に登録	新規登録	選択している電話番号を新たに“連絡先”に登録する（☞3-20ページ）。
	追加登録	選択している電話番号を登録している“連絡先”のデータに追加で登録する（☞3-20ページ）。
伝言メモ再生		着信履歴画面で選択している電話番号に伝言メモが録音されている場合に、その伝言メモを聞ける。
1件削除		選択している履歴を削除する。
全件削除		各履歴画面で表示されている履歴をすべて削除する。

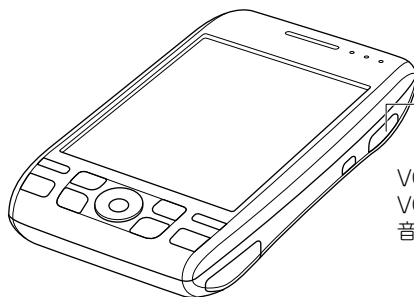
連絡先（電話番号選択）画面のメニュー

ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する（☞4-35ページ）。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-46ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス（☞3-46ページ）を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス（☞3-46ページ）を利用して電話をかける。

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする

着信音の音量を調節する

電話／ライトメール／メールの着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

●通話中以外、この製品の右側にある音量調節ボタンを押す。

● 通話中にこのボタンを押すと、相手の声の大きさが変わります。

●タイトルバーの にタップし、ボリュームを調節する。

「オフ」または「バイブレート」を選択すると消音になります。
「バイブレート」を選択しても、着信時のバイブレータは設定されません。バイブレータの設定は、「バイブレータの設定をする」（☞3-29ページ）をご覧ください。

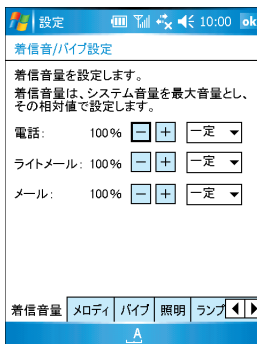
●着信音／バイブ設定画面(着信音量タブ)で変える。

着信音／バイブ設定画面の表示方法は、下記のメモをご覧ください。

● **着信音／バイブ設定画面の表示方法について**

1 スタートメニューの“設定”にタップし、設定画面で個人用タブにタップします。

2 “着信音／バイブ”にタップします。

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

3 各タブにタップします。

4 設定が終われば、ok にタップします。

設定が保存されます。

着信音のメロディを変える

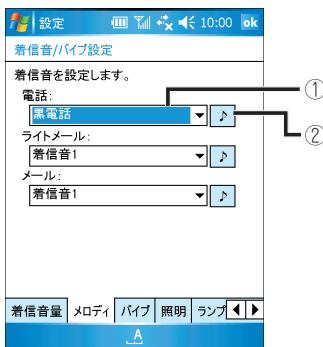
着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイルを着信音にできます(☞次ページ)。

メロディを変える

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **メロディ タブにタップします。**

電話、ライトメール、メールそれぞれに着信音のメロディを設定します。

① 着信音のメロディを選択します。
「黒電話」、「着信音1」などは、この製品に入っているメロディです。♪にタップするとメロディを再生します。途中で止めるには■にタップします。
「《ファイル参照》」を選択すると音楽ファイル選択画面が表示されますので、この製品に保存している音楽ファイルを選択できます(☞次ページ)。

② メロディを再生します。再生中は■になりますので、■にタップすると停止します。

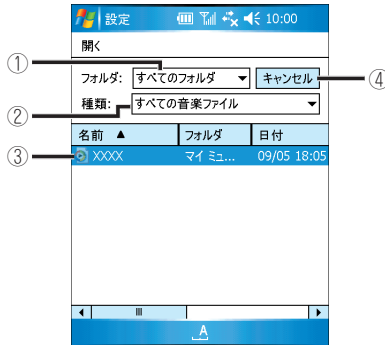
3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

3 電話

着信音などの設定

音楽ファイルを選択する

前ページで、「《ファイル参照》」を選択すると、この製品に保存している音楽ファイルを着信音として選択できます。

① フォルダを指定します。
タップして表示されたメニューからフォルダ(「マイミュージック」など)を選択したとき、そのフォルダ内の音楽ファイルのみ対象になります。「マイミュージック」内にフォルダを作りその中に音楽ファイルを保存しても、③のリストには表示されません。
保存しているファイルが表示されないときは、そのファイルが入っているフォルダを確認してください。
また、表示されるメニューの中で「すべてのフォルダ」とは、メニューに表示されている「テンプレート」から「個人用」のフォルダのことで、この製品内のすべてのフォルダではありません。

② ファイルの種類を指定します。通常は、変更する必要はありません。

③ ①と②の設定にしたがった音楽ファイルがリスト表示されます。
このリストから、着信音にしたいファイルにタップします。
タップすると自動的に前ページの画面に戻ります。再生するときは、前ページの♪にタップし、停止するときは■にタップします。
※miniSDカードに保存している音楽ファイルは着信音に設定できません。

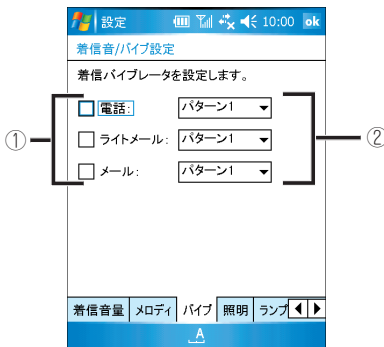
④ キャンセルにタップすると、音楽ファイルを選択せずに前ページの画面に戻ります。

バイブレータ（着信）の設定をする

バイブレータ（着信）の設定ができます。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **バイブタブにタップします。**

① 電話着信時、ライトメール受信時、メール受信時それぞれに、バイブレータのオン／オフを設定します。
チェックをつけるとバイブレータはオンになり、チェックを外すとオフになります。

② バイブレータのパターンを設定します。

3 **設定が終われば、okにタップします。**

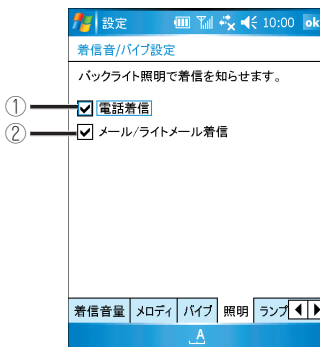
設定が保存されます。

着信時、照明(バックライト、キーボード)を点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、画面のバックライトを点灯したりキーボードのバックライトを点灯するようにします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **照明 タブにタップします。**

① 電話着信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードのバックライトも点灯します。

② メール／ライトメール受信時、バックライトを点灯する／しないを設定します。バックライトが点灯したとき、キーボードのバックライトも点灯します。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

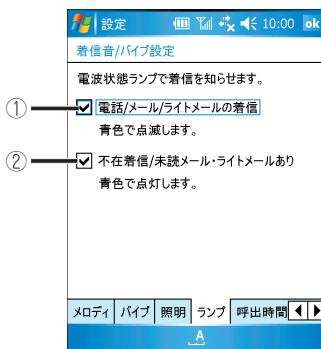
設定が保存されます。

電話着信／メール受信時、ランプを点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時や不在着信／未読メールがあったときに電波状態ランプ(☞1-2ページ)を青色に点滅または点灯します。
この設定をすると、電波強度の状態を示しているランプが一時的に電話着信／メール受信や不在着信／未読メールありを示すランプになります。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **ランプ タブにタップします。**

① 電話着信時やメール／ライトメール受信時、(電波状態)ランプを点滅する／しないを設定します(青色に点滅)。

② 不在着信があったときやメール／ライトメールを受信し未読のメールがあるときに点灯します(青色に点灯)。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

● 待ち受け時などで電波状態ランプを点灯しないようにする設定は、10-23ページをご覧ください。

メール受信時、着信音などによる呼び出し時間を設定する

メールやライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音やバイブレータなどの時間を設定します。
設定した時間を越えると、着信音やバイブレータなどは停止します。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“着信音／バイブ”にタップします。**

着信音／バイブ設定画面が表示されます。

2 **呼出時間タブにタップします。**

① ライトメール受信時、呼び出し時間を設定するのか、メロディタブ（☞3-27ページ）で設定した音を何回再生するのかを設定します。
設定した時間または回数だけ呼び出しを行います。

② ①と同様にメール受信時の呼び出し時間または再生回数を設定します。

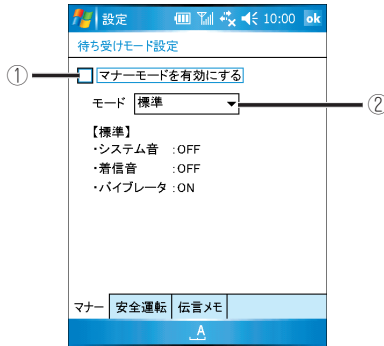
3 **設定が終われば、okにタップします。**

設定が保存されます。

マナーモードを設定する

マナーモードの設定を行います。

スタートメニューの“設定”にタップし、“待ち受けモード”にタップします。

待ち受けモード設定画面（マナータブ）が表示されます。

① マナーモードにする／しないを設定します。
※Today画面（待ち受け画面）でもマナーモードの設定ができます（☞1-13ページ）。

② マナーモードにしたときのモードの種類を選択します。
・標準
システム音※：OFF、着信音：OFF、バイブレータ：ON
・サイレント
システム音※：OFF、着信音：OFF、バイブレータ：OFF
・おやすみ
システム音※：ON、着信音：OFF、バイブレータ：OFF

※システム音とは、画面タップやアラーム、音楽などの再生音です。

設定が終われば、okにタップします。

設定が保存されます。

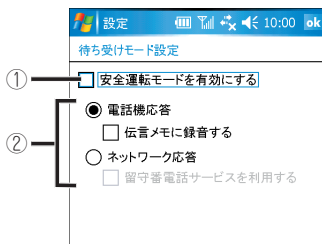
安全運転モードの設定をする

車を運転中などで電話にでることができない場合、安全運転モードにできます。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“待ち受けモード”にタップします。**

待ち受けモード設定画面が表示されます。

2 **安全運転 タブにタップします。**

待ち受けモード設定画面（安全運転 タブ）が表示されます。

① 安全運転モードにする／しないを設定します。

※Today画面（待ち受け画面）でも安全運転モードの設定ができます（☞1-13ページ）。

② 電話機応答、ネットワーク応答のどちらかを選択します（安全運転モードを有効にして（①にチェックを付けて）設定します）。

・電話機応答：この製品が応答します。

・「伝言メモに録音する」にチェックを付けると
この製品の伝言メモが応答し、「ただいま運転中のため、電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます（伝言メモが5件以内の場合）。

・チェックを付けないと
「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません。）

・ネットワーク応答：ウィルコムのネットワークが応答します。

・「留守番電話サービスを利用する」にチェックを付けていた場合
ウィルコムのネットワーク応答留守番電話サービスが応答し、相手のメッセージを録音します。

・チェックを付けないと
ネットワークが応答しアナウンスが流れます。
メッセージの録音はありません。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

設定が保存されます。

発信者番号通知などを設定する

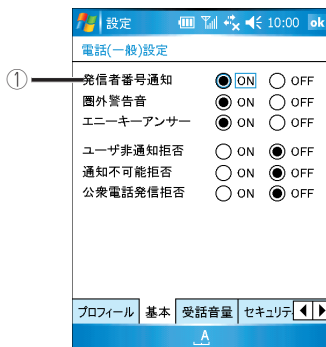
発信者番号の通知、圏外警告音、エニーキーアンサー、着信拒否などの設定をします。

発信者番号通知を設定する

電話をかけたとき発信者番号（自分の電話番号）を通知する／通知しないを設定します。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話（一般）”にタップします。**

電話（一般）設定画面が表示されます。

2 **基本 タブにタップします。**

① 発信者番号（自分の電話番号）を通知する／通知しない（非通知）の設定をします。
「ON」　：発信者番号を通知します。
「OFF」：発信者番号を通知しません（非通知）。

※圏外警告音、エニーキーアンサーなどについては次ページをご覧ください。

3 **設定が終われば、ok にタップします。**

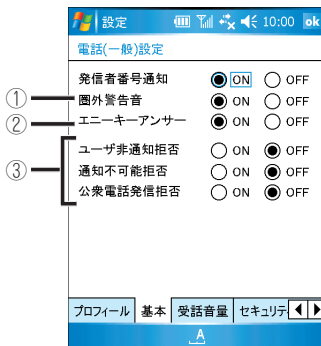
設定が保存されます。

圏外警告音、エニーキーアンサー、着信拒否を設定する

圏外警告音、エニーキーアンサー、着信拒否の設定をします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話(一般)”にタップします。**

電話(一般)設定画面が表示されます。

2 **基本 タブにタップします。**

① 圏外警告音を鳴らす/鳴らさないを設定します。

② エニーキーアンサーの設定をします。
エニーキーアンサーを「ON」にすると、着信時、PWRボタン以外のボタンやキーボードのキーを押しても電話が取れます。
たとえば、着信時、OKボタンを押したりキーボードのAキーを押すと、電話が取れます(相手と話しができます)。

③ 着信拒否を設定します。それぞれの項目を「ON」にすると着信拒否します。
・ユーザー非通知拒否(電話番号を非通知にしている電話)
・通知不可能拒否(相手が通知できないエリアや電話機)
・公衆電話発信拒否(公衆電話からの電話)

3 **設定が終われば、okにタップします。**

設定が保存されます。

●電話番号ごとに着信拒否は設定できません。

セキュリティをかける

通話／通信機能を制限する

通話や通信機能を制限します。この機能を設定すると、以下のことができなくなります。

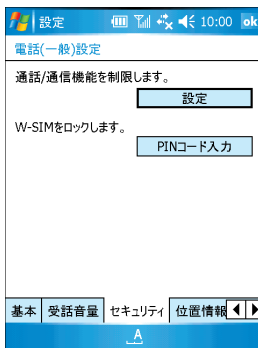
- 電話をかける
- ライトメールの送信
- メールの送受信
- インターネット接続
- USB接続(ActiveSyncを使った同期、この製品をモデムとして使用)
- 内蔵ワイヤレスLANを使った通信

■通話／通信機能を制限(ロック)する

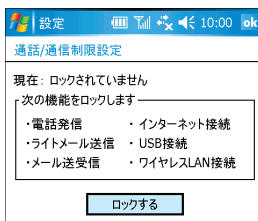
1 **この機能を使うためには、パスワードを設定する必要があります。最初に10-8ページをご覧になり、パスワードを設定してください。**

パスワードを忘れると、この製品が使えなくなりますので、ご注意ください。パスワードを設定後、次の手順に進んでください。

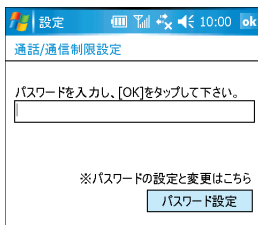
2 **スタート メニューの“設定”にタップし、“電話(一般)”にタップし、セキュリティ タブにタップします。**

電話(一般)設定画面(セキュリティ タブ)が表示されます。

3 **「通話／通信機能を制限します」の 設定 にタップします。**

3 電話

着信音などの設定

4 表示された画面で、ロックするにタップします。

5 表示された画面で、手順1で設定したパスワードを入力しokにタップします。

これで、ロックがかかります。
また、Today画面(待ち受け画面)にが表示されます(☞1-17ページ)。

- パスワードを設定せずに(手順**1**を行わずに)手順**2**以降を行うと、手順**4**の次に表示される画面でパスワードが設定されていない旨のメッセージが表示されますので、パスワード設定画面(☞10-8ページ)をご覧になりパスワードを設定してください。

■制限(ロック)を解除する

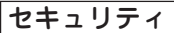
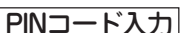
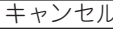
1 前ページの手順2〜3を行い表示された画面でロック解除にタップします。

2 表示された画面で、パスワードを入力しokにタップします。

ロックが解除されます。

■パスワードを変更する

1 パスワード画面(☞10-8ページ)を表示します。

パスワード画面を表示するときに、現在設定しているパスワードを入力する必要があります。

2 新しいパスワードを入力し、okにタップします。

W-SIMをロックする

■W-SIMをロックする

PINコードを設定するとW-SIMをロックして、PINコードを入力しないと通話、ライトメールの送信／受信、インターネット接続ができなくなります(PHS電話機能が使えなくなります)。※PINコードは、ご自分で設定できます。
通話／通信機能の制限では電話着信やライトメールの受信はできますが、W-SIMをロックすると電話を受けたりライトメールの受信もできなくなります。
PINコードやPUKコードについては、次ページのメモをご覧ください。

1 **3-37ページと同様にして、電話(一般)設定画面(セキュリティタブ)を表示します。**

2 **「W-SIMをロックします」のPINコード入力ボタンにタップします。**

3 **W-SIMロック設定画面が表示されますので、PINコードを入力します。入力できるPINコードは4桁〜16桁の数字です。確認のために、「確認」欄に同じPINコードを入力します。**

4 **設定にタップし、表示された画面でOKにタップします。**

5 **表示されたW-SIMロック設定画面で、OKにタップします。さらに、電話(一般)設定画面でOKにタップします。**

6 **PWRボタンを長く押し電源を切ります。**

W-SIMがロックされ、次回、電源を入れたときからPHS電話機能が使えなくなります。次からPWRボタンを長く押し電源を入れると、PINコード入力画面が表示されるようになります。

7 **電源を入れるとPINコード入力画面が表示され、(手順3で入力した)PINコードを入力し、画面右下の入力完了にタップします。**

W-SIMが一時的に解除され(一時解除)、PHS電話機能を使えるようになります。
PWRボタンを長く押し電源を切ると、再度、W-SIMがロックされます。
PINコードを入力せずに、画面左下のキャンセルにタップするとこの製品の“予定表”などのPIM機能のみ使うことができます。このようなときに電話やライトメールなどを行うには、ボタンを押して表示されたPINコード入力画面で、PINコードを入力してW-SIMを一時解除してください。PINコードの入力を間違ったときについては、次ページのご注意をご覧ください。

● PINコード／PUKコードとは

PINコードは、盗難などによって他人にこの製品を電話／ライトメールなどで使われないようにするために、W-SIMをロックする暗証番号です。
PINコードを忘れるとPHS電話機能が使えなくなりますので、絶対に忘れないようにしてください。
PINコードを忘れたときは、下記のご注意に記載しているようにPUKコードを入力します。このPUKコードはロックしたW-SIMを解除するためのコードです。PUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書をご覧ください。

■ロックを解除する（完全解除）

電源を切っても、W-SIMがロックされないようにします。

1 **電話（一般）設定画面（［セキュリティ］タブ）で［PINコード入力］ボタンにタップします。**

2 **表示された画面で、PINコードを入力し［解除］にタップします。**
ロックが解除され、PHS電話機能を使えます。

■PINコードを変更する

W-SIM一時解除中（☞前ページ）などPINコードが設定されているときに、PINコードを変更できます。

1 **電話（一般）設定画面（［セキュリティ］タブ）で［PINコード入力］ボタンにタップします。**

2 **［PINコード変更］にタップします。**

3 **「現在のPINコード」欄に現在のPINコードを入力します。そして、「新しいPINコード」欄に新しいPINコードを入力し、さらに「確認」欄に新しいPINコードを再度入力します。**

4 **［変更］ボタンにタップします。**

ご注意！

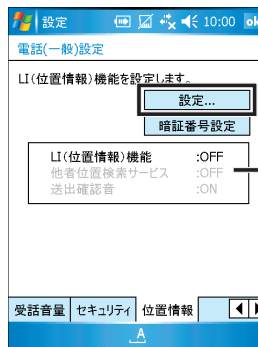
● ロックを解除するときなど、間違ったPINコードを10回入力するとPUKコードの入力が必要となりますので、PINコードを忘れないようにしてください。このPUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧になりPUKコードを入手し入力してください。

位置情報を通知する

位置情報通知機能とは、この製品が受信している複数の基地局の基地局情報をセンターに通知する機能です。
位置情報通知サービス会社などへ申し込む(有料)と、この機能を利用して位置情報サービスなどを受けることができます。

1 **スタートメニューの“設定”にタップし、“電話(一般)”にタップします。**

電話(一般)設定画面が表示されます。

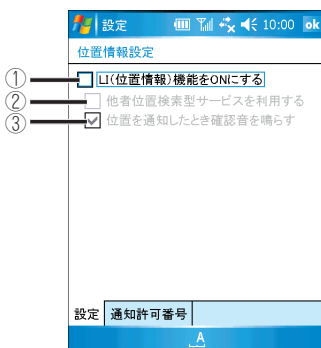
2 **位置情報タブにタップし、設定にタップします。**

3 **表示された画面で暗証番号を入力し、okにタップします。**

MEMO

- ご購入時、位置情報通知機能の暗証番号は「0000」(半角のゼロが4つ)が設定されています。
  変更するときは、手順**2**の画面で暗証番号設定ボタンにタップし、暗証番号設定画面で「現在の暗証番号」と「新しい暗証番号」を入力して設定にタップします(新しい暗証番号は、確認のために2回入力します)。

ご注意!

- 暗証番号を忘れるとこの機能は使えなくなります(完全消去してもご購入時の状態には戻りません)。紙にメモするなどして忘れないようにしてください。
- W-SIMを他の商品で使用し位置情報通知機能の暗証番号を設定している場合、そのW-SIMをこの製品に装着しても他の商品で設定した暗証番号が残っています。入力する暗証番号は、他の商品で設定したものを入力してください。

4 位置情報設定画面（設定タブ）で、位置情報の通知などを設定します。

①	LI（位置情報通知）機能のオン／オフを設定します。 チェックを付けると、LI機能がオンになります。
②	登録した通知許可番号（☞下記）から位置情報送出の要求があったときに、位置情報を通知する／しないを設定します。 チェックを付けると位置情報を通知します。
③	位置情報を通知したときに、確認音を鳴らす／鳴らさないを設定します。 チェックを付けると確認音が鳴ります。

通知許可番号とパスワードを登録する

上記手順**4**の画面で通話許可番号タブにタップし、この製品から送出した位置情報を受け取る番号（通知許可番号）を設定します（5つまで設定できます）。

それぞれの入力欄に通知許可番号と通知許可パスワードを入力します。
※通知許可パスワードは8桁までです。

ウィルコムのサービスを利用する

次のウィルコムのサービスを利用できます。

留守番電話サービス
・メッセージを確認する
・メッセージを聞く
・留守番電話サービスの設定を変更する

着信転送サービス

料金分計サービス
・料金分計で電話をかける

留守番電話サービスを使う

この製品の電源をオフにしているとき、すぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどにウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージを預かります。
このサービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。

留守番電話サービスについて
・メッセージの最大録音時間　：1件につき約60秒
・メッセージの最大保存件数　：20件
・メッセージの保存期間　：約73時間

このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・登録手数料　：無料
・月額料　：有料

メッセージを確認する

留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。

1 “電話”を起動します。

2 [1] [4] [1] [通話]にタップします。

3 数秒後、「ツー」という音を確認し、[PWR]を押します。

メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます。

MEMO

- この製品では、上記以外の方法として電話を切ったときに自動的に留守番電話サービスにメッセージがあるか自動的に確認をします。メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

メッセージを聞きます。

1 [＊] [9] [3] [1] [通話]にタップします。

留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

- **プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くとき**
  0077-780-931に電話をかけ、ガイダンスにしたがって操作します。このときお使いのこの製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。
- 手順**1**で[＊][9][3][1] の代わりに[＊][9][3][1][1] にタップしてもメッセージを聞くことができます。このときは、録音されたメッセージを聞く前に、発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。ただし、発信者の電話機によっては電話番号を聞くことができない場合もあります。

ご注意！

- 留守番電話サービスでは、ライトメールを受け取ることはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

留守番電話サービスの設定を変更できます。

・受付時間 ： 5:00～24:00（年中無休）

1 [1] [4] [3] [通話]にタップします。

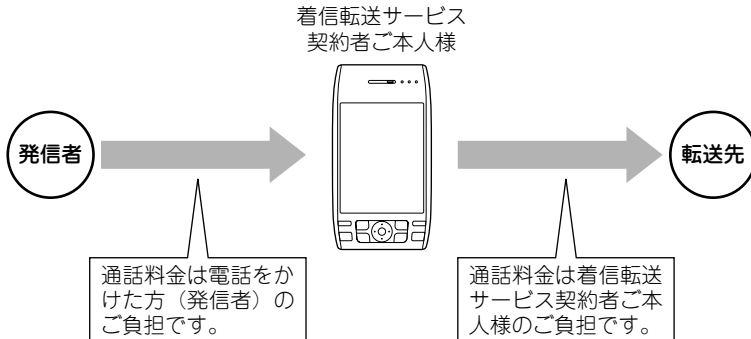
留守番電話サービスにつながります。ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO

- 一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけ、設定の変更ができます。

着信転送サービスを使う

着信転送サービスは、この製品の電源をオフにしているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。
転送先は他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話などから選択できます。
このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込　：不要
・月額料：無料

MEMO

- このサービスは、留守番電話サービスと同時に利用できません。
- 海外への転送は対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 「留守番電話サービスの設定を変更する」（☞ 前ページ）と同じ番号に電話をかけ、設定を変更できます。

料金分計サービスを使う

料金分計サービスは、通話料金の請求先を2箇所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。
料金分計サービスを使わないときはご契約者(主計先)へ通話料金の請求、料金分計サービスを使うときはあらかじめ登録した分計先へ通話料金の請求となります。
このサービスは有料です。また、このサービスを使うにはあらかじめ契約が必要です。くわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・月額手数料　：有料

料金分計で電話をかける

1 **“電話”を起動します。**

2 **電話番号を入力します。**

3 **画面右下の［メニュー］－［通話］－［分計発信］にタップします。**
電話がかかります。

4 **通話を終えるときは、［PWR］ボタンを押します。**
電話が切れます。
この通話にかかった料金は登録した分計先へ請求されます。

MEMO

- 料金分計は、上記の手順を毎回行います。
- 手順**3**で、電話番号の通知／非通知の設定によって、184分計発信または186分計発信を選択できます。
  たとえば、自分の電話番号を通知する設定にしている場合、手順**3**での［メニュー］－［通話］－［184分計発信］にタップすると、自分の電話番号を通知せず、さらに料金分計されます。
- ライトメールの分計料金サービスはご利用になれません。

4 メール

メール 4-2

ライトメール 4-34

メール

Windows Mobile 5.0 “メール”の基本動作について

Windows Mobile 5.0の“メール”はメールの送受信を行うと、サーバーとの間で同期（※1）を行うように設計されています。
つまり、メール送受信時、この製品の“メール”内の「受信トレイ」（※2）／「削除済みアイテム」とサーバーを同じ状態に保つようになっています。

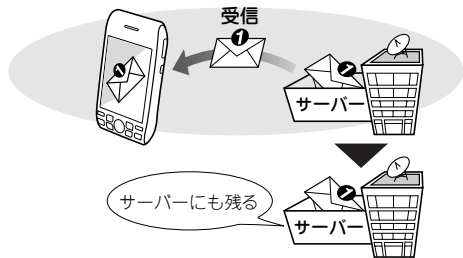
※1 この同期はActiveSync（☞8-2ページ）を使った同期とは異なります。
※2「受信トレイ」のみ同期の対象になります。「受信トレイ」内に新規フォルダを作るとそのフォルダは同期の対象にはなりません。Eメール（ウィルコム）のメール受信では、「受信トレイ」内に「受信済みアイテム」フォルダができ、その中に受信メールが入り同期の対象にはなりません。

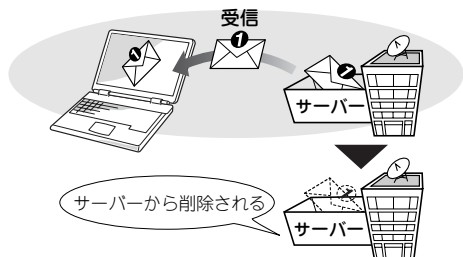
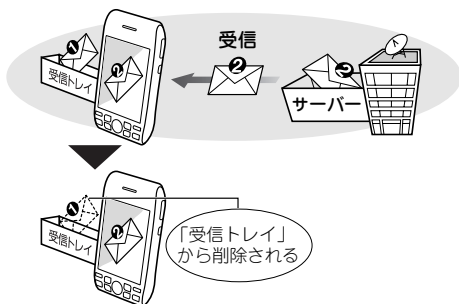
サーバーとの同期によって、次のようなことが起こります。

・この製品の「受信トレイ」のメールが削除される
（「この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき」（☞下記））
・サーバーからメールが削除される
（「この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき」（☞次ページ））

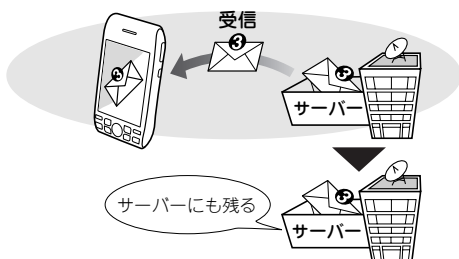
これらについて、以下から次ページに詳細を説明していますのでご覧ください。

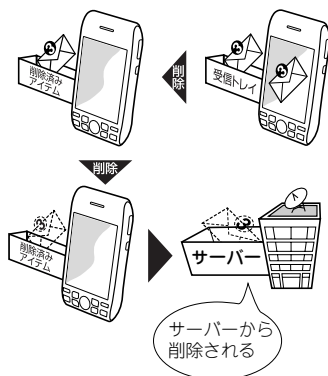
この製品とパソコンなどで同じメールを受信したとき

①この製品でプロバイダーのメールを受信します。

②パソコンで同じプロバイダーのメールを受信（パソコンの設定は、「メール受信時、サーバーからメールを削除する」）サーバーからメールが削除されます。

（次ページへ）

③この製品でプロバイダーのメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。この製品には残っているがサーバーからは削除されているメールは同期がとられ、この製品の「受信トレイ」から削除されます。

● この同期はプロバイダーメール(☞4-21ページ)の送受信で行われます。

この製品の「削除済みアイテム」からメールを削除したとき

①この製品でメールを受信します。

②この製品で受信メールを「削除済みアイテム」フォルダから削除します(☞4-22ページ)。

③この製品でメールを送受信します。
サーバーとこの製品の間で同期が行われます。サーバーには残っているが、この製品の「削除済みアイテム」フォルダから削除されたメールは同期がとられ、サーバーから削除されます。

● この同期は、プロバイダーメール／Eメールウィルコム(☞4-21ページ)の送受信で行われます。

メールについて

この製品で利用できるメールには、次の2つがあります。

Eメール(ウィルコム)	オンラインサインアップを行って取得したアカウントやメールアドレスを使って、PHS電話機能でインターネットに接続し、メールの送受信を行います。 ※Eメール(ウィルコム)を利用するには、オンラインサインアップが必要です(☞2-2ページ)。
プロバイダーのメール	ご自分で契約しているプロバイダーのアカウントやメールアドレスを使って、PHS電話機能または内蔵ワイヤレスLAN機能でインターネットに接続し、メールの送受信を行います。 ※プロバイダーのメールを利用するには、すでに契約されているプロバイダー情報(メールアドレスなど)の設定が必要です(☞2-18ページ)。また、インターネットに接続するための設定が必要な場合もあります(☞2-24ページ)。

ご注意!

- HTMLメールの送受信はできません。
- 携帯電話などから送られてきた絵文字には対応していません。
- 絵文字が含まれるメールを受信したときは絵文字が他の記号などに置き換わる場合があります。また、受信したメールの種類によっては、本文ではなく添付ファイルとして受信します(添付ファイルの内容は表示できません)。
- 通話中にPHS電話機能を使ってメールの送受信をすることはできません。
- PHS電話機能を使ってメール送受信したあと回線を切断しないと、インターネットに接続した状態になっているため電話の発信/着信はできません。メール送受信の操作を行ったあとは、回線を切断してください。
- 内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってメールの送受信を行う場合は、アクセスポイントに接続できる設定/環境が必要です。

Eメール(ウィルコム)とプロバイダーのメールの違いについて

使用されるメールアカウントによって、以下の設定や仕様が異なります。

	Eメール（ウィルコム）	プロバイダーのメール
接続先	ウィルコム	・ウィルコム ・プロバイダー（☞2-24ページ）
サーバー	ウィルコム	加入のプロバイダー （☞2-24ページ）
接続の設定	オンラインサインアップ （☞2-2ページ）	ワイヤレスLANや プロバイダーの設定 （☞2-5、2-24ページ）
メールの自動受信	サーバーにメールが届くと、自動的に受信される※1 （☞4-23ページ）	一定間隔でサーバーをチェックし、メールを受信※2 （☞2-21ページ）
サーバーから削除する／しないの設定	有 （☞4-23ページ）	無※5
ワイヤレスLAN接続での送受信	×	○
送受信の容量制限	1MBまで（添付ファイル含む）	プロバイダーの設定に準じる
Today画面の表示（未読メッセージなしのとき）	「未読Eメール（ウィルコム）はありません」 （☞1-14ページ）	「未読メッセージはありません」 （☞1-14ページ）
アカウントの表示※3	電話番号（変更不可）※4 （☞2-4ページ）	任意で設定可能 （☞2-18ページ）
受信したメールが保存されるフォルダ	「受信トレイ」内の「受信済みアイテム」フォルダ	受信トレイ

※1：以下の状態では、自動受信されない場合があります。
- ・PHS電話機能でインターネットに接続中
- ・内蔵ワイヤレスLAN機能でネットワークに接続中
- ・ActiveSyncによる同期中
- ・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※2：一度サーバーのチェックを行うと、チェックのあと回線は自動的に切断されずインターネットに接続したままになり、回線を切断しないと電話の発信や着信ができなくなります。回線切断忘れを防止するためにも、この設定は使用しないようにすることをおすすめします。

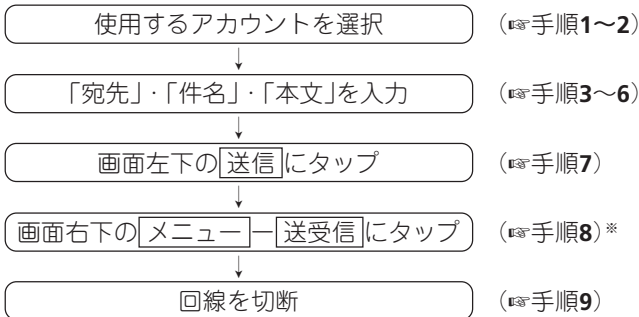
※3：ご購入時、「Outlookメール」というアカウントがあります。このアカウントは、ActiveSyncを使ってパソコンと同期するためのものです。「Outlookメール」アカウントを使ってメールの送受信はできません。

※4：Eメール（ウィルコム）の設定を変更や削除してしまったときは、再度オンラインサインアップを行うと同じメールアドレスなどの情報を再設定することができます。

※5：サーバーからメールを削除するときは、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除したのちメールの送受信を行います（☞4-3ページ）。

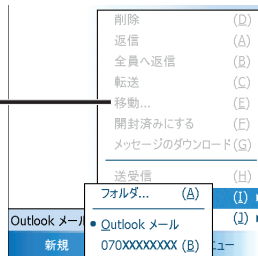
メールを作って送る

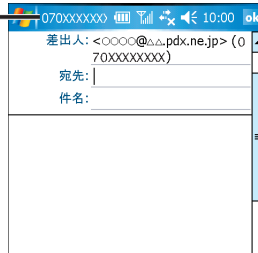
メールを作って送信します。

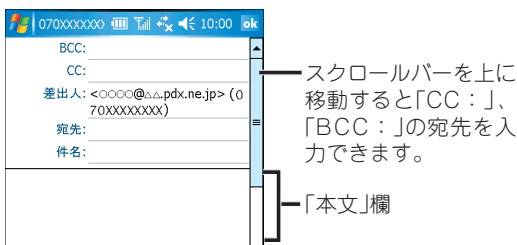
メールを送るまでの流れ

※送受信を行い、正常に送信されたことを確認してください。

1 **スタート メニューの“メール”にタップします。**

「受信トレイ」一覧画面が表示されます。

2 **画面右下の メニュー ー 移動 にタップし、メールを送りたいアカウントを選択します。**

3 **画面左下の 新規 にタップします。**

新規メールの作成画面が表示されます。

4 宛先を入力します。

宛先の項目にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

・宛先に直接、キーボードを使って入力します。
・メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（；）で区切って入力します。
・この製品の“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力することができます（あらかじめ“連絡先”に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、次ページの「宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。

MEMO
●「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC：」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように配信されます。

5 「件名」欄にタップし、件名を入力します。

ご注意！
●送受信するメールの件名が全角で19文字以上になると件名が文字化けする場合があります。
件名は、全角18文字（半角36文字）までにしてお使いください。

6 「本文」欄にタップし、本文を入力します。

MEMO
●よく使う文章をマイ テキストから選択して、入力できます。 画面右下の［メニュー］－［マイ テキスト］にタップするとマイ テキストに登録されている文章一覧が表示されます。
文章にタップすると、その文章が入力されます。
また、［マイ テキスト メッセージの編集］にタップし、メッセージを編集したり、新しいテキストを作成することができます（☞4-29ページ）。

7 画面左下の［送信］にタップします。

・作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
・送信ではなく「下書き」フォルダに保存するときは、ok にタップし、確認メッセージで［はい］にタップするか、画面右下の［メニュー］－［下書きに保存］にタップします。

8 **画面右下の メニュー － 送受信 にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。

9 **ネットワークを切断します。**

- **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**

  タイトルバーの⇄にタップし、切断 をタップします。または、PWR ボタンを押します。

  タイトルバーの⇄が⇄xになります。

  PWR ボタンを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

- **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**

  2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

- 手順**7**の 送信 にタップしただけでは、メールは送信されません（送信フォルダに保存されるだけです）。メールを送信するときは、必ず手順**8**の メニュー － 送受信 をタップしてください。

宛先入力時、“連絡先”に登録しているメールアドレスを利用する

1 **新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。**

2 **以下のどちらの方法で宛先を選択します。**

- **画面右下の メニュー － 受信者の追加 にタップします。**

  メールアドレスを入力している“連絡先”が一覧表示されますので、宛先にしたい連絡先にタップします。

- **宛先の項目に名前やメールアドレスの先頭の数文字を入力（1文字だけでも可能です）し、メニュー － 宛先の確認 にタップします。**

  “連絡先”に登録している名前やメールアドレスを検索して結果を表示しますので、目的の宛先にタップします。

  ※この方法を使うときは、あらかじめオプション画面（アドレス タブ）で、「送信先に設定する連絡するフィールド」が「すべての電子メールのフィールド」になっていることを確認してください（☞4-28ページ）。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **4-6～7ページの手順1～6の方法で、メールを作成します。**

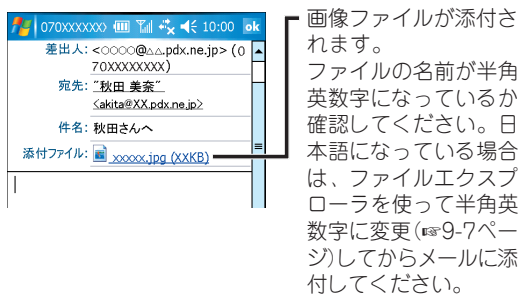
2 **画面右下の メニュー － 挿入 にタップし、表示されたメニューから 画像 、 ボイスメモ 、 ファイル のいずれかにタップします。**

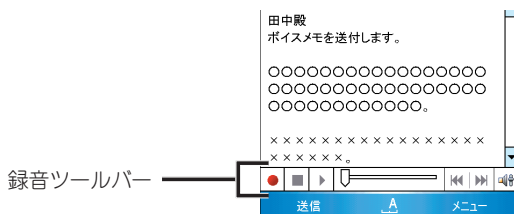
■画像を添付する場合

1 マイ ピクチャフォルダ内の画像ファイルが表示されます。
フォルダを切り替えるときは、「マイ ピクチャ」にタップし、表示されたメニューから別のフォルダにタップします。

2 画像にタップします。

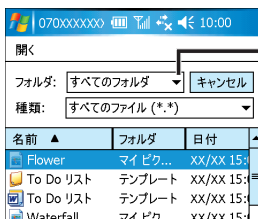
3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.jpg (xxKB)」などが表示されます。

画像ファイルが添付されます。
ファイルの名前が半角英数字になっているか確認してください。日本語になっている場合は、ファイルエクスプローラを使って半角英数字に変更（☞9-7ページ）してからメールに添付してください。

■ボイスメモを添付する場合

1 メール新規作成画面の下部に録音ツールバーが表示されます。

2 [●] ボタンにタップすると録音が始まります。

3 この製品のマイク(送話口)に自分の声などを録音します。

4 [■] ボタンにタップすると録音が終了し、録音したファイルが自動的に添付されます(「添付ファイル：xxxxx.wav(xxKB)」など)。

■ファイルを添付する場合

1 ファイル選択画面が表示されます。

2 リストから目的のファイルにタップします。

3 メールの新規作成画面に戻り、「添付ファイル：xxxxx.XLS(xxKB)」などが表示されます。

3 画面左下の[送信]にタップします。

・作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。

・送信ではなく「下書き」フォルダに保存するときは、ok にタップし、確認メッセージで[はい]にタップします。

4 画面右下の[メニュー]－[送受信]にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、自動的にメールサーバーにある未読メールを受信します。

5 ネットワークを切断します。

● **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**

タイトルバーのにタップし、[切断]をタップします。または、[PWR]ボタンを押します。

タイトルバーのがxになります。

[PWR]ボタンを押した場合は、Today画面(待ち受け画面)に戻ります。

● **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**

2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

まとめてメールを送る

送信トレイに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。

1 **4-6～7ページの手順1～6の方法でメールを作成し、画面左下の[送信]にタップします。**

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。

2 **引き続き別のメールを作成し、画面左下の[送信]にタップします。**

作成したメールは、「送信トレイ」フォルダに保存されていきます。

3 **画面右下の[メニュー]－[送受信]にタップします。**

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールをすべて送信します。引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。

4 **ネットワークを切断します。**

- **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**

  タイトルバーのにタップし、[切断]をタップします。または、[PWR]ボタンを押します。

  タイトルバーのがxになります。

  [PWR]ボタンを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

- **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**

  2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

4 メール

メール

メールを受信する

メールを受信するには、自動的に接続して受信する方法と手動で接続して受信する方法の2つがあります。
設定できる受信方法や受信後のネットワーク切断方法など、アカウントごとに仕様が異なります。

Eメール(ウィルコム)
・自動受信&自動切断　(ご購入時の設定)　☞下記
・手動受信&手動切断　☞次ページ

プロバイダーのメール
・手動受信&手動切断　(ご購入時の設定)　☞次ページ

自動的に受信して自動的に切断する【Eメール(ウィルコム)のみ】

Eメール(ウィルコム)は、メールが届くと自動的にインターネットに接続してメールを受信し、受信が終わると自動的に切断します。
メールを受信すると着信音が鳴り、Today画面(待ち受け画面)に「未読メッセージ:○件」と表示され、タイトルバーに ✉ が表示されます(☞1-16ページ)。
受信したメールは、「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダに入ります。

- メールの自動受信をしないようにするには
オンラインサインアップで「自動受信しない」または「新着メール通知」に設定します(「新着メール通知」に設定するとEメールが届いたことを通知するライトメールを受信します)。
この製品のEメール(ウィルコム)設定画面(☞4-23ページ)で「自動受信する」のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「自動受信しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。
- Eメール(ウィルコム)は、受信後にサーバーからメールを削除します(ご購入時の設定)。
サーバーから削除しない設定へ変更するときは、4-23ページをご覧ください。

ご注意!

- **以下の状態では、自動受信されない場合があります。**
・PHS電話機能でインターネットに接続中
・内蔵ワイヤレスLAN機能でネットワークに接続中
・ActiveSyncによる同期中
・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など
※上記のような場合でも、「センターにEメールが有ります」というメッセージが表示される場合があります。この場合、プロバイダーのメールを受信する(手動で受信する)と同じ手順で受信してください(☞次ページ)。

手動で受信して手動で切断する【プロバイダーのメール／Eメール(ウィルコム)】

プロバイダーのメールは、次の方法で手動でインターネットに接続して、受信後に手動で切断します。また、Eメール(ウィルコム)もこの方法で受信できます。
・プロバイダーのメールの場合、受信したメールは「受信トレイ」に入ります。
・Eメール(ウィルコム)メールの場合、受信したメールは「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダに入ります。

MEMO
● プロバイダーのメールは、受信後もサーバーに残ります。サーバーから削除するときは4-21ページをご覧ください(サーバーから削除しない設定はありません)。
● Eメール(ウィルコム)の受信方法を、手動受信＆手動切断に変更するときは、Eメール(ウィルコム)設定画面で、「自動受信する」のチェックを外します(☞4-23ページ)。

1 **スタート メニューの“メール”にタップします。**

2 **画面右下の メニュー ー 移動 にタップし、メールを受信したいアカウントを選択します。**

3 **画面右下の メニュー ー 送受信 にタップします。**
ネットワークに接続され、センター(サーバー)にある未受信のメールが受信されます。
※プロバイダーのメールの場合、受信したメールは「受信トレイ」に入ります。サーバー上のメールの削除については、4-21ページをご覧ください。
Eメール(ウィルコム)を受信した場合は、「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダに入ります。

4 **ネットワークを切断します。**

● **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**
タイトルバーの⇄にタップし、切断 をタップします。または、PWR ボタンを押します。
タイトルバーの⇄が⇄xになります。
PWR ボタンを押した場合は、Today画面(待ち受け画面)に戻ります。

● **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**
2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

● **一定間隔で送受信を行ってメールを受信することもできます。**
以下の手順**1**、**2**の設定を行うと、一定間隔で“メール”を起動して自動的にネットワークに接続し、センター（サーバー）にある未受信のメールを受信します。
※この方法は一定間隔でメールが受信されますが、一度、ネットワークに接続した後はネットワークから切断されないため、充電池が消耗したり、電話などの着信ができない状態になりますので、この設定は使わないことをおすすめします。

1「アカウントを修正する／削除する」（☞2-23ページ）をご覧になり、オプション（1／3）画面（☞2-21ページ）で、「自動接続してメッセージをチェックする頻度」にチェックを付けます。**

2「分ごと」欄に、何分間隔で行うかを入力して設定します。

ご注意！

● **「受信トレイ」に入ったメールが消えるときは、以下のことが考えられます。**
・この製品とパソコンなどで同じメールを受信しているとき（パソコンの設定はメール受信時にサーバーからメールを削除するようにしている）この製品では、メールの送受信をするとサーバーとこの製品の間で同期を行います。4-2〜3ページで説明しているようにパソコンなどで同じメールを受信しサーバーから削除した後、次にこの製品を使ってメール送受信するとこの製品の「受信トレイ」のメールは削除されます。
「受信トレイ」に入っているメールを消したくないときは、「受信トレイ」から別のフォルダに移してください（☞4-25ページ）。
・「次の日数分のメッセージだけを表示する」設定にしているとき「アカウントを修正する／削除する」（☞2-23ページ）の電子メールのセットアップ（4/4）画面まで進み、オプションをタップしてオプション（2/3）画面で、「次の日数分のメッセージだけを表示する」にチェックをつけていると、設定した日数分のメッセージしか表示されません。チェックを外すか、日数を変更してください。

受信メールを見る

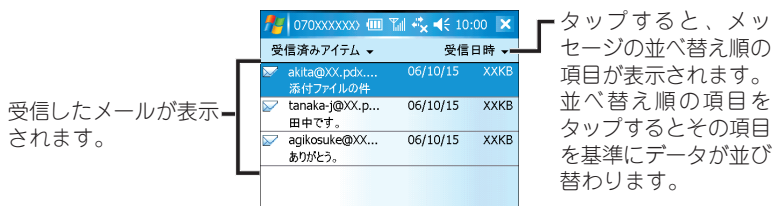
受信したメールは次のフォルダに入ります。
・Eメール(ウィルコム) :「受信トレイ」の中の「受信済みアイテム」フォルダ
・プロバイダーのメール :「受信トレイ」

「受信トレイ」一覧画面などで表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合		
次に送受信を行って全文または添付ファイルを取得する場合		

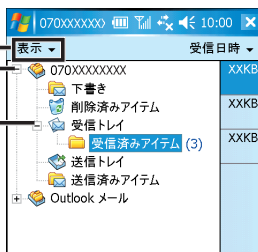
1 **画面左上の「送信トレイ」などにタップし、「受信済みアイテム」や「受信トレイ」を選択します(「受信済みアイテム」などの選択は下記MEMOをご覧ください)。**

受信したメールが表示されます。

タップすると、メッセージの並べ替え順の項目が表示されます。並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

- オンラインサインアップをしたときのアカウントや別のアカウントの受信メールを見るときは、以下のようにします。

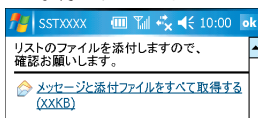
① ここにタップします。

② 見たいメールのアカウントを ― にします。

③ 次に + にタップし「受信済みアイテム」にタップします。

2 **見たいメールにタップします。**

メールの詳細が表示されます。

4 メール

● プロバイダーのメールで、メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信したメッセージが途中で切れているか、添付ファイルがあることを知らせています。

※ Eメール(ウィルコム)は、ご購入時の設定は、「メッセージの全文を取得する」(☞2-22ページ)になっています。この設定は変更しないでください。

ご注意!

● Eメール(ウィルコム)の場合は、「アカウントを修正する／削除する」(☞2-23ページ)の電子メールのセットアップ(4/4)画面まで進み、[オプション]をタップしてオプション(3/3)画面(☞2-22ページ)で、「メッセージヘッダーのみ取得する」にしてもサーバーからメールを削除します。「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されても次回の送受信ですべての取得は行われませんので、ご購入時の設定「メッセージの全文を取得する」にしてください。

メール(メッセージ)の全文／添付ファイルを取得する

この説明は、プロバイダーのメールに関するものです。

1 「受信トレイ」一覧画面で、続きのメッセージや添付ファイルを取得したいメール(メッセージ)をタップしたままにし、表示されたメニューから[メッセージのダウンロード]をタップします。

選択したメール(メッセージ)に が表示されます。

MEMO

● メールの詳細画面最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」をタップ、またはタップしたままにして、表示されたメニューから[メッセージのダウンロード]をタップして、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変更し、okにタップします(「受信トレイ」一覧画面で選択したメッセージに が表示されます)。
次回接続して電子メールを受信するときに、メール(メッセージ)と添付ファイルがダウンロードされます。

2 画面右下の メニュー － 送受信 にタップします。

手順1で が表示されたメッセージの全文と添付ファイルがダウンロードされます。

添付ファイルがダウンロードされると、 が表示され添付ファイルがダウンロードされたことを知らせます。

SSTXXXX 10:00
受信トレイ 受信日時
秋田 美奈 06/10/15 XXKB
添付ファイルの件
tanaka 06/10/15 3/XXKB
田中です。
阿木 浩介 06/10/15 3/XXKB
ありがとう。

3 ネットワークを切断します。

- **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**

  タイトルバーの にタップし、 切断 をタップします。または、 PWR ボタンを押します。

  タイトルバーの が x になります。

  PWR ボタンを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

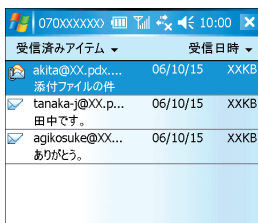
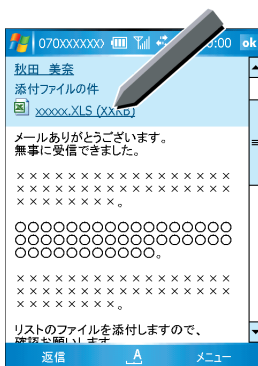
- **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**

  2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

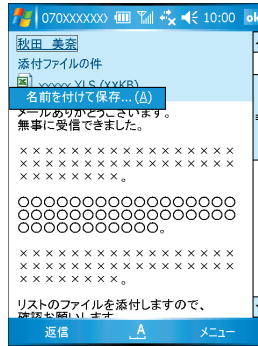
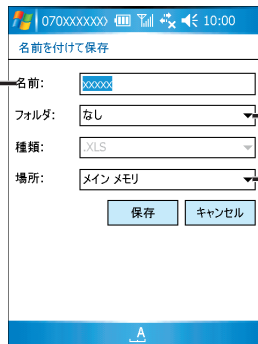
添付ファイルを見る／保存する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 「受信トレイ」一覧画面などで、添付ファイルを取得したメールをタップします。

2 添付ファイルをタップします。

● 手順**2**で添付ファイルにタップしても、正しく表示されない場合があります。このようなときは一旦保存(☞次ページ)してから見るか、1-26ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 添付ファイルをタップしたままにし、表示されたメニューから［名前を付けて保存］にタップします。

2 ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

3 ［保存］にタップします。

指定されたフォルダ、場所に保存されます。
格納場所として「メインメモリ」を選択された場合は、「My Documents」フォルダの選択されたフォルダに保存されます。

MEMO

- 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。くわしくは、9-7ページをご覧ください。

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

1 「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面などで、返信または転送するメールをタップします。

2 画面右下の［メニュー］－［返信］、［全員へ返信］または［転送］にタップします。

・［返信］を選択した場合　：メールを送信してきた人のみに返信します。
・［全員へ返信］を選択した場合　：送信者も含めて全員に返信します。
・［転送］を選択した場合　：元のメッセージを含めて、指定した宛先へ送信します。

MEMO

●**返信または全員へ返信する場合**
「受信トレイ」一覧画面などで、返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［返信］または［全員へ返信］にタップしても返信できます。

●**転送する場合**
「受信トレイ」一覧画面などで、転送するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［転送］にタップしても転送できます。

3 返信内容の入力または転送先（宛先）／転送内容を入力します。

4 画面左下の［送信］にタップします。

・メールは、「送信トレイ」フォルダに保存されます。
・［送信］ではなくokにタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。

5 画面右下の［メニュー］－［送受信］にタップします。

インターネットに接続し、「送信トレイ」フォルダに入っているメールを送信します。引き続いて、サーバーにある未読メールを受信します。

6 ネットワークを切断します。

● **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**

タイトルバーのにタップし、［切断］をタップします。または、［PWR］ボタンを押します。
タイトルバーのがxになります。
［PWR］ボタンを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

● **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**

2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

メールを削除する

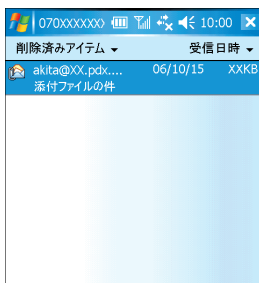
「受信済みアイテム」フォルダや「受信トレイ」などで削除し、「削除済みアイテム」フォルダに移ったメールを削除すると、この製品から完全に削除されます。また、「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを削除するとき、すべて削除する方法と1件ずつ削除する方法があります。
「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすぐに空にしたり、接続または切断するときに空にするなどの設定ができます（☞4-29ページ）。

ご注意！

- 「削除済みアイテム」フォルダから削除すると、次回のメール送受信によってサーバーと同期が行われサーバーに残っていたメールも削除されます。

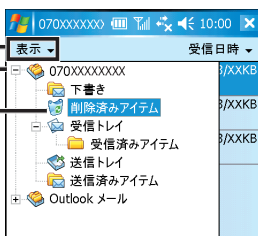
受信メールを削除する（「削除済みアイテム」フォルダに移す）

1 「受信済みアイテム」や「受信トレイ」一覧画面などで削除するメールを選択し、画面右下の メニュー － 削除 にタップします。

削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに移ります。

この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。この製品から削除するときは、「「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する」（☞次ページ）の操作を行います。

- 「受信トレイ」一覧画面で削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 にタップしても削除できます（「削除済みアイテム」フォルダに移ります）。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールをすべて削除する

1 **「削除済みアイテム」フォルダを表示します。**

「削除済みアイテム」フォルダ内が表示されます。

2 **画面右下の メニュー – ツール – [削除済みアイテム]を空にする にタップします。**

3 **表示された確認画面で はい にタップします。**

手順**1**で選択したアカウント内の「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールが削除されます。

「削除済みアイテム」フォルダに入っているメールを1件だけ削除する

1 **「削除済みアイテム」フォルダを表示し、削除するメールを選択します。**

2 **画面右下の メニュー – 削除 にタップします。**

3 **表示された確認画面で はい にタップします。**

手順**2**で選択したメールのみ削除されます。

MEMO

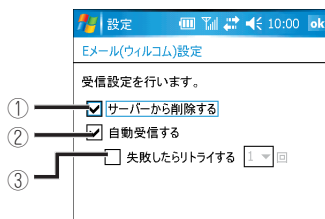
- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 を選択しても削除できます。

ウィルコムのサーバーにあるメールを削除する

Eメール(ウィルコム)のメールを受信したとき、ウィルコムのサーバーからメールを削除する/しないを設定します。
削除しないように設定すると、サーバーにメールがたまっていきますので、削除する設定にすることをおすすめします。

1 **スタート メニューの“設定”にタップし、設定画面(個人用 タブ)で “Eメール(ウィルコム)”にタップします。**

Eメール(ウィルコム)設定画面が表示されます。

2 **受信サーバーからメールを削除する/しないなどを設定します。**

① チェックを付ける	:Eメール(ウィルコム)のメールを受信したとき、ウィルコムのサーバーからメールを削除します(ご購入時は、チェックが付いています)。
チェックを外す	:Eメール(ウィルコム)のメールを受信してもメールは削除されません。 チェックを外したままにしておくとメールが溜まっていきますのでチェックを付けるか、「メールを削除する」(☞4-21ページ)をご覧になり定期的にサーバーから削除されることをおすすめします。
② チェックを付けると、自動受信(☞4-12ページ)します。	
③ 自動受信に失敗したときに、リトライ(再受信)する回数を設定します。この設定は、②にチェックを付けた後、③のチェックを付け回数を設定します。③のチェックが付いていないとリトライしません。	

● 上記のメール設定画面は、Eメール(ウィルコム)に対するものです。プロバイダーのメールをサーバーから削除する設定はありません。プロバイダーのメールをサーバーから削除するときは、「削除済みアイテム」フォルダから削除したのちメール送受信を行います(☞4-22ページ)。

3 **設定が終われば ok にタップします。**

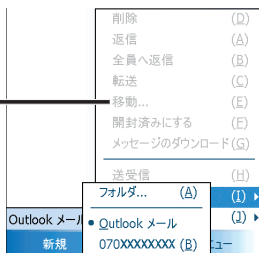
メールを整理する

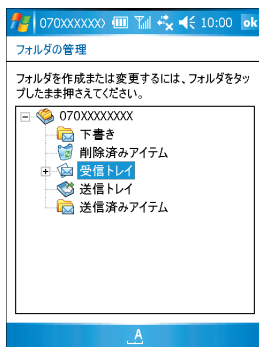
新規にフォルダを作って、受信メールを関連した仕事ごとなどに振り分けて整理できます。

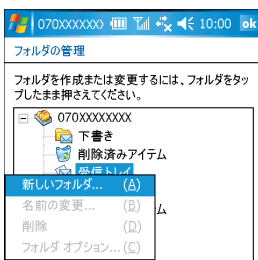
新規フォルダを作成する

まず、振り分けるためのフォルダを作成します。

1 **「受信トレイ」一覧画面などで画面右下の メニュー － 移動 にタップし、フォルダを作る「アカウント」を選択します。**

メールを他のフォルダに移動するときに使用します（☞次ページ）。

2 **画面右下の メニュー － ツール － フォルダの管理 にタップします。**

フォルダの管理画面が表示されます。

3 「フォルダの管理」画面内のフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 新しいフォルダ にタップします。

「受信トレイ」フォルダの下に新規フォルダを作るときは、「受信トレイ」フォルダをタップしたままにします。

●「受信トレイ」フォルダや「送信トレイ」フォルダと同じ階層にフォルダを作るときは、アカウント名をタップしたままにします。

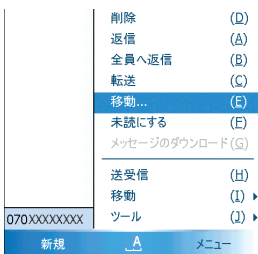
4 「新しいフォルダ」画面でフォルダの名前を入力し、ok にタップします。

入力した名前のフォルダが、手順**3**で選択した（タップしたままにした）フォルダの下に表示されます。フォルダの中にフォルダを作成すると、＋が表示されます。

＋にタップすると中のフォルダが見えます。

メールを別のフォルダに移動する

受信したメールなどを新しく作ったフォルダに移動します。

1 「受信トレイ」一覧画面などで移動するメールを選択し、画面右下の メニュー ― 移動 にタップします。

2 **移動画面で、移動先のフォルダを選択(反転)し、ok にタップします。**

移動先のフォルダに移動します。
移動先のフォルダとして、別のアカウント内のフォルダを選択することはできません。

● 移動するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから[移動]にタップしても移動できます。

フォルダの名前を変更する

1 **画面右下の[メニュー]－[ツール]－[フォルダの管理]にタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。**

2 **名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[名前の変更]にタップします。**

フォルダ名の変更画面が表示されます。

3 **名前を変更して ok にタップします。**

・既定のフォルダの名前は変更できません。
名前を変更できるのは、新規に作成したフォルダのみです。

フォルダを削除する

1 **画面右下の[メニュー]－[ツール]－[フォルダの管理]にタップし、「フォルダの管理」画面を表示させます。**

2 **削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]にタップします。**

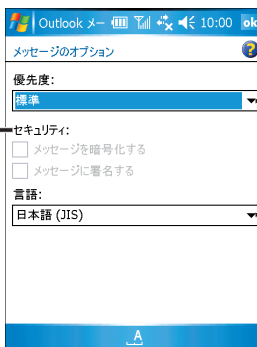
削除したフォルダが「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

・既定のフォルダは削除できません。
削除できるのは、新規に作成したフォルダのみです。
この操作では「削除済みアイテム」フォルダに移っただけで、この製品からは削除されていません。

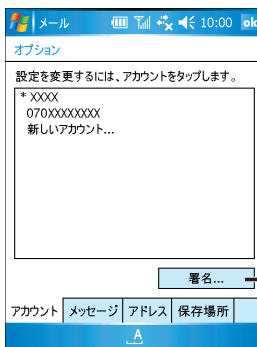
・**「削除済みアイテム」フォルダ内のフォルダを削除するときは**

1. 削除したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]にタップします。
2. 表示された確認画面で[はい]にタップします。

メッセージのオプション設定について

メールの新規作成画面などで、画面右下の メニュー − メッセージのオプション にタップします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

署名を作成する

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー − ツール − オプション − アカウント タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

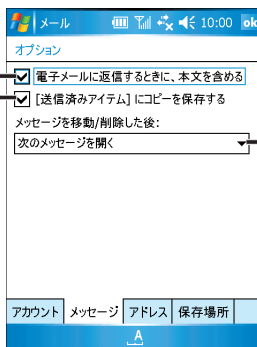
メール

署名を作成する

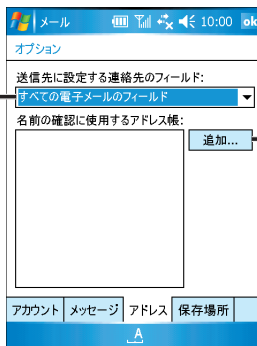
1 署名をタップします。
署名画面が表示されます。

2 署名に使用するアカウントを選択し、「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付けます。

3 署名を入力し、ok にタップします。
オプション設定の アカウント タブに戻ります。

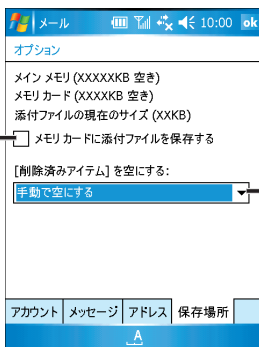
返信や送信時の動作を設定する

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メッセージ タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

連絡先のメールアドレスを宛先に使用する設定をする

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の メニュー － ツール － オプション － アドレス タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

添付ファイルの保存先や削除済みアイテムの削除方法を設定する

「受信トレイ」一覧画面などで、画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［保存場所］タブで以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

メール 10:00 ok
オプション
メイン メモリ (XXXXXKB 空き)
メモリ カード (XXXXKB 空き)
添付ファイルの現在のサイズ (XXKB)
メモリ カードに添付ファイルを保存する
[削除済みアイテム] を空にする:
手動で空にする
アカウント メッセージ アドレス 保存場所

メモリカード側に作業用として添付ファイルを保存し、本体メモリの空きを作ります。チェックを付けているときはメモリカードを取り付けてください。

［削除済みアイテム］を空にする方法を設定します。

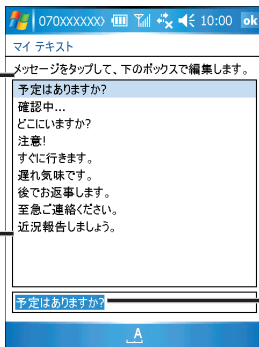
ご注意！

- 「メモリカードに添付ファイルを保存する」にチェックしても、miniSDカードに保存されたファイルは“メール”以外（ファイルエクスプローラなど）から開けません。またこのファイルを削除したり、miniSDカードを取りはずすと、添付ファイルが開けなくなります。
- Eメール（ウィルコム）の場合、［削除済みアイテム］を空にするの設定を「接続または切断するときに空にする」にしても削除されません。

マイテキストメッセージを編集する

新規メール作成画面の「本文」欄の入力で画面右下の［メニュー］－［マイテキスト］－［マイテキスト　メッセージの編集］をタップします。
編集が終わったら ok をタップしてください。

4
メール

メール

メール操作で困ったときは

こんなときは	ここをお確かめください
● 添付メールは何MBまで対応できますか？	● 仕様としての制限はありません。 本体メモリーの空き容量やサーバーによって異なります。 なおEメール（ウィルコム）での、添付可能なファイルサイズの上限は、約1MBです。
● メールアカウントは、複数設定できますか？	● 7件まで設定できます。 アカウントの設定方法については、2-18ページをご覧ください。
● 絵文字に対応していますか？	● Eメール（ウィルコム）およびプロバイダーのメールは対応しておりません。絵文字は送信／受信ともにお使いいただけません。
● miniSDカードに直接メールを受信できますか？	● miniSDカードに、直接、メールを受信することはできません。 また、受信後のメールをminiSDカードに移動／コピーすることもできません 。 添付ファイルのみ、データ保存領域をminiSDカードに設定することができます。
● ワイヤレスLAN接続時にEメール（ウィルコム）を受信しようとすると、「メッセージをモバイルデバイスにダウンロードできません…」というメッセージが表示され、受信できないのですが？	● Eメール（ウィルコム）は、ワイヤレスLAN接続時には送受信できません。 Eメール（ウィルコム）については、PHS電話機能で送受信するようお願いします。
● メールが文字化けする	● 長文のメールの場合、文字化けすることがあります。 改行を入れて文章を区切ったり、文章を短くしてください。

こんなときは	ここをお確かめください
● 設定したメールアカウントを削除する方法を教えてください。	● メールの一覧画面で メニュー ー ツール ー オプション から、削除したいアカウントをタップしたままにして表示されたメニューから 削除 ー はい にタップします。 ※一覧に表示された「電話番号」は削除しないでください。 この「電話番号」はオンラインサインアップで取得したEメール(ウィルコム)のアカウントです。 誤って削除してしまったときは、スタート ー オンラインサインアップ で、再度オンラインサインアップを行ってください。
● 長い件名のメールを送受信すると、件名が文字化けするときがあるのですが。	● 送受信するメールの件名が全角で19文字以上になると件名が文字化けする場合があります。件名は、全角18文字(半角36文字)までにしてお使いください。
● 加入しているプロバイダーのアカウント(Eメール(ウィルコム)以外のアカウント)のメールを受信後にサーバーから消す設定はできますか？	● プロバイダーのメールを受信した後に、サーバーからメールを削除する設定はありません。「削除済みアイテム」フォルダに入れたメールを削除([削除済みアイテムを空にする]を実行)してサーバーに接続すると、メールはサーバーから削除されます。 くわしくは、4-21ページをご覧ください。

メールのメニュー

新規作成／返信／転送画面のメニュー

項目		説明
受信者の追加		連絡先に登録しているメールアドレスを入力する（☞4-7ページ）。
挿入	**画像**	画像を添付ファイルとして添付する（☞4-9ページ）。
	ボイス メモ	録音したファイルを添付ファイルとして添付する（☞4-9ページ）。
	ファイル	ファイルを添付ファイルとして添付する（☞4-10ページ）。
マイ テキスト		よく使う文書を入力する（☞4-7ページ）。
宛先の確認		宛先を確認する。
下書きに保存		下書きに保存する（☞4-7ページ）。
メッセージの取り消し		メールの作成を取り消す。
メッセージのオプション		メッセージのオプションを設定する（☞4-27ページ）。

「受信トレイ」／「送信トレイ」／「下書き」／「送信済みアイテム」／「削除済みアイテム」フォルダのメニュー

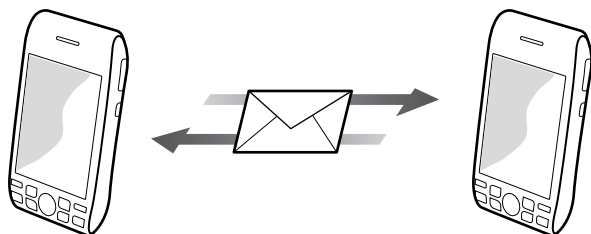
項目			説明
削除			メールを削除する（☞4-21ページ）。
返信			メールを送信してきた人のみに返信する（☞4-20ページ）。
全員へ返信			メールを全員に返信する（☞4-20ページ）。
転送			メールを転送する（☞4-20ページ）。
移動			メールを他のフォルダに移動する（☞4-25ページ）。
開封済みにする／未読にする			未読メールを開封済みに、開封済みメールを未読にする。
メッセージのダウンロード			メッセージの全文／添付ファイルを取得する（☞4-16ページ）。
送受信／送受信の停止			メールの送受信をする。／メールの送受信を停止する。
移動			アカウントを切り替える。
ツール	**並べ替え**	**メッセージの種類**	メッセージの種類別で表示する。
		差出人	差出人順で表示する。
		受信日時	受信日時順で表示する。
		件名	件名順で表示する。
	フォルダの管理		フォルダを作成／変更する（☞4-24、4-26ページ）。
	[削除済みアイテム]を空にする		「削除済みアイテム」フォルダ内のすべてを削除する（☞4-22ページ）。
	XXXXをクリア		選択中のアカウントの「受信トレイ」、「送信済みアイテム」フォルダ内のメッセージをすべて削除する。
	新しいアカウント		新しいアカウントを設定する（☞2-18ページ）。
	オプション		オプション設定画面を表示する（☞4-27ページ）。

受信メール詳細画面のメニュー

削除	メールを削除する（☞4-21ページ）。
返信	メールを送信してきた人のみに返信する（☞4-20ページ）。
全員へ返信	メールを全員に返信する（☞4-20ページ）。
転送	メールを転送する（☞4-20ページ）。
移動	メールを他のフォルダに移動する（☞4-25ページ）。
未読にする	開封済みメールを未読メールにする。
メッセージのダウンロード	メッセージの全文／添付ファイルを取得する（☞4-16ページ）。
連絡先に保存	連絡先にメールアドレスを保存する。
送受信	メールの送受信をする。
言語	言語を切り替える。

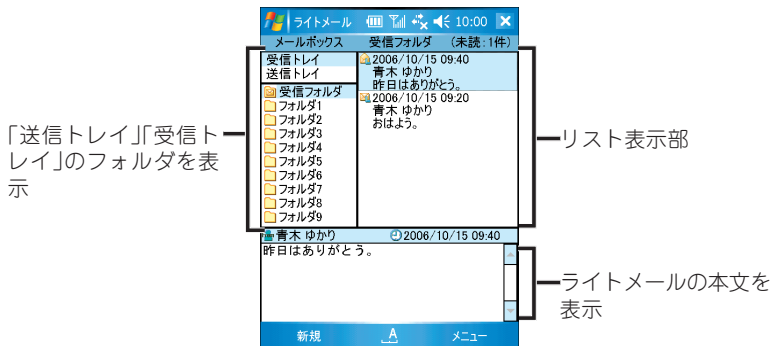
メール

ライトメール

ライトメール対応機種どうしでメールのやりとりができます。
ライトメールは、本文が全角45文字（半角90文字）までのメールを送信できます。
ライトメールは、インターネットを経由しないで相手の電話番号を宛先に指定します。

ライトメールを作って送る

ライトメールを作って送ります。

1 ボタンを長く(約2秒)押します。

"ライトメール"が起動します。

MEMO

- ご購入時、ライトメールの画面は3分割されています(「送信トレイ」/「受信トレイ」のフォルダ部、リスト表示部、ライトメール本文)。これを2分割にして、フォルダ表示を隠すことができます。表示の切り替えについては、4-41ページをご覧ください。
  ここでは、3分割画面を例に説明します。

2 画面左下の 新規 にタップします。

新規作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄にタップしてカーソルを表示し、直接、電話番号(宛先)を入力します。

MEMO

- "連絡先"に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-46〜48ページをご覧ください。

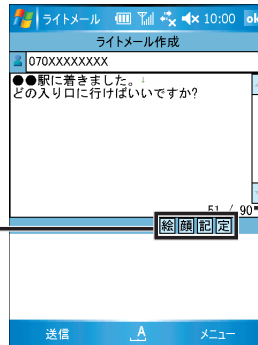
4 メール

ライトメール

本文入力欄にタップしてカーソルを移動し、本文を入力します。

入力できる文字数は全角45文字(半角90文字)です。画面右下に、入力した文字数を表示します。

タップすると絵文字などを入力するボードが表示されます。

絵：絵文字が入力できます。
顔：顔文字が入力できます。
記：記号が入力できます。
定：定型文が入力できます。
(☞4-49ページ)

入力した文字数を表示します。
分母の90は、半角90文字のことです。全角1文字を入力すると、2つ数字が増えます。

5 本文の入力が終わったら、画面左下の 送信 にタップします。
メールが送信されます。送信したメールは送信済フォルダに入ります。

- 相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい にタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、 いいえ にタップし送信待フォルダに入れます。あとでこのメールを再送信する方法については4-44ページをご覧ください。
- 通話／通信機能を制限(☞3-37ページ)しているときは、ライトメールの送信はできません。
- メールの作成を途中で止めるときは、画面右下の メニュー － 編集中止 にタップします(画面右上の ok にタップしても同様の操作になります)。表示されたメッセージで はい にタップすると下書きフォルダに保存されます。ここで いいえ にタップすると作成中のメールは保存されません。

- 入力できる宛先(電話番号)は、1つだけです。複数の相手を宛先にできません。
- ライトメールでは分計発信はできません。
- ライトメールを送信するとご購入時は相手に自分の電話番号を通知するように設定されています。この設定を変える(常に通知しないようにする)には、3-35ページをご覧になり設定を変更してください。
  また、1回だけ電話番号を通知しないようにするときは、画面右下の メニュー － 184送信 にタップします。
- ライトメール作成中に電話がかかってきたとき、その電話に出て終話のあとはToday画面(待ち受け画面)に戻りますが、作成中の状態を保持しています。

受信したライトメールを読む

1 ライトメールを受信すると、着信音が鳴ります。

また、Today画面（待ち受け画面）に「未読ライトメール：X件」と表示され未読のライトメールがあることが分かります（☞1-14ページ）。

2 ✉ボタンを長く（約2秒）押して、“ライトメール”を起動します。

3 読みたいメールを選択します。

ライトメールの本文が画面下部に表示されます。

：未読メール

：既読メール

4 別のライトメールを読むときは、別のメールにタップします。

- **メール本文のURL/Eメールアドレス/電話番号を利用する**

  メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメールの作成や連絡先への登録ができます。

  1 URL/Eメールアドレス/電話番号をタップします。

  2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合 「mailto:」に続く半角英数字列1～64文字 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#・*などの記号
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号

4 メール ライトメール

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作りかけたメールを送信せずにいったん保存し、あとで追加や修正し送信できます。

メールを下書きとして保存する

1 4-35〜36ページの手順1〜4と同様にメールを作ります。

2 画面右下の[メニュー]ー[編集中止]にタップします。

MEMO
- 画面右上の ok にタップしても同様の操作になります。

3 表示された確認画面で、[はい]にタップします。
[いいえ]にタップすると、保存されません。

作りかけていたメールが下書きフォルダに入ります。このメールは送信されずに、下書きメールとして保存されます。
また、[キャンセル]にタップすると、メール作成画面に戻ります。

下書きとして保存しているメールに追加や修正し送信する

1 送信トレイ画面(☞4-43ページ)を表示し、下書きフォルダにタップします。

下書きフォルダに入っているメールが表示されます。

2 編集するメールにタップし、画面右下の[メニュー]ー[編集]にタップします。

3 メール本文の追加や修正をします。

4 画面左下の[送信]にタップします。

メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

保存できるライトメールの件数

この製品に保存できるライトメールには、次のような制限があります。

保存できる件数

・受信ライトメール：最大200件まで保存できます。
・送信ライトメール：最大100件まで保存できます。
※送信ライトメールは、送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールすべての合計が最大100件です。

最大件数を超えて受信したり送信した場合

・最大件数を超えて受信すると、保護ライトメール（※）を除いて一番古い既読ライトメールから削除され、既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから自動的に削除されていきます。
このようなときは、未読メールを読み既読メールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
・送信時も最大件数を超えて送信すると、未送信メールと保護ライトメール（※）を除き、一番古いメールから自動的に削除されます。
ただし、未送信メールが50件、保護メールが50件など（保存件数が最大で削除されないメールのみの状態）では、新規メールの作成はできません。このようなときは、未送信メールを送信して送信済みのメールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
※削除したくないメールがあるときは保護し、削除されないように設定できます。保護の設定については次ページをご覧ください。

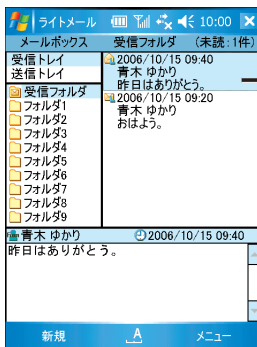
ライトメールを保護する／保護を解除する

受信したライトメールや送信したライトメールは受信フォルダや送信済フォルダなどに入り、この製品に保存されます。
しかし、保存されるライトメールの件数には制限があり、この制限を超えてライトメールを受信したり送信すると古いライトメールから削除されます（この制限については、前ページをご覧ください）。
削除したくないライトメールは保護設定することにより、削除されずにフォルダに残ります。

保護する

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **保護するライトメールを選択し、画面右下の メニュー ー 保護 にタップします。**

保護されたメールには、 が表示されます。

- 手順**2**で保護するライトメールを必ず選択してください。送信済フォルダや送信トレイなどが選択されていると、メニュー ー 保護 は表示されません。

保護を解除する

1 **保護しているメール（ が表示されているメール）を選択します。**

2 **画面右下の メニュー ー 保護 にタップします。**

保護が解除され、 が消えます。

3分割画面と2分割画面を切り替える

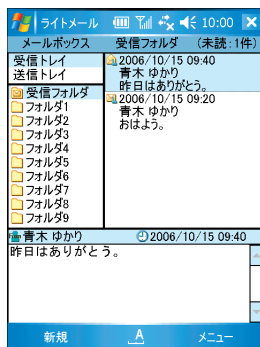
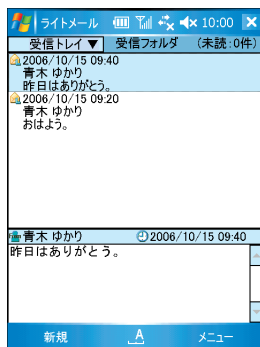
ご購入時、ライトメールの画面は3分割されています。これを2分割にしてフォルダ表示を隠すことができます。

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示し、画面右下の メニュー ー 設定 にタップします。

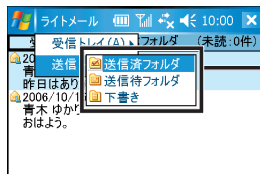
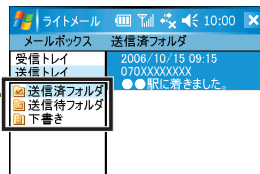
2 その他設定 タブにタップし、「表示設定」の項目を 2分割画面 または 3分割画面 に切り替えます。

3 ok にタップします。

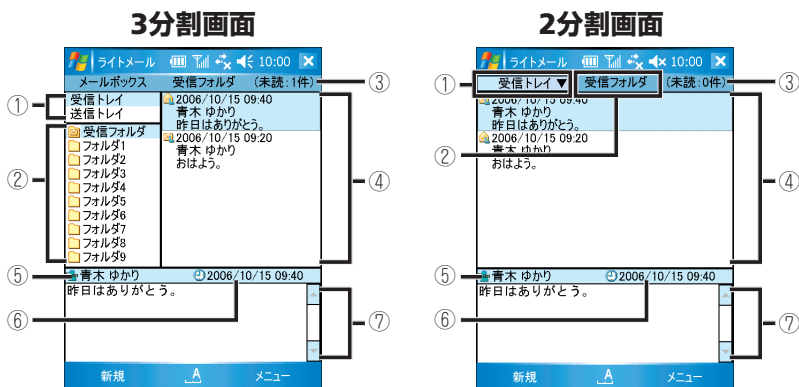
画面が切り替わります。

3分割画面

2分割画面

2分割画面でフォルダを切り替える

1 2分割画面で画面左上の 受信トレイ などにタップし、表示されたメニューからさらに 送信トレイ などにタップし、送信済フォルダ などにタップします。

2分割画面のとき

3分割画面のとき

ライトメールの画面について

ここでは、ライトメールの画面について説明します。

受信トレイ画面

3分割画面

2分割画面

① 3分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
2分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。
切り替え方法は、前ページの「2分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 3分割画面：受信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。
2分割画面：前ページの「2分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。

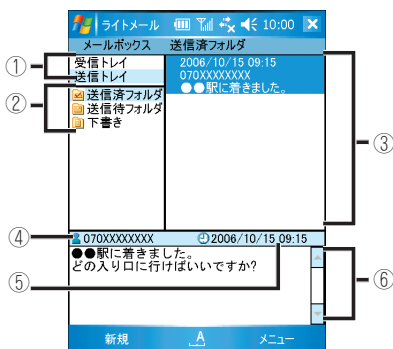
③ ②で選択しているフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

④ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。④でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の メニュー － 行数切替 － 1行表示 または 3行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を受信した順、差出人（電話番号）にできます。メニュー － 並び替え － 受信順 または 差出人順 を選択します。

⑤ 送信者の電話番号を表示します。
・“連絡先”に送信者の電話番号があるときは、その名前を表示します。
・相手が電話番号を通知していないときは、「非通知」と表示されます。
・相手が通知できないエリアや電話機からのときは、「通知不可能」と表示されます。
・公衆電話からのときは、「公衆電話発信」と表示されます。

⑥ 受信日時を表示します。

⑦ 受信したライトメールの本文を表示します。

送信トレイ画面

① 3分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
2分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。切り替え方法は、4-41ページの「2分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 3分割画面：送信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。
2分割画面：4-41ページの「2分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。③でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の メニュー － 行数切替 － 1行表示 または 3行表示 を選択し、切り替えます。
また並び順を送信した順、宛先（電話番号）にできます。メニュー － 並び替え － 送信順 または 宛先順 を選択します。

④ ③で選択しているメールの宛先（電話番号）を表示します。
“連絡先”に宛先の電話番号があるときは、その名前を表示します。

⑤ 送信した日時を表示します。
下書きメールの場合は、下書きフォルダに保存した日時を表示します。
送信待メールの場合は、送信できずに送信待フォルダに保存した日時を表示します。

⑥ ライトメール本文を表示します。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

ライトメールを送信したとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にしたりできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、4-35ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます（この設定は電話と共通です）。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-35ページをご覧ください。

1 ライトメールを作成します（☞4-35ページ）。

2 画面右下の メニュー － 184送信 にタップします。
この場合、自分の電話番号を通知せずにライトメールを送信します。

MEMO

- **手順2の 184送信 、 186送信 について**
  184送信 ：相手に自分の電話番号を通知しません。
  186送信 ：非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知します。
- ライトメールでは分計発信はできません。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などでライトメールを送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

1 送信トレイ画面（☞前ページ）を表示します。

2 送信待フォルダを選択（反転）し、送信待フォルダ内のメールを表示します。

3 送信するメールを選択（反転）します。

4 画面右下の メニュー － 送信 にタップします。
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

- 手順**3**でメールの宛先や本文にタップすると、手順**4**では画面左下の 送信 にタップしメールを送信します。

メールを返信する／転送する

メールを返信する

受信したライトメールを返信します。

1 **受信トレイ画面（☞4-42ページ）を表示し、返信するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［返信］にタップします。**

3 **メール作成画面が表示されます。**

宛先には手順**1**で選択したメールの送信者（電話番号）が表示され、本文には、受信したときの本文が表示されています。

4 **本文を追加／修正して、画面左下の［送信］にタップします。**

メールを送信します。

メールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送します。

1 **受信トレイ画面（☞4-42ページ）を表示し、転送するメールを選択（反転）します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［転送］にタップします。**

3 **メール作成画面が表示されます。**

本文には、受信メールの本文が表示されています。

4 **宛先を入力します。**

5 **本文を追加／修正して、画面左下の［送信］にタップします。**

メールを送信します。

送信時、宛先に受信履歴／送信履歴／連絡先を利用する

ライトメール作成時、受信ライトメールの送信者（電話番号）や一度送信した宛先（電話番号）、"連絡先"に登録している電話番号を宛先に利用できます。

ライトメールの受信履歴を利用する

受信したライトメールの送信者の電話番号を宛先として利用できます。

1 **ライトメールの新規作成画面を表示します（☞4-35ページ）。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の［メニュー］－［引用］－［ライトメール受信履歴］にタップします。**

履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先にタップします。**

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降4-35ページと同様に本文を入力し送信します。

MEMO

- 手順**2**で、宛先入力欄にタップしたままにして、ポップアップメニューから［引用］－［ライトメール受信履歴］にタップしても履歴画面が表示されます。

ライトメールの送信履歴を利用する

一度送信したライトメールの宛先（電話番号）を再度、宛先として利用できます。

1 **新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール送信履歴 にタップします。**

履歴画面が表示されます。

3 **目的の宛先にタップします。**

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

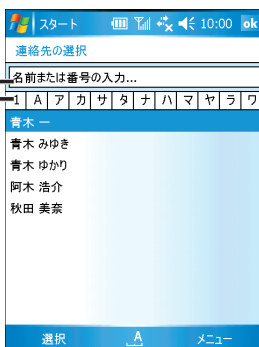
"連絡先"に登録している電話番号を利用する

"連絡先"に登録している電話番号を宛先として利用できます。

1 **新規作成画面を表示します。**

2 **宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － 連絡先 にタップします。**

連絡先に登録している名前がリスト表示されます。

50音タブにタップ、または名前の読みを入力して相手を探します。

MEMO

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 連絡先に多くの人を登録しているときは、50音タブにタップ、または名前の読みを入力して目的の相手を探します。

3 **連絡先の選択画面で、メールを送信する相手にタップします。**

4 メール

ライトメール

4 電話番号選択画面が表示されます。

・手順**3**で選択した相手にPHSや携帯電話など複数の電話番号を登録している場合は、その複数の電話番号が表示されます。
・手順**3**で選択した相手に登録している電話番号が1つのときもこの画面に移ります。

5 目的の電話番号にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

電話着信履歴／電話発信履歴を利用する

1 新規作成画面で、宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー ー 引用 ー 電話着信履歴 または 電話発信履歴 にタップします。

2 表示された履歴画面で、目的の宛先にタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

絵文字などの入力や連絡先などから引用する

絵文字などを入力する

この製品に入っている記号、顔文字、絵文字などを入力できます。

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面下部の[絵]などにタップします。

タップすると絵文字などの入力ボードが表示されます。

2 表示された入力ボードから入力したい文字を2回タップします。続けてタップすると連続して入力できます。

入力したい文字にカーソルを合わせ画面右下の[選択]にタップしても絵文字などが入力されます（続けて[選択]にタップしても連続して絵文字などが入力されます）。

MEMO

- 入力を止めるときは、画面左下の[閉じる]にタップします。
- 手順**1**で画面右下の[メニュー]－[特殊文字入力]－[絵文字]などをタップしても入力ボードが表示されます。
- コード入力をするときは、画面右下の[メニュー]－[特殊文字入力]－[コード入力]をタップし、表示された画面にシフトJISコード（☞11-11ページ）を入力して[入力]をタップします。
- 定型文の編集はできません。

連絡先などから引用する

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[連絡先]などにタップします。

2 表示された連絡先の選択画面からいずれかをタップします。

3 引用する項目（名前や電話番号など）にタップすると、この項目が入力されます。

MEMO

- 手順**1**で[プロフィール]を選択すると、自局電話番号またはEメールアドレスを引用できます。
  [ブックマーク]を選択すると、登録しているブックマークを引用できます。

ライトメールの電話番号を“連絡先”に登録する

受信メールの送信者(電話番号)や送信したメールの宛先(電話番号)を“連絡先”に登録し活用できます。

受信メールの送信者(電話番号)を“連絡先”に登録する

1 受信トレイ画面で、送信者(電話番号)にタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 表示されたポップアップメニューの［連絡先に登録］－［新規登録］にタップします。

受信トレイ画面で送信者(電話番号)にタップし、画面右下の［メニュー］－［連絡先に登録］－［新規登録］にタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

3 電話番号を登録する項目としてPHSを選択してokまたは画面右下の［決定］をタップします。

4 名前の項目に姓や名前などを入力します。

PHSの項目には、手順**2**で選択した電話番号が入っています。

5 okにタップします。

手順**4**で入力した姓や名前で“連絡先”が登録されます。

送信メールの宛先(電話番号)を“連絡先”に登録する

1 送信トレイ画面で、宛先(電話番号)にタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューの［連絡先に登録］－［新規登録］にタップします。

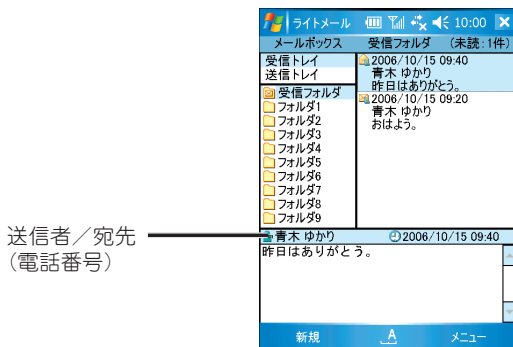
3 これ以降、上記と同様の操作を行い“連絡先”に登録します。

MEMO

- 手順**2**で［連絡先に登録］－［追加登録］をタップすると追加したい連絡先を選択して電話番号を登録することができます。
- 受信トレイ画面のURLやメールアドレスにタップしても連絡先のWebページや電子メールの項目に登録することができます。また、以下の操作もできます。
  URL　：ホームページに接続／ブックマークに登録
  メールアドレス　：Eメール作成

送信者や宛先の電話番号を使って電話をかける

受信メールの送信者（電話番号）や送信メールの宛先（電話番号）を使って、電話をかけられます。

1 受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。

2 送信者／宛先（電話番号）にタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

3 表示されたポップアップメニューから［通話］－［発信］にタップします。

4 確認画面で［はい］にタップします。

電話がかかります。
確認画面で［いいえ］にタップすると、ダイヤル画面になり［×］にタップすると手順**1**の画面に戻ります。

MEMO
- 通常の電話をかけるときと同様に、手順**3**で［発信］の代わりに［184発信］や［184分計発信］などを選択できます。
［184発信］や［184分計発信］などについては、3-16ページのメモをご覧ください。

5 通話を終えるときは、［PWR］ボタンを押します。

電話が切れます。

ライトメールを削除する

受信メールや送信済みメールなどを削除できます。メールの削除には、1件削除、選択削除、全件削除があります。

1件ずつメールを削除する

メールを1件削除します。

1 **受信トレイ画面などで、削除するメールを選択します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［削除］－［1件削除］にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**
手順**1**で選択したメールが削除されます。

MEMO
- 削除するメールを選択してから、手順**2**に移ってください。
  3分割画面では、フォルダを選択している状態で手順**2**を行うと、［1件削除］は表示されません。

選択したメールを削除する

メールを選択削除します。

1 **受信トレイ画面などでメールを選択した状態にして、画面右下の［メニュー］－［削除］－［選択削除］にタップします。**

2 **確認画面で ok にタップします。**

3 **リストから削除するメールにタップします。**
複数のメールを選択できます。
選択を解除するときは、画面右下の［中止］にタップします。

4 **画面左下の［実行］にタップします。**

5 **確認画面で［はい］にタップします。**
手順**3**で選択したメールが削除されます。

全てのメールを削除する

全件削除は、1つのフォルダに入っているメールをすべて削除します。

1 **受信トレイ画面などで、メールを削除するフォルダを選択します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［メール全削除］にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

フォルダ内のメールがすべて削除されます。

受信したライトメールを振り分ける

受信したメールを受信フォルダだけでなく、送信者(電話番号)を指定してその送信者(電話番号)のメールを受信フォルダ、またはフォルダ1〜9に入れる(振り分ける)ことができます。

振り分けの設定をする

始めに、受信したメールを振り分けるための振り分け条件を設定します。

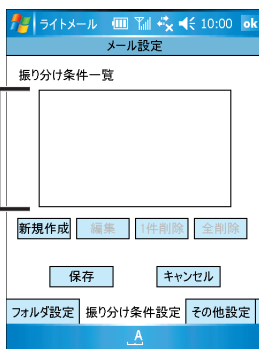
1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

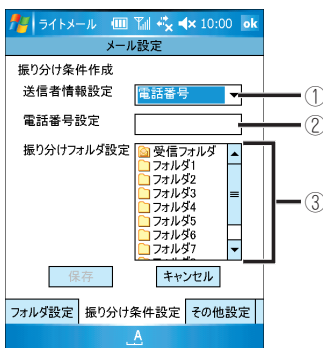
2 **受信トレイ画面では受信フォルダなど、送信トレイ画面では送信済フォルダなどを選択します(フォルダが反転している状態にします)。**

3 **画面右下の メニュー ー 設定 にタップします。**

メール設定画面が表示されます。

4 **メール設定画面で、 振り分け条件設定 タブにタップします。**

メール設定画面(振り分け条件設定 タブ)が表示されます。

5 新規作成 にタップし、振り分け条件を作成します。

振り分け条件作成画面が表示されます。

① 「すべての送信者」または「電話番号」を選択します。
- ・「電話番号」を選択すると、②に入力した電話番号が対象となり、③で選んだフォルダの中にその電話番号のライトメールが振り分けられます。
- ・「すべての送信者」を選択すると、すべての送信者が対象となり、③で選んだフォルダの中に送信者すべてのライトメールが入ります。

② 電話番号（送信者）を入力します。この電話番号の人から送信されたメールを振り分けますので、入力する番号を間違えないでください。

③ 振り分け先となるフォルダを選択します（タップして反転します）。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

- ●③で選択できるフォルダは1つだけです。複数のフォルダを選択できません。
- ●ある電話番号の振り分け先に指定したフォルダは、別の電話番号の振り分け先にも選択できます。たとえば、070-XXX-XXXXの振り分け先に「フォルダ1」を選択し、070-YYY-YYYYの振り分け先にも「フォルダ1」を選択できます。「フォルダ1」には、070-XXX-XXXXと070-YYY-YYYYの両方から送信されたメールが振り分けられます。

6 保存 にタップします。

メール設定画面（ 振り分け条件設定 タブ）に戻り、手順**5**で入力した電話番号などがリストに表示されます。
“連絡先”にその電話番号が登録されているときは、その電話番号の人の名前が表示されます。

7 ライトメールを受信します。

作成した振り分け条件にしたがって、受信メールが振り分けられます。

設定した振り分けを修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 **メール設定画面（振り分け条件設定タブ）（☞4-54ページ）で、編集したい条件（電話番号など）を選択し、編集にタップします。**

2 **表示された画面で、電話番号を編集したり振り分け先を変更するなどして、保存にタップします。**
変更した内容を保存し、設定画面（振り分け条件設定タブ）に戻ります。

設定した振り分けを削除する

設定した振り分け条件を削除します。

1つの設定を削除します（1件削除）

1 **設定画面（振り分け条件設定タブ）（☞4-54ページ）で、削除したい電話番号などを選択し、1件削除にタップします。**

2 **確認画面ではいにタップします。**
手順**1**で選択した振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

すべての設定を削除します（全削除）

1 **設定画面（振り分け条件設定タブ）（☞4-54ページ）で、全削除にタップします。**

2 **確認画面ではいにタップします。**
すべての振り分け設定が削除されます。
削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

各種設定を行う

ライトメールの設定を行います。

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

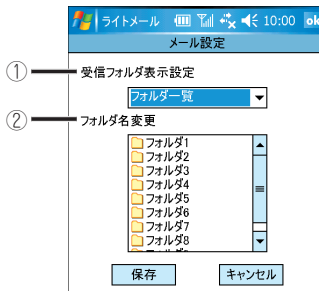
2 **受信トレイ画面では受信フォルダ、送信トレイ画面では送信済フォルダを選択します(フォルダが反転している状態にします)。**

3 **画面右下の メニュー ー 設定 にタップします。**

設定画面が表示されます。

4 **フォルダの設定や振り分けの条件設定などを行います。**

◇ フォルダ設定 タブ ◇

フォルダの表示方法や受信トレイのフォルダ1〜9の名前を変更します。

① 受信トレイ画面の表示方法を設定します。

・フォルダ一覧：フォルダリストには、受信フォルダやフォルダ1〜9が表示され、フォルダ単位でメールを表示します。

・全受信メール：受信したメールをすべて表示します。フォルダリストには、「全受信メール」と表示されます。

② フォルダ名を変更します。

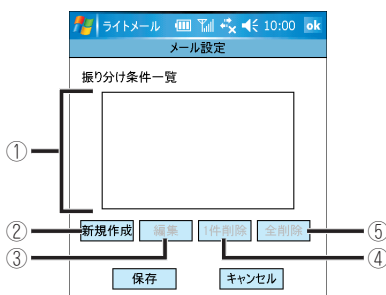
※「受信フォルダ」の名前だけは変更できません。

名前を変更するフォルダにタップします。

フォルダ名変更画面が表示されますので、名前を変更し OK にタップします。 キャンセル にタップすると、フォルダ名は変更されません。

このフォルダ名は、4-55ページの振り分け条件設定に用意されているフォルダ1〜9です。このフォルダ名を変更すると、受信トレイ画面で表示されるフォルダ名や4-55ページの画面(メール設定画面(振り分け条件設定 タブ))に表示されるフォルダ名も変更されます。

◇ 振り分け条件設定 タブ ◇

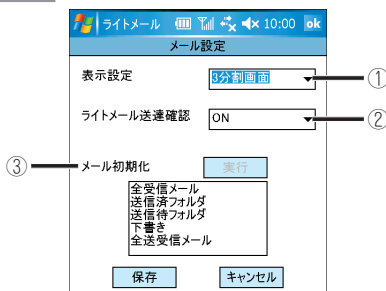
受信したメールを振り分けます。設定方法などの操作については、4-54ページをご覧ください。

① 設定した振り分け条件（電話番号または名前（※）とフォルダ名）がリスト表示されます。
※“連絡先”に電話番号が登録されているときは、その電話番号の名前が表示されます。

② 新規に振り分けを設定します。くわしくは、4-55ページをご覧ください。

③ 設定した振り分けを編集します（☞4-56ページ）。

④ 設定した振り分けを1件削除します（☞4-56ページ）。

⑤ 設定した振り分けすべてを削除します（☞4-56ページ）。

◇ その他設定 タブ ◇

① 3分割画面と2分割画面を切り替えます（☞4-41ページ）。

② ライトメール送信時に送信済の確認音を鳴らす／鳴らさないを選択します。
・「ON」： 確認音を鳴らします。　・「OFF」：確認音は鳴りません。

③ 受信フォルダや送信済フォルダなどに入っているメールを削除します。
フォルダのリストからいずれかのフォルダを選択（反転）し、実行 にタップします。

5 設定が終われば、ok にタップします。

ライトメールのメニュー

「受信トレイ」、「送信トレイ」選択時

表示切替※	受信トレイの中のフォルダを表示するとき、「全受信メール」 表示フォルダを切り替える。
メール全削除	受信トレイ内の1つのフォルダまたは送信トレイ内の1つのフォルダに入っているライトメールをすべて削除する（☞4-53ページ）。
フォルダ名変更※	受信トレイの中にある「フォルダ1」～「フォルダ9」のフォルダ名を変更する（☞4-57ページ）。
設定	設定画面を表示する（☞4-57ページ）。

※「受信トレイ」選択時に表示されます。

受信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

返信		選択しているライトメールを返信する（☞4-45ページ）。
転送		選択しているライトメールを転送する（☞4-45ページ）。
並び替え		受信順、差出人順に並び替える（☞4-42ページ）。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える（☞4-42ページ）。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する（☞4-52ページ）。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する（☞4-52ページ）。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。 移動 にタップし、確認画面で ok にタップする。 次に、移動したいライトメールを選択して、画面左下の 実行 にタップする。表示された移動画面で移動先のフォルダにタップし、OK にタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-40ページ）。

送信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
送信		選択しているライトメールを送信する。
並び替え		送信順、宛先順に並び替える（☞4-43ページ）。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える（☞4-43ページ）。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する（☞4-52ページ）。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する（☞4-52ページ）。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-40ページ）。

送信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する(☞4-35ページ)。
通話	**発信**	表示されている電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-46ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-46ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-46ページ）。
連絡先に登録	**新規登録**	連絡先に電話番号などを新規登録する。
	追加登録	連絡先に電話番号などを追加登録する。
編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。“連絡先”など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。
削除		選択しているライトメールを削除する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞4-40ページ)。

受信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する(☞4-35ページ)。
通話	**発信**	選択している電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-46ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-46ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-46ページ）。
連絡先に登録	**新規登録**	連絡先に電話番号などを新規登録する。
	追加登録	連絡先に電話番号などを追加登録する。
転送		選択しているライトメールを転送します。
削除		選択しているライトメールを削除します。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。移動にタップし、表示された移動画面で移動先のフォルダにタップし、OKにタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する(☞4-40ページ)。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。“連絡先”など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。

メール作成／編集時

<table>
<tr><td colspan="2">全文コピー</td><td>入力している本文すべてをコピーする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">貼り付け</td><td>コピーしている内容を貼り付ける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">カット</td><td>選択している内容をカットする。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">特殊文字入力</td><td>記号</td><td>記号を入力するボードを表示する。</td></tr>
<tr><td>顔文字</td><td>顔文字を入力するボードを表示する。</td></tr>
<tr><td>絵文字</td><td>絵文字を入力するボードを表示する。</td></tr>
<tr><td>コード入力</td><td>コードから文字を入力するボードを表示する（コード表☞11-11ページ）。</td></tr>
<tr><td>定型文</td><td>定型文を入力するボードを表示する（定型文の編集はできません）。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">引用※1</td><td>連絡先</td><td>“連絡先”に保存している電話番号を引用する。</td></tr>
<tr><td>電話着信履歴</td><td>かかってきた電話番号（着信履歴）を引用する。</td></tr>
<tr><td>電話発信履歴</td><td>かけた電話番号（発信履歴）を引用する。</td></tr>
<tr><td>ライトメール受信履歴</td><td>受信したライトメールの履歴を引用する。</td></tr>
<tr><td>ライトメール送信履歴</td><td>送信したライトメールの履歴を引用する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">引用※2</td><td>連絡先</td><td>連絡先に保存しているデータ（名前や電話番号など）を利用する。</td></tr>
<tr><td>プロフィール</td><td>自局電話番号またはメールアドレス（☞3-19ページ）を利用する。</td></tr>
<tr><td>ブックマーク</td><td>IE Mobileに保存しているブックマークを利用する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">編集中止</td><td>ライトメールの作成や編集を中止する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">184送信</td><td>電話番号を通知せずにライトメールを送信する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">186送信</td><td>電話番号を通知してライトメールを送信する。</td></tr>
</table>

※1 カーソルが宛先欄にあるときに表示されるメニューです。
※2 カーソルが本文にあるときに表示されるメニューです。

5 インターネット

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobileを使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。
ここでは、Internet Explorer Mobileの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

接続の準備
ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

● PHS電話機能を使ってインターネット接続する場合

・オンラインサインアップ（☞2-2～4ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。

・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-24ページをご覧になり設定を行ってください。

● 内蔵ワイヤレスLANを使ってインターネット接続する場合

2-5ページをご覧になり設定を行ってください。

● Internet Explorer Mobileは、パソコンなどで広く使われているWebブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。

ホームページを見る

1 **スタート** **メニューの** **“Internet Explorer”にタップします。**

Internet Explorer Mobileが起動します。

2 アドレスバーにURLを入力し、(移動ボタン)をタップします。

あらかじめ接続設定されている場合は、接続を開始し、入力したURLのホームページに移動します。

- **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**
  接続が完了すると、タイトルバーにが表示されます。
- **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**
  接続が完了すると、タイトルバーにが表示されます。

MEMO

- 接続途中で接続を切断するときは、画面左下の[中止]をタップしてから切断してください。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、[OK]をタップしてください。

ご注意!

- 通話中はPHS電話機能を使ってホームページを見ることはできません。電話を切った後、Internet Explorer Mobileを起動してください。
- ホームページがうまく表示されないときは、インターネットの一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。
  キャッシュの削除は、画面右下の[メニュー]－[ツール]－[オプション]－[メモリ]タブから[ファイルを削除]をタップします。

3 ネットワークを切断します。

- **PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合**
  タイトルバーのにタップし、[切断]をタップします。または、[PWR]ボタンを押します。
- **内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合**
  2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

5
インターネット

Internet Explorer Mobile

Internet Explorer Mobileの画面について

閲覧しているホームページのＵＲＬが表示されます。
また、閲覧したいホームページのURLを入力し、↷をタップすると、入力したURLのホームページが閲覧できます。

[戻る]をタップすると直前に表示していたホームページに戻ります。
[中止]が表示されているときにタップすると開いているページの表示を中止します。
[お気に入り]が表示されているときにタップするとお気に入りに登録したリンク先一覧が表示されます。

タップすると、アドレスバーで指定されたURLのホームページへ移動します。

リンク先にタップすると、そのホームページへ移動します。

タップすると、メニューが表示されます（☞5-10ページ）。

MEMO

● ページを画面に表示する方法を変更することができます。
表示方法の変更方法は、画面右下の[メニュー]－[表示]をタップして選択します。全画面表示を元にもどすときは、画面をタップしたままにし「全画面表示」のチェックを外します。

ネットワークを切断する

PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合

1 **タイトルバーの⇄にタップし、[切断]をタップします。または、[PWR]ボタンを押します。**

タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。
[PWR]ボタンを押した場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

ご注意！

● PHS電話機能を使ってインターネットに接続中は、切断しないと電話はかかりません。

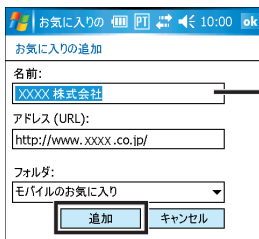
内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合

1 **2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。**

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。
またそのホームページを、起動時に接続するページとして設定することができます(☞5-9ページ)。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **お気に入りに追加 にタップします。**
お気に入りの追加画面が表示されます。

MEMO
- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面右下の メニュー ― お気に入りに追加 をタップしてもお気に入りの追加画面が表示されます。

3 **名前を確認または変更し、追加 をタップします。**

お気に入りのページを見る

1 **ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから お気に入り をタップします。**
お気に入り画面が表示されます。

MEMO
- ホームページを表示しているときに、画面左下の お気に入り または画面右下の メニュー ― お気に入り をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 **お気に入り画面の 開く タブをタップし、目的のページをタップします。**
目的のページが表示されます。

お気に入りにフォルダを追加する

1 **画面右下の［メニュー］－［お気に入り］－［追加／削除］タブをタップし、［新しいフォルダ］にタップします。**

2 **名前を確認または変更し、［追加］にタップします。**

お気に入りから削除する

1 **画面右下の［メニュー］－［お気に入り］－［追加／削除］タブをタップし、削除したいお気に入りのページを選択します。**

2 **［削除］をタップします。**
削除の確認画面が表示されます。

3 **［はい］にタップします。**

MEMO
- フォルダを削除するときは、削除したいフォルダを選択して、［削除］をタップします。

履歴を使ってホームページを表示する

一度表示したホームページのURLは履歴として残っています。この履歴を利用して、一度開いたホームページをすぐに表示できます。

1 **ホームページを表示中に［メニュー］－［履歴］をタップします。**
履歴画面が表示されます。

2 **履歴画面でページタイトルのリストから表示したいタイトルをタップします。**
そのページが表示されます。

MEMO
- 履歴画面で画面左上の［ページタイトル］をタップし表示されたメニューから［アドレス］をタップすると履歴画面のリストがURLに変わります。
- 履歴を削除する方法は、5-9ページをご覧ください。

ホームページの画像を保存する／テキストをコピーする

ホームページの画像を保存したり、テキストをコピーしたりできます。

ご注意！　● Webページの保存はできません。

ホームページの画像を保存する

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから イメージの保存 をタップします。**

ダウンロード画面が表示されます。

2 **はい にタップします。**

「My Documents」の下の「My Pictures」フォルダに保存されます。

MEMO

- **「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは**

  1 ダウンロード画面で 名前を付けて保存 にタップします。

  ダウンロード先画面が表示されます。

  2 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

  3 保存 にタップします。

ホームページのテキストをコピーする

1 **コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから すべてのテキストを選択 をタップします。**

2 **もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、コピー をタップします。**

MEMO

- 手順**1**は、画面右下の メニュー ー 編集 ー すべてのテキストを選択 をタップしても選択できます。
- 手順**2**は、画面右下の メニュー ー 編集 ー コピー でもコピーできます。

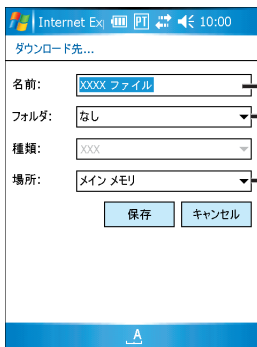
ファイルをダウンロードして保存する

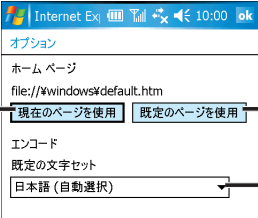
1 **保存するファイルが組み込まれているホームページから ダウンロード などをタップして、ファイルをダウンロードします。**

2 **名前を付けて保存 をタップします。**

ダウンロード先画面が表示されます。

MEMO

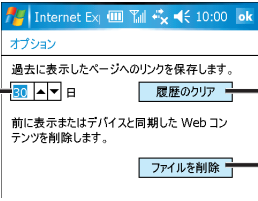
- はい をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

3 **名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

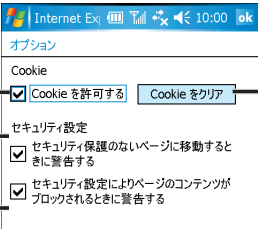
4 **保存 にタップします。**

プログラムファイルなどをダウンロードすると、ダウンロード後、インストールが始まることがあります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

MEMO

- Javaアプリケーション(ゲームなど)をダウンロードして楽しむこともできます。

表示しているページをホームページ(起動時のページ)に設定する

画面右下の メニュー ー ツール ー オプション ー 全般 タブで表示しているページを"Internet Explorer Mobile"を起動したときに最初に表示されるページに設定できます。設定が終わったら ok をタップしてください。

キャッシュや履歴を削除する

画面右下の メニュー ー ツール ー オプション ー メモリ タブでキャッシュの削除や履歴の削除ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

Cookieやセキュリティの設定をする

画面右下の メニュー ー ツール ー オプション ー セキュリティ タブでCookieの設定や消去、セキュリティの設定ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

Internet Explorer Mobileのメニュー

ホーム		「ホームページ」として設定されているページに戻る。
お気に入り		お気に入りに登録したリンク先一覧（お気に入り画面）を表示する。 移動したいリンク先をタップすると、そのホームページへ移動する（☞5-5ページ）。
お気に入りに追加		表示中のホームページをお気に入りに追加する（☞5-5ページ）。
次へ		「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
最新の情報に更新		再読み込みを行う。
履歴		過去に表示したリンク先の一覧を表示する。
表示	**一列に表示する**	画面の幅と同じ幅に合わせて、コンテンツを表示する。
	画面に合わせる	各コンテンツを小さくして、できるだけ画面の横幅におさまるように表示する。
	表示調整しない	パソコンと同じようなレイアウトになる。縦方向と横方向へスクロールして、見えていない部分を表示する。
	全画面表示	表示範囲を全画面にする。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにし、「全画面表示」のチェックを外す。
	画像を表示する	画像を表示する。チェックを外すと画像は表示しない。
ズーム		文字サイズを設定する。
ツール	**リンクを送る**	タップすると表示しているホームページのURLを載せた新規メールを作成する。
	プロパティ	表示しているホームページの情報を表示する。
	オプション	オプション設定画面を表示する（☞前ページ）。
編集	**切り取り**	文字を切り取る。
	コピー	文字をコピーする。
	貼り付け	コピーおよび切り取った文字を貼り付ける。
	すべてのテキストを選択	すべての文字を選択する。

6　辞書・PIM機能

DicLand辞書

DicLand辞書は、調べたい単語（語句）を直接入力して検索したり、メールなどの文章から単語（語句）を取り込んで検索することができる電子辞書です。
DicLand辞書には、『エクシード英和辞典』、『エクシード和英辞典』、『ディリーコンサイス国語辞典』、キーワードで引く『英文ビジネスレター事典』が収録されています。

・『エクシード英和辞典』	約12万項目
・『エクシード和英辞典』	約9万4千項目
・『ディリーコンサイス国語辞典』第3版	約7万語
・キーワードで引く『英文ビジネスレター事典』	見出し語数：約1,600 例文数　：約4,000

DicLand辞書についてのお問い合わせ先

ブラザーコールセンター
E-mail　：honyaku@hanbai.brother.co.jp
URL　：http://www.brother.co.jp/

ご使用の前に必ずDicLand辞書のヘルプ中の「エンドユーザーライセンス契約」をお読みください（DicLand辞書のヘルプは、DicLand辞書起動後「ヘルプ」メニューの「目次」で表示してください）。

ご注意！
- この製品をフォーマット（☞11-6ページ）すると、DicLand辞書が消去されます（使用できません）。
フォーマットしたときは、付属のCD-ROMからインストールしてください。

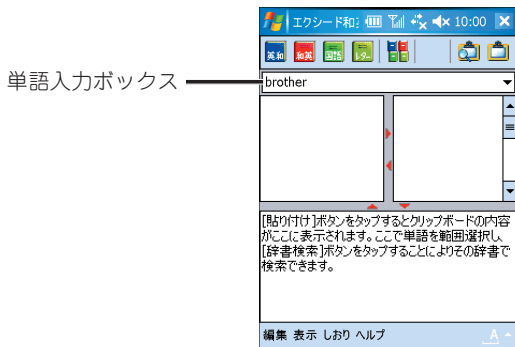
単語（語句）を調べる

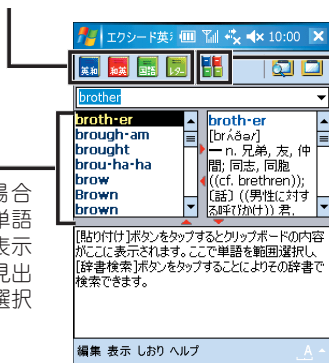
単語（語句）を入力して調べる

『エクシード英和辞典』、『エクシード和英辞典』、『ディリーコンサイス国語辞典』、『英文ビジネスレター事典』を使って単語（語句）を調べます。

1 **スタート メニューの "プログラム"にタップします。**

2 プログラム画面で “DicLand”にタップします。

3 単語入力ボックスにカーソルがあることを確認して、調べたい単語（語句）を入力します。

4 調べたい辞書のボタンにタップします。

英和：英単語の日本語訳を調べるときタップします。
和英：日本語の読みから英語訳を調べるときタップします。
国語：言葉の意味や用例を調べるときタップします。
レター：英文ビジネスレターでよく使う表現（例文）を調べるときタップします。

ボタンにタップすると全ての辞書で単語（語句）を検索することができます。

結果表示エリア
選択した見出し語の内容が表示されます。

クリップボード内容表示エリア
クリップボードにコピーした文章を表示します。
（☞6-5、6-8ページ）

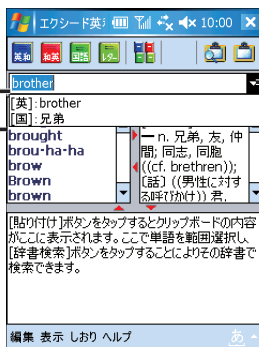
MEMO

● ボタンで検索すると単語一覧エリアに表示される見出し語が辞書の種類に色分けされて表示されます。

検索結果の中の単語(語句)を検索する

わからない単語(語句)を範囲指定し、検索したい辞書のボタンをタップします。

過去に検索した単語(語句)を再検索する

単語入力ボックスの横の▼をタップして、再検索したい単語(語句)をタップします。

メールやホームページの文章を取り込んで調べる

メールやホームページなどの文章中に不明な単語(語句)がある場合は、その文章を取り込んで内容を見ながら辞書で調べることができます。

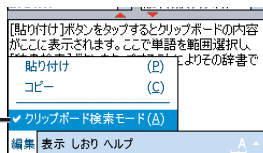
1 調べたい単語(語句)が含まれている文章をクリップボードにコピーします。

文章を範囲指定し、タップしたままにして表示されたポップアップメニューから［コピー］をタップします。

2 DicLandを起動(［スタート］－［プログラム］－［DicLand］をタップ)して、📋にタップします。

3 調べたい単語(語句)を範囲指定し、検索したい辞書のボタンをタップします。

MEMO

● ［編集］－［クリップボード検索モード］にチェックを付けておくと、単語(語句)をクリップボードにコピーするだけで検索できます。

英文ビジネスレター事典を使う

英文ビジネスレター事典は、以下の第1部から第4部で構成されています。

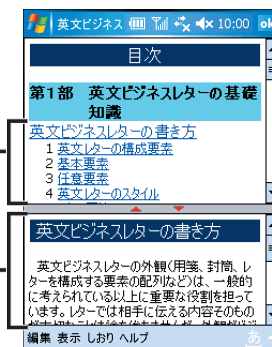
- **第1部　英文ビジネスレターの基礎知識**
  英文ビジネスレターを作成するにあたっての基本的な知識について解説しています。
- **第2部　モデルレター30例**
  社交通信文と業務通信文、付録を含めた合計30の例文を紹介しています。
- **第3部　ファックス・Eメールのレター**
  ファックス・Eメールの通信に必要な知識や、知っておくと便利な事柄を中心に解説し、ファックス2例、Eメール8例の文例を紹介しています。
- **第4部　キーワードで引く英文ビジネスレター表現集**
  英文レターを作成していて、わからない表現があるときなど日本語のキーワードを入力して英語の表現を検索することができます。
  検索手順についてくわしくは、単語(語句)を調べる(☞6-2ページ)をご覧ください。

第1部から第3部を使う(英文ビジネスレターについて学習する)

英文ビジネスレター事典の第1部から第3部を参照して、英文ビジネスレターの基礎知識やファックス・Eメールの書き方の学習、モデル文例を参照することができます。

1 **スタート メニューの “プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で “DicLand”にタップします。**

3 **画面左下の 表示 ー 英文ビジネスレター事典 をタップします。**

しおりに登録する／登録したしおりを表示する

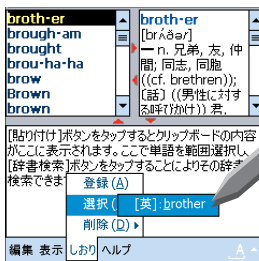
調べた単語（語句）の検索結果をしおりに登録することができます。

しおりに登録する

1 検索結果が表示されているときに画面左下の しおり ー 登録 にタップします。

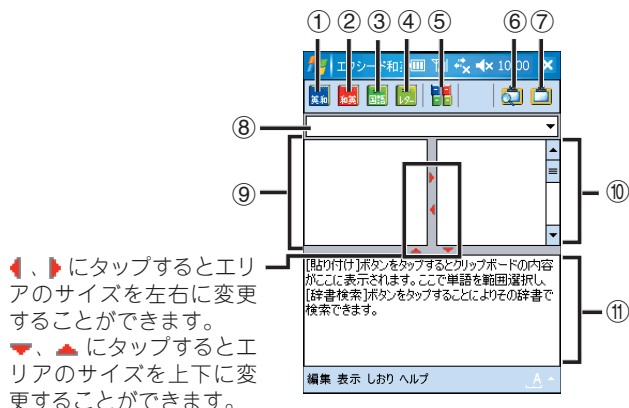
MEMO
- しおりに登録できる単語（語句）は最大100件までです。
- しおりに登録できる単語（語句）は親見出しの単語だけです。子見出しの単語を検索して、しおりに登録することはできません。
  例　親見出し：誕生
  　　子見出し：誕生石

登録したしおりを表示する

1 画面左下の しおり ー 選択 にタップして、表示させたい単語（語句）をタップします。

しおりを削除する

1 画面左下の しおり ー 削除 にタップして、削除したい単語（語句）をタップします。

すべてのしおりを削除する場合は、全削除 をタップします。

辞書画面について

①	英単語の日本語訳を検索します。(エクシード英和辞典)
②	日本語の読みから英語訳を検索します。(エクシード和英辞典)
③	言葉の意味・用例を検索します。(ディリーコンサイス国語辞典)
④	日本語キーワードから例文(英文表現)を検索します。(英文ビジネスレター事典)
⑤	1度に全ての辞書で検索します。
⑥	クリップボードにコピーされている単語(語句)を検索します。 検索に使用される辞書は、直前に使用されていた辞書です。
⑦	クリップボードにコピーされている内容をクリップボード内容表示エリアに貼り付けます。
⑧	単語(語句)を入力します。
⑨	検索された見出し語が表示されます。
⑩	見出し語の内容が表示されます。
⑪	クリップボードにコピーした内容が表示されます。

DicLand辞書をインストールする

完全消去(フォーマット)を行い"DicLand辞書"を消去したときは、以下の方法でインストールしてください。

1 ActiveSyncをインストールします(☞8-4ページ)。

すでにインストールされている方は、手順**2**に進んでください。DicLand辞書は、ActiveSyncを使ってパソコンからインストールしますので、必ず、ActiveSyncをインストールしてください。

2 パソコンとこの製品を付属USBケーブルで接続します。

3 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。

4 自動的に「Windows Mobile お使いになる前にディスク」画面が表示されますので、「デバイスに新しいプログラムを追加する」をクリックします。

5 表示された画面で、「DicLand」のチェックを付け[次へ]をクリックします。

6 「DicLandのインストール」画面で「DicLandのインストール」をクリックします。

DicLandソフトウェアがインストールされます。
「アプリケーションのダウンロードが完了しました」と表示されたら[OK]をクリックしてください。次に辞典データをインストールします。

7 「エクシード英和辞典のインストール」をクリックします。

『エクシード英和辞典』の辞典データをインストールします。
「アプリケーションのダウンロードが完了しました」と表示されたら[OK]をクリックしてください。

8 同様の手順で『エクシード和英辞典』、『デイリーコンサイス国語辞典』、『英文ビジネスレター事典』の辞典データを順にインストールします。

- 「エクシード英和辞典」など必要な辞典データだけをインストールして、DicLand辞書を使うことができます。

9 インストール後、パソコンからこの製品を取り外し、この製品の画面の ok をタップしてDicLand辞書を起動します。

DicLand辞書のメニュー

編集	**貼り付け**	複写（コピー）した文字列を貼り付ける。
	コピー	選択している文字列を複写（コピー）する。
	クリップボード検索モード	チェックをつけておくと検索したい単語(語句)をクリップボードにコピーするだけで検索する。
表示	**横分割**	単語一覧エリアと結果表示エリアを横分割表示する。
	縦分割	単語一覧エリアと結果表示エリアを縦分割表示する。
	クリップボードの表示	クリップボード内容表示エリアの表示・非表示を切り替える。
	文字サイズ（小）(中)(大)	表示の文字サイズを変更する。
	英文ビジネスレター事典	英文ビジネスレター事典の第1部から第3部を表示する。
しおり	**登録**	検索した単語（語句）をしおりに登録する。
	選択	しおりに登録した単語（語句）を選択して表示する。
	削除（全削除）	しおりに登録した単語（語句）を削除（全削除）する。
ヘルプ	**目次**	ヘルプの目次を表示する。
	バージョン情報	バージョン情報を表示する。

予定表

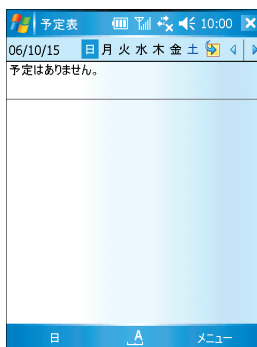
スケジュールを管理します。
・月間表示や週間表示、1日表示、詳細画面などから、スケジュールを多角的に確認できます。
・大切な予定を忘れないようにアラームを通知できます。
・その日の予定はToday画面で確認できます。
・毎週や毎月など決まった間隔で入る予定は、定期的な予定として簡単に入力できます。

予定表の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

● パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って予定表のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

予定を入れる(新規作成)

1 Today画面左下の 予定表 、または スタート メニューの“予定表”にタップします。

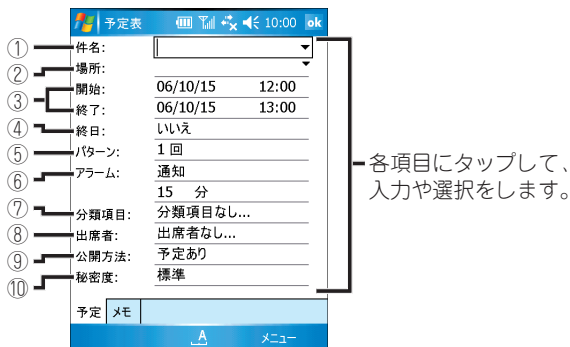
予定一覧画面が表示されます。

2 画面右下の[メニュー]－[新しい予定]にタップします。

予定の新規入力画面が表示されます。

3 各項目にタップして、件名、場所、開始／終了時刻などを入力／選択します。

MEMO

● 文字を入力するときは、キーボードを使って入力すると便利です（☞1-34ページ）。

① **件名**

直接入力するか、▼にタップして一覧から選びます。

② **場所**

タップして直接入力します。または▼にタップすると、過去に入力した場所が一覧で表示されるので、その中から選びます。

③ **開始／終了**

「開始」と「終了」の日付と時刻を設定します。

・日付：日付にタップして表示されるカレンダーから日を選びます。

・時刻：時刻にタップして直接編集するか、▼にタップして選びます。

④ **終日**

終日の予定（開始時刻や終了時刻を設定しない予定）か、開始／終了時刻がある予定かを設定します。

・「はい」　：その予定は終日になり、開始と終了の時刻が非表示になります。

・「いいえ」：開始／終了時刻を設定できます。

⑤ **パターン**

入力中の予定を1回だけとするのか、または毎週や毎月など定期的な予定にするのかを設定します。

「1回」にすると、設定日だけの予定となります。

予定の間隔（パターン）を編集するときは、「<パターンの編集>」にタップします（☞6-19ページ）。

⑥ **アラーム**

アラームの設定をします。

・「通知」　：アラームが通知されます。

・「なし」　：アラームは通知されません。

「通知」にしたときは、「15」と「分」にタップし予定の何分／何時間前などにアラームを通知するかを設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：

1 スタート メニューの“設定”－“音と通知”－ 通知 タブにタップします。

2「イベント」欄で「アラーム」を選択します。

3「音を鳴らす」のチェックを外し、ok にタップします。

⑦ **分類項目**

入力中の予定に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要な予定をすばやく検索（フィルタ）できます（☞1-30ページ）。

⑧ **出席者**

メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。
入力した予定を選択した連絡先へ送信できます。

⑨ **公開方法**

予定を公開するときの表示を選びます。
ActiveSyncを使ってパソコンと同期し、パソコン上でワークグループ内の予定表を共有するときに利用します。

⑩ **秘密度**

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

● 予定にメモを追加したいときは、メモ タブにタップして入力します。

入力が終わったら、ok にタップします。

予定を確認する

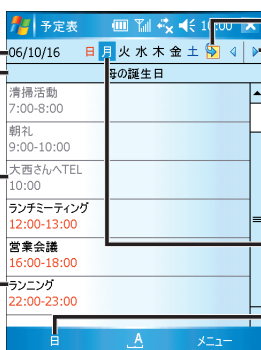
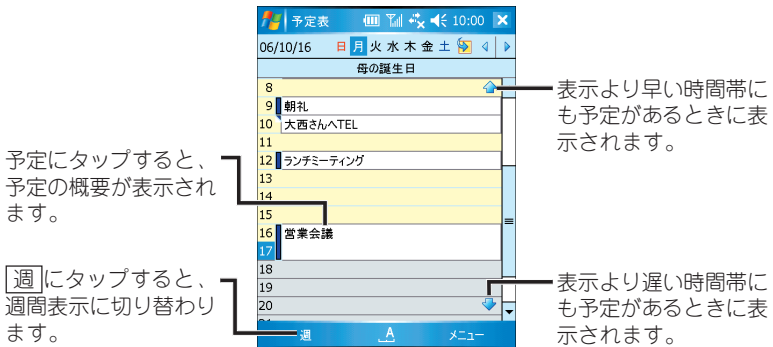
入力した予定は、月間表示、週間表示、1日表示などから多角的に確認できます。
予定表には、次の表示画面があります。

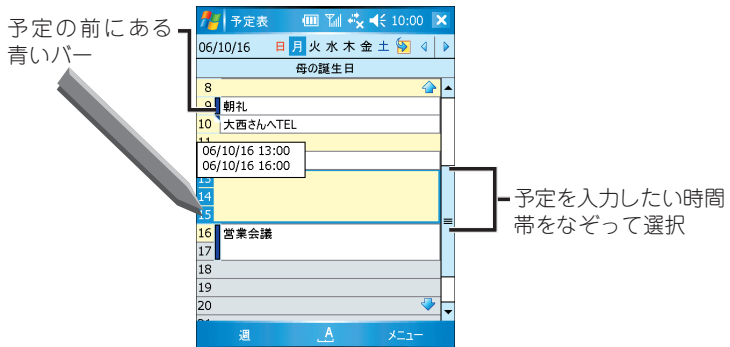
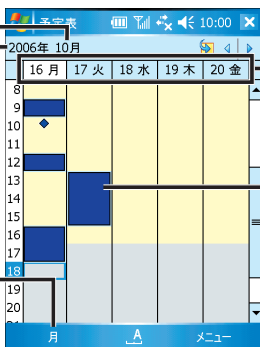
- 予定一覧表示　：1日の予定を一覧で表示します（☞下記）。
- １日（日）表示：1日の予定をタイムテーブルで表示します（☞6-15ページ）。
- 週間（週）表示：1週間分の予定をグラフで表示します（☞6-16ページ）。
- 月間（月）表示：1ヶ月分の予定をカレンダー上にマークで表示します（☞6-17ページ）。
- 年間（年）表示：1年分のカレンダーを表示します（☞6-17ページ）。

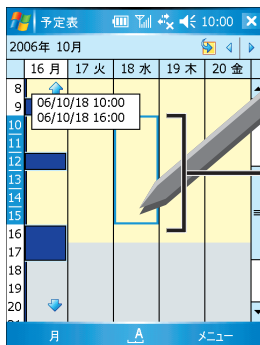
1 **Today画面左下の［予定表］にタップします。**

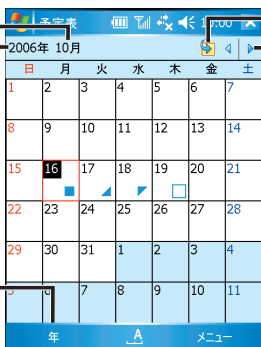
消してないアラーム通知画面（☞1-30ページ）があるとき、Today画面左下に［アラーム］と表示されます。

2 **画面右下の［メニュー］－［表示］－［予定一覧］／［日］／［週］／［月］／［年］にタップして、表示を切り替えます。**

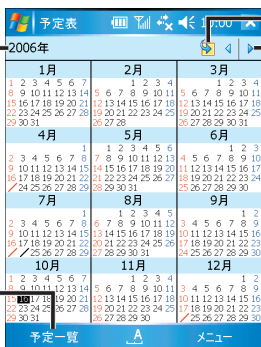
◇ 予定一覧表示 ◇

◇ 1日(日)表示 ◇

MEMO

- 1日表示では、スタイラスペンを使って予定を異なる時間帯へ移動できます。
  1 予定の前にある青いバーをタップして、予定を選択します。
  2 予定の前にある青いバーをタップしたままにして、ポップアップメニューが表示される前に変更したい時間帯へ移動します。
- 時間帯をなぞってから、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 にタップすると、開始/終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

◇ 週間(週)表示 ◇

週間予定がグラフで表示されます。

- 週間予定の表示形式は、画面右下の メニュー – オプション から変更できます(☞6-22ページ)。
- 予定を入力したい日の時間帯をなぞってから、タップしたままにして、ポップアップメニューから 新しい予定 にタップすると、開始／終了時刻が自動的に入った新規入力画面が表示されます。

◇ 月間(月)表示 ◇

日付にタップすると、当日の1日表示画面になります。

：午前に予定が入っていることを示します。
：午後に予定が入っていることを示します。
：午前／午後の両方に予定が入っていることを示します。
：終日の予定が入っていることを示します。

◇ 年間(年)表示 ◇

日付にタップすると1日表示、月にタップすると月間表示になります。

3 1件ごとの予定を確認したいときは、予定一覧表示や1日表示などで予定にタップします。

予定の詳細が表示されます。

定期的な予定を入れる（パターンの編集）

予定の間隔（パターン）を編集して、定期的な予定を簡単に入れられます。
予定の入力については、6-11ページをご覧ください。

1 **予定の入力画面で「パターン」欄（☞6-12ページ）にタップし、表示されたメニューから［＜パターンの編集＞］にタップします。**

パターンの編集画面が表示されます。

2 **開始／終了時刻を設定し、［次へ］にタップします。**

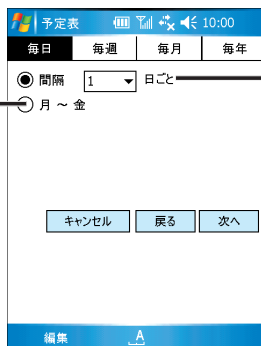
タップすると、繰り返す予定の入力がキャンセルされ、入力画面に戻ります。
定期的な設定を解除：
「パターン」は「1回」になります。
キャンセル：
「パターン」はこの画面を表示する前の状態に戻ります。

数字にタップすると、開始と終了時刻を設定する時計画面が表示されます。時刻を設定して ok にタップするとこの画面に戻ります。

終了時刻だけを変更するときは、期間の▼にタップまたは直接入力して、開始時刻から終了時刻までの時間を設定します。

3 **画面上部にある［毎日］や［毎週］などにタップして、表示された画面で予定の間隔を設定します。**

◇ 毎 日 ◇

月曜日から金曜日の毎日に設定するときに選択します。

何日ごとなど、決まった日数間隔の予定は、「間隔」にタップして日数を設定します。
▼にタップして日数を選択、または枠内に直接入力します。
「1日ごと」にすると毎日の予定になります。

◇ 毎 週 ◇

予定表
10:00
毎日
毎週
毎月
毎年
間隔
1
週ごと
日
月
火
水
木
金
土
キャンセル
戻る
次へ
編集
予定をいれる曜日にタップして選択します（複数選択できます）。
何週ごとにするのか、▼にタップして選択、または枠内に直接入力します。
「1週ごと」にすると、毎週の予定になります。

◇ 毎 月 ◇

予定表
10:00
毎日
毎週
毎月
毎年
日
1
か月ごとの
16
日
曜日
1
か月ごとの
第 3
月曜日
キャンセル
戻る
次へ
編集
月の決まった日の予定は「日」を選択します。▼にタップして選択または枠に直接入力します。
「1か月ごと」にすると、毎月の予定になります。
月の決まった曜日の予定は「曜日」を選択します。
▼にタップして何週目の何曜日などを選択します。

◇ 毎 年 ◇

予定表
10:00
毎日
毎週
毎月
毎年
日付
10月
16
日
曜日
10月
第 3
月曜日
キャンセル
戻る
次へ
編集
毎年決まった月日の予定は「日付」にタップして日を設定します。
母の日など、月と曜日が決まっている予定は「曜日」を選択します。
▼にタップして月と曜日などを選択します。

4 次へ にタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 開始日と終了条件を設定します。

6 終了 にタップします。

予定の入力画面に戻ります。

件名など、その他の必要な項目を入力して ok にタップすると、設定した定期的な予定が入力されます。

MEMO

● 定期的な予定をすべて修正するとき

1 予定一覧画面などで、定期的な予定をタップして詳細画面を表示します。

2 画面左下の 編集 にタップし、確認画面で いいえ にタップします。

3 予定の編集をし、ok にタップします。

● 定期的な予定をすべて削除するとき

1 予定一覧画面などで、定期的な予定のひとつをタップしたままにして、ポップアップメニューから 予定の削除 を選択します。

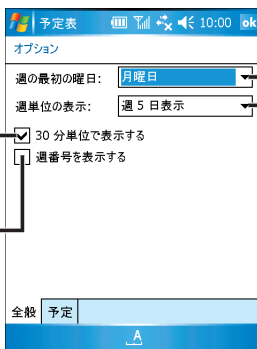
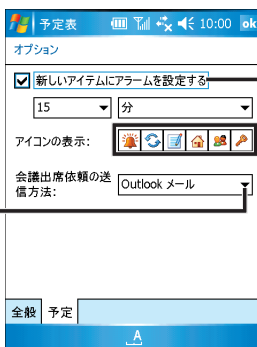
2 確認画面で はい にタップします。

表示形式を設定する

週の始まりを月曜日にしたり、時間帯の表示を30分単位にするなど、画面の表示形式を変更できます。

予定の各表示画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。

オプション画面が表示されます。

◇ 全般 タブ ◇

◇ 予定 タブ ◇

入力した予定を変更する／削除する

予定を変更する

1 **予定一覧画面で、変更したい予定にタップします。**
予定の詳細が表示されます。

2 **画面左下の［編集］にタップします。**

MEMO
- 予定のメモを変更したいときは、［メモ］タブにタップして変更します。
- 定期的な(パターンを設定した)予定のときは、確認画面が表示されます。選択した予定だけを変更するときは［はい］、定期的な予定をすべて変更するときは［いいえ］にタップしてください。

3 **変更が終わったら、ok にタップします。**

予定を削除する

1 **予定一覧画面などで、削除する予定をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから［予定の削除］にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

MEMO
- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい予定を選択し、画面右下の［メニュー］—［予定の削除］をタップします。
  - ・削除したい予定の詳細画面で、画面右下の［メニュー］—［削除］をタップします。
- 定期的な(パターンを設定した)予定のときは、確認画面が表示されます。定期的な予定をすべて削除するときは［はい］、選択した予定だけを削除するときは［いいえ］にタップします。

会議出席依頼をメールで送信する

Microsoft OutlookやMicrosoft Outlook Mobileのユーザーへ会議出席依頼を送信される場合は、パソコンと同期して送信しますので、表示形式を設定するの[予定]タブ(☞6-22ページ)をご覧になり会議出席依頼の送信方法をOutlookに設定しておいてください。
また、Eメール(ウィルコム)やプロバイダーのメールを使って送信される場合もそれぞれ送信されるアカウントに設定しておいてください。

1 **会議出席依頼を送信するためには、出席者のメールアドレスをプログラムの「連絡先」へ登録しておく必要があります。まだの方は登録しておいてください。**

2 **予定一覧画面などから会議出席依頼を送信する予定をタップし、画面左下の[編集]にタップします。**

3 **「出席者」にタップします。**
メールアドレスが登録されている連絡先のリストが表示されます。

4 **リストから会議の出席依頼を送信する相手にタップします。**

MEMO
- 出席者を追加するときは、画面左下の[追加]をタップします。
- 追加した送信先を削除するときは、削除する送信先にタップしてから画面右下の[削除]をタップします。
- 新しい(連絡先に登録していない)出席者を追加するときは、画面左下の[追加]にタップしてから、画面右下の[メニュー]−[新しい連絡先]にタップします。

5 **okにタップします。**
予定の編集画面に、「出席者」欄に追加した送信先が表示されます。

6 **okにタップします。**

7 **確認画面で[はい]にタップします。**
会議の出席依頼が自動的に作成され、メールの「送信トレイ」フォルダに保存されます。

Microsoft OutlookやMicrosoft Outlook Mobileのユーザーへ会議出席依頼を送信される場合
パソコンとの連携(☞8-2ページ)をご覧になり、ActiveSyncでメールを同期します。

Eメール(ウィルコム)やプロバイダーのメールを使って送信される場合
メール(☞4-6ページ)をご覧になり、[送受信]をタップして送信します。

祝日を設定する

ActiveSyncを使ってパソコン側のMicrosoft Outlookと同期することによって、予定表に祝日を設定できます。

1 パソコン側のMicrosoft Outlookに祝日を追加します。

祝日の追加については、パソコンのMicrosoft Outlookにあるヘルプをご覧ください。

2 ActiveSyncで予定表を同期します。

予定表に祝日が追加されます。

MEMO

- パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。
- ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、あらかじめ同期する項目や期間の設定をご確認ください。

予定表のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい予定		新規作成画面を開く。
予定の削除		選択している予定を完全に削除する。
表示	予定一覧	予定一覧画面を表示する。
	日	日単位で予定を表示する。
	週	週単位で予定を表示する。
	月	月単位で予定を表示する。
	年	年単位で予定を表示する。
編集	切り取り	選択した予定データを切り取る。
	コピー	選択した予定データをコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、予定表に貼り付ける。
オプション		全般タブ：カレンダーの表示形式を設定する。 予定タブ： ・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、設定した時間のアラームが新規作成画面で自動的に入力される。 ・「アイコンの表示」でアイコンをタップして設定すると、予定に設定した内容に沿って、それぞれのアイコンが一覧画面などに表示される（アイコンをタップしたままにすると、その名前が表示される）。 ・「会議出席依頼の送信方法」は、会議出席依頼を送信する方法を選択する。
フィルタ※	すべての予定	すべての予定を予定一覧画面に表示する。
	分類項目なし	分類項目を「分類項目なし」で作成した予定を、予定一覧画面に表示する。

※フィルタのメニューには、予定で設定した分類項目が表示されます。

- 予定をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。
- Today画面で予定を表示しているときは、その日の予定が表示されます。

連絡先

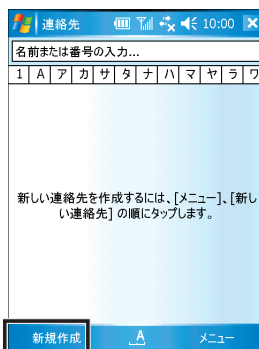
住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。電話をかけたり、メールを送るときに使うと便利です。
連絡先の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

● パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って連絡先のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

連絡先を登録する（新規作成）

1 Today画面右下の 連絡先 、または スタート メニューの “連絡先”にタップします。

連絡先の一覧画面が表示されます。

2 画面左下の 新規作成 にタップします。

名前の入力画面が表示されます。

● 画面右下の メニュー ― 新しい連絡先 をタップしても、新規入力画面が表示されます。

3 名前から入力します。

4 入力したい項目にタップし、その他の情報を入力していきます。

- 「名前」、「勤務先」、「勤務先住所」、「自宅住所」、「その他の住所」は、項目にタップすると入力画面がポップアップ表示されます。
- 設定した画像は、連絡先の概要で表示されます（☞次ページ）。
- 「分類項目」を設定しておくと、設定した分類項目を含む連絡先だけをフィルタ表示できます（☞1-30ページ）。

5 入力が終わったら、okにタップします。

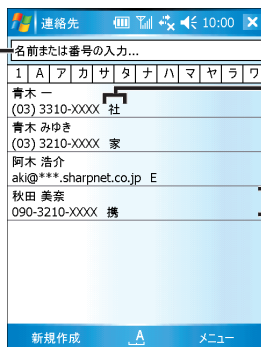
入力した連絡先が追加されます。

- 電話番号入力欄に電話番号と「P」（アルファベットのP、全角半角／大文字小文字いずれも可）を入力すると、3-12ページで説明している「発信中、ポーズを使う」ができます。
  たとえば、電話番号に03XXXXXXXXP12XXと入力し保存したのち、「連絡先から電話をかける」（☞6-32ページ）を行うと、Pの前の「03XXXXXXXX」までを発信して止まります。 ボタンを押すと、残りの「12XX」を発信します。

連絡先を表示する

1 Today画面右下の 連絡先 にタップします。

連絡先の一覧画面が表示されます。
一覧画面には、名前のほかに、電話番号やメールアドレスがひとつ表示されます。

検索したい「姓」または「名」のフリガナや電話番号を入力すると、一覧画面に表示されている連絡先を検索して表示します。
検索結果の画面で←にタップすると一覧画面に戻ります。
※フリガナは、ひらがなでもカタカナでも検索できます。

一覧に表示されている連絡先の項目が1文字で表示されます。
「社」(勤務先電話)、「家」(自宅電話)、「携」(携帯電話)、「P」(PHS)、「E」(電子メール)などです。

タップすると、連絡先の概要(詳細)が表示されます。

- ひとつの連絡先に、複数の電話番号やメールアドレスを設定しているときは、一覧に表示する内容を選べます(☞次ページ)。
- 電話番号の検索対象は一覧画面に表示されている番号だけになります。

2 詳細を表示したい連絡先にタップします。

タップした連絡先の概要が表示されます。

連絡先などをタップすると編集画面が表示されます。

- 一覧に表示する項目にメールアドレスが選択(反転)されているときは画面左下に 電子メール が表示されます。

3 確認が終わったら、ok にタップします。

一覧画面に戻ります。

一覧に表示する電話番号やメールアドレスを変更する

ひとつの連絡先に複数の電話番号やメールアドレスを入力しているときは、一覧画面に表示する項目を変更できます。

1 一覧画面で(カーソル)ボタンの上や下を押して、表示項目を変更したい連絡先を反転させます。

2 (カーソル)ボタンの左や右を押して、目的の項目を表示させます。

MEMO

- 携帯電話の番号を入力するとSMSも自動的に表示されますが、この製品はSMSに対応しておりません。

特定した会社の連絡先を一覧表示する

名前順で表示されている連絡先を、勤務先別に一覧表示できます。

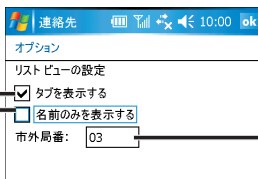
1 一覧画面で画面右下の[メニュー]－[表示方法]－[勤務先]にタップします。

勤務先別に一覧表示されます。

- 名前順に戻すときは、画面右下の[メニュー]－[表示方法]－[名前]にタップします。

一覧画面の表示設定を変更する

一覧画面に表示されている50音タブを非表示にしたり、名前だけの表示にしたりできます。

1 一覧画面で画面右下の[メニュー]－[オプション]にタップします。

オプション設定画面が表示されます。

2 設定が終わったら、okにタップします。

設定が反映された一覧画面が表示されます。

連絡先に写真をつける／削除する

連絡先ごとに写真や画像を設定できます。画像を登録した相手から電話がかかってきたときに着信画面に画像を表示します。
設定する写真などは保存している画像から選ぶか、その場で内蔵のカメラを使って撮影します。

写真や画像をつける

1 入力画面で「画像」欄にタップします。

画像の選択画面で「マイ ピクチャ」フォルダに保存されている画像が表示されます。

2 設定したい画像にタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。

3 okにタップします。

カメラで撮った写真をつける

1 入力画面で「画像」欄にタップします。

2 画像の選択画面で カメラ にタップします。

カメラが起動し画像が画面に表示されます。

3 シャッターボタンを押して撮影します。

しばらくすると撮影した画像が画面に表示されます。

4 画面左下の 選択 にタップします。

画像が設定され、入力画面の「画像」欄に「画像の変更」と表示されます。
撮影しなおすときは画面右下の 再試行 にタップします。

5 okにタップします。

MEMO
- 撮影した画像は「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 撮影の方法について、詳しくは「静止画（画像）を撮影する」（☞7-4ページ）をご覧ください。

設定した写真や画像を削除する

1 一覧画面で、写真や画像を削除したい連絡先にタップします。
連絡先の概要が表示されます。

2 画像にタップします。
連絡先の編集画面が表示されます。

3 画面右下の［メニュー］－［画像の削除］にタップします。

4 確認画面で［はい］にタップします。

5 okにタップします。

MEMO
- 上記手順では連絡先に設定した画像を削除しますが、実際の画像は削除されません。

連絡先から電話をかける

1 一覧画面のとき：電話をかけたい連絡先をタップしたままにして、［電話をかける］にタップします。
詳細画面のとき：画面右下の［メニュー］－［電話をかける］にタップします。
電話番号を選択する画面が表示されます。

MEMO
- 一覧画面／詳細画面で［電話］ボタンを押しても電話番号を選択する画面が表示されます。
- 一覧画面で電話をかけたい連絡先を選択し、画面右下の［メニュー］－［電話をかける］にタップしても、電話番号を選択する画面が表示されます。

2 電話をかける番号にタップまたは、(カーソル)ボタンで電話番号を選択し[発信]ボタンを押し、確認画面で はい にタップします。

発信画面で電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

連絡先からメールを作成する

1 一覧画面でメールを送りたい連絡先をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 電子メールの送信 または ライトメール作成 にタップします。

3 メールのとき　　　：アカウントの選択画面で送るメールのアカウントを選択します。

ライトメールのとき：電話番号選択画面でライトメールの送信先を選択します。

選んだ連絡先のメールアドレス／電話番号が入った、メールやライトメール作成画面が表示されます。

4 メッセージなどを入力したら ok にタップします。

5 確認画面で はい にタップします。

作成したメールが、“メール”または“ライトメール”の下書き(フォルダ)に保存されます。

MEMO

- メールについて、くわしくは4-2ページ、ライトメールについてくわしくは4-34ページをご覧ください。
- 手順**1**で詳細画面を表示し、メニュー－ライトメール作成 をタップしてもライトメールの作成ができます。

ご注意！

- ライトメールに対応していない電話機へライトメールを送信したときは、相手に電話がかかります。

連絡先を修正／削除する

連絡先を修正する

1 一覧画面で、修正する連絡先にタップします。

連絡先の概要が表示されます。

2 修正したい連絡先の項目（電話番号や住所など）にタップして修正します。

3 okにタップします。

MEMO

- 手順**2**で画面右下の メニュー ─ 編集 にタップしても修正できます。

連絡先を削除する

1 一覧画面で、削除する連絡先をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 連絡先の削除 にタップします。

3 確認画面で はい にタップします。

MEMO

- 次の方法でも削除できます。
  - ・一覧画面で削除したい連絡先を選択し、画面右下の メニュー ─ 連絡先の削除 にタップします。
  - ・削除したい連絡先の概要画面で、画面右下の メニュー ─ 削除 にタップします。

連絡先のメニュー

一覧画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">新しい連絡先</td><td>新規作成画面を開く。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先のコピー</td><td>選択している連絡先をコピーして追加する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先の削除</td><td>選択している連絡先を削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>・「タブを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面で50音のタブが表示される。
・「名前のみを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に名前だけが表示される。
・「市外局番」に設定した番号が、市外局番として入力画面で自動的に入力される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示方法</td><td>名前</td><td>名前順に表示する。</td></tr>
<tr><td>勤務先</td><td>会社ごとに表示する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">フィルタ※</td><td>すべての連絡先</td><td>すべての連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td>最近表示したアイテム</td><td>最近表示した連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td>分類項目なし</td><td>分類項目を設定していない（分類項目なしの）連絡先を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライトメール作成</td><td>ライトメール送信先の電話番号を選択してメールを作成する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話をかける</td><td>ダイヤルする電話番号を選択して電話をかける。</td></tr>
</table>

※フィルタのメニューには、連絡先で設定した分類項目が表示されます。

● 一覧画面で連絡先をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。電子メールアドレスを登録しているときは、ポップアップメニューから 電子メールの送信 にタップしてメールを作成できます。

編集画面のメニュー

画像の削除	設定した画像を削除する。
元に戻す	ひとつ前の状態に戻す。
やり直す	直前の操作を繰り返す。
切り取り	選択した文字列などを切り取る。
コピー	選択した文字列などをコピーする。
貼り付け	クリップボードにある文字列などを、指定したポイントに貼り付ける。
クリア	範囲指定した文字列などを消す。
すべて選択	編集しているデータ全体の文字列などを範囲指定する。

概要(詳細表示)画面のメニュー

編集	表示している連絡先を編集する。
SMSメッセージの送信（メモタブ）	この製品はこの機能に対応しておりません。
連絡先のビーム（メモタブ）	この製品はこの機能に対応しておりません。
削除	表示している連絡先を削除する。
ズーム（メモタブ）	表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。
ライトメール作成(概要タブ)	ライトメール送信先の電話番号を選択してメールを作成する。
電話をかける（概要タブ）	ダイヤルする電話番号を選択して電話をかける。

仕事

やらなければいけない用件の進捗状況などを管理します。
仕事の使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使って仕事のデータと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

仕事に優先度をつけて保存する（新規作成）

1 スタート メニューの “プログラム”にタップします。

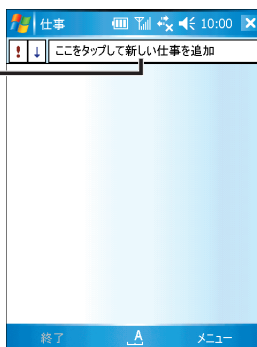
2 プログラム画面の “仕事”にタップします。

仕事の一覧画面が表示されます。

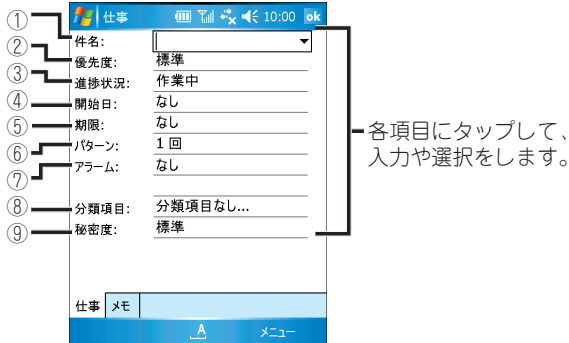
3 画面右下の メニュー － 新しい仕事 にタップします。

仕事の新規入力画面が表示されます。

6 辞書・PIM機能

仕事

各項目にタップして、件名、優先度、開始日などを入力／選択します。

● 文字を入力するときは、キーボードを使って入力すると便利です（☞1-34ページ）。

---

① **件名**
直接入力するか、▼にタップして一覧から選びます。

② **優先度**
優先度（「高」、「標準」、「低」）を選びます。

③ **進捗状況**
「作業中」または「終了」を選びます。

④ **開始日**
タップして、表示されたカレンダーから開始日を選びます。

⑤ **期限**
タップして、表示されたカレンダーから期限日を選びます。

⑥ **パターン**
入力中の仕事を1回だけとするのか、または毎週や毎月などの定期的な仕事にするのかを設定します。「1回」にすると、1回だけの仕事となります。
仕事の間隔（パターン）を編集するときは、「<パターンの編集>」にタップします（☞6-41ページ）。

⑦ **アラーム**
アラームの設定をします。
・「通知」：アラームが通知されます。
・「なし」：アラームは通知されません。
「通知」にしたときは、日付や時間にタップしてアラームを通知する日時を設定します。

アラーム音を鳴らないようにするには：

1 **スタート** **メニューの“設定”－“音と通知”－** **通知** **タブにタップします。**
2「イベント」欄で「アラーム」を選択します。
3「音を鳴らす」のチェックを外し、ok にタップします。

⑧ **分類項目**

入力中の仕事に「会社関係（取引先）」などの分類項目を設定して、グループ化します。分類項目を設定しておくと、必要なデータをすばやく検索（フィルタ）できます（☞1-30ページ）。

⑨ **秘密度**

「標準」、「個人」、「プライベート」、「社外秘」から選びます。

● 仕事にメモを追加したいときは、［メモ］タブにタップして入力します。

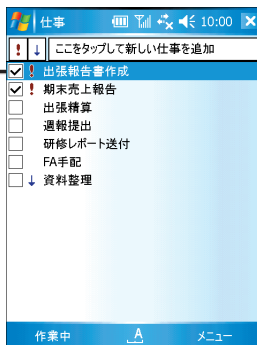
5 入力が終わったら、 ok にタップします。

仕事を一覧表示する

1 **[スタート]メニューの “プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面の “仕事”にタップします。**

仕事の一覧画面が表示されます。
期限が過ぎた仕事は、赤字で表示されます。

チェックなしは作業中、チェックありは終了した仕事です。
この画面でチェックをつけたりはずしたりできます。

MEMO

- 仕事を選択し、画面左下の[終了]または[作業中]にタップしてもチェックをつけたりはずしたりできます。
- 画面右下の[メニュー]ー[オプション]にタップし、「仕事入力バーを表示する」のチェックをはずすと、仕事入力バーが非表示になります(☞6-45ページ)。
- 画面右下の[メニュー]ー[オプション]にタップし、「開始日と期限を表示する」にチェックをつけると、2行の表示になります。

定期的な仕事を入力する(パターンの編集)

週報や毎月の進捗レポート提出などの定期的な仕事を、仕事の間隔(パターン)を編集してまとめて入力できます。
仕事の入力については、6-37ページをご覧ください。

1 入力画面で「パターン」欄にタップし、表示されたメニューの「<パターンの編集>」にタップします。

パターンの編集画面が表示されます。

2 開始日や期限などを入力して、[次へ]にタップします。

3 画面上部にある[毎日]や[毎週]などにタップして、表示された画面で仕事の間隔を設定します。

◇毎 日◇

月曜日から金曜日の毎日に設定するときに選択します。

◇毎 週◇

仕事 10:00
毎日
毎週
毎月
毎年
間隔 1 週ごと
日 月 火 水 木 金 土
キャンセル
戻る
次へ
編集
何週ごとにするのか▼にタップして選択または枠内に直接入力します。
「1週ごと」にすると毎週の仕事になります。
仕事をいれる曜日にタップして選択します（複数選択できます）。

◇毎 月◇

仕事 10:00
毎日
毎週
毎月
毎年
日 1 か月ごとの 16 日
曜日 1 か月ごとの 第 3
月曜日
キャンセル
戻る
次へ
編集
月の決まった日の仕事は「日」を選択します。▼にタップして選択または枠に直接入力します。
「1か月ごと」にすると、毎月の仕事になります。
月の決まった曜日の仕事は「曜日」を選択します。
▼にタップして何週目の何曜日などを選択します。

◇毎 年◇

仕事 10:00
毎日
毎週
毎月
毎年
日付 10月 16 日
曜日 10月 第 3
月曜日
キャンセル
戻る
次へ
編集
毎年決まった月日の仕事は「日付」にタップして日を設定します。
月と曜日が決まっている仕事は「曜日」を選択します。
▼にタップして月と曜日などを選択します。

4 次へ にタップします。

「定期的なパターンの開始日と終了日の設定」画面が表示されます。

5 開始日と終了条件を設定します。

定期的な仕事に期限があるときは、「終了日」または「反復回数」を選択します。

終了日：
設定日まで定期的な仕事を作成します。

反復回数：
設定した回数だけ仕事を作成します。

仕事 10:00
定期的なパターンの開始日と終了日の設定
開始日：
2006/10/16 (月)
終了条件：
終了日未定
終了日 2015/10/16 (金)
反復回数 10
キャンセル 戻る 終了
編集

▼にタップして、表示されたミニカレンダーから日を選択、または直接入力します。

▼にタップして選択または直接入力します。

6 終了 にタップします。

仕事の入力画面に戻ります。
件名など、その他の必要な項目を入力して ok にタップすると、設定した定期的な仕事が入力されます。

MEMO

- **定期的な仕事を修正するとき**

  1 一覧画面などで、修正したい定期的な仕事をタップして詳細画面を表示します。

  2 画面左下の 編集 にタップして修正します。
  定期的な仕事が一度に修正されます。

- **定期的な仕事をすべて削除するとき**

  1 一覧画面などで、定期的な仕事をタップしたままにしてポップアップメニューから 仕事の削除 を選択します。

  2 確認画面で はい にタップします。

作業中の仕事／終了した仕事を表示する（フィルタ）

作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけを一覧表示できます。

1 **一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［フィルタ］にタップします。**

2 **［作業中の仕事］または［終了した仕事］にタップします。**

タップしたメニューにチェックがつきます。
作業中の仕事だけ、または終了した仕事だけが一覧表示されます。

MEMO

- すべての仕事を表示するときは、もう一度手順**1**と**2**を行います。
  手順**2**でメニューにつけたチェックが外れて、すべての仕事が表示されます。
- 分類項目でフィルタ表示しているときは、その中で作業中の仕事、終了した仕事が表示されます。分類項目については、1-28ページをご覧ください。

仕事を並べ替える

入力している仕事を条件別に並べ替えできます。

1 **一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［並べ替え］にタップします。**

2 **並べ替える条件（状態、優先度、件名、開始日、期限）にタップします。**

・状態　：“作業中の仕事”、“終了した仕事”別に表示されます。
・優先度：仕事に設定している優先度別に表示されます。
・件名　：仕事の件名別に表示されます。
・開始日：仕事に設定している開始日順に表示されます。
・期限　：仕事に設定している期限日順に表示されます。

MEMO

- 並べ替えられた順を逆に（例えば、優先度の高→低を低→高に）変えたいときは、もう一度手順**1**と**2**を行います。

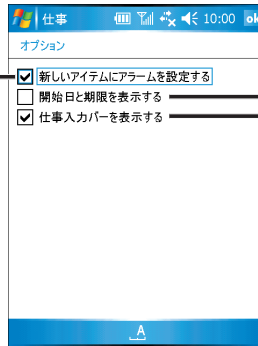
オプションの設定をする

一覧画面で表示する内容を変更できます。

1 **一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［オプション］にタップします。**

オプション画面が表示されます。

仕事 10:00 ok
オプション
☑ 新しいアイテムにアラームを設定する
☐ 開始日と期限を表示する
☑ 仕事入力バーを表示する

チェックをつけると、新規入力画面で開始日と期限日を入力すると「アラーム」欄が自動的に「通知」に設定されます。

チェックをつけると、一覧画面に開始日と期限日が表示されます（2行表示されます）。

チェックを外すと、仕事入力バーが非表示になります（☞6-40ページ）。

2 **設定する項目にチェックをつけます。**

3 **設定が終わったら、ok にタップします。**

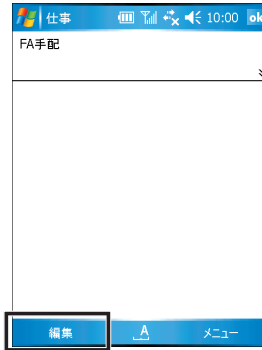
6 辞書・PIM機能

仕事

仕事を修正／削除する

仕事を修正する

1 **一覧画面で、修正する仕事にタップします。**

仕事の詳細が表示されます。

2 **画面左下の［編集］にタップします。**

3 **修正が終わったら、［ok］にタップします。**

● 仕事のメモを変更したいときは、［メモ］タブにタップして変更します。

仕事を削除する

1 **一覧画面で、削除する仕事をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから［仕事の削除］にタップします。**

3 **確認画面で［はい］にタップします。**

MEMO

● 次の方法でも削除できます。
- ・一覧画面で削除したい仕事を選択し、画面右下の［メニュー］－［仕事の削除］をタップします。
- ・削除したい仕事の詳細画面で、画面右下の［メニュー］－［削除］をタップします。

● 定期的な(パターンを設定した)仕事のときは、確認画面が表示されます。定期的な仕事をすべて削除するときは［はい］、選択した仕事だけを削除するときは［いいえ］にタップします。

仕事のメニュー

一覧画面のメニュー

新しい仕事		新規入力画面を開く。
仕事の削除		選択している仕事を完全に削除する。
編集	**切り取り**	選択したデータを切り取る。
	コピー	選択したデータをコピーする。
	貼り付け	クリップボードにあるデータを、仕事に貼り付ける。
オプション		・「新しいアイテムにアラームを設定する」にチェックがあるときは、新規入力画面で、開始日と期限日を入力すると「アラーム欄」が自動的に「通知」に設定される。 ・「開始日と期限を表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に開始日と期限が表示される。 ・「仕事入力バーを表示する」にチェックがあるときは、一覧画面に入力バーが表示される。
並べ替え	**状態**	終了した仕事、作業中の仕事に分けて表示する。
	優先度	仕事を優先度順で表示する。
	件名	仕事を件名順で表示する。
	開始日	仕事を開始日順で表示する。
	期限	仕事を期限日順で表示する。
フィルタ※	**すべての仕事**	すべての仕事を表示する。
	最近表示したアイテム	最近表示した仕事を表示する。
	分類項目なし	分類項目を設定していない（分類項目なしの）仕事を表示する。
	作業中の仕事 **終了した仕事**	フィルタ表示（上記）した仕事の中から、さらに「作業中の仕事」または「終了した仕事」だけを表示する。

※フィルタのメニューには、仕事で設定した分類項目が表示されます。

- 一覧画面などで仕事をタップしたままにすると、実行できる操作の一覧がポップアップメニューで表示されます。優先度もポップアップメニューから変更できます。
- Today画面（待ち受け画面）に、作業中や期限切れなどの仕事件数を表示できます（☞10-4ページ）。

メモ

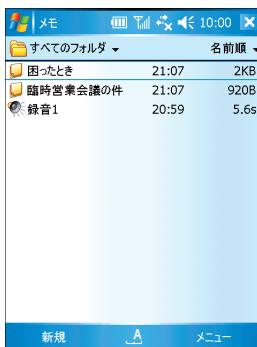
手書きした文字やイラスト、録音した自分の声などを保存できます。
メモの使いかたについて、この製品のヘルプもあわせてご覧ください。

- パソコンでMicrosoft Outlookをご使用の場合、ActiveSyncを使ってメモと同期できます。パソコンとの同期についてくわしくは8-2ページやパソコンにインストールされているActiveSyncのヘルプをご覧ください。

メモを書く(新規作成)

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“メモ”にタップします。**

メモの一覧画面が表示されます。

- メモのファイルがないときは、新規入力画面が表示されます。

3 画面左下の 新規 にタップします。

メモの新規入力画面が表示されます。

4 文字を入力します。

・罫線あり（手書き）の画面のときはスタイラスペンを使って、画面に文字を手書きできます。
・キーボードや入力パネルからも文字を入力できます。
・画面をタップしたままにして、表示されたポップアップメニューから 日付の挿入 を選ぶと、日付が挿入できます。

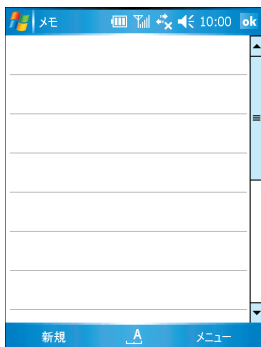
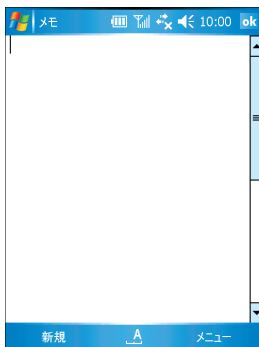
● 文字の入力方法について、くわしくは「文字入力のしかた」（☞1-32ページ）をご覧ください。

5 入力が終わったら、ok にタップします。

作成したメモが一覧画面に追加されます。

● 手書きしたメモのファイル名は「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。キーボードや文字入力パネルから入力したメモのファイル名は、最初の行に書かれている文字がファイル名となります。
● 3本以上の罫線にまたがって手書きした文字は、描画として扱われます。

入力画面のモードについて

罫線あり（手書き）の画面
・スタイラスペンで手書き入力
・キーボード／入力パネルから入力

罫線なしの画面
・キーボード／入力パネルから入力
（手書き入力はできません）

罫線あり／なしの画面を切り替えるには、入力画面で画面右下の［メニュー］－［描画］にタップします。
画面のズームは、画面右下の［メニュー］－［ズーム］にタップして倍率を選択します。

● 手書きした文字を編集するときは、画面右下の［メニュー］－［描画］にタップして、チェックを外してから、罫線なしの画面で手書き文字をなぞって選択します。なぞって選択した手書き文字は、画面右下の［メニュー］から、コピー／貼り付け／切り取りなどの編集ができます。

メモを一覧表示する

1 **スタート** **メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“メモ”にタップします。**

メモの一覧画面が表示されます。

① **フォルダの切り替え**

タップするとすべてのフォルダが一覧で表示され、フォルダを切り替えられます。また、「追加／削除」を選択するとフォルダを新規作成したり、名前の変更や削除ができます。

② **並べ替え**

タップすると並べ替え順の項目が表示されます。

並べ替えの項目をタップすると、その項目を基準にメモが並び替わります。

③ **メモファイル**

タップするとメモの内容が表示されます。

④ **音声ファイル**

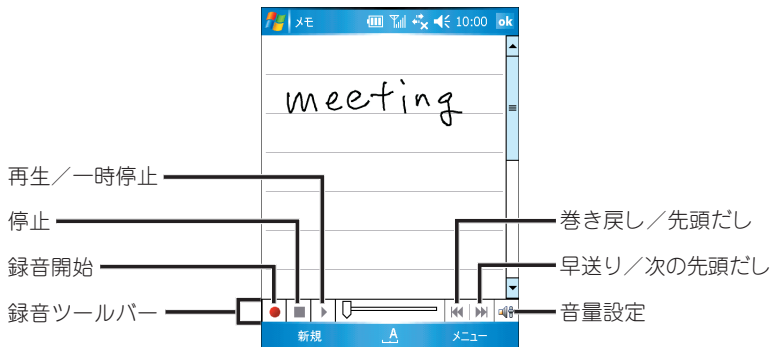
タップすると音声が再生されます。

マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除してください。

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
  「メモ」の入力画面以外で録音した音声はのアイコンで表示されます。

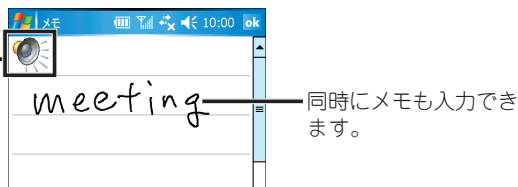
録音する

1 入力画面で、画面右下の[メニュー]ー[録音ツール バーの表示]にタップして、チェックをつけます。

録音ツールバーが表示されます。

2 ●にタップすると録音が始まります。

本体の下側にあるマイク（☞1-2ページ）に向かって自分の声などを録音します。

3 ■にタップすると録音が終了します。

入力画面で録音したときは、録音が終了すると画面に🔊が表示されます。
削除するときは🔊をなぞってから、タップしたままにして表示されたポップアップメニューから[クリア]にタップします。

4 okにタップします。

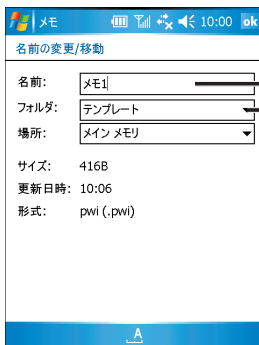
１つのメモファイルとして登録されます。

- 録音ツールバーを消すときは、画面右下の[メニュー]ー[録音ツール バーの表示]にタップして、チェックを外します。
- 録音した音声などを再生するときは、🔊にタップします。本体裏面のスピーカー（☞1-5ページ）から音が出ます。
- メモの入力画面から録音した音声は、音声だけでもメモファイルとして保存されます（一覧画面では、📒（メモファイル）のアイコンで表示されます）。
- メモの一覧画面から録音すると、１つの音声ファイルとして保存されます（一覧画面では、🔊（音声ファイル）のアイコンで表示されます）。
- 録音ツールバーから音量を変更すると、この製品全体の音量も変更されます。音量を大きくすると、着信音などの音量も大きくなります。

自分用のテンプレートを作成する

1 テンプレートにしたいメモを作成します。

2 一覧画面で、テンプレートにしたいメモをタップしたままにします。

3 ポップアップメニューから、[名前の変更／移動]にタップします。

「名前の変更／移動」画面が表示されます。

- 画面右下の[メニュー]－[名前の変更／移動]にタップしても名前の変更／移動画面が表示されます。

4 「名前」欄に、作成したテンプレートにつける名前を入力します。

5 「フォルダ」欄の▼をタップして、「テンプレート」を選択します。

6 okにタップします。

作成したテンプレートが保存されます。

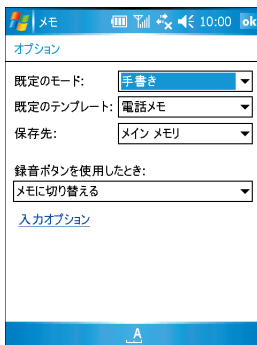
6 辞書・PIM機能

メモ

テンプレートを設定する

よく使うテンプレートを新規入力画面でいつも表示されるように設定できます。

1 **一覧画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。**

オプション画面が表示されます。

2 **「既定のモード」欄で▼をタップして、「手書き」または「入力」を選びます。**

3 **「既定のテンプレート」欄で▼をタップして、設定したいテンプレートを選びます。**

4 **保存先などを選択して、ok にタップします。**

メモの一覧画面に戻ります。

設定後は、画面左下の 新規 にタップすると、選択したテンプレートの入力画面が表示されるようになります。

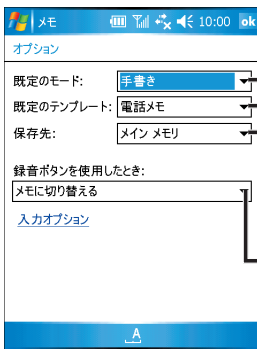
- テンプレートを表示させないようにするには、上記の手順**3**で「白紙のメモ」を選びます。

オプションを設定する

新規入力画面のモードなどを設定します。

1 一覧画面で、画面右下の メニュー ー オプション にタップします。

オプション画面が表示されます。

2 それぞれの設定をします。

- 「入力オプション」にタップすると、スタート メニューの“設定”ー“入力”と同じ設定ができます。

3 設定が終わったら、ok にタップします。

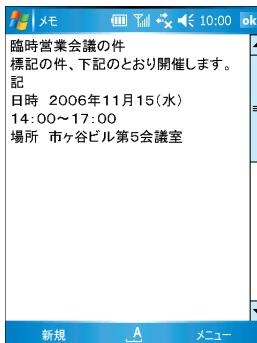
6 辞書・PIM機能

メモ

メモを修正／削除する

メモを修正する

1 **一覧画面で、修正するメモにタップします。**

メモの詳細が表示されます。

2 **メモを修正します。**

3 **okにタップします。**

メモを削除する

1 **一覧画面で、削除するメモをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **削除にタップします。**

3 **確認画面ではいにタップします。**

MEMO

- 削除したいメモを選択し、画面右下のメニュー－削除にタップしても削除できます。

メモのメニュー

一覧画面のメニュー

録音ツール バーの表示	録音ツールバーを表示／非表示する。
名前の変更／移動	メモのファイル名や保存先のフォルダなどを変更して保存する。
削除	選択しているメモを削除する。
コピー作成	選択しているメモをコピーして追加する。
すべて選択	一覧画面のメモをすべて選択する。
送信	一覧画面で選択しているメモを添付ファイルで送信する。
オプション	・「既定のモード」 設定したモードが新規入力画面で表示される。 ・「既定のテンプレート」 設定したテンプレートが新規入力画面に表示される。 ・「保存先」 設定した場所に、作成したメモが保存される。 ・「録音ボタンを使用したとき」 この製品はこの機能に対応しておりません。

編集画面のメニュー

録音ツール バーの表示		録音ツールバーを表示／非表示する。
描画		手書き画面（罫線あり）を表示／非表示する。
元に戻す		ひとつ前の状態に戻す。
やり直し		「元に戻す」で行った操作を取り消します。
切り取り		選択した文字列や図形を切り取る。
コピー		選択した文字列や図形をコピーする。
貼り付け		クリップボードにある文字列や図形を、指定したポイントに貼り付ける。
編集	**クリア**	範囲指定した文字列や図形、音声（　）を消す。
	すべて選択	メモ全体の文字列などを範囲指定する。
ズーム		表示の大きさを設定する。75%～300%まで5段階。
ツール	**名前の変更／移動**	作成済みのメモを開いているとき、メモの名前や保存先を変更して保存する。
	削除	編集中のメモを完全に削除する。
	送信	メモを添付ファイルで送信する。

7　映像と音楽

画像とビデオ

静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影および画像の編集ができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

カメラをご使用になる前に

この製品は、有効画素数133万画素のカメラを搭載し、静止画（画像）や動画（ビデオ）の撮影ができます。

撮影サイズ／保存形式や保存場所について

撮影した静止画（画像）や動画（ビデオ）は、以下の保存形式で保存されます。

モード	撮影サイズ	保存形式	保存場所
静止モード	320×240ドット（QVGA） 640×480ドット（VGA） 1280×1024ドット（SXGA）	JPEG	マイピクチャフォルダ またはminiSDカード
ビデオモード	320×240ドット（QVGA）	Windows Media Video（WMV）	マイピクチャフォルダ またはminiSDカード

ご注意！

- miniSDカードに保存するときは、DCIMフォルダの中にファイルが保存されます。一般的なデジタルカメラとは保存場所が異なります。

撮影可能距離

・このカメラの撮影可能距離は、約1.2m〜無限遠です。

カメラ撮影中の撮影音について

・カメラ撮影時には、シャッター音（静止画撮影時）や撮影開始音（動画撮影時）が鳴ります。
マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

カメラ利用時に着信／アラーム動作があると

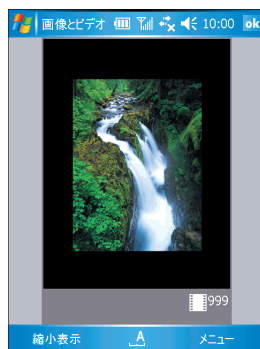
・撮影中に着信／アラーム動作があると、撮影を終了します。
撮影した静止画／動画は、保存されます。

スタンバイ画面について

・カメラ起動中に、約5分間何も操作しないでいると画面にスタンバイと表示されます。スタンバイと表示されたときは、画面をタップしてください。

カメラ利用時のご注意

・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
この製品が動かないようにしっかり持って撮影してください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・この製品を温かい場所に長時間置いたあとで、撮影したり画像を保存したときは画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。
・この製品ではバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ることはできません。
・横方向、縦方向どちらに構えても撮影することができますが、保存される画像の表示方向(縦横)は構えた方向ではなく画面設定(☞10-29ページ)で設定されている向きとなります。
画面の表示を切り替えるときは、画像とビデオ画面(☞7-6ページ)で縦横表示切替ボタン(☞1-2ページ)を押して切り替えてください。

縦表示設定時

ご注意!

● 撮影時("カメラモード"(☞7-4ページ)、"ビデオモード"(☞7-9ページ))は、縦横表示切替ボタンを押しても画面を切り替えることはできません。
また、キーボードを開いたり、閉じたとき画面を切り替える設定(☞10-23ページ)にしていても画面は切り替わりません。
画面上の OK にタップして一旦撮影を中止してから縦横表示切替ボタンを押して画面を切り替えてください。

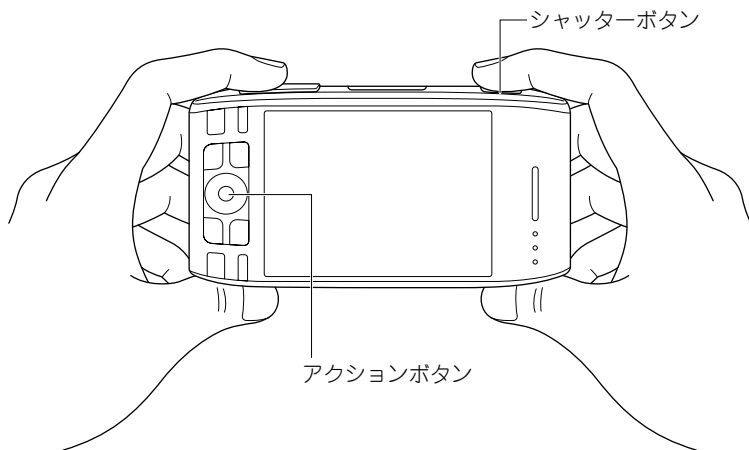
静止画（画像）を撮影する

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“画像とビデオ”にタップし、“カメラ”をタップします。**

ビデオモード（撮影画面の右下にが表示）で撮影されていた場合は、画面右下の メニュー ー 静止モード にタップしてください。

静止モード（画像撮影）画面が表示されます（撮影画面の右下にが表示）。

3 **画面にレンズからの画像が表示されます。**
被写体にレンズを向け、シャッターボタン、アクション ボタンまたは Enter キーを押します。

シャッター音が鳴り、撮影した画像が「マイ ピクチャ」フォルダに保存されます。

また、画面には撮影した画像が表示された状態になります。

4 **続いて撮影するときは、画面左下の カメラ にタップします。**

MEMO

- シャッターボタン、アクション ボタン、または Enter キーを押しても続けて撮影することができます。

5 **撮影を終了するときは、ok をタップします。**

MEMO

- 撮影時、画像の明るさやサイズを変更できます。画面右下の メニュー にタップし、 明るさ や 解像度 にタップして明るさやサイズを変更します（☞7-14ページ）。

連続して撮影する

1 **静止モード(画像撮影)画面で、画面右下の メニュー ー モード ー 連写 にタップします。**

2 **被写体にレンズを向け、シャッターボタン、アクション ボタンまたは Enter キーを押します。**

5回連続して撮影されます。

MEMO

- 連写モードでは、1枚目のシャッターを押すと、あとは一定の間隔(約5秒間隔)で残りの回数分が撮影されます。この間隔は、起動しているプログラムの数や撮影した画像の保存場所の設定によって変わります。

3 **撮影を終了するときは、ok をタップします。**

タイマーモードで撮影する

1 **静止モード(画像撮影)画面で、画面右下の メニュー ー モード ー タイマー にタップします。**

2 **被写体にレンズを向け、シャッターボタン、アクション ボタンまたは Enter キーを押します。**

タイマーが動作し、5秒後に撮影されます。

3 **撮影を終了するときは、ok をタップします。**

- タイマー動作中にシャッターボタン、アクション ボタンまたは Enter キーを押すと、その時点で撮影されます。

撮影した静止画（画像）を確認する

1 **プログラム画面で“画像とビデオ”にタップします。静止モード（画像撮影）画面のときは、画面左下の［縮小表示］にタップします。**

画像とビデオ画面（「マイ ピクチャ」フォルダに保存された静止画（画像）の一覧）が表示されます。

タップすると、どのフォルダにある静止画を一覧で表示したいか指定できます。

タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像が並び替わります。

フォルダ内の画像がサムネイル表示されます。

2 **確認したい静止画（画像）を選択し、画面左下の［表示］にタップします。**

画面全体に拡大され、詳細画面が表示されます。

- 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

3 **画面右上の ok にタップすると一覧に戻ります。**

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1 **画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［スライドショーの再生］にタップします。**

スライドショーを終了するときは、画面にタップしスライドショーツールバー（　）を表示し、にタップします。
スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止（　）、表示の回転（　）などの操作ができます。

MEMO

- **スライドショーでの表示を最適化できます。**
  1 **画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［オプション］－［スライドショー］タブにタップします。**
  2 **「スライドショーで表示を最適化する対象」を設定します（☞7-11ページ）。**

画像をメールに添付して送る

画像を電子メールの添付ファイルとして送信できます。

1 画像とビデオ画面で電子メールの添付ファイルとして送信したい画像をタップしたままにします。

ポップアップメニューが表示されます。

2 送信 にタップします。

画像を添付ファイルとした新規メールの作成画面が表示されます。
「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

MEMO

● 添付ファイルとして送信したい画像を選択し、画面右下の メニュー － 送信 にタップしても画像を添付ファイルとした新規メールの作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、本文などを入力します。

メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞4-6ページ)をご覧ください。

画像を「Today」画面の背景に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定できます。くわしくは10-4ページをご覧ください。

撮影した静止画(画像)を編集する

撮影した画像をトリミング(切り抜き)したり、明るさ／コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 **画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の[表示]にタップします。**

2 **画面右下の[メニュー]－[編集]にタップして画像を編集します。**

■画像をトリミング(切り抜き)する

1 **画面右下の[メニュー]－[トリミング]にタップします。**

2 **切り抜きしたい部分にドラッグします。**

3 **切り抜きしたい領域内をタップします。**

トリミングをやめるときは、画面右下の[メニュー]－[元に戻す]にタップします。

4 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の[メニュー]－[名前を付けて保存]にタップし、ファイル名を確認しokにタップします。**

■明るさ／コントラストのレベルを調整する

1 **画面右下の[メニュー]－[自動修正]にタップします。**

明るさ／コントラストのレベル調整をやめるときは、画面右下の[メニュー]－[元に戻す]にタップします。

2 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の[メニュー]－[名前を付けて保存]にタップし、ファイル名を確認しokにタップします。**

MEMO

- 画面左下の[回転]にタップすると、90度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の[メニュー]－[元に戻す]にタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の[メニュー]－[前回保存したときの状態に戻す]にタップします。

動画(ビデオ)を撮影する

1 画像とビデオ画面で、「カメラ」をタップします。

静止モード(撮影画面の右下に▮が表示)で撮影されていた場合は、画面右下の[メニュー]-[ビデオ]にタップしてください。
ビデオモード(動画撮影)画面が表示されます(撮影画面の右下に が表示)。 画像の明るさを変更するときは、画面右下の[メニュー]にタップし、[明るさ]にタップして明るさを選択します。

2 被写体にレンズを向け、シャッターボタン、(アクション)ボタンまたは(Enter)キーを押します。

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

3 もう一度、シャッターボタン、(アクション)ボタンまたは(Enter)キーを押して録画を停止します。

撮影した動画は、「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

4 撮影を終了するときは、ok をタップします。

MEMO

- 動画のサイズは、320×240ドット固定です。
- **ビデオには、マイク(送話口)に向かって自分の声なども録音できます。**
  音声を録音するときは、以下の設定をします。
  1 画像とビデオ画面右下の[メニュー]-[オプション]-[ビデオ]タブをタップします。
  2「ビデオファイルの収録時にオーディオを含める。」にチェックをつけます(☞7-12ページ)。

撮影した動画(ビデオ)を確認する

1 画像とビデオ画面で、確認したい“ ”動画(ビデオ)を選択し、画面左下の[再生]にタップするとWindows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。

Windows Media Player 10 Mobileの操作についてくわしくは、7-18ページをご覧ください。

MEMO

- マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除(☞1-13、3-33ページ)してください。

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［編集］－［新しいフォルダ］にタップします。

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

1 移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから［切り取り］にタップします。

MEMO

- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の［メニュー］－［編集］－［切り取り］にタップしても切り取りができます。

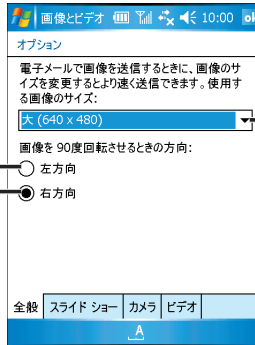
3 移動先のフォルダにタップし、フォルダを開きます。

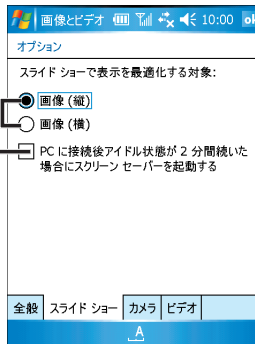
4 ［メニュー］－［編集］－［貼り付け］にタップします。

MEMO

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- **削除するときは**
  上記の手順**2**で［削除］にタップし、確認画面で［はい］にタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルはWindows Media Player 10 Mobileで使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから（☞7-18ページ）、再度、動画（ビデオ）ファイルを削除してください。
- **ファイルをコピーするときは**
  上記の手順**2**で［コピー］にタップします。
- **ファイルの名前を変更するときは**
  1 名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の［メニュー］－［プロパティ］にタップします。
  2 プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し ok にタップします。

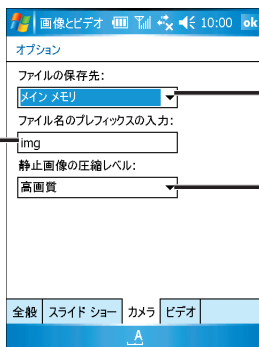
メールに添付するときのサイズを設定する

画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［オプション］－［全般］タブで、メールに添付するときのサイズの設定や編集画面で画像を回転させる方向の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

スライドショーの設定をする

画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［オプション］－［スライドショー］タブで、スライドショーの設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

撮影した画像の保存場所やファイル名の付け方を設定する

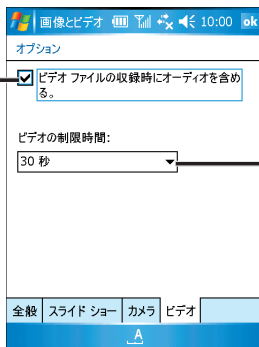
画像とビデオ画面右下の[メニュー]－[オプション]－[カメラ]タブで、画像の保存場所やファイル名の付けかた、圧縮レベルの設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

画像とビデオ 10:00 ok
オプション
ファイルの保存先:
メイン メモリ
ファイル名のプレフィックスの入力:
img
静止画像の圧縮レベル:
高画質
全般 スライド ショー カメラ ビデオ

画像を撮影したとき自動的に付く連番の前のファイル名を指定します。

画像を格納する場所として「メインメモリ」、または、「miniSDカード」を選択します。

静止画像の圧縮レベルを設定します。

録音やビデオ撮影時間を設定する

画像とビデオ画面右下の[メニュー]－[オプション]－[ビデオ]タブで、マイク(送話口)に向かって話している声などを録音できるようにしたりビデオ撮影時間の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオ画面のメニュー

カメラ		静止モードにする（☞7-4ページ）。
送信		選択した画像またはビデオを添付した新規メールを作成する（☞7-7ページ）。
連絡先に保存		連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。
削除		選択した画像またはビデオを削除する。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 削除 にタップしても削除ができる。
編集	切り取り	画像またはビデオを切り取る。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 切り取り をタップしても切り取りができる。
	コピー	画像またはビデオをコピーする。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから コピー をタップしてもコピーができる。
	貼り付け	コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。
	新しいフォルダ	画像やビデオを整理するための新しいフォルダを作成する（☞7-10ページ）。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する（☞7-6ページ）。
［Today］の背景に設定する		選択した画像をToday画面（待ち受け画面）の背景として設定する（☞7-7ページ）。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞7-11～12ページ）。

詳細画面のメニュー

ズーム		タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する（☞7-6ページ）。
［Today］の背景に設定する		表示している画像をToday画面（待ち受け画面）の背景として設定する（☞7-7ページ）。
保存	連絡先に保存	連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。
	名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。
編集		編集画面になる（☞7-8ページ）。
プロパティ		選択した画像またはビデオの情報を表示する。 また、名前の変更ができる。
オプション		オプション設定画面を表示する（☞7-11～12ページ）。

静止モード(画像撮影)画面のメニュー

ビデオ		ビデオ(動画撮影)モードにする(☞7-9ページ)。
モード	標準	標準モードで撮影する。
	連写	連写モードで撮影する(☞7-5ページ)。
	タイマー	タイマーモードで撮影する(☞7-5ページ)。
明るさ		明るさを調整する。+側を選択すると画像が明るくなっていき、ー側を選択すると暗くなっていく。
解像度	320×240	撮影サイズを320×240ドットにする。
	640×480	撮影サイズを640×480ドットにする。
	1280×1024	撮影サイズを1280×1024ドットにする。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-11~12ページ)。

ビデオモード(動画撮影)画面のメニュー

静止モード		静止(画像撮影)モードにする(☞7-4ページ)。
明るさ		明るさを調整する。+側を選択すると画像が明るくなっていき、ー側を選択すると暗くなっていく。
画質	320×240	撮影サイズは320×240ドット固定。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-11~12ページ)。

編集画面のメニュー

トリミング	画像を切り抜きする。
自動修正	画像の明るさやコントラストを自動で調整する。
元に戻す	トリミングや自動修正した画像を、元に戻す。
前回保存したときの状態に戻す	トリミングや画像回転などの編集を行った後、変更する前の状態(前回保存したときの状態)に戻す。
名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）

この製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。

・オーディオファイル：MP3形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル　　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング　　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意！

- ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。
- イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  タイトルバーの 🔇 にタップして音量を変えてください。
- 音楽CDやインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobileの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

音楽や映像を楽しむには

この製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどをこの製品に保存します。
パソコンのWindows Media Player 10と同期するとオーディオファイルなどを同期しこの製品に保存できます（Windows Media Player 10と同期は、7-21ページをご覧ください）。
また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、miniSDカードにそのファイルをコピーしてこの製品に取り付けて再生できます。miniSDカードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

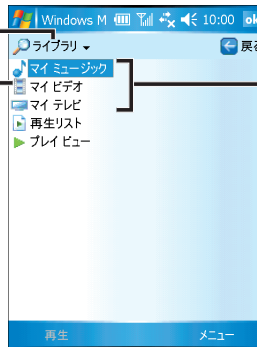
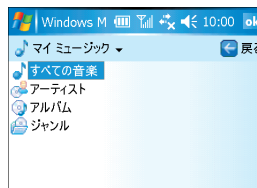
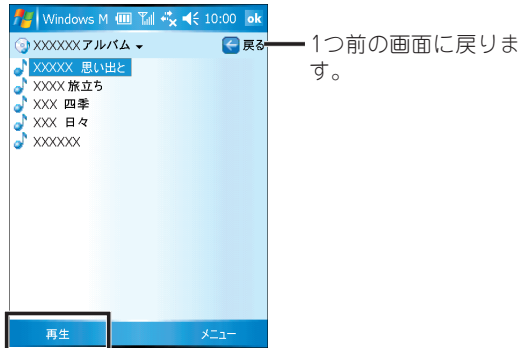
オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ(アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど)の中のファイルを順番に再生します。

1 スタート メニューの“Windows Media”にタップします。

ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー ー ライブラリ にタップしてください。

MEMO

● **ライブラリの更新**
再生ファイルを保存しているminiSDカードを取り付けた場合などは、ファイルが表示されないことがありますのでライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー ー ライブラリの更新 にタップします。

2 再生したいファイルのカテゴリ(マイ ミュージック、マイ ビデオなど)をタップします。

3 カテゴリの中のフォルダ(すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど)をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。

4 再生するファイルやフォルダ（すべての曲、アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択し、画面左下の 再生 にタップします。

再生画面が表示され、再生がはじまります。
フォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞7-19ページ）。

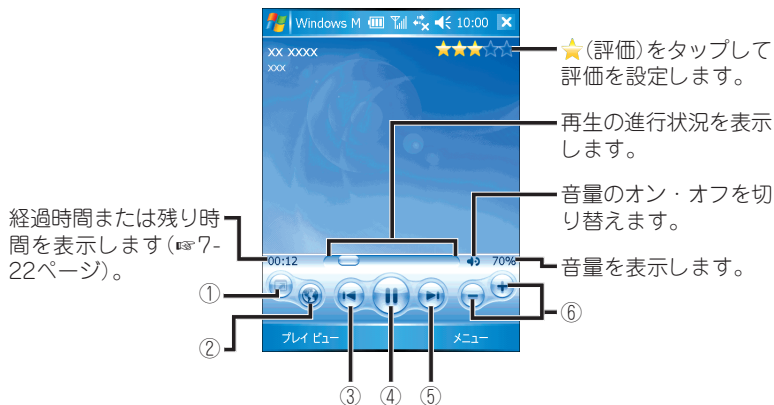
ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます（☞7-25ページ）。

- 再生するファイルやフォルダにタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生 にタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は、ライブラリの更新を行ってください。

  1 ライブラリ画面右下の メニュー ― ライブラリの更新 をタップします。

  2 ファイルの追加作業を待って画面右下の 終了 をタップします。
- マナーモードで「標準」、「サイレント」を選択しているときは、システム音がOFFになっています。この状態では音が出ません。マナーモードを解除してください。

5 ボタンを押して、Windows Media Player 10 Mobileを終了します。

再生画面について

① ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。
元に戻すには、画面のどこかをタップします。

② Windows Media.com Mobileのホームページを表示します。
前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。

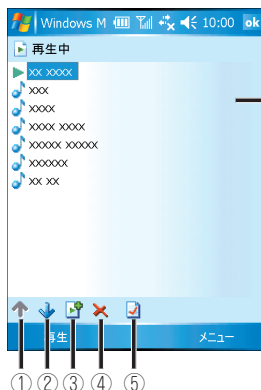
③ 再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。
再生停止時にタップすると、1つ前のファイルへスキップします。

④ ファイルを一時停止します。
一時停止時は▶が表示され、タップすると再生を再開します。

⑤ 次のファイルへスキップします。

⑥ 現在この製品に設定しているボリューム（☞3-25ページ）を100%として、音量を調整します。
＋：音量を上げます。
－：音量を下げます。

プレイビュー画面(再生リスト)について

再生画面左下の プレイビュー にタップすると、再生するファイルをリスト表示します。再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

① 選択したファイルを再生リストの上へ移動します。

② 選択したファイルを再生リストの下へ移動します。

③ ライブラリ画面に切り替えます。
ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから 再生待ちに追加 をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。

④ 選択したファイルを再生リストから削除します。

⑤ 選択したファイルの情報を表示します。

- プレイビュー画面で画面右下の メニュー ー プレイビューの消去 にタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

再生中に画面を消す

以下の手順でキーボードのキーや (カーソル) ボタンなどに設定を割り当てると、音楽再生中に画面を消すことができます。

1 オプション画面(ボタン タブ)を表示し(☞7-24ページ)、画面を一番下までスクロールします。

2 切り替え画面 をタップし、 割り当て をタップします。

7 映像と音楽

Windows Media Player 10 Mobile

3 **割り当てるキーボードのキーや(カーソル)ボタンなどを押し、ok をタップします。**

Windows Media Player 10を起動中に手順**3**で割り当てたキーを押すと画面が消えます。画面を表示するときはもう1度同じキーを押します。

ネットワーク上のファイルを再生する

インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。
再生するには、インターネット接続の設定が必要です。まだ設定していない場合は、2-2ページをご覧になり設定してください。

1 **ライブラリ画面で、画面右下の[メニュー]－[URLを開く]にタップします。**

2 **「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の[OK]をタップします。**

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。
“再生リスト”とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
例えばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンのWindows Media Player 10で作成し、同期させてこの製品に取り込みます(☞次ページ)。

ランダム再生する

ファイルを順不同に再生します。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の[メニュー]－[ランダム再生／連続再生]－[ランダム再生]にタップします。

連続再生する

プレイビュー画面に表示されている順に再生し、最後のファイルを再生した後は、最初に戻って再生します。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の[メニュー]－[ランダム再生／連続再生]－[連続再生]にタップします。

Windows Media Player 10と同期する

ActiveSyncをインストールし同期設定(☞8-10ページ)をしていると、パソコンのWindows Media Player 10とこの製品の間で音楽(オーディオ)ファイルを同期できます。また、ActiveSyncをインストールしていない場合は、8-2ページをご覧になりインストールしてください。

● ActiveSyncをインストールしていてもMediaを設定していないときは8-7ページのメモをご覧になり、設定を行ってください。

1 Windows Media Player 10を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。

すでに、Windows Media Player 10に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続します。

しばらくするとActiveSyncが起動し、「連絡先」など設定しているプログラムの同期を行います。

3 Windows Media Player 10を起動して「同期」タブをクリックします。

4 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

同期が始まります。

5 同期完了後、パソコンからこの製品を取り外します。

Windows Media Player 10の操作についてくわしくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

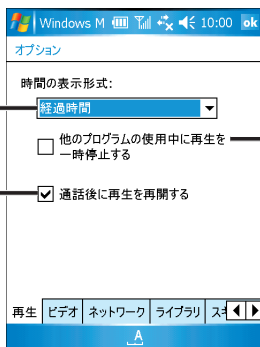
MEMO

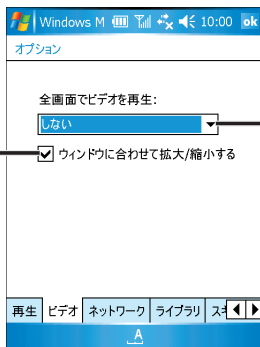
● Windows Media Player 10と自動的に同期するように設定した場合(8-8ページの手順**12**で「自動」を選択した場合)は、手順**2**を行った後、自動的に同期されます。ただし、音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが同期されますのでご注意ください。1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

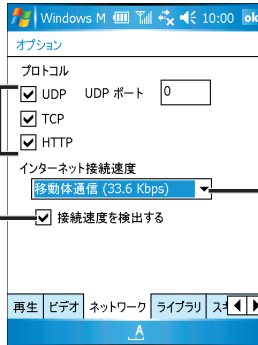
ご注意!

● パソコンのWindows Media Player 10のファイルをこの製品に同期(転送)するときは、必ずWindows Media Player 10の「同期」機能をご使用ください。ファイルをドラッグアンドドロップで転送しないでください。
● Windows Media Player 10は、Windows XPが動作しているパソコンからのみ使用できます。Windows XP以外で動作するパソコンでは、Windows Media Player 9シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

時間の表示形式、他のプログラムを使用中の再生方法などを設定する

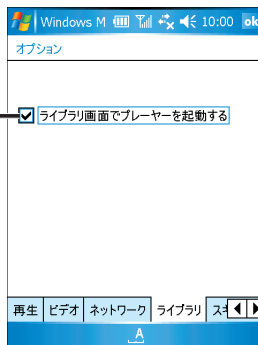
再生画面右下の メニュー ― オプション ― 再生 タブで、時間の表示形式を変更したり、電話や他のプログラムを使用中の再生方法の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ビデオ再生時の画面設定をする

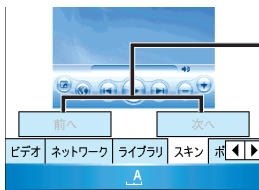
再生画面右下の メニュー ― オプション ― ビデオ タブで、ビデオ再生時の表示画面の設定ができます。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ネットワーク］タブで、ネットワーク上のファイルを再生する（ストリーミング）ときの設定をします。
設定が終わったら ok にタップしてください。

起動時に表示させる画面を設定する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ライブラリ］タブで、Windows Media Player 10 Mobileを起動したときの画面を設定します。
設定が終わったら ok にタップしてください。

チェックをつけると、起動したときにライブラリ画面が表示されます。
再生画面を表示させるときは、チェックをはずします。

Windows M 10:00 ok
オプション
ライブラリ画面でプレーヤーを起動する
再生 ビデオ ネットワーク ライブラリ

再生画面の外観(スキン)を変更する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［スキン］タブで、再生画面の外観(スキン)を設定します。
設定が終わったら ok にタップしてください。

ダウンロード等により新しいスキンをこの製品に取り込むと［前へ］または［次へ］にタップして外観(スキン)の変更ができます。

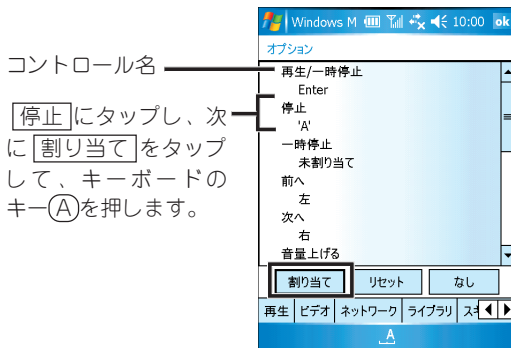
キーボードのキーなどの割り当てを変更する

1 **再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ボタン］タブで、変更したいコントロール名(再生／一時停止など)をタップします。**

2 **［割り当て］をタップし、「ボタンの割り当て」画面が表示中に、新しく割り当てるキーボードのキーや(カーソル)ボタンなどを押します。**

押したキーが表示されます。

コントロール名

［停止］にタップし、次に［割り当て］をタップして、キーボードのキー(A)を押します。

MEMO

- ハードウェアボタンの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして［リセット］をタップします。
- ハードウェアのボタンの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして［なし］をタップします。
- ［e］ボタンや［ok］ボタンなど、一部のボタンやキーには割り当てできないなどの制限があります。

3 **設定が終わったら ok にタップします。**

Windows Media Player 10 Mobileのメニュー

再生画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ライブラリ</td><td>ライブラリ画面に切り替わる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生／一時停止</td><td>再生を開始または一時停止する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">停止</td><td>再生を停止する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランダム再生／連続再生</td><td>ランダム再生</td><td>ランダム再生する（☞7-20ページ）。</td></tr>
<tr><td>連続再生</td><td>連続再生する（☞7-20ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">全画面表示</td><td>ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td>オプション設定画面を表示する（☞7-22～24ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>現在再生中のファイルの情報を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">バージョン情報</td><td>バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。</td></tr>
</table>

プレイビュー画面のメニュー

<table>
<tr><td colspan="2">ライブラリ</td><td>ライブラリ画面に切り替わる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">上へ</td><td>選択したファイルを再生リストの上へ移動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">下へ</td><td>選択したファイルを再生リストの下へ移動する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生リストから削除</td><td>選択したファイルを再生リストから削除する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランダム再生／連続再生</td><td>ランダム再生</td><td>再生リストのファイルをランダム再生する（☞7-20ページ）。</td></tr>
<tr><td>連続再生</td><td>再生リストのファイルを連続再生する（☞7-20ページ）。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレイビューの消去</td><td>すべての再生リスト（ファイル）を削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">エラーの詳細</td><td>再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロパティ</td><td>選択したファイルの情報を表示する。</td></tr>
</table>

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新（新しいファイルを追加）する。
ファイルを開く	ファイルを開く。
URLを開く	Windows Media.com Mobileなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

8　パソコンとの連携

パソコンとの連携（ActiveSync）

ActiveSyncを使うと同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

・パソコンのMicrosoft Outlookとこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞8-12ページ）。
・メールは同期専用の「Outlookメール」アカウントで、パソコンのOutlookのメールと同期します。
  Eメール（ウィルコム）のアカウントや、追加したプロバイダーメールのアカウントとは同期できません。
・Word MobileやExcel MobileのデータとパソコンのWordやExcelのデータを同期します（☞8-13ページ）。
・パソコンで表示したホームページのURLをこの製品に転送することができます（☞8-14ページ）。

ここでは、ActiveSyncの基本的な使いかたについて説明します。
ActiveSyncの設定や使用方法についてくわしくは、ActiveSyncのヘルプや、付属のCD-ROMの中にあるActiveSyncのReadme.docをご覧ください。

● パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能などは反映されません。

パソコンの動作環境について

インストールする前にパソコンの環境を確認します。

OS（ActiveSyncとUSBモデムドライバ共通）

・Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 1および2）
・Microsoft Windows XP Home（Service Pack 1および2）
・Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

アプリケーション

・Microsoft Outlook 98以降
　受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
・Microsoft Internet Explorer 5.01以降

ハードディスク空き容量

・ActiveSyncの場合：12〜65MB

その他

・USBポート
・CD-ROMドライブ
・256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
・キーボード
・Microsoft マウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

オプション

・Microsoft Office 97、Microsoft Office 2000、Microsoft Office 2003、Microsoft Office XP
・音声用オーディオカード／スピーカー

●USBモデムドライバをインストールするときも、ActiveSyncと同じOSの環境（上記）です。

ご注意！

次のようなパソコンでの動作は保証できません。

・自作パソコン
・OSをアップグレードしたり入れ替えたパソコン
・ご自分で追加したUSBポートをお使いのとき
・USBハブなどを経由した接続のとき
・パソコンにこの製品以外のUSB機器が接続されているとき

ActiveSyncをインストールする

ActiveSyncをインストールする前にお読みください

ActiveSyncをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

①Outlookをインストールして、使用状態(下記)にしてください。なお、Outlook Expressとは同期できません。

ActiveSyncをインストールした後でOutlookをインストール/使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlookをインストールして使用できる状態にしてください。

Outlookを使用状態にする

Outlookインストール後、Outlookの「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」チェックボックスを付けた後、Outlookに連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

Outlook2000をお使いの場合は、パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」を「Microsoft Office Outlook」にします。

②ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止/無効にしてください。

停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③Intellisyncなど他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。

④Windows Media Playerと同期するときは、Windows Media Player 10をインストールしてください。

古いバージョンのWindows Media Playerとは同期できませんので、ご注意ください。

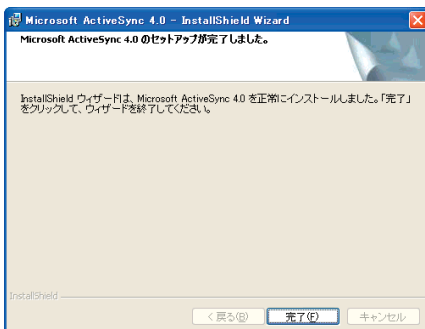
1 この製品の通信モードをActiveSyncができる設定にします。

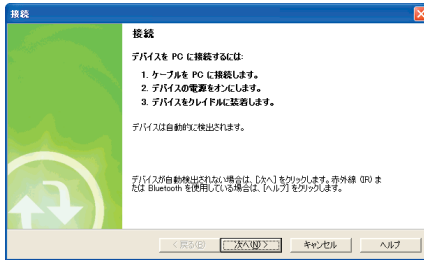
1 スタート メニューの“設定”にタップし、システム タブをタップします。

2 “ユーティリティ”の 通信モード タブで「USB接続の設定：」を ActiveSync(Remote NDIS) にします。

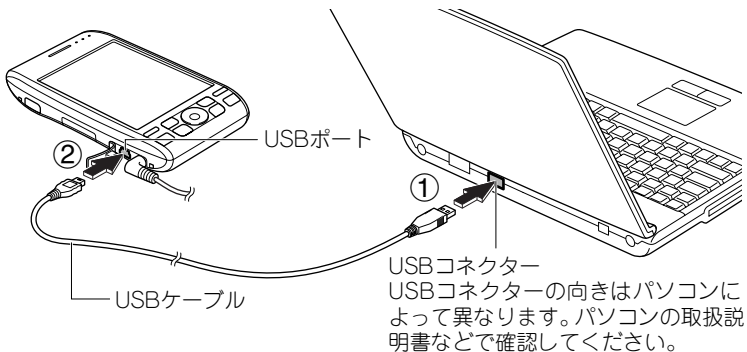
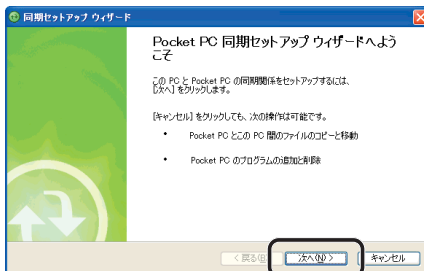
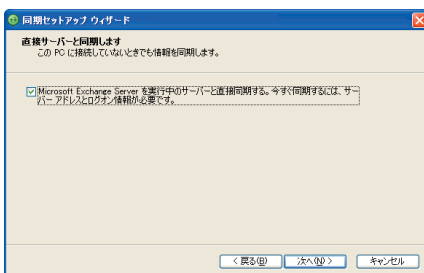
3 この製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください(☞10-17ページ)。

2 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。
しばらくすると、次の画面が表示されます。

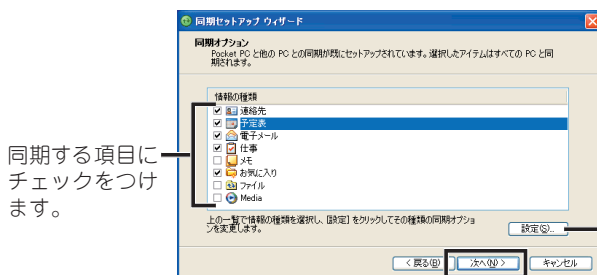
3 [次へ]をクリックし、下記の画面が表示されるまで画面の指示にしたがってインストールします。

4 [完了]をクリックします。

インストールが実行され、しばらくすると「接続」画面が表示されます。

5 上記画面が表示された状態で、①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。

ご注意！

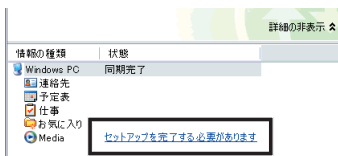
- USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、この製品にACアダプターを接続するか充電池の残量が十分であることを確認してください。

6 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードへようこそ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

- **お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Serverに接続しているときは**
  前ページの手順**6**の後、「直接サーバーと同期します」画面（以下の画面）が表示されます。

・Microsoft Exchange Serverと直接同期しないときは、「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを外し、[次へ]をクリックします。
・Microsoft Exchange Serverと直接同期するときは、「Microsoft Exchange Serverを実行中のサーバーと直接同期する」のチェックを付け、[次へ]をクリックします。
次に表示された画面でサーバー情報やログオン情報などを設定し、[次へ]をクリックすると、手順**7**に進みます（手順**7**の画面ではExchange Serverとの同期が行われます）。入力する情報については、ネットワーク管理者にご確認ください。
また、ネットワーク環境によっては別の画面が表示されることもありますので、ネットワーク管理者にお尋ねになり、画面にしたがって操作してください。

7 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックをつけて[次へ]をクリックします。

MEMO

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、[OK]をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです（☞8-13ページ）。パソコンとこの製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（☞8-12ページ）を行います。
- Windows Media Player 10と音楽ファイルを同期するときは、Mediaの項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
  Mediaを選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

8 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。

9 Windows Media Player 10と同期する場合(手順7でMediaにチェックを付けた場合)は、ActiveSync画面内のMediaの右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。

10 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10が起動します。

11 Windows Media Player 10で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。

12 表示された画面で、「手動」を選択し[完了]をクリックします。

13 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

Windows Media Playerと同期が始まります。

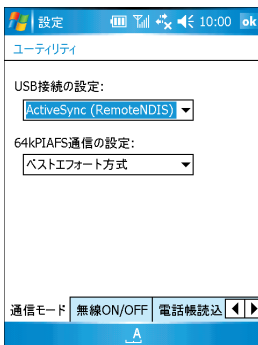
ActiveSyncをインストールできないときや同期できないときは、8-16ページをご覧ください。

- 手順**12**で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的にWindows Media Playerと同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
  1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- **ActiveSyncインストール後にMediaなど同期する項目を変更するときは**
  パソコンとこの製品を接続した状態でActiveSync画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
  前ページの手順**7**の「同期オプション」画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

ActiveSyncを使って同期する

1 スタート メニューの“設定”にタップします。

2 設定画面で システム タブにタップし、“ユーティリティ”にタップします。

3 ユーティリティ画面で 通信モード タブにタップします。

4 「USB接続の設定：」を ActiveSync(Remote NDIS) にして、ok にタップします。

ActiveSync(Serial)用のドライバをインストール(☞8-18ページ)したときは、「USB接続の設定：」を ActiveSync(Serial) にします。

ご注意！

- この製品とパソコンを同期するときは、必ず手順**1**～**4**を行ってください。手順**4**のUSB接続の設定が「モデム」になっていると、同期できません。

5 この製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

  パソコン側から同期を実行する

  1 ActiveSyncの[ファイル]メニューの[同期]をクリック、または[同期]をクリックします。

  この製品側から同期を実行する

  1 スタート メニューの“プログラム”にタップし、プログラム画面で“ActiveSync”にタップします。

  2 画面左下の 同期 にタップします。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

8 パソコンとの連携

ActiveSync

同期をするときの設定を行う

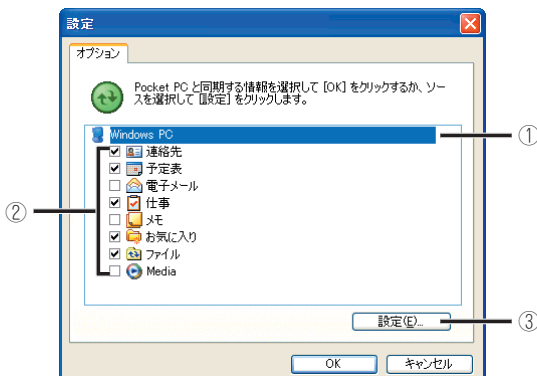
同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

1 パソコンとこの製品を接続します。

2 パソコン側のActiveSync画面で、「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

設定画面が表示されます。

3 同期に関する設定を行います。

同期するアプリケーションの設定など行います。

設定画面に表示される「ファイル」は、ファイルを同期するためのものです（☞8-13ページ）。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、8-12ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

① 同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。
「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時にPocket PCの日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。

② 同期するアプリケーションにチェックをつけます（チェックを外すと同期されません）。

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。（☞次ページ）

予定表／電子メールなどの設定を行う

予定表や電子メールなどを同期するとき、同期する期間（たとえば、過去2週間と未来の予定）やメールのサイズ制限などができます。
以下のプログラムに対して設定ができます。
・予定表
・電子メール
・お気に入り

1 **パソコン側のActiveSync画面で「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。**

設定画面が表示されます。

2 **予定表、電子メール、お気に入りのいずれかを選択し、［設定］をクリックします。**

3 **表示された同期設定画面で、同期する期間などを設定します。**

・予定表　　：同期する予定の期間を設定します。
・電子メール：同期する期間やサイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
・お気に入り：同期するURLを選択／削除します。

MEMO

● 予定表やメールを同期するとき、期間やサイズ制限などの設定によって同期できないデータがあります。同期した後、同期していないデータがあるときは、上記の手順**2**で確認してください。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをドラッグ＆ドロップでコピーできます。

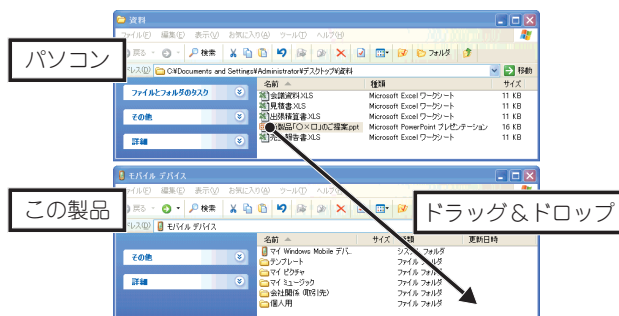
1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側のActiveSync画面で、[エクスプローラ]をクリックします。**

「モバイル デバイス」ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 **パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。**

4 **コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ＆ドロップします。**

ドラッグ＆ドロップしたファイルがコピーされます。

5 **「モバイル デバイス」ウィンドウの右上の をクリックしてウィンドウを閉じます。**

6 **パソコンとこの製品を取り外します。**

MEMO

- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ＆ドロップしてもコピーされません。
- パソコンからこの製品にMicrosoft ExcelファイルやMicrosoft Wordファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

ファイルを同期する

パソコンのファイルとこの製品のファイルを同期できます。
同期するには、同期フォルダを利用します。

1 パソコンのデスクトップに同期フォルダ()が表示されていることを確認します。

● 同期フォルダ()が表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」(☞8-10ページ)を参照して、 ファイルにチェックを付けて同期設定してください。

2 同期したいファイルを同期フォルダに入れます。

3 この製品とパソコンを接続します。

同期フォルダ内のファイルを同期し、パソコンとこの製品で同じ内容のファイルを持つようになります。

ご注意!

● **Microsoft WordやMicrosoft Excelなどのファイルを同期するとき**
Microsoft WordやMicrosoft Excelは、Word MobileやExcel Mobileに比べて多くの機能を持っています。このため、同期時にパソコン上の同期フォルダ内のWordやExcelファイルからWord MobileやExcel Mobileなどが持っていない機能が削除されます。

● この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

お気に入りと同期する

パソコンで表示したホームページやパソコンに取り込んでおいたホームページのURLを、この製品に転送することができます。

1 **パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」メニューの中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されていることを確認します。**

MEMO

- 「モバイルのお気に入り」フォルダが表示されていないときは、「同期をするときの設定を行う」(☞8-10ページ)を参照して、お気に入りにチェックを付けて同期設定してください。

2 **パソコンでホームページを表示し、「お気に入り」メニューの「お気に入りに追加」をクリックします。表示されたお気に入りの追加画面で、「モバイルのお気に入り」をクリックして選択し、[OK]をクリックします。**

MEMO

- お気に入りの追加画面に「モバイルのお気に入り」が表示されていない場合は、お気に入りの追加画面の[フォルダ]をクリックしてフォルダを表示させます。

3 **この製品とパソコンを接続します。**

追加したお気に入りがこの製品に転送されます。
転送されるのは、モバイルのお気に入りフォルダに追加したホームページのURLのみです。実際にホームページを閲覧するときは、インターネットに接続する必要があります。

MEMO

- パソコンのInternet Explorerの「ツール」メニューの「モバイルのお気に入りの作成」をクリックしても「モバイルのお気に入り」に追加されます。
- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください(☞8-22ページ)。

他機種のデータをこの製品に移す

WS003SHなどからデータを移すには、ActiveSyncの同期を使って行います。「WS003SHなどの予定表や連絡先などのデータ」と「パソコンのMicrosoft Outlookのデータ」を同期したあと、そのパソコンとこの製品を同期します。

- **WS003SHなど他機種でActiveSyncをインストールしてお使いの方**
  インストールしているActiveSyncを使ってこの機種と同期することでデータを移行できます。同期する項目を確認して、同期を行ってください。
- **WS003SHなど他機種でActiveSyncをインストールされていない方**
  ActiveSyncをインストール(☞8-4ページ)したあと、データを移します。

1 **8-4〜8ページをご覧になりActiveSyncをインストールします。**
インストール時、手順**7**で、「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。

2 **インストール後、WS003SHなど他機種とパソコンを接続して同期します。**
Microsoft OutlookとWS003SHなどとの間で同期が行われ、Microsoft OutlookとWS003SHなどのデータが同じ状態になります。

3 **この製品とパソコンを接続して同期します。**
Microsoft Outlookとこの製品との間で同期が行われます。この製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlookのデータがこの製品に移ります。

インストールや同期ができないときは

ActiveSyncをインストールできないときや同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

USB接続をActiveSync(RemoteNDIS)にしてインストールしたあと同期できないときは

USB接続をActiveSync(Serial)にして接続してみてください。
ActiveSync(Serial)にした時、1回目の接続でドライバのインストールが必要になります。くわしくは、8-18ページをご覧になり、インストールを行ってください。

ActiveSync(Serial)にしても同期できないときは

以下の内容をご確認ください。ActiveSync(RemoteNDIS)、ActiveSync(Serial)どちらの場合もご覧ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● **インストール直後、同期できず、エラー(「サポートコード:85010014」)が表示される。**	● Microsoft Outlookを起動し、「ヘルプ」メニューー「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windowsの「スタート」メニューー「コントロールパネル」ー「プログラムの追加と削除」をクリックし、プログラムの追加と削除画面でMicrosoft ActiveSyncを選択し[変更]をクリックします。表示された画面で[次へ]をクリックし、次の画面で「修復」を選択し[次へ]をクリックします。
● **「Outlookを既定の設定にしてください」と表示され同期できない。** ● **「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlookを起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。**	● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニューー「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。

こんなときは	ここをお確かめください
● エラー(「サポートコード：8503001f」)が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既にWindows PCと同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー(「サポートコード：80072EE2」)が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除(モバイルデバイスの削除)し、再度、モバイルデバイスを作り直します。 パソコンとこの製品の接続を外して、パソコンとこの製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で[はい]をクリックします。 この製品：プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示されたActiveSync画面で メニュー － オプション をタップし、オプション画面で 削除 をタップして確認画面で はい をタップします。 パソコンとこの製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USBケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。
● AvtiveSyncインストール後にOutlookをインストールしたり、Windows Media Player10をインストールまたはWindows Media Player10にアップグレードしたときは？	● ActiveSyncの修復を行ってください。修復の方法は、前ページの１つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。

どうしてもインストールや同期ができないときは

Outlookを使える状態にしても同期できないときや上記の方法でも同期できないときは、OutlookとActiveSyncをいったんアンインストールしてください。その後Outlookをインストールし使える状態にして、ActiveSyncをインストールしてみてください。

USB接続をActiveSync(Serial)にして接続する

8-5ページの手順**1**の**2**でUSB接続の設定を ActiveSync (RemoteNDIS) を選択してインストールしたあと同期できないときは、接続設定を変更して試してください。

1 パソコンからこの製品を取り外します。

2 付属のGetting Started CDをパソコンにセットします。

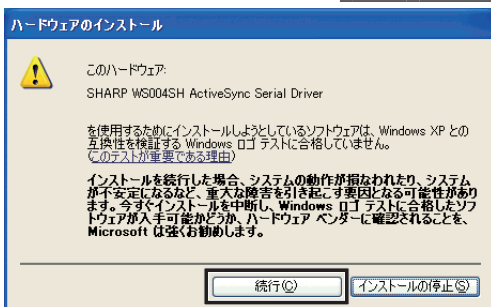
自動的に8-5ページの手順**2**の画面が表示されますので、画面右上の × をクリックし画面を閉じます。

3 この製品の"ユーティリティ"の 通信モード タブで「USB接続の設定：」を ActiveSync (Serial) にします。

4 パソコンとこの製品を接続します。

5 しばらくすると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」を選択し［次へ］をクリックします。

6 表示された画面で、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、［次へ］をクリックします。

7 下記のような「ハードウェアのインストール」画面で「合格していません」と表示されますが、［続行］をクリックします。

8 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、［完了］をクリックします。

9 「Pocket PC同期ウィザードへようこそ」画面（8-6ページの手順6）が表示されますので、8-6ページの手順6以降をご覧になり操作します。

データ通信

パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続すると、この製品をモデム(パソコンと接続してインターネットに接続したり、メール送受信するための機器)として利用できます。

この製品では、次のデータ通信方式が利用できます。

- 64kPIAFS(ベストエフォート)
- 64kPIAFS(ギャランティ)
- 32kPIAFS
- フレックスチェンジ方式
- 1xパケット方式
- 2xパケット方式
- 4xパケット方式

●64kPIAFS(ベストエフォート)

ウィルコムが提供する最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況や電波の状況により64kbpsと32kbpsをフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。

●64kPIAFS(ギャランティ)

64kbps固定のデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できないときは回線を切断します。

●32kPIAFS

PHSの通信標準規格で、最大通信速度32kbpsの通信を行う方式です。

●フレックスチェンジ方式

ウィルコムが提供する1xパケット方式/2xパケット方式と64kbps(ベストエフォート)の通信方式を送受信するデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。スムーズな通信環境を実現できます。

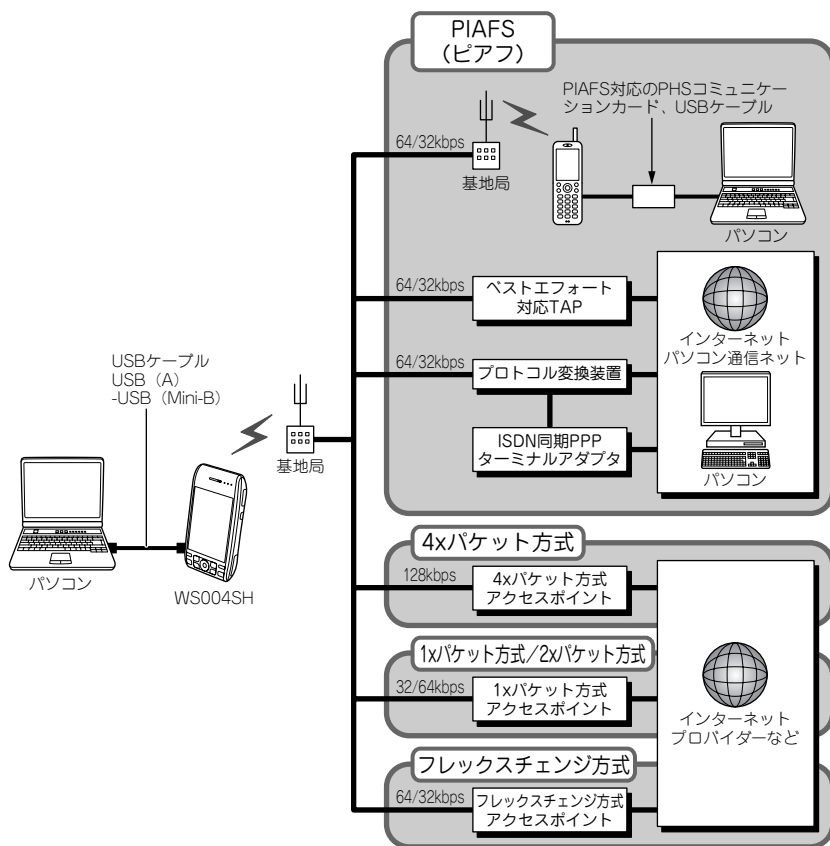
ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

●1xパケット方式/2xパケット方式

ウィルコムが提供する最大通信速度32kbps/64kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット(小包)に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの1x/2xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

※2xパケット方式を利用するときも1xパケット方式対応の料金コースに契約します。

● 4xパケット方式

ウィルコムが提供する最大通信速度128kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット(小包)に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ窓口

● この製品から　局番なしの**157**(無料)

● 一般加入電話／公衆電話から　**0120-921-157**(無料)
(携帯電話・PHSからもかけられます)

受付時間：9:00〜21:00(日・祝日も受付)　(2006年5月現在)

データ通信の準備

パソコンとこの製品をUSBケーブルで接続する前に次の準備が必要です。

①USBモデムドライバをパソコンへインストールする

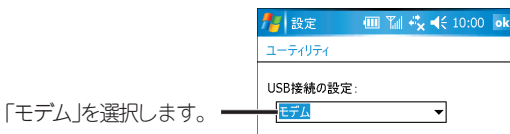
パソコンの動作環境については、8-3ページに記載しているOSの項目と同じです。詳細は8-3ページをご覧ください。
インストールの方法は、付属のGetting Started CDに収録しているマニュアル「USBモデムドライバのインストールマニュアル」(USB_install_manual.pdf)をご覧ください。マニュアルの開き方は、1-53ページをご覧ください。

②この製品の通信方式をモデムに設定する

1 **スタートメニューの“設定”にタップします。**
設定画面が表示されます。

2 **設定画面(システムタブ)で“ユーティリティ”にタップします。**
ユーティリティ画面が表示されます。

3 **ユーティリティ画面で、通信モードタブにタップします。**

4 **「USB接続の設定」欄にタップし、「モデム」を選択します。**

5 **okにタップし、設定を保存します。**
この製品をデータ通信機器として使用できます。

- ActiveSyncを使ってパソコンと同期を行うときは、手順**4**で「ActiveSync」を選択してください(☞8-5ページ)。

8 パソコンとの連携

データ通信

パソコンとこの製品を接続する

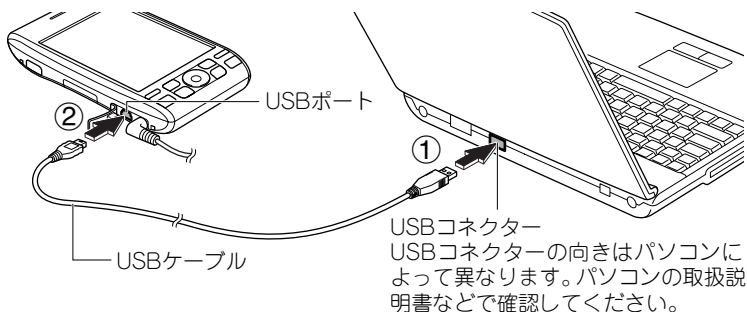
ここでは、ドライバをパソコンにインストールしているものとして説明します。

パソコンとこの製品を接続する

付属のUSBケーブルを使ってパソコンとこの製品を接続します。

1 データ通信ができる設定になっていることを確認します(☞前ページ)。

2 パソコンを起動し、下図のように①②の順でこの製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

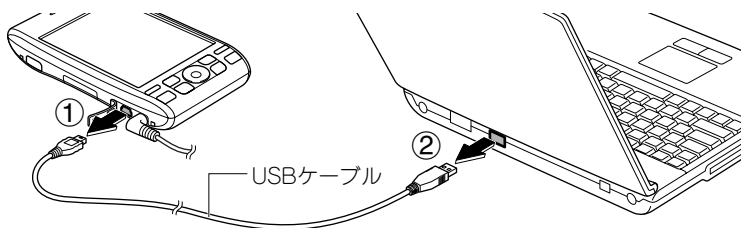
ご注意!

- USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを使って接続すると正しく動作しないことがあります。

MEMO

- この製品の充電池の消耗を少なくするために、この製品にACアダプターを接続してデータ通信を行うことをおすすめします。

パソコンとこの製品を取り外す

データ通信終了後、以下のようにして取り外します。

1 パソコンを起動したまま、下図のように①②の順でUSBケーブルを外します。

データ通信(発信)を行う

この製品に接続しているパソコンからデータの発信などを行います。

ご注意!

- この製品では、データ(着信)通信はできません。
- ダイヤルロック(通話/通信機能の制限)やW-SIMロックを設定(☞3-37ページ)しているときは、データ通信も利用できません。
- データ通信(発信)中は、この製品の画面をタップしたりボタンやキーなどを押したりして操作しないでください。

準備

データ通信を使ってインターネットに接続する前に、インターネットに接続するための設定(接続アカウント、パスワード、アクセスポイントなど)を行ってください。これらの情報を設定していないと、インターネットなどに接続できません。

1 この製品を接続しているパソコンなどからデータ通信の発信操作を行います。

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を設定するときは、電話番号に続けて次の記号と数字を入力します。

通信方式	電話番号に続けて入力
64kPIAFS(ベストエフォート､ギャランティ)	##4
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式	##7
1xパケット方式	##61
2xパケット方式/4xパケット方式	##64

※64kPIAFSと32kPIAFSの通信方式は、分計発信ができます。
分計発信するときは、電話番号+記号(##4や##3など)の後に「,01」を追加します(例:03-××××-××××##4,01)。

この製品の画面(タイトルバー)上に、通信中であることを示すアイコンが表示されます。

PF:64kPIAFS(ベストエフォート)　PF:64kPIAFS(ギャランティ)

PF:32kPIAFS　FC:フレックスチェンジ方式

PT:1xパケット方式/2xパケット方式/4xパケット方式

2 パソコンなどからデータ通信を終了する操作を行います。

MEMO

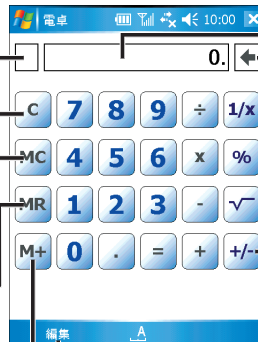
- データ通信を行う前に、この製品にACアダプターを接続するか、この製品の充電池残量が十分であることを確認してください。
- データ通信を行うためのパソコン側のくわしい設定や操作については、パソコンの説明書などをご覧ください。
- 発信者番号通知設定(☞3-35ページ)に関わらず電話番号がアクセスポイントに通知されます。
- データ通信をしたときの電話番号は発信履歴に保存されません。

9　その他の機能

電卓

一般の電卓と同じ操作で9桁までの計算ができます。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で “電卓”にタップします。**

3 **電卓を終了するときは、 にタップします。**

カードにバックアップする（バックアップツール）

この製品に保存しているデータなどをminiSDカードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）したりできます。

ご注意！

- バックアップデータは、1枚のminiSDカード上に1つだけです。1枚のminiSDカードに複数のバックアップデータは作成できません。
- WS003SHなど他の製品でバックアップ（保管）したデータは、この製品にリストア（復元）できません。
  また、この製品でバックアップ（保管）したデータも他の製品にリストア（復元）できません。

以下のデータはバックアップされませんのでご注意ください。

・パスワード
・PINコード
・ライセンスファイル（Windows Media DRM）※
※ライセンスファイルは、ウィルコム公式サイトの「着信メロディ」コーナーから曲データをダウンロードしたときに一緒にダウンロードされるファイルです。ダウンロードしたファイルを再生するには、曲データとライセンスファイルの両方が必要になります。

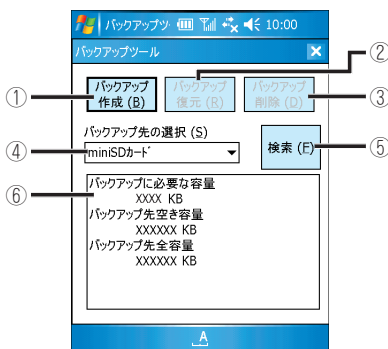
バックアップツールを起動する

1 **プログラムをすべて終了します。**
プログラムの終了の方法は、1-26ページをご覧ください。

2 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

3 **プログラム画面で“バックアップツール”にタップします。**

4 **バックアップに必要な容量の計算を行います。**
バックアップツール起動時、この容量の計算を行います。

5 **バックアップに必要な容量の計算が行われたあと、バックアップツール画面が表示されます。**

① バックアップを実行します（☞ 次ページ）。

② バックアップしたデータをリストア（復元）します（☞ 9-6ページ）。
リストアを行うと、リストアを行う前に保存していたデータはすべて削除されますので、十分に注意してからリストアしてください。

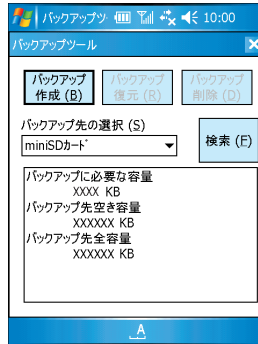
③ miniSDカード上のバックアップデータを削除します。

④ miniSDカード装着時、「miniSDカード」が表示されます。保存先は、miniSDカードです。何も表示されないときはminiSDカードが装着されていませんので、装着します。

⑤ バックアップツール起動後、miniSDカードを装着しても④の項目に「miniSDカード」が表示されないときに、カードが装着されているか検索します。

⑥ バックアップに必要な容量や空き領域、メディア上に存在するバックアップデータの状態を表示します。

バックアップする(保管)

1 バックアップツール画面で、バックアップ作成 にタップします。

2 確認画面が表示されます。
はい にタップすると手順3に移ります。
いいえ にタップするとバックアップツール画面に戻ります。

3 「バックアップの作成中…」画面が表示され、バックアップが始まります。

4 バックアップが終了すると確認画面が表示されますので、ok にタップし、バックアップツール画面に戻ります。

ご注意!

- この製品のメモリの空き領域が1MB以下のときは、バックアップできません。不要な画像データなど容量の大きなデータを削除したあと、バックアップしてください。
- 1枚のminiSDカードには1つのバックアップデータしか作れません。バックアップデータを保存しているminiSDカードに新しくバックアップするときは、先に、カードにある古いバックアップデータを削除してください(バックアップデータの削除は前ページの③をご覧ください)。
  バックアップデータを保存したままのminiSDカードには、新たにバックアップはできません。
  古いバックアップデータを残しておきたいときは、miniSDカード内のCEBACKUPフォルダをフォルダごとパソコンなどにコピーします。
  本体データを古いバックアップデータに戻すときは、miniSDカードにCEBACKUPフォルダをコピーした後、次ページをご覧になり、リストア(復元)を行ってください。

リストアする(復元)

バックアップしたデータをこの製品にリストア(復元)します。

ご注意！

- リストアを行うと、この製品に保存していたデータは削除され、リストアデータに置き換わりますのでご注意ください。

1 **バックアップツール画面で、バックアップ復元にタップします。**

2 **確認画面ではいにタップします。**

リストア(復元)が始まります。いいえにタップするとバックアップツール画面に戻ります。

3 **「バックアップの復元中」画面が表示され、リストア(復元)が始まります。**

4 **リストア(復元)が終了すると、確認画面が表示され、数秒後に自動的にリセットが行われます。**

リセットが終了するまで待ちます。

5 **Today画面(待ち受け画面)が表示され、その上に確認画面が表示されます。**

リストア(復元)が終了します。

6 **ok をタップします。**

時刻が合っているか確認してください。

ファイルを管理する（ファイルエクスプローラ）

ファイルエクスプローラを使うと新規にフォルダを作成したり、ファイルのコピーやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。
ここでは、ファイルエクスプローラの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。フォルダやファイルをコピー・移動する方法については1-49ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラの使いかた

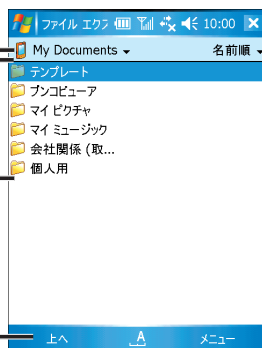
1 **スタートメニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面の“ファイルエクスプローラ”にタップします。**

ファイルエクスプローラの画面が表示され、「My Documents」などのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

「My Documents▼」をタップすると現在表示中のフォルダ階層より、上のフォルダ階層へ移動できます。

フォルダをタップすると、フォルダ内のファイル一覧が表示されます。ファイルをタップすると、そのアプリケーションが起動してファイルを開きます。

現在表示中のフォルダ階層より、１つ上のフォルダ階層へ移動します。

タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

ご注意！

● ファイルエクスプローラを使うとWindowsのシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

● ファイルをタップしてもそのファイルが開かないときは、プログラムを起動して、そのプログラムからファイルを開いてみてください。

ファイルをメールに添付して送る

1 **送信したいファイルをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **送信にタップします。**

「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。
ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

- 送信したいファイルを選択し、画面右下の メニュー － 送信 をタップしてもファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 **宛先、件名、本文などを入力します。**

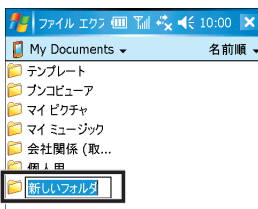
メールの送信についてくわしくは、「メールを作って送る」(☞4-6ページ)をご覧ください。

新規フォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents▼」にタップし、フォルダを選んでください。

1 **ファイルエクスプローラ画面で「My Documents」フォルダを開きます。**

2 **画面右下の メニュー － 新しいフォルダ にタップします。**

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

MEMO

- ファイルやフォルダのない空白部分にタップしたままにし、ポップアップメニューから 新しいフォルダ にタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 **フォルダ名を入力します。**

フォルダやファイルの名前を変更する

1 **名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 名前の変更 にタップします。**

MEMO

- 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー − 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 **名前を変更します。**

MEMO

- 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー − 編集 − 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 **削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 削除 にタップします。**

削除の確認画面が表示されます。

MEMO

- 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー − 削除 をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 **はい にタップします。**

ご注意！

- **削除の取り消しはできません。**
  フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。
- エラーが表示され削除できないときは、そのファイルがプログラムから開かれていることが考えられます。
  関連するプログラムを終了（☞1-26ページ）した後、削除してください。

フォルダやファイルを移動・コピーする

1-49ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラのメニュー

My Documents		「My Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
パスを開く		ネットワークに接続しているときパスを指定してネットワーク上の共有フォルダを開く。※指定したパスの履歴が残ります。履歴の編集はできません。
送信		タップすると選択しているファイルを添付したメッセージ作成画面を表示する（☞9-8ページ）。
最新の情報に更新		最新の状態に更新する。
すべてのファイルを表示		すべてのファイルを表示する。
新しいフォルダ		新しいフォルダを作成する（☞9-8ページ）。
名前の変更		フォルダやファイルの名前を変更する（☞9-9ページ）。
削除		フォルダやファイルを削除する（☞9-9ページ）。
編集メニュー	元に戻す	フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取る（☞1-49ページ）。
	コピー	フォルダやファイルをコピーする（☞1-49ページ）。
	貼り付け	コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける（☞1-49ページ）。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。
	すべて選択	すべてのフォルダやファイルを選択する。

ゲームで遊ぶ（ソリティア／Bubble Breaker）

ソリティアとBubble Breakerの2つのゲームを楽しむことができます。
くわしくは、それぞれのゲームのヘルプをご覧ください。

ソリティア

山札のカードを使い切り、すべてのカードを組札に積み重ねるゲームです。
組札には、エースからキングまで、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。

1 **スタートメニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“ゲーム”の“ソリティア”にタップします。**

3 **画面左下のカードをめくるをタップして山札をめくります。**

山札をタップしても山札をめくります。

4 **場札に赤と黒のカードを交互に数字が小さくなるように積み重ねながら、組札にエースを移動し、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。**

・組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
・移動したカードを元に戻すときは、画面右下のメニュー－元に戻すにタップします（直前のプレイを取り消せます）。
・移動できるカードがなくなると終了です。
画面右下のメニュー－新しいゲームをタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

MEMO

● 画面右下のメニュー－オプションで以下の設定が変更できます。

ゲームのルールタブ

・カード（山札）のめくりかたや得点の付けかたなどが設定できます。

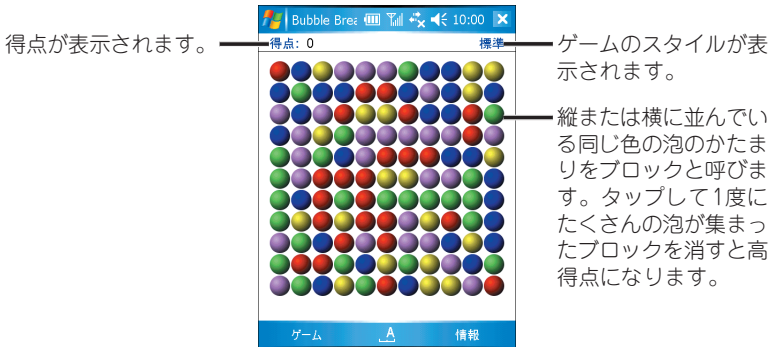
カードの模様タブ

・カードの模様を変更できます。

Bubble Breaker

泡（バルーン）を消すゲームです。
1度にたくさんの泡（バルーン）を消すと高得点になります。

1 **スタート メニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“ゲーム”の“Bubble Breaker”にタップします。**

3 **消したいブロックをタップします。**

消せるブロックが線で囲われ、得られる得点が表示されます。

4 **もう一度消したいブロックをタップします。**

ブロック内の泡（バルーン）が消え、得点が表示（加算）されます。

・消したブロックを元に戻すときは、画面左下の ゲーム − 元に戻す 移動 にタップします（直前のプレイを取り消せます）。

・消せるブロックがなくなると終了です。
画面左下の ゲーム − 新しいゲーム をタップすると、もう一度最初からゲームを始められます。

MEMO

● **ゲームの遊びかたを変更する**

画面左下の ゲーム − オプション でゲームの遊びかたを変更することができます。

・ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「メガシフト」などから選べます。
・バルーン（泡）の色は「カラー」、「グレースケール」が選べます。
変更が終わったら ok をタップしてください。

● **成績を確認する**

画面右下の 情報 − 成績表 でゲームの成績を確認できます。
確認が終わったら ok をタップしてください。

Java™アプリ

この製品には、Javaアプリケーションを実行するためのJava実行環境「JBlend™」が搭載されています。
ゲームなどのJavaアプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり（☞5-8ページ）、パソコンやminiSDカードからコピーして（☞1-49、8-12ページ）、この製品で利用できます。
ダウンロード後、インストールしてください。インストールの方法はダウンロード先などを確認してください。

Javaアプリケーションを起動する

1 **スタートメニューの“プログラム”にタップします。**

2 **プログラム画面で“Java™アプリ”にタップします。**
Javaアプリケーションの一覧画面が表示されます。

起動したいJavaアプリケーションにすばやく2回タップします。

Javaアプリケーションが起動されます。
使用方法は、Javaアプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

- この実行環境は、「J2ME CLDC-1.1 MIDP-2.0」に準拠しています。
- 画面右下の[メニュー]－[アプリケーション]－[削除]などでアプリケーションを削除するとアプリケーションを起動することはできませんが、元のファイル（インターネットなどからダウンロードしたファイル）はメモリに残っています。
- 本体メモリなどの容量を空けるときや不用になったときは、ダウンロードしたファイルもファイルエクスプローラを起動して削除します（ファイルによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください）。
  ダウンロードしたファイルを削除し再度インストールする場合は、ファイルを再度ダウンロードしてください。

Java™アプリのメニュー

アプリケーション	**削除**	選択しているJavaアプリケーションを削除する。
	すべて削除	表示されているJavaアプリケーションを全て削除する。
	パーミッション	ネットワークに接続する前に確認画面を出す／出さないなどを設定する。
	情報	選択しているJavaアプリケーションのファイル情報などを表示する。
Java設定		Javaアプリケーションの使用中、常にバックライトを点灯するか設定する。
Java情報		バージョン情報を表示する。
終了		Java™アプリ（Java実行環境）を終了する。

10 設定

使用環境を設定する　10-2

使用環境を設定する

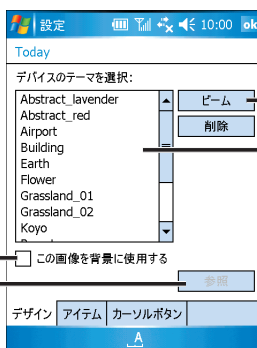
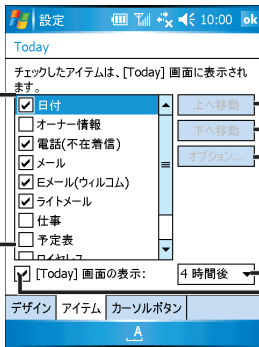
着信音や待ち受け画面（Today画面）など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定”にタップすると、設定画面が表示されます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

待ち受け画面（Today画面）を設定する

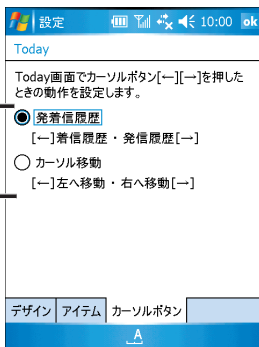
壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面（Today画面）を作成できます。

1 スタート メニューの “設定”にタップして “Today”にタップします。

2 Today画面に関する設定を行います。

◇ デザイン タブ ◇

◇ アイテムタブ ◇

MEMO

- この製品をロックするときは、デバイスロックではなくキーロック(☞1-7ページ)を使われることをおすすめします。デバイスロックをすると、電話がかかってきたときにデバイスロックを解除しないと電話に出ることができません。

◇ カーソルボタンタブ ◇

3 **設定が終わったら、ok にタップします。**

画像を「Today」画面の背景に設定する

この製品に保存している画像を「Today」画面の背景として設定できます。

1 **画像とビデオ画面で、「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにして表示されたメニューから [[Today]の背景に設定する] にタップします。**

「[Today]の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO

- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下の [メニュー] ー [[Today]の背景に設定する] にタップしても「[Today]の背景に設定する」画面が表示されます。

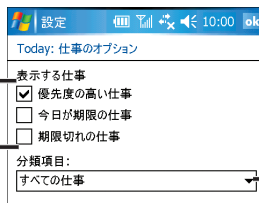
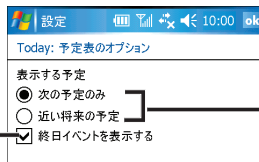
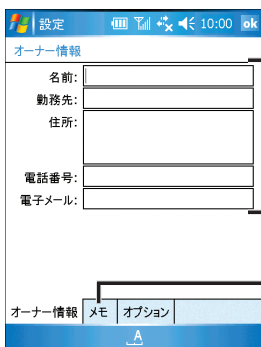
2 **背景にするときの透過レベルを設定します。**

透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

3 **[Today]画面の背景に設定するときは、ok にタップします。**

Today画面に表示する「仕事」と「予定表」の内容を設定する

[アイテム] タブ画面で「仕事」または「予定表」にタップしてから、[オプション] にタップして設定します。

◇ 仕事 ◇

◇ 予定表 ◇

オーナー情報を設定する

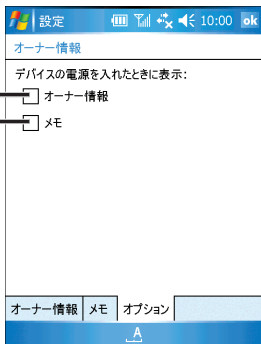
オーナー情報を入力します。

1 **スタート** **メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用** **タブにある “オーナー情報”にタップします。**

オーナー情報の設定画面が表示されます。

3 **オーナー情報に関する設定をします。**

◇ **オーナー情報** **タブ** ◇

◇ **オプション** **タブ** ◇

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

ボタンを設定する

この製品のボタンに割り当てるプログラムや機能を設定します。

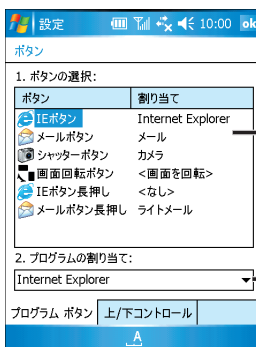
1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

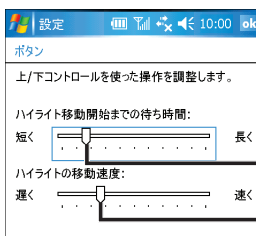
2 **個人用 タブにある “ボタン”にタップします。**

ボタン設定画面が表示されます。

3 **表示部の下にあるボタンに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。**

◇ プログラムボタン タブ ◇

「1.ボタンの選択」から設定／変更したいボタンを選択し、「2.プログラムの割り当て」から割り当てるプログラムを選択します。

◇ 上／下コントロール タブ ◇

(カーソル)ボタンを押したときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

4 **設定が終われば、 ok にタップします。**

スタートメニューを設定する

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

1 **スタート メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用 タブにある “メニュー”にタップします。**

メニュー設定画面が表示されます。

3 **スタートメニューに表示したいプログラムなどにチェックを付けます(7つまで)。**

・チェックを付けたプログラムなどは、スタートメニュー(☞1-25ページ)に表示されます。

・チェックを付けていないアイテムは、プログラム画面(☞1-18ページ)に表示されます。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

10 設定

各種設定

他人が使えないようにロックする

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、この製品を他人が使えないようにロックします。

1 スタート メニューの "設定"にタップします。

2 個人用 タブにある"ロック"にタップします。

パスワード設定画面が表示されます

3 パスワードなどを設定します。

チェックをつけると：電源をオフしてから設定時間が経過すると、次に電源オンしたときにパスワードの入力が必要になります。

パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを5回間違えると入力したヒントが表示されます。

パスワードの種類を設定します。
- 数字の簡易パスワードの場合、4桁以上の数字を入力します。
- 強力な英数字のパスワードの場合、英字（大文字または小文字）、数字、区切り記号（/、：など）の3種類を含んだ7文字以上を入力します。

4 設定が終われば、ok にタップします。

5 確認画面で、はい にタップします。

ご注意！

- パスワードは忘れないようにしてください。登録したパスワードを忘れると、この製品を使えなくなります。パスワードは控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、完全消去（フォーマット）（☞11-6ページ）が必要になります。完全消去すると、この製品に入っているデータなどはすべて消去されます。
- キーロック（☞1-7ページ）を設定しているときはパスワードの入力もできません。キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO

- パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

単語登録や入力の設定をする

よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

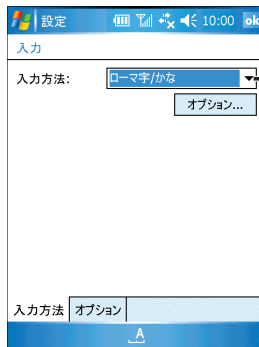
1 **スタート** **メニューの “設定”にタップします。**

2 **個人用** **タブにある“入力”にタップします。**

入力設定画面が表示されます。

3 **よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。**

◇ **入力方法** **タブ** ◇

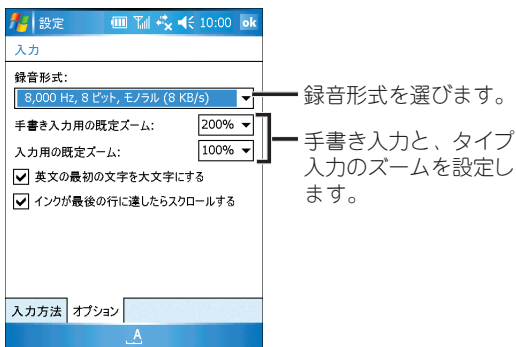
単語の登録と手書き入力パネルの設定をします。

それぞれの入力方法から、以下のオプションが設定できます。

- ひらがな／カタカナ：単語の登録（☞次ページ）
- ローマ字／かな：単語の登録（☞次ページ）
- 手書き検索：「左手」（手書き入力枠が左になる）設定
- 手書き入力：「左手」（手書き入力枠が左端になる）設定、「3つの入力ボックス」（手書き入力枠が3つになる）設定、「タイムアウトを使用」（手書きした文字が設定した秒数で消える）設定「タイムアウト値」（手書きした文字が消える秒数を入力）

MEMO

● 手書き入力の設定についてくわしくは1-44～45ページをご覧ください。

◇ オプション タブ ◇

録音形式や入力の詳細設定をします。これらの設定は、録音や手書きをサポートしているメモなどのプログラムに適用されます。

● 手書き入力のズームを大きくすると、手書きエリアに表示される罫線の幅が変わり、大きい文字が手書きできるようになります。

4 設定が終われば、ok にタップします。

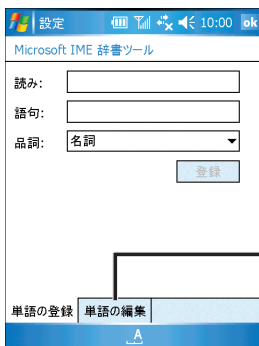
よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語を辞書に登録します。

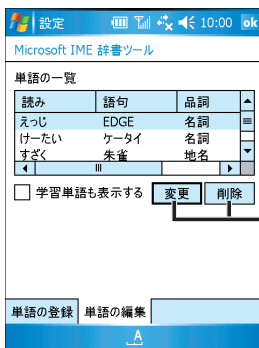
1 スタート メニューの “設定”にタップします。

2 個人用 タブにある“入力”にタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 「入力方法」欄で ▼ にタップして「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、オプション をタップします。

辞書登録画面が表示されます。

4 読み、変換後の語句、その品詞を入力／設定して、登録 にタップします。

5 登録した単語を変更／削除する場合は、単語の編集 タブにタップします。

- この製品には、変換した語を記憶する学習機能があります。
  学習された語は、次回の変換で優先的に表示されます。
  変換ミスなどで誤った語が学習されてしまったときなどは、「学習単語も表示する」にチェックをつけて一覧に表示し、変更や削除をします。

6 設定が終われば、ok にタップします。

音と通知を設定する

アラームや画面のタップ音の設定などをします。

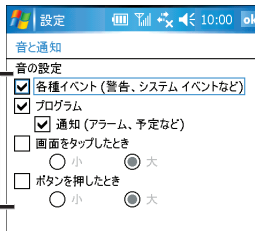
1 スタート メニューの “設定”にタップします。

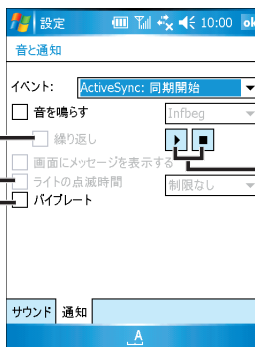
2 個人用 タブにある “音と通知”にタップします。

音と通知設定画面が表示されます。

3 音や通知に関する設定をします。

◇ サウンド タブ ◇

“予定表”や“仕事”で設定したアラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

◇ 通知 タブ ◇

各種イベントを通知する方法にチェックをつけて設定します。

4 設定が終われば、ok にタップします。

MEMO

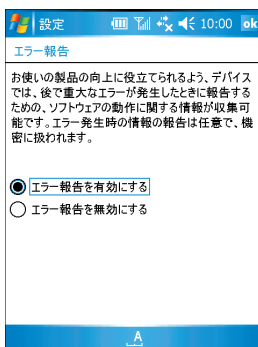
- サウンド タブで「プログラム」の「通知（アラーム、予定など）」のチェックを外している場合、通知 タブで「音を鳴らす」にチェックをつけていても音は鳴りません。サウンド タブでは、「通知（アラーム、予定など）」のチェックはつけておいてください。

エラー報告をする／しないを設定する

この製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 **スタートメニューの “設定”にタップして、システムタブにタップします。**

2 **“エラー報告”にタップします。**
画面が表示されます。

3 **「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」にタップします。**

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

- エラー報告のために「お詫び」画面が表示されたとき、この画面内に「特別な費用はかかりません」のメッセージが出ますが、情報を送信するための通信費は別途必要となります。

バックライトを減光(最小輝度)するまでの時間を設定する

画面のバックライトを減光(最小輝度)するまでの時間を設定します。
バックライトが最小輝度になるとキーボードのバックライトは消灯します。

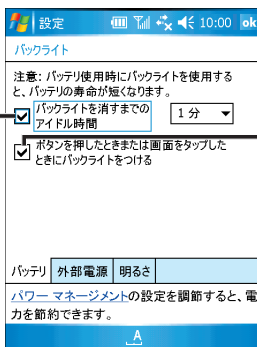
1 **スタート メニューの "設定"にタップして、システム タブにタップします。**

2 **"バックライト"にタップします。**
バックライト設定画面が表示されます。

3 **バックライトに関する設定をします。**

◇ バッテリ タブ ◇

充電池を使っている(ACアダプターを接続していない)ときの設定をします。

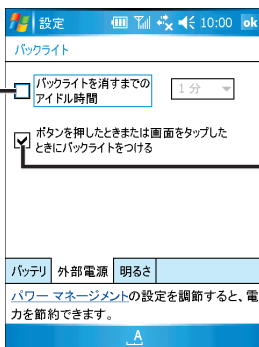
チェックをつけると：最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。下記メモもご覧ください。

チェックをつけると：ボタンや画面を操作したらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。
画面の電源がオフになっているときは、PWRを長く(約2〜3秒)押します。

MEMO

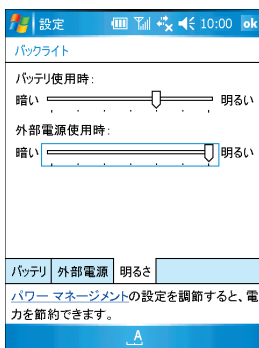
- **キーボードのバックライトについて**
「バックライトを消すまでのアイドル時間」にチェックを付けて設定した時間が経過すると、キーボードのバックライトは消えます。
ボタンや画面を操作すると、キーボードのバックライトも点灯します(キーボードのバックライトの明るさは調節できません)。

◇ 外部電源 タブ ◇

ACアダプターを接続しているときの設定をします。

チェックをつけると：最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。前ページのメモもご覧ください。

チェックをつけると：ボタンや画面を操作したらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

◇ 明るさ タブ ◇

バックライトの明るさを設定します。
充電池使用時、ACアダプター（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

- スライダーを左端に移動すると、バックライトは消灯します。
  バックライトを消灯すると、キーボードのバックライトも消灯します。
  また、バックライトの明るさを左端以外（消灯以外）にすると、キーボードのバックライトも点灯します。キーボードのバックライトの明るさは調節できません。
- 充電池の残量が少なくなると設定に関わらずバックライトは最小輝度になります。

設定が終われば、ok にタップします。

パワーマネージメントを設定する

充電池の残量確認やオートパワーオフ（画面の電源をオフ）するまでの時間などを設定します。

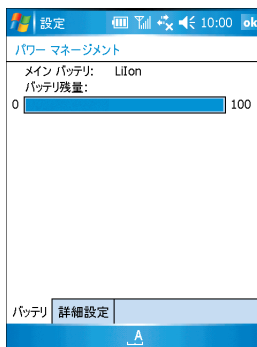
1 **［スタート］メニューの “設定”にタップして、［システム］タブにタップします。**

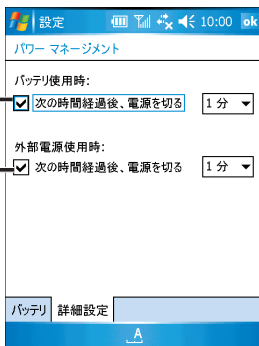
2 **“パワーマネージメント”にタップします。**

パワーマネージメント設定画面が表示されます。

3 **充電池の残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。**

◇［バッテリ］タブ◇

充電池（バッテリ）の残量を確認できます。

◇ 詳細設定 タブ ◇

最後の操作から一定時間が経過すると、画面の電源が自動的に切れるように設定します。
画面の電源が切れても電話着信／ライトメール受信時などは自動的に電源が入ります（☞1-27ページ）
バッテリ（充電池）使用時と外部電源使用時（ACアダプター接続時）を別々に設定します。

- 通話中やインターネットなどで通信中のときは、設定時間を経過しても、使用しているプログラムや動作状況によってすぐにオートパワーオフ（画面の電源をオフ）しない場合があります。
- **以下のときは、設定した時間が経過してもオートパワーオフ（画面の電源をオフ）しません。**
  - ・ワイヤレスLAN接続中
  - ・通話中
  - ・インターネットなどで通信中
  - ・ActiveSyncでパソコンと接続中
  - ・Windows Media Player 10 Mobileで再生中
  - ・ブンコビューアの自動表示中

4 設定が終われば、ok にタップします。

バージョン情報などを確認する

CPUやメモリ容量など、この製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 スタート メニューの “設定”にタップして、 システム タブにタップします。

2 “バージョン情報”にタップします。

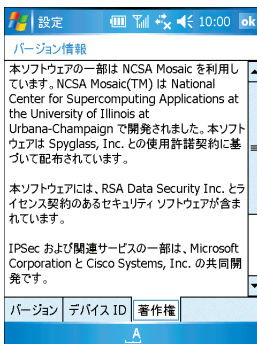
バージョン情報確認画面が表示されます。

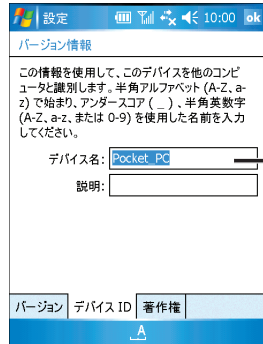
3 バージョン情報やこの製品の名前を確認します。

◇ バージョン タブ ◇

この製品のバージョン情報を確認できます。

◇ 著作権 タブ ◇

この製品の著作権について確認できます。

◇ デバイスID タブ ◇

この製品の名前を設定します。

ActiveSyncを行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側の画面に表示されます。

4 確認／設定が終われば、 ok にタップします。

プログラムを削除する

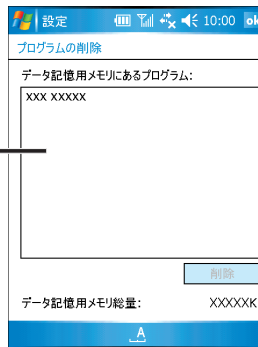
追加したプログラムを削除します。

1 **すべてのプログラムを終了します。**

プログラムの終了については、1-26ページをご覧ください。

2 **［スタート］メニューの “設定”にタップして、［システム］タブにタップします。**

3 **“プログラムの削除”にタップします。**

プログラムの削除設定画面が表示されます。

4 **削除するプログラムを選択し、［削除］にタップします。**

5 **確認画面で、［はい］にタップします。**

- あらかじめこの製品にインストールされているプログラムは削除できません。

メモリを確認する

メモリの使用状況を確認したり、実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

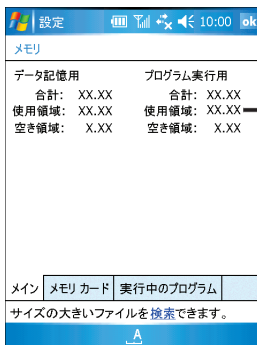
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

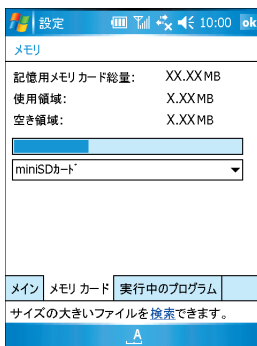
2 **“メモリ”にタップします。**

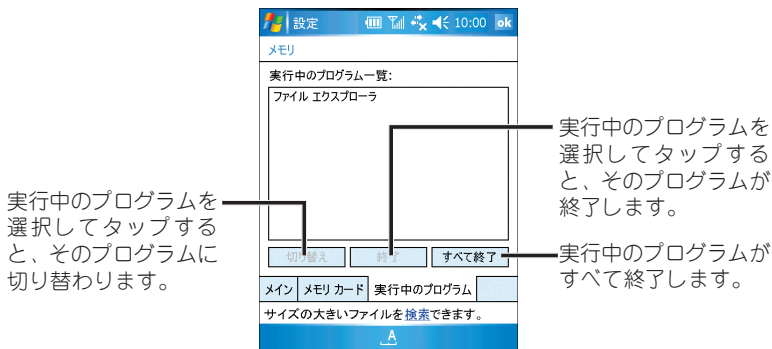
メモリ設定画面が表示されます。

3 **メモリの使用状況を確認したり、プログラムを終了します。**

◇ メイン タブ ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。
この画面の数値（使用領域など）は、MB単位で表示されます。

◇ メモリカード タブ ◇

装着しているメモリカードの使用容量／空き容量を確認できます。

◇ 実行中のプログラム タブ ◇

実行中のプログラムを確認できます。

4 設定が終われば、ok にタップします。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、以下の内容をご覧になりデータ記憶用メモリやプログラム実行用メモリの不足を解消してください。

■データ記憶用メモリの不足を解消する

“Internet Explorer Mobile”を使っていろいろなホームページを閲覧していると画像データなどをキャッシュファイルとして一時保存します。キャッシュファイルがデータ記憶用メモリを使っていることが考えられます。また、プログラムをインストールしたり、大きなファイルを保存していないのにデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、5-9ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。また、このメモリが不足すると縦表示と横表示の切り替えが遅くなることがあります。

■プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったり、“Picsel PDF Viewer”を使ってPDFファイルを正しく開けなかったり、縦表示と横表示の切り替えが遅くなったときなどは「プログラム実行用のメモリ」が不足していることが考えられます。
このようなときは、1-26ページをご覧になり、終了するプログラム名をタップし、終了 をタップします。

10 設定 各種設定

通信モードや縦横切替の設定などをする

通信モード、ワイヤレスLAN、キーボードを開いたときに表示される画面の向き、電波状態表示ランプの点灯について設定します。

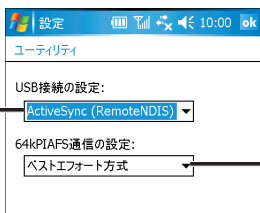
1 **スタートメニューの "設定"にタップして、システムタブにタップします。**

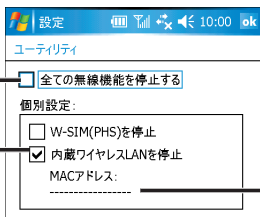
2 **"ユーティリティ"にタップします。**

ユーティリティ画面（通信モードタブ）が表示されます。

3 **通信モードなどの設定をします。**

◇ 通信モードタブ ◇

パソコンとこの製品を接続したとき、同期またはモデムとして使用するのかを設定します。

◇ 無線ON／OFFタブ ◇

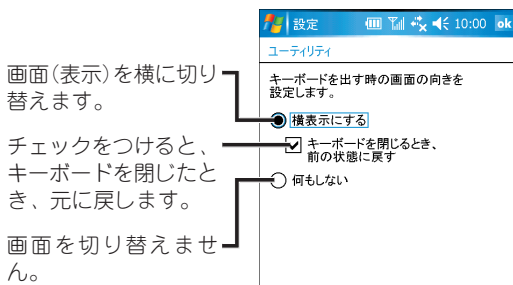
PHS電波（PHS電話機能）と内蔵ワイヤレスLANのON（有効）／OFF（無効）を設定します（☞2-9ページ）。

MEMO

- PHS電波を停止すると、電話やライトメールなどができなくなります。内蔵ワイヤレスLANを停止すると、内蔵ワイヤレスLANへの電源供給が止まり使用できなくなります。一時的に中止（☞2-16ページ）にしても電源は供給されますが、この方法では電源供給も止まります。

◇ 電話帳読込 タブ ◇

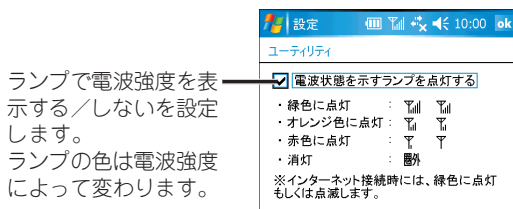
他の商品でW-SIMに保存した電話帳のデータを、この製品に読み込みます（☞次ページ）。

◇ 縦横表示切替 タブ ◇

キーボードを開いたとき、画面を横に切り替える／切り替えないを設定します。

- カメラ撮影時（☞7-3ページ）は、キーボードを開いたり、閉じたりしても画面は切り替わりません。

- 画面の向き（キーボードの開閉に関わらない）は“画面”で設定します（☞10-29ページ）。

◇ 電波状態表示ランプ タブ ◇

電波状態ランプを点灯する／しないを設定します。電波状態ランプ（☞1-2、1-4ページ）の色で電波強度が分かります。

- ホームページ閲覧などでPHS電話機能を使ってインターネットに接続したときは、ランプ（緑色）の点灯／点滅で電波状態を示します（☞1-4ページ）。
- 電波状態ランプで電話／ライトメール／メールの着信などを確認できます。くわしくは、3-31ページをご覧ください。

設定が終われば、ok にタップします。

設定が保存されます。

10 設定

各種設定

電話帳のデータを読み込む

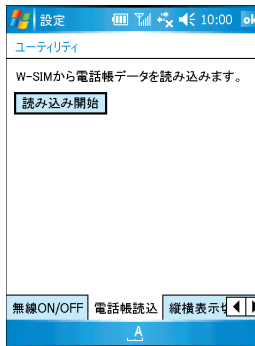
他の商品でW-SIMに保存した電話帳のデータをこの製品に読み込みます。

ご注意！
- この製品からW-SIMにデータを書き込むことはできません。

1 **電話帳のデータが入ったW-SIMを取り付けます（☞11-10ページ）。**

2 **スタート－設定－システムタブ－ユーティリティ－電話帳読込タブにタップします。**

ユーティリティ画面（電話帳読込タブ）が表示されます。

3 **読み込み開始にタップします。**

W-SIMの電話帳のデータが、この製品の"連絡先"に読み込まれます。

ご注意！
- 読み込みを一度行ったのち再度、読み込みを行うと、同じデータが読み込まれてデータが重複します。
- 電話番号の登録方法によっては、読み込むことができない電話番号があります。W-SIMに登録している1件の電話帳データ（電話番号1～3）に同じ種別（PHS／FAX／会社／携帯／自宅／その他）で複数の電話番号を登録しているときは、最初の1つ目だけが取り込まれます。
  例えば、電話番号1/2/3にPHS電話番号を登録しているときは、1つ目の番号しか取り込まれません。

地域を設定する

この製品で使う数値の表示形式を変更できます。

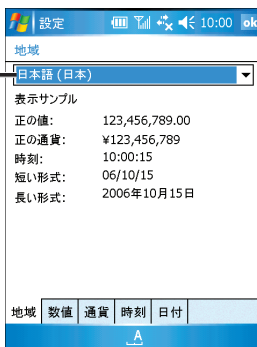
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“地域”にタップします。**

地域設定画面が表示されます。

3 **数値の表示形式などを設定します。**

◇ 地域 タブ ◇

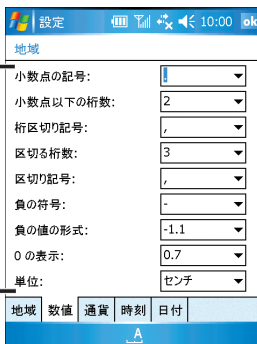
地域を変更すると、下の表示サンプルの形式に変わります。

MEMO

- 地域を変更しokにタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、リセット(☞11-2ページ)を行ってください。

◇ 数値 タブ ◇

地域 タブで設定した地域に応じて、数値の表示形式を個別に設定できます。

10 設定

各種設定

◇ 通貨 タブ ◇

地域 タブで設定した地域に応じて、通貨の表示形式を個別に設定できます。

◇ 時刻 タブ ◇

地域 タブで設定した地域に応じて、時刻の表示形式を個別に設定できます。

MEMO

● 地域を日本に選択したときは(☞前ページ)時刻表示は24時間制になります。

◇ 日付 タブ ◇

地域 タブで設定した地域に応じて、日付の表示形式を個別に設定できます。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

時計とアラームを設定する

現在地と訪問先の時刻や、決まった時刻にアラームを表示する設定などができます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“時計とアラーム”にタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **時刻やアラームに関する設定をします。**

◇ 時刻 タブ ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

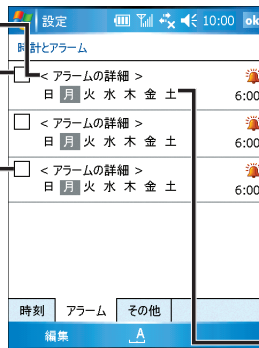
MEMO

● 画面の時分秒のいずれかにタップすると時刻は止まったように見えますが、「訪問先」(灰色になっている時分秒)の時刻で分かるように時刻は進んでいます。このため、変更する時刻の秒を「00」にして、時報に合わせて ok にタップしても実際の時刻と合わなくなります。
正確に時刻を合わせるためには、時報などに合わせて、変更する秒を「00」にしてください。
また、ActiveSyncと同期するとパソコンと時刻を合わせることができます(☞8-10ページ)。

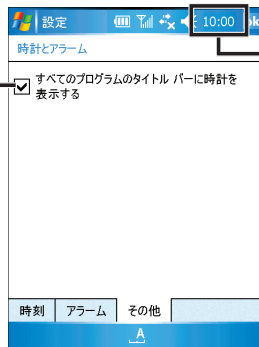
10 設定

各種設定

◇ アラーム タブ ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

MEMO

- “予定表”や“仕事”で設定したアラーム音の種類などを設定するときは、10-12ページをご覧ください。

◇ その他 タブ ◇

4 設定が終われば、ok にタップします。

画面の設定をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“画面”にタップします。**

画面設定画面が表示されます。

3 **画面に関する設定をします。**

◇ 全般 タブ ◇

画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

選択した画面の向きが表示されます。

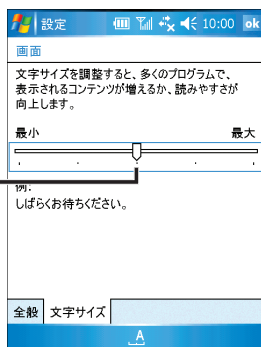
「横(右きき)」または「横(左きき)」を選択すると横画面に切り替わります。

画面にタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップしてタッチスクリーンの補正をします。

MEMO

- キーボードの開閉時に画面の向きを切り替える設定もできます(☞10-23ページ)。

◇ 文字サイズ タブ ◇

文字サイズの設定をします。

4 **設定が終われば、ok にタップします。**

タッチスクリーンの補正をする

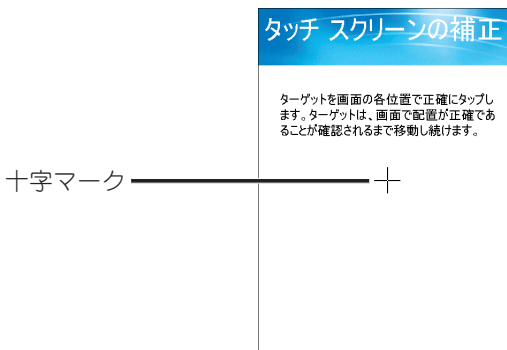
スタイラスペンでタップした位置が画面の位置とずれているときはタッチスクリーンの補正をします。

1 **前ページの手順1～2を操作します。**

画面設定画面が表示されます。

2 **タッチスクリーンの補正 にタップします。**

タッチスクリーンの補正画面が表示されます。

3 **画面の十字マークの中心に少し長くタップします。**

タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、以後、同じ操作を繰り返します。

4 **タッチスクリーンの補正が終了すると、画面設定画面が表示されます。**

証明書を確認する

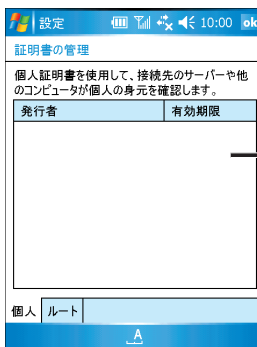
個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

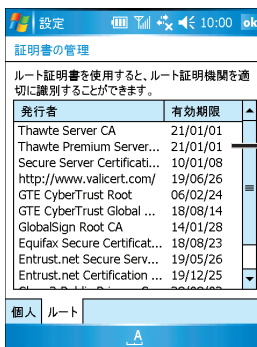
1 **スタート メニューの “設定”にタップして、システム タブにタップします。**

2 **“証明書”にタップします。**

証明書の管理画面が表示されます。

3 **証明書を確認します。**

◇ 個人 タブ ◇

タップすると証明書の詳細が表示されます。ok にタップするとこの画面に戻ります。

◇ ルート タブ ◇

タップすると証明書の詳細が表示されます。ok にタップするとこの画面に戻ります。

4 **確認が終われば、ok にタップします。**

MEMO

● 証明書についてくわしくは、ヘルプをご覧ください。

11 付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」(☞11-23ページ)を参照してください。「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、など異常状態のときは、ACアダプターに接続し10〜20分程度充電したあと、次の対処方法を順に試してみてください。

①リセット(再起動)　②フルリセット　③完全消去(フォーマット)

① リセット(再起動)する

データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しく働かない、などのときにリセット操作を試してみてください。リセット操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

ご注意!
- **手順にしたがって操作をするときは、本体側面を持ち画面に指が触れないようにしてください。**

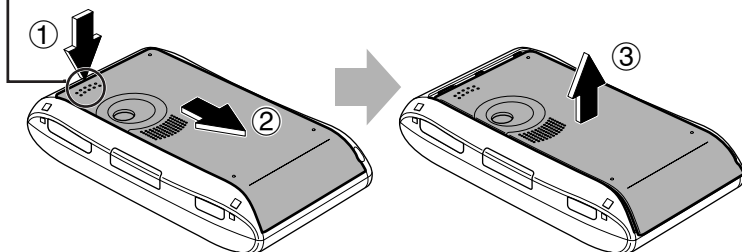
1 すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります(☞1-11ページ)。

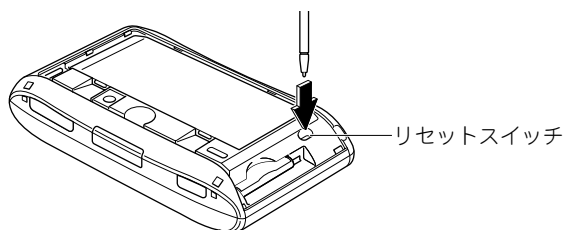
動作しない場合には、手順**2**へ進んでください。

2 この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 本体裏側の充電池ぶたを取り外します。

1 ここの突部を矢印の方向に押し(①)ながら、スライドします(②)。

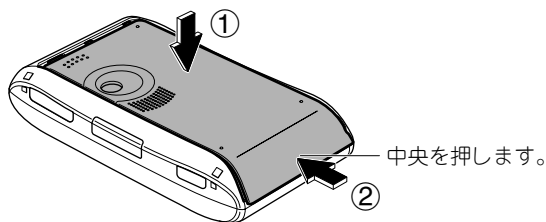
2 持ち上げて取り外します(③)。

4 約15秒待って、リセットスイッチをスタイラスペンで押します。

リセットされます。

ご注意！ ● **リセットスイッチを押す前には、約15秒待ってください。**

5 充電池ぶたを取り付けます。

1 充電池ぶたを置きます（①）。

2 図のように中央を押して取り付けます（②）。

充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

6 [PWR]ボタンを約2～3秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、充電池ぶたがきっちり取り付けられているか確認し、ACアダプターを接続して充電してください。また、充電池を入れ直してください。

ご注意！ ● **誤ってこの製品を落下させないよう十分注意してください。**

7 Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

リセット後は、時刻が合っているか確認してください。

② フルリセットする

リセット（再起動）（☞11-2ページ）しても正常に動作しないときは、次の方法でフルリセットしてください。この方法も編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

ご注意！
- 手順にしたがって操作をするときは、本体側面を持ち画面に指が触れないようにしてください。

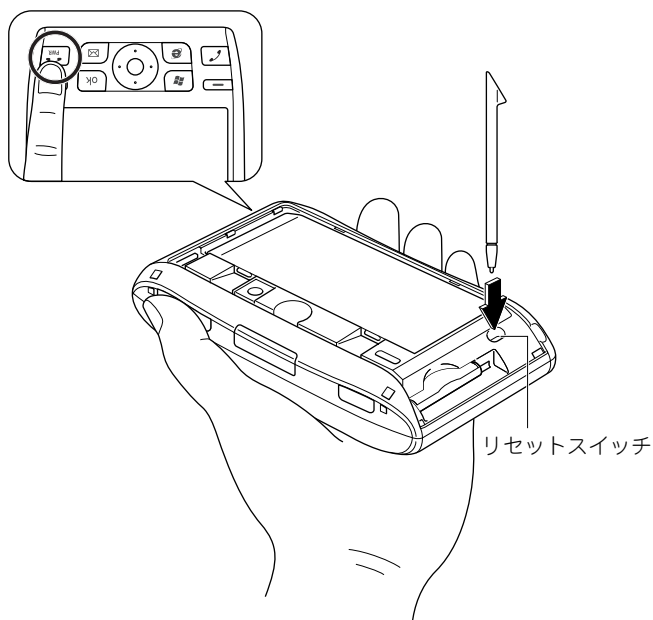
1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞1-11ページ）。**

動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

2 **この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します（☞11-2ページの手順3）。**

4 **約15秒待って、［PWR］ボタンを押しながらリセットスイッチをスタイラスペンで押します。**

フルリセットされます。

5 充電池ぶたを取り付けます（☞11-3ページの手順5）。

6 [PWR]ボタンを約2～3秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、ACアダプターを接続して充電してください。

7 Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

8 時計画面を表示し、日付／時刻を設定します。

時刻設定画面は、Today画面（待ち受け画面）でにタップして「時計とアラーム」画面を表示します。時刻と日付を設定します。
「時計とアラーム」画面については、10-27ページをご覧ください。

ご注意！
- フルリセット後は必ず手順**8**を行い、日付／時刻を合わせてください。

③ 完全消去する(フォーマット)

11-2～5ページの①と②を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意!
- **データがすべて消去されます。**
  ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります(☞1-11ページ)。**
動作しない場合には、手順**2**に進んでください。

2 **この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します(☞11-2ページの手順3)。**

4 **約15秒待って、リセットスイッチをスタイラスペンで押します(☞11-3ページの手順4)。**

5 **充電池ぶたを取り付けます(☞11-3ページの手順5)。**
さらにACアダプターを接続します。

6 **本体を表にして、キーボードを開きます。**

7 **Fnキーと Fキーの両方を押したままで、PWRボタンを長く(約2～3秒)押します。**

8 **しばらくすると、本体が起動し画面全体が白く表示され確認画面が表示されます。**

9 **(カーソルボタンの右横にある)okボタンを押します。**
キーボードのEnterキーでは、実行されません。
完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。
終了後はセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行います。

MEMO
- セットアップの途中でタッチスクリーンの補正を行う画面が表示されます。
  タッチスクリーンの補正については10-30ページをご覧ください。
- スタートメニューから再度オンラインサインアップを行ってください(☞2-2ページ)。

充電池について

充電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」(☞0-7ページ)をよくお読みください。

使用できる充電池

リチウムイオン充電池：EA-BL12
※EA-BL12以外の充電池は使用しないでください。

- 通常は、電源を切った状態で充電し始めてから約3.5時間で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならないときは、使用される前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電池を取り付け、ACアダプターを接続して充電します(☞1-9ページ)。
使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切ることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。

残量を確認する

充電池の残量は、タイトルバーの充電池残量のアイコンで確認することができます(☞1-16ページ)。
パワーマネージメント画面(バッテリ タブ)でも確認できます(☞10-16ページ)。

充電池の交換について

充電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命ですので、交換してください。

充電池を交換する

1 この製品の電源を切ります（☞1-11ページ）。
また、USBケーブルを接続しているときは、取り外します。

2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

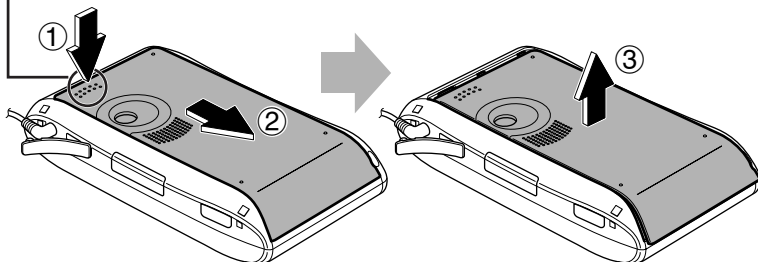
3 ACアダプターを接続します（☞1-9ページ）。

ご注意！

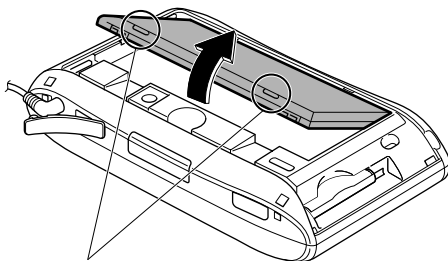
- ACアダプターを接続せずに（手順**3**を行わずに）充電池を交換すると、リセットがかかり手順**8**のあと約1分後にToday画面（待ち受け画面）が表示されます。さらに時刻が合っているか必ず確認してください。
このようなことを避けるために、ACアダプターは必ず接続してください。

4 本体裏側の充電池ぶたを取り外します。

1 ここの突部を矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。
2 持ち上げて取り外します（③）。

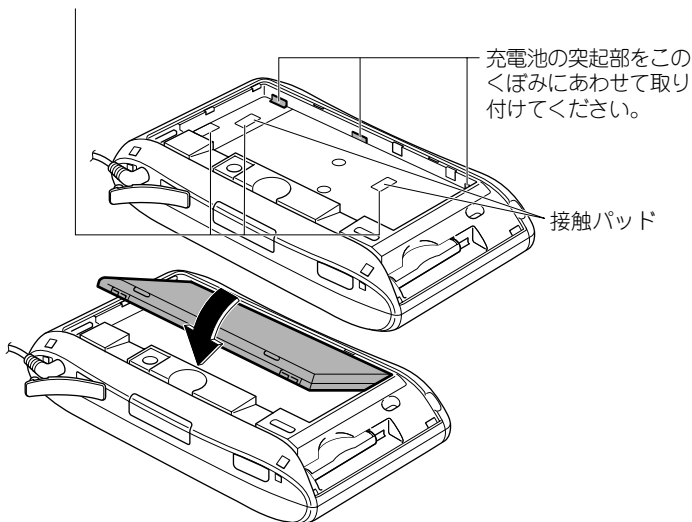
ご注意！

- 充電池ぶたを取り外すときは本体側面を持ち、画面を手でふれないようにしてください。

5 消耗した充電池を持ち上げて取り外します。

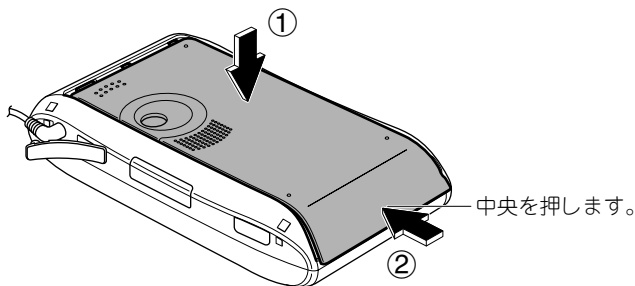
ご注意！

- 充電池は端子面を下にして金属などの導電性物の上に置かないでください。ショートの原因になります。

6 図のようにして充電池の突起部をこの製品のくぼみにあわせて取り付けます。

ご注意！

- 充電端子や接触パッドに金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。
  ショートによる火災や故障の原因になります。

7 充電池ぶたを取り付けます。

1 充電池ぶたを置きます（①）。

2 図のように中央を押して取り付けます（②）。

8 [PWR]ボタンを長く押します。電源が入らないときは手順1からやり直してください。

電源が入ります。

交換した充電池を充電するときは、いったんACアダプターを取り外し、再度、ACアダプターを取り付けてください。

ACアダプターを接続せずに充電池を交換したときは、日付と時刻が合っているか確認してください。合っていないときは、10-27ページをご覧になり設定してください。

W-SIMを取り外す／取り付ける

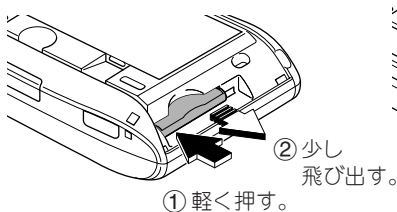
1 この製品の電源を切ります（☞1-11ページ）。

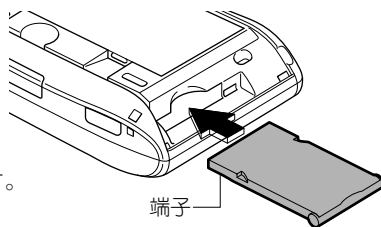
2 この製品にUSBケーブルやminiSDカードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

3 本体裏側の充電池ぶたを取り外します（☞11-8ページの手順**4**）。

4 W-SIMを取り外します。または、取り付けます。

取り外す

W-SIMを指で押し込み、スロットから外れたカードを抜き取ります。

取り付ける

端子側を下向きにしてW-SIMを取り付けます。

5 充電池ぶたを取り付けます（☞前ページの手順**7**）。

※上記の方法で正常に動作しない場合は、充電池ぶたを取り外してリセットスイッチを押してください（☞11-3ページの手順**4**）。

シフトJISコード表

絵文字の入力と、シフトJISコードを使って文字や記号を入力できるのはライトメールのみです（☞4-49ページ）。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾
8150	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼
8160	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛
8170	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	
8180	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
8190	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81A0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓			
81B0									∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩
81C0									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	・
81D0											∠	⊥	⌒	∂	∇	≡
81E0	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬							
81F0	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯			
8240																０
8250	１	２	３	４	５	６	７	８	９							
8260	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ
8270	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ						
8280		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
8290	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					ぁ
82A0	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け
82B0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82C0	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
82D0	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め
82E0	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ
82F0	を	ん														
8340	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8380	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
8390	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									Α
83A0	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ
83B0	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α
83C0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83D0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														─
84A0	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗
84B0	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	
8740	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ		㍉
8760	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜
8770	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻	
8780	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
8790	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
8890																亜
88A0	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
88B0	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88E0	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨
88F0	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓
8950	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲
8960	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴
8970	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
8990	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	押
89A0	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶
89B0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89D0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会
89F0	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外
8A50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣
8A60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	
8A80	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
8A90	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢
8AC0	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
8AD0	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇
8B60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供
8BA0	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯
8BB0	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響
8BC0	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近
8BE0	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具
8BF0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈			
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8C60	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経
8C70	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	
8C80	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	検
8CA0	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険
8CB0	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8CD0	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8CE0	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉
8CF0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	
8D80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
8D90	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	此
8DA0	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮
8DB0	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐
8DC0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
8DD0	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪
8DE0	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			
8E40	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三
8E50	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸
8E60	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8E90	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	次
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識
8EB0	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質
8EC0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈
8EE0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣
8EF0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆
8F50	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔
8F60	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8F90	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄
8FB0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8FC0	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8FD0	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾
8FF0	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾			
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
9090	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節
90E0	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰
90F0	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	
9180	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
9190	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	臓
91A0	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊
91B0	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91C0	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
91D0	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托
91F0	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只			
9240	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹
9250	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖
92A0	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹
92B0	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
92D0	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴
92E0	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵
92F0	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹
9350	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点
9360	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
9390	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同
93B0	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳
93C0	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
93D0	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那
93E0	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難
93F0	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
9440	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農
9460	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	函
94A0	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪
94B0	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
94D0	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
94F0	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美			
9540	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧
9550	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	福
95A0	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕
95E0	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
9690	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	漫
96A0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻
96E0	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料
97C0	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
97D0	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令
97E0	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦
97F0	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼
9850	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀
9870	湾	碗	腕													
9890																弌
98A0	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍
98B0	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭
98C0	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
98D0	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚
98E0	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假
98F0	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲			
9940	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖
9950	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩
9960	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩
9970	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	
9980	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
9990	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	辧
99A0	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹
99B0	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅
99C0	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
99D0	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听
99E0	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻
99F0	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨			
9A40	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹
9A50	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟
9A60	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤
9A70	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	
9A80	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
9A90	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	圈
9AA0	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀
9AB0	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊
9AC0	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
9AD0	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤
9AE0	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲
9AF0	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩			
9B40	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑
9B50	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽
9B60	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃
9B70	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	
9B80	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
9B90	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	屐
9BA0	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷
9BB0	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛
9BC0	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
9BD0	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9BE0	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢
9BF0	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏			
9C40	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾
9C50	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑
9C60	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙
9C70	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	
9C80	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
9C90	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	悄
9CA0	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘
9CB0	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾
9CC0	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
9CD0	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑
9CE0	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶
9CF0	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛			
9D40	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂
9D50	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐
9D70	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	
9D80	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
9D90	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	據
9DA0	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶
9DB0	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸
9DC0	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
9DD0	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻
9DE0	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢
9DF0	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼			
9E40	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧
9E50	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩
9E60	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞
9E70	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	
9E80	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
9E90	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	棔
9EA0	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡
9EB0	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞
9EC0	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
9ED0	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧
9EE0	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸
9EF0	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣			
9F40	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅
9F50	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙
9F60	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪
9F70	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	
9F80	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
9F90	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	沺
9FA0	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣
9FB0	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸
9FC0	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
9FD0	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝
9FE0	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂
9FF0	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌			
E040	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎
E050	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱
E060	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰
E070	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	
E080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
E090	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	燹
E0A0	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘
E0B0	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒
E0C0	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
E0D0	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E0E0	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜
E0F0	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱			
E140	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍
E150	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧
E160	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂
E170	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	
E180	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
E190	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	癲
E1A0	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹
E1B0	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩
E1C0	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
E1D0	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚
E1E0	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌
E1F0	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬			
E240	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕
E250	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬
E260	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉
E270	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	
E280	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
E290	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	筺
E2A0	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟
E2B0	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩
E2C0	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
E2D0	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬
E2E0	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀
E2F0	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆			
E340	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨
E350	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫
E360	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊
E370	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	
E380	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
E390	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	罅
E3A0	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆
E3B0	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱
E3C0	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
E3D0	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲
E3E0	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥
E3F0	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋			
E440	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂
E450	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉
E460	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與
E470	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	
E480	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
E490	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	茵
E4A0	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟
E4B0	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫
E4C0	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
E4D0	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹
E4E0	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡
E4F0	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈			
E540	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜
E550	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋
E560	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩
E570	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	
E580	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
E590	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	蝓
E5A0	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇
E5B0	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢
E5C0	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
E5D0	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃
E5E0	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃
E5F0	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞			
E640	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦
E650	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐
E660	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂
E670	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	
E680	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
E690	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	譟
E6A0	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈
E6B0	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼
E6C0	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
E6D0	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱
E6E0	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣
E6F0	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊			
E740	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇
E750	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅
E760	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟
E770	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	
E780	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
E790	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	遏
E7A0	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽
E7B0	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙
E7C0	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
E7D0	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶
E7E0	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐
E7F0	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮			
E840	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔
E850	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇
E860	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰
E870	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	
E880	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
E890	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	陝
E8A0	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸
E8B0	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑
E8C0	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
E8D0	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜
E8E0	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵
E8F0	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰			
E940	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔
E950	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑
E960	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮
E970	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	
E980	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
E990	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	髻
E9A0	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃
E9B0	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀
E9C0	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
E9D0	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇
E9E0	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆
E9F0	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈			
EA40	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲
EA50	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚
EA60	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸
EA70	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	
EA80	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
EA90	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	堯
EAA0	槇	遙	瑤	凜	熙											

絵文字一覧

シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字	シフトJISコード	文字
F040		F060		F080		F0A0		F0C0		F0E0	
F041		F061		F081		F0A1		F0C1		F0E3	
F042		F062		F082		F0A2		F0C2		F0E7	
F043		F063		F083		F0A3		F0C3		F0E9	
F044		F064		F084		F0A4		F0C4		F0F0	
F045		F065		F085		F0A5		F0C5		F0FC	
F046		F066		F086		F0A6		F0C6		F140	
F047		F067		F087		F0A7		F0C7		F148	
F048		F068		F088		F0A8		F0C8		F14D	
F049		F069		F089		F0A9		F0C9		F150	
F04A		F06A		F08A		F0AA		F0CA			
F04B		F06B		F08B		F0AB		F0CB			
F04C		F06C		F08C		F0AC		F0CC			
F04D		F06D		F08D		F0AD		F0CD			
F04E		F06E		F08E		F0AE		F0CE			
F04F		F06F		F08F		F0AF		F0CF			
F050		F070		F090		F0B0		F0D0			
F051		F071		F091		F0B1		F0D1			
F052		F072		F092		F0B2		F0D2			
F053		F073		F093		F0B3		F0D3			
F054		F074		F094		F0B4		F0D4			
F055		F075		F095		F0B5		F0D5			
F056		F076		F096		F0B6		F0D6			
F057		F077		F097		F0B7		F0D7			
F058		F078		F098		F0B8		F0D8			
F059		F079		F099		F0B9		F0D9			
F05A		F07A		F09A		F0BA		F0DA			
F05B		F07B		F09B		F0BB		F0DB			
F05C		F07C		F09C		F0BC		F0DC			
F05D		F07D		F09D		F0BD		F0DD			
F05E		F07E		F09E		F0BE		F0DE			
F05F		F07F		F09F		F0BF		F0DF			

ローマ字→かな変換表

キーボードまたは文字入力パネルでローマ字入力することができます。

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA				WO(を)
んン	N	NN			

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA	QI		QE	QO
くゎクヮ行		QWI	QWU	QWE	QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぃウィ行		WI			
うぇウェ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		
ヴぁヴァ行	VA	VI	 VYU	VE	VO

●撥音（はつおん）の入力

・"ん、ン"の次に母音または"Y"がくるときや"ん、ン"で終わるとき"N"を2回入力する
ほんやく→HONNYAKU
はんい→HANNI
ほん→HONN
・上記以外のとき
ほんき→HONKI

●促音の入力

"N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

ヴゅ→VYU

●小さい文字（ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、ヵ、ヶ、ッ、ャ、ュ、ョ、ヮ）の単独入力

・"X"または"L"(エル)の次に、それぞれの文字を入力する。
ティータイム→TEXI-TAIMU
トップ→TOXTUPU
・"ヵ"と"ヶ"はカタカナで入力される。

仕様について

本体

形名	WS004SH
OS	Microsoft(R) Windows Mobile™ 5.0 software for Pocket PC 日本語版
CPU	Intel® PXA270 プロセッサ 416MHz
本体メモリ	Flashメモリ256MB(本体システム領域等含む) (ユーザーエリア※1:約197MB、出荷時空き容量:約169MB) SDRAM 64MB(ワークエリア)
表示部	640×480 ドット 3.7型 65,536色 モバイルASVシステム液晶(バックライト付き)
通信機能	PHS(W-SIM)
内蔵ワイヤレスLAN	IEEE802.11b準拠
内蔵カメラ	有効画素数:約133万画素
カードスロット	miniSD™カードスロット×1、W-SIMスロット×1
接続端子	USB端子(USB 2.0 Full Speed(12Mbps))、 ACアダプター端子、イヤホンマイク端子(平型)
電源	DC 3.7V 充電池:リチウムイオン充電池(EA-BL12)
消費電力	W-SIM(装着時):4.1W W-SIM(取外時):3.7W
使用温度	0〜40℃
外形寸法	(高さ)約130mm×(幅)約70mm×(厚さ)約26mm (キーボード収納時、突起部除く)
質量	約220g(充電池、スタイラスペン、W-SIM含む)
付属品	W-SIM(※2)、充電池(EA-BL12)、USBケーブル、 ACアダプター(EA-75)、ソフトケース、スタイラスペン、 『はじめにお読みください』、『取扱説明書』、CD-ROM、保証書
プログラム	電話、メール、ライトメール、Internet Explorer Mobile、 予定表、連絡先、仕事、メモ、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、 Word Mobile、Windows Media Player 10 Mobile、 DicLand辞書、画像とビデオ、電卓、ゲーム、 バックアップツール、Picsel PDF Viewer、ActiveSync、 ブンコビューア、JBlend(Java™アプリ)
連続待受時間	約200時間(電波状態ランプ消灯時) ※3
連続通話時間	約5時間

※1 ユーザーエリアはDicLand辞書などの削除可能なプリインストールデータを削除した場合の値です。
※2 W-SIMは、箱に入っています。
※3 電波状態ランプ点灯時、連続待受時間は半分以下になる場合があります。

充電池（EA-BL12）

公称電圧	3.7V
公称容量	1500mAh
充電時間	満充電になるまでの時間：約3.5時間（常温25℃、電源を切った状態での目安）
使用温度	0～40℃
充電温度	5～35℃
充放電回数	約500回

ACアダプター（EA-75）

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

困ったときは

この製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったときは』、ここに書いている内容をご覧ください。
“メール”、“ActiveSync”については4-30ページや8-16ページもご覧ください。

電話操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 電話がかからない	● 市外局番からダイヤルしていますか。 ● 電波状態のアイコンがやになっていますか。やになる場所に移動してください(☞1-4ページ)。 ● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーにアイコンが表示されていると、インターネットに接続中です。接続を切ってください(☞0-23、5-4ページ)。 ● 通話／通信機能が制限されていませんか。通話／通信機能の制限を解除してください(☞3-37ページ)。 ● W-SIMはきっちりと装着されていますか。W-SIMを一度取り外して、再度取り付けてみてください(☞11-10ページ)。
● 着信音が鳴らない	● 着信音の音量を確認してください(☞3-25ページ)。 ● マナーモードを設定していませんか(☞3-33ページ)。 ● 安全運転モードを設定していませんか(☞3-34ページ)。
● 電話がかかってこない	● 電波状態のアイコンがやになっていますか。やになる場所に移動してください(☞1-4ページ)。 ● 着信拒否の設定をしていませんか(☞3-36ページ)。 ● 着信転送サービスを利用していませんか(☞3-45ページ)。 ● 電源を切っていませんか(☞1-11ページ)。

● 電話がかかってこない（つづき）	● インターネットに接続中ではありませんか。タイトルバーに⇄が表示されていると回線が接続したままになっています。Internet Explorer Mobileを使ってホームページを閲覧したあと、画面右上のokにタップしただけでは、回線は切れず接続したままになっています。 回線を切断するときは、PWRボタンを押します。またはタイトルバーの⇄にタップし、表示されたウィンドウの切断にタップします（☞0-23、5-4ページ）。
● 通話中、相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る	● アンテナマークがY.ıllやY.ılになっていますか。Y.ıllやY.ılになる場所に移動してください（☞1-4、1-15ページ）。 ● 周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか。見通しのよい場所に移動してください。 ● 受話音量が小さくなっていませんか（☞3-13ページ）。

本体操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 充電池の消耗がとても早い	● **内蔵ワイヤレスLAN機能を使用していないときは、「オフ」にする。** ワイヤレスLANが「オン」になっていると充電地が早く消耗します。スタート－設定－システムタブ－ユーティリティ－無線ON/OFFタブをタップして、「内蔵ワイヤレスLANを停止」にチェックを付けます。 ● **使用していないプログラムを終了する。** スタート－設定－システムタブ－メモリ－実行中のプログラムタブをタップして、一覧から使用していないプログラムを選択して、終了にタップ、またはすべて終了にタップします。 ● **画面の明るさを下げる。** スタート－設定－システムタブ－バックライト－明るさタブをタップして、スライダーで画面の明るさを調節します。スライダーを左端にするとバックライトは消灯します。

● 充電池の消耗がとても早い(つづき)	●**画面の電源を切る。** スタート－設定－システムタブ－パワーマネージメント－詳細設定タブをタップして、チェックを付けて時間を設定します。
●インストールしたプログラムや大きいファイルを保存していないのにメモリの空き領域がほとんどなくなっている	●データ記憶用メモリの空き領域が少ないときは、インターネットを閲覧した際のキャッシュ(前に表示したWEBコンテンツなどの記憶)でメモリを使用している場合があります。 Internet Explorerを起動して、メニュー－ツール－オプション－メモタブからファイルを削除をタップしてキャッシュを削除してください。 ●プログラム実行用メモリの空き領域が少ないときは、次の手順で使っていないプログラムを終了してください。スタート－設定－システムタブ －メモリ－実行中のプログラムタブをタップして、一覧から使用していないプログラムを選択して終了にタップ、またはすべて終了にタップします。
●画面が暗い	●充電池の残量が少なくなっていませんか(☞1-16、10-16ページ)。 ●バックライトの設定が暗くなっていませんか(☞10-14ページ)。
●電源が入らない	●充電池ぶたが、しっかり閉まっているか確認してください。 スタイラスペンに引っ掛かったりして浮いていませんか。また、充電池ぶたのつめが折れていませんか。
● 充電ランプが点灯しない ● 充電ランプが点滅する	●次の順で、充電ランプが点灯(オレンジ色)するかを確認してください。いずれの場合も点灯したときは充電池を10分程度充電してください。 ①ACアダプターやUSBケーブルを取り外してから、再度ACアダプターを接続して点灯するか確認してください(点灯しないときは②へ)。 ②ACアダプターを取り付けた状態で、リセット(☞11-2ページ)を行ってください(点灯しないときは③へ)。 ③ACアダプターを取り付けた状態で、フルリセット(☞11-4ページ)を行ってください。

● 充電したが本体の電源が入らない **● 充電開始後所定の充電時間以上が経過しても充電ランプが消灯しない**	● 長期間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合は、しばらく充電しても本体の電源が入らなかったり、所定の充電時間以上充電しても、充電ランプが黄緑色にならないことがあります。そのときには、ACアダプターとUSBケーブルを取り外してからリセット(☞11-2ページ)をして再度充電してみてください。 ● 指定の周囲温度(5～35℃)で充電してください。 ● 満充電後、そのままにしておくと、充電池を消費し、また充電がはじまる場合があります。
● パワーマネージメントの設定をしているのに画面の電源がオフしない	● 内蔵ワイヤレスLANなど接続中は、画面の電源はオフしません。お使いにならないときは、ワイヤレスLANを停止してください(☞2-16、10-22ページ)。
● 急に電源が切れた	● パワーマネージメントを設定していると画面の電源が切れます(☞10-17ページ)。 ● 充電池が消耗すると、電源が切れます。すぐにACアダプターを使って充電してください(☞1-9ページ)。 ● 強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。
● [PWR]ボタンを押しても何も表示されない(電源が入らない) **● 画面が明るくなるだけで文字などが表示されない**	● [PWR]ボタンを約2～3秒以上押し続けていますか。すぐ[PWR]ボタンを離すと電源は入りません(☞1-11ページ)。 ● 充電池が消耗していませんか(☞1-16、10-16ページ)。 ● リセットしてください(☞11-2ページ)。
● [PWR] ボタンを押すと、1、2秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 充電池が消耗しています。ACアダプターを使って充電池を充電してください(☞1-9ページ)。
● ACアダプターを接続しているのに満充電にならない	● この製品を使用しながら充電を行っている(ACアダプターを接続したまま使用している)場合、6時間以内で満充電にならずに、充電が自動的に終了することがあります。ACアダプターをいったん取り外し、(USBケーブルを接続しているときはUSBケーブルを取り外してから)、再度ACアダプターを接続してください。ACアダプターを6時間以上接続したままにすると、充電を停止します。

● ACアダプターを使用中や充電中に、ACアダプターやこの製品が温かくなる	●故障ではありません。ACアダプター使用中や充電中は、ACアダプターやこの製品は温かくなります。
● ACアダプター使用中、ピーと音がする	●故障ではありません。ACアダプターの性質上充電時に小さくピーと音が鳴ることがあります。
● すべてのキー／ボタンが働かない **● データを正常に表示しない**	●「異常が起きたとき」(☞11-2ページ)の対処方法を順に試してみてください。 ●キーロックにしていませんか。 キーロックが働いているとキーやボタンを押しても動作しません。キーロックを解除してください(☞1-7ページ)。
● miniSDカードを認識しない	●奥までしっかりと装着していることを確認してください。 ●表裏が逆になっていませんか。端子面を上にして装着してください(☞1-46ページ)。 ●いったん本体からカードを取り外し、リセット(☞11-2ページ)をしてから、再度カードを装着してください。
● miniSDカードにバックアップできない	●1枚のminiSDカードには、1つのバックアップデータしか作れません。バックアップデータを保存するminiSDカードに新しくバックアップするときは、先にカードにある古いバックアップデータを消去してください(バックアップデータを保存したままのminiSDカードには、新たにバックアップはできません)。 古いバックアップデータを残しておきたいときは、miniSDカード内のCEBACKUPフォルダをフォルダごとパソコンなどにコピーします。本体データを古いバックアップデータに戻すときは、miniSDカードにCEBACKUPフォルダをコピーした後、リストアをおこなってください。
●「シュルシュル」という音がする	●静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。

インターネット接続／メール操作で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● インターネットに接続できない	●プロバイダーのアクセスポイントの電話番号があっているか確認してください。 ●インターネットに接続するユーザー名/パスワードが合っているか確認してください。文字を入力時、大文字と小文字、全角と半角、「0」(ゼロ)と「O」(英字のオー)、数字の「1」と「l」(英字のエル)などをまちがえていないか、よく確認してください。 ●サーバーアドレス(DNSサーバー)などが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。 ●電波状況が良好か確認してください(☞1-4、1-15ページ)。
● インターネットに接続すると電波状態ランプが点滅する	●PHS電話機能を使ってインターネット接続中は、電波状態ランプの点灯／点滅で電波状態を示します(☞1-4ページ)。
● メールの送信や受信ができない	●メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが、プロバイダーから指定されたものと合っているか確認してください。 ●プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。 ●ご自分で入会しているプロバイダーのアカウントを使ってメール送信するときは、アカウントを切り替えてから必ず、画面右下の メニュー － 送受信 (☞4-8ページの手順**8**)を行ってください。この操作を行わないと、メールは「送信トレイ」に入ったままになっています。
● メールが途中で切れている／添付ファイルが受信できない	●メールの最後部に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、「メッセージの全文／添付ファイルを取得する」(☞4-16ページ)をご覧になり、メールの／添付ファイル取得してください。 ●サーバー情報を設定するとき、「メッセージヘッダーのみ取得する」になっていませんか。2-22ページをご覧になり「メッセージの全文を取得する」を選択すると、メール受信時に添付ファイルも受信します。

● **長い件名のメールを送受信すると、件名が文字化けするときがある**	●送受信するメールの件名が全角で19文字以上になると件名が文字化けする場合があります。件名は、全角18文字(半角36文字)までにしてお使いください。
● **ライトメールの送信ができない**	●宛先となる電話番号を間違えていませんか。ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。 ●送信相手が電源を切っている、エリア外、話し中などになっていませんか。送信できないライトメールは送信待ちフォルダに入りますので、時間をおいて送信してください(☞4-44ページ)。 ●連絡先に登録している電話番号を使ってライトメールを作成するとき、(電話番号)選択画面でまちがった電話番号を選び(ライトメールに対応していない電話機の電話番号)ライトメールを作成すると、その宛先には送信できません(そのライトメールは送信待ちフォルダに入ります)。宛先の電話番号を確認してください(☞4-47ページ)。
● **ライトメールの受信ができない**	●エリア外や電源を切っていませんか。エリア外にいると、ライトメールの受信はできません。
● **ホームページが表示できない**	●サーバーアドレス(DNSサーバー)の設定をまちがえていないか確認してください(☞2-28ページ)。

その他のプログラムで困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● 内蔵カメラで接写ができない	● この製品に内蔵しているカメラの焦点距離は1.2m以上です。これよりも短い距離で撮影すると、焦点が合いません。
● バーコード(JANコード、QRコード)は読みとれるのか	● この製品ではバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ることはできません。
● プログラムの終了はどのようにするの	● 画面の右上の ok や ✕ にタップしただけでは、プログラムは終了しません。1-26ページに記載の方法で、プログラムを終了してください。
● メモリー不足の画面が表示された	● 使っていないプログラムを終了してください(☞1-26ページ)。
● 画面の縦横切り替えなどが遅い	● 使っていないプログラムを終了してください(☞1-26ページ)。
● 他の機種から電話帳などを転送できない	● W-SIMを使っている機種は、「電話帳読込」を行ってください(☞10-24ページ)。 ● この製品はMicrosoft Outlookと同期できます。お使いの機種がOutlookと同期できる場合は、その機種とOutlookを同期したのちこの製品と同期することで転送することができます。

ワイヤレスLAN接続で困ったとき

こんなときは	ここをお確かめください
● ワイヤレスLAN接続ができない	● 内蔵ワイヤレスLANが有効か確認してください(☞0-23ページ)。 ● WEPキーがまちがっていませんか。社内ネットワークに接続する場合などは、通常WEPキーが必要となります。2-12ページをご覧になり、WEPキーを確認してください。 ● IPアドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定が正しく設定されているか確認してください(☞2-6ページ)。 ● 電波の状態を確認してください。 電波の状態がよくないときは、次の対策を行ってください。 ・インフラストラクチャ通信の場合 アクセスポイントとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度接続してください。 ・アドホック通信の場合 接続相手との距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度接続してください。 ● 接続先のネットワークにアクセスする権限があるかどうか確認してください。
● 内蔵ワイヤレスLANの消費電力を抑えるにはどうしたらいいですか?	● 内蔵ワイヤレスLANを使用しないときは、無効にしてください(☞2-16ページ)。

● **内蔵ワイヤレスLANで接続したいのに、PHSで接続される**	● ワイヤレスLANが使えない場所やワイヤレスLANが正しく接続できていないことが考えられます。次の手順でワイヤレスLANの接続を確認してください。 スタート－設定－システムタブ － ネットワークカードをタップして「接続済み」と表示されている接続先があるかを確認してください。「接続済み」が表示されていないときは、内蔵ワイヤレスLANで接続されていません。「接続中」と表示されている場合は接続先を探している状態で、接続は確立されていません。 2-12ページをご覧になりネットワークキーの内容を確認してください。また、ルーターの再起動など、ルーター側の設定も再度確認してください。ワイヤレスLANが正しく接続されているときは、ワイヤレスLANで接続されます。 また、ワイヤレスLANが有効(オン)になっていることを確認してください(☞2-9ページ)。

同期(ActiveSync)操作で困ったとき

インストールできないときなど困ったときは、8-16ページもご覧ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● ActiveSyncがインストールできない ● ActiveSyncを使って接続/同期ができない	● パソコンにウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトをお使いのときは、それらを停止してからインストールしてください(ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトを停止する方法は、各ソフトウェアの問い合わせ先へご確認ください)。 ● パソコンにOutlookがインストールされているか確認してください。ActiveSyncと同期するときは、Microsoft Outlook98以降が必要です。
● 付属のUSBケーブルを使ってパソコンと接続しても、ActiveSyncが動作しない	● パソコンに正しく接続されているか確認してください(☞8-6ページ)。 ● ActiveSyncの接続設定を確認してください。 1. パソコンのActiveSyncを起動させます。 2. [ファイル]-[接続の設定]で、「USB接続を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。 ● USB接続の設定が「モデム」になっていませんか。 ユーティリティ画面(通信モードタブ)をご覧になり、確認してください(☞10-22ページ)。
● 同期がうまく取れなくなってしまったのですが	● 複数のアプリケーション(プログラム)を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。 ● 同期中に接続/切断を繰り返したり、USBケーブルを取り外したりすると、正しく接続できなくなることがあります。 このような時は、本体をリセットし、パソコンを再起動させてからもう一度接続してください。
● 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか?	● 次の操作をしてください。 1. パソコンのActiveSyncを起動させます。 2. [ツール]-[オプション]をクリックします。 3. 同期する情報の種類を変更して[OK]をクリックします。

アフターサービスについて

保証について

① この製品には保証書がついています。

・保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。

・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③ 保証期間後の修理は…

・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後5年保有しています。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

①「困ったときは」(☞11-23ページ)をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
②それでも異常があるときは使用をやめて、下記のウィルコムサービスセンター、またはシャープドキュメントシステム株式会社にお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
③故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

修理に関するお問い合わせ先

● ウィルコムサービスセンター
ウィルコムの電話から……………………(局番なしの)116
一般加入電話・公衆電話から ……….0120-921-156
(携帯電話・PHSからもかけられます)
受付時間　9:00～21:00(日・祝日を除く)

● シャープドキュメントシステム株式会社
大阪フィールドサポートセンター
住所　　　　：大阪市平野区加美南3丁目7番19号
ナビダイヤル：0570-081010
受付時間　　：月～金(午前9時～午後5時40分)
※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
※IP電話・PHSからはご利用いただけません。06-6794-9708へおかけください。

株式会社ウィルコムの電話・サービスに関する
お問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ………………………… （局番なしの）116
一般加入電話・公衆電話から …………… 0120-921-156
携帯電話・PHSからもかけられます

受付時間 ／ 9：00～21：00（日・祝日を除く）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ………………………… （局番なしの）157
一般加入電話・公衆電話から …………… 0120-921-157
携帯電話・PHSからもかけられます

受付時間 ／ 9：00～21：00（日・祝日も受付）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

操作方法などわからないときは

Step1 この取扱説明書の「さくいん」（☞11-19ページ）や「もくじ」（☞0-2ページ）を使って説明を探す

Step2 この製品のホームページにある「Q&A」を探す

http://wssupport.sharp.co.jp/qa/

Step3 シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせる

0120-606-512

受付時間 ／ 月曜～土曜：午前9時～午後6時
（日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く）

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

06F23.2T（TINSJ1368YCZZ）①